7月

JUL.1 1997 No.1

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区内全会員各位）

ガバナー 近藤雅臣

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナー　近藤　雅臣

プロフィール

第2660地区ガバナー
近藤　雅臣

1930年７月20日生。60年大阪大学大学院医学研究科修了。医学博士。大阪大学名誉教授。環境保全功労者滋慶教育科学研究所長。大阪ハイテクノロジー専門学校長、大阪保健福祉専門学校長。摂南大学客員教授。総理府中央環境審議会委員。通算省化学品審議会委員。厚生省食品衛生調査会委員。大阪府薬事審議会会長。ロータリー歴 76年千里（吹田北）RC入会。理事。会長。地区委員。米山功労者。PHF.

地区ガバナー就任のご挨拶
—— Show Rotary Cares（ロータリーの心を）——

ガバナー　近藤雅臣

1997年７月１日、新しいロータリー年度が始まりました。昨年５月に突然ガバナーノミニーに指名されて以来、またたく間にガバナー就任を迎えました。その間、日増しに役目の重圧感がのしかかってまいりましたが、生来の根明かさが手伝ってくれたこともあって、前向きに、明るくそして誠心誠意皆様とともに悩みや喜びを分かち合い、この大役を全うできればと自らを励ましている次第です。ロータリー活動が真にその目的を達するためにはロータリアン個々の、そして、そのロータリアンが構成するクラブの自覚と行動があってはじめて成就されるものであります。この大切なクラブの運営を担われるクラブ会長、幹事の皆様にはこの一年間大変なお役目となりますが、どうか素晴しいリーダーシップを発揮されて輝かしい年度にして頂きますようお願い申し上げます。私は、ロータリーには役目はあっても階級はなく、すべて同じロータリーの心と目的をもった者同士の集まりであると考えています。RI会長をはじめガバナーもすべて１ロータリアンであります。ただ、役目を頂いてロータリーの崇高な目的を皆様とともに達成するための相談役として奉仕する役割を課せられたものと理解しています。しかし、この相談役は、反面、その目的を達成するために皆様を励まし、よりよい道を開拓して頂く役目すなわち推進役でもあると心得ています。

さて、グレン W. キンロス RI会長は世界理解と平和を究極の目標とするロータリーにとって最も大きな障壁となっているのが貧困と飢餓の問題であると指摘しておられます。貧困と飢餓がどこかに存在している限り、決して世界理解も平和もあり得ず、ましてやそれによって次の世紀を担うべき子供たちにまで犠牲を強いてはならないと強調されました。そして、『貧困と飢餓との地球規模の闘い』を重点目標とし、これに向けてロータリーの心をわれわれの行動で実証しようと提唱されました。

『貧困と飢餓との地球規模の闘い』

1997－98年度中、あらゆる地域社会で、あらゆるロータリアンに対して――飢える人に食糧を提供することによって；貧困からの脱却を援助することによって；基本的読み書き能力と計算能力をあらゆる人に身に付けさせることによって；子供たちが虐待されたり放置されたりしないように守ることによって；あなたの都市や町を働きやすい住みやすい場所にするプロジェクトを実施することによって；そして、常に方便よりも原則を重んじて、事業や専門職務の高度の道徳的水準を掲げるよう全ロータリアンに奨励して職業奉仕を実践することにより――ロータリーの心を示そうと要請されました。

『ロータリー精神の原点に立ち戻り、ロータリー活動を見直そう』

私は、今年度のRIの方針のもとにこの地域に、そして、それぞれのクラブにふさわしい活動を皆様とともに考え、実践してゆきたいと念願しております。その為には、まず、もう一度“ロータリー精神の原点に立ち戻り、ロータリー活動を見直す”ことから始めたいと思っております。私は何度も申し上げましたとおり、ロータリーの原点は“愛”であり、ロータリーは愛にはじまって愛に終わる奉仕の理想を追及する個々のロータリアンの結合体であると考えています。そして、私たちの理想的な人生は、愛によって生まれ、愛によって育まれ、愛の手を差し伸べて喜びを分かち合い、愛に囲まれて終わりたいものであって、今私たちは愛の手を差し伸べて喜びを分かち合う年代にあるといえます。これを踏まえて今私たちは、ロータリアンとしての誇りと喜びに自信が持てるか、クラブ活動、地区活動がマンネリ化していないか、改良、改廃の必要はないかなど見直す時期にあるのではないかと考えています。お互いに切磋琢磨して真のロータリー活動への発展の基礎つくりができればと願っています。このような思いで、私は、今年度の地区運営の基本的理念としてもう一度『ロータリーの原点に立ち戻り、ロータリー活動を見直そう』と皆様に呼びかけています。

この基本的理念の上に立って、グレン W. キンロス会長が上記の重要課題とともに提唱された以下の項目を参考にして下さい。

『四大奉仕部門すべてにロータリーの心を』

クラブ奉仕部門

新会員の心をとらえられるような奉仕プロジェクトを開発し、入会の動機を提供するとともにすべてのロータリアンに真のロータリアンとなれるような経験と、指導力を発揮できるような機会を提供して下さい。

社会奉仕部門

クラブが地域社会の指導者であることを明瞭に示すような社会奉仕プロジェクトを開発して下さい。最も困難な地域問題、貧困、児童虐待、青少年の薬物乱用など、他の団体のためにただお金を集めるだけでなく、自らのプロジェクトによりロータリー

の足跡を残して下さい。そして、これらのロータリー活動の情報を地域に浸透させ、地域社会にロータリー活動を理解してもらうようにして下さい。活動の立案、実施のすべての段階に会員を参加させましょう。

職業奉仕部門

専門職務、同業者団体で指導的役割を引受け、ロータリーの理想と高度の倫理的水準を同僚や同業者と分かち合って下さい。専門職務、同業者団体を通じて直接あるいは間接的にロータリー活動を支援して下さい。

国際奉仕部門

貧困、飢餓に対する挑戦、そしてその原因のひとつと考えられる低い識字率を向上させる世界社会奉仕プロジェクトを支援して下さい。世界平和へのロータリーの人道的活動をさらにひろげるためロータリー財団プログラムに参加して下さい。年次基金、恒久基金への寄付を通じて財団を支援して下さい。

本年度の地区目標は現在の経済事情を考慮し、年次プログラム資金として前年度と同額の680,000ドル、恒久基金は81人としておりますのでより一層のご協力をお願いします。

『会員増強とクラブ拡大』

ロータリーの最大の資産は常に個々のロータリアンであるといわれています。一人の会員を失うごとにその資産は減少し、一人の会員を得る度に資産は増加して奉仕の可能性が増大します。ロータリーは世界中の人々の生活の質を向上させるため活動することにより“ロータリーの心”を示すため成長し続けなくてはなりません。会員の増加はこの目的の達成の為に必須のものであります。会員ひとりひとりがこの目的を理解し、新しいロータリアンをみつける喜びと責務を感じて頂きたいと思っています。同時に大切なことは如何にして退会を防止するかということにあらゆる努力を惜しまないことです。

地区としての本年度の目標は純増で２％としていますが、これは最低線であります（RIでは３％以上としています)。皆様の熱意に心から期待しております。

クラブ拡大は地域におけるロータリー活動の発展に大切なことであります。会員数の多いクラブはそれなりに利点があると同時に難点もあります。クラブ活動が特定の集団に限られ、傍観的立場に立つ会員をつくりがちであります。職業分類上の制約を厳密に考えれば、同一地域内ではロータリアンにふさわしい人がいても入会してもらえない場合も有り得ることです。拡大によりこれらの人々を受け入れることができ会員増強にもつながります。スポンサークラブとして新しいクラブの創設に関わり、支援することに喜びを感じて頂きたいと願っています。

本年度の地区の目標は１クラブとしていますが、無理のない範囲でこれ以上拡大できればお互いに喜びを分かち合えるのではないでしょうか。

『地区委員会に特別奉仕部門の新設』

ロータリークラブは専門職、事業あるいは同業者団体の指導的役割を担い、ロータリーの理想と高度の倫理的水準を広く社会に拡げ高める人達によって構成されています。この卓越した人材集団には多くの社会的義務が課せられているものといえます。そのひとつとして、われわれロータリアンのそれぞれの分野における最高の叡知を結集し、地域の、国の、そして世界社会の健全な発展のためのオピニオンリーダーとしての役割を担うべきではないでしょうか。この意味で新たに特別奉仕部門を設け、社会的に重要な課題を捉え、それらの議論を通じてロータリーの心を社会に提言していくことができればと考えました。差し当たっては、交通問題特別委員会、教育問題特別委員会などを設置したいと考えています。なお、2004年に大阪を中心として開催される世界大会に関する特別委員会も設けました。

以上、1997ロータリー年度のRIの方針をもとに私の考え方を付け加えさせて頂き述べてまいりましたが、これらはすべて地区ロータリアンの皆様、各クラブそしてこれらをまとめていかれる会長、幹事の皆様方の御支援、ご協力なくてはとても達成できるものではありません。何卒宜しくお願い申し上げます。勉強不足で足りない点多々あると思いますが、ご指摘、ご鞭撻頂ければ幸いです。共に学び、共に行動し、愛の手を差し伸べ、喜びを分かち合い、ロータリーの心を拡げましょう。公式訪問の際、親しくお目に掛りお話し合いできることを楽しみにしております。

中川直前ガバナーへの感謝の言葉

ガバナー　近藤雅臣

中川直前ガバナー、光信地区代表幹事ならびに地区幹事の皆様、この一年間まことにご苦労様でした。とくに、故大山ノミニーのご逝去と言う悲しい出来事を克服され、力を合わせて見事大任を果たされた勇気と責任感に対し心からの敬意を表したいと思います。まことに有難うございました。この間、中川直前ガバナーには体調を崩され入院されるという心配な時期もありましたが、幸い病を克服されつつがなく任務を全うされました。これは一に中川直前ガバナーの柔和で端正な風格に隠された強靱な信念そして不屈の闘志と責任感のなせる技と尊敬申し上げている次第です。

1996ロータリー年度はわが国のロータリアンにとってはまことに苦しい時代の始まりでありました。消費税の増額、特別減税の廃止、円安ドル高の急速な進行、金融、保険業の破綻などのバブル時代のつけが一気にふきだしてきた一年でした。これが寄付金額、会員増強、退会者数に影響を与えない筈はありません。この年度を担当された中川直前ガバナーの心労は大変なものであったと拝察でき、経験不足から充分なお手伝いができなかったことに申し訳なさを感じている次第です。それでも、持ち前の性格を発揮され、この時期においては叶うことのできないと考えられる寄付目標の達成をはじめ会員の純増数をあげられ、また、退会者を最低限に抑えられたご努力と手腕は、此れに続く、あるいは、更に悪化するかもしれない次年度を担当する私にとって大きな教訓を与えて頂きました。

さらに、社会奉仕として、山と海のライラ、少年少女ニコニコキャンプ、お年寄りの海遊館招待、国際奉仕としてロータリー財団、米山奨学会などの活動の原動力となり多大の成果を挙げられました。とくに、世界社会奉仕部門ではその援助活動によりケソン市より委員会のメンバーが名誉市民に叙せられる慶事もあり、輝かしい年度として飾るにふさわしい業績としてご同慶にたえません。

これらはすべて中川直前ガバナーの卓越したリーダーシップに負うところ極めて大きいものがあり、心から敬意を表するものであります。この一年間ガバナー・ノミニーとして地区大会、地区協議会、各種委員会、各種行事など多くの機会を頂いて親しくご教示を賜わりましたことを感謝いたしますとともに、この教訓を続く年度に生かしたいと思っております。ガバナー退任後も直前ガバナーとして休む暇もあまりないと思いますが、ひとまず充分静養され、充電された後再びパスト・ガバナーとして活躍され、地区の発展をはじめとして広くロータリー活動に貢献されますようお願い申し上げてお礼の言葉とさせて頂きます。本当に有難うございました。

グレンW.キンロス

プロフィール

グレンW.キンロス

オーストラリア、クィーンズランド州ブリスベイン
国際ロータリー会長エレクト、1996－97年度
ロータリー財団管理委員、1995－96年度
国際ロータリー理事、1982－84年度
国際ロータリー副会長、1983－84年度

キンロス氏は、1960年以来のロータリアンで、クイーンズランド州ブリスベンのハミルトン・ロータリー・クラブの会員で、同クラブの元会長です。国際ロータリーでは、地区ガバナー、ロータリー情報研究会カウンセラー、諮問グループ委員、国際協議会グループ・リーダーおよび国際大会委員会委員を歴任されました。

グレンW.キンロス会長からのメッセージ

ロータリアンの皆様

高齢者、弱者、子供たちへの配慮が行き届いている世界…平和な世界、戦争や犯罪や暴力のない世界、みんなに教育と雇用の機会がある世界…こんな世界に誰もが住みたいと思っています。ロータリアンなら、このような世界の建設を阻む諸問題について心を痛めないはずがありません。さらに、私たちは、世界中28,000の地域社会であらゆる業務と専門職務に従事する指導者を擁しています。すなわち、こうした関心事を行動に移す潜在力もあれば、各地の人々の境遇や生活を向上させるのに必要な資金や人材にも恵まれているのです。

ロータリーの最大の強味は、いついかなるときも、ひとりひとりのロータリアンです。このような強力な人材に恵まれている団体はほかにはありません。この人材を存分に活用し、地域社会の最も深刻な問題の解決に当たらせる時が来ました。120万のロータリアンひとりひとりが28,000の地域社会で、それぞれ、生活の質を向上させるよう心を砕けば、私たちは、より良い世界を築くことができるに違いありません。

飢餓・貧困との闘いを開始しましょう。これは、この世におけるさまざまな悪の根源です。然し、食糧と住居を提供するだけで、貧困から脱却させることはできません。自ら努力して、その生活状態を向上させていく手段が必要なのです。私たちは、文字と数字の世界に生きています。文字が読めない、書けない、計算ができない人々は、貧困から脱け出し、人間らしく暮らすことなど決してできないでしょう。

私たちが、このような遠大な目標を達成するためには、やさしいから、難しくないからという理由でプロジェクトを選んではなりません。私たちは、まず地域社会の最も深刻な問題を選び、次に、会員の事業上および専門職務上の手腕を生かすことから始め、実際的な解決策を考え、これを実行するに当たっては他の地域指導者にも納得して協力してもらいましょう。

ロータリアンとして、私たちには無視できぬほどの影響力があります。然し、多くのクラブは、その力を出しきっていません。犯罪、貧困、ホームレス等々多くの社会的病根の増加と闘うために、ロータリーは、地域社会の良心となり、他の人々が私たちの力強い運動に加わりたくなるようにしなければなりません。ロータリーの綱領を私たちの道標として活用し、草の根レベルで**ロータリーの心をまず示そう**ではありませんか。

1997-98年度RI会長

記　録

国際ロータリー第2660地区
1997－98年度のための地区協議会

会長部門討論課題

ガバナーノミニー（当時）近藤雅臣

1997－98年度　第2660地区　基本的理念

ロータリースピリットの原点にもどりロータリー活動を見直そう

＊ロータリアンとしての誇りと喜びに自信が持てるか
＊クラブ活動がマンネリ化していないか
＊クラブ活動に改良、改廃の必要はないか
＊クラブ活動への会員の関心は
＊地区活動がマンネリ化してないか
＊地区活動に改良、改廃の必要はないか
＊地区活動の成果が各クラブに充分フィードバックされているか

RIテーマの推進方法

会長としてクラブにこのテーマをどのように推進するつもりですか？

成果を測ることができるものを選ぶ
達成可能であるものを選ぶ
やりがいがあるものを選ぶ
分かち合えるものを選ぶ

クラブの運営、活動の見直しと改善策

クラブの運営に関する見直し
その改善策
クラブ活動に関する見直し
その改善策
会員増強（５名で１名）
クラブ拡大
各奉仕部門
財団

目　　標

会員増強目標
拡大の可能性
会員の平均年齢を下げる
地域社会のニーズを調査し、必要とされているプロジェクトを開発する
新会員の教育
週例会プログラム予定表の検討
財団奨学金、補助金の候補者推薦

クラブ協議会の重要性

重要性
会長が指導力を発揮する機会
役員、委員に対し、クラブの全活動について最新情報を提供する
討議内容
会員増強・拡大
奉仕プロジェクトと活動
地区大会への参加

効果的な週例会

週例会を効果的なものにするためにはどのような方法をとれば良いでしょうか？

施設
準備
例会プログラム（卓話の内容）
食事
事前の発表

週例会で早退者を少なくするにはどのような方法をとれば良いでしょうか？

ガバナー月信について

ガバナー月信は次年度会長と幹事にのみ送られます。会員への連絡にはどのような方法をとられますか？

重要なページをコピーし、会員に配付する
例会で会長の時間に紹介する
幹事報告として紹介する

公式訪問について

クラブの健全さを維持するため

会長はこの機会にクラブの現状を把握することができる
ガバナーは問題をともに検討し、解決法を見い出すための手だてを講じる
公式訪問に際し、ガバナーに何を期待しますか?
ガバナーからのお願い

特別奉仕部門新設

ロータリークラブは専門職、事業あるいは同業者団体の指導的役割を担い、ロータリーの理想と高度の倫理的水準を広く社会に拡げ、高める人達によって構成されている。

この人達のそれぞれの分野における最高の叡知を結集し、地域の、国の、そして世界社会の健全な発展のためのオピニオンリーダーとしての役割を担うべきではないか。そして、その情報の発信基地になるべきではないか。

（ただし、政治、宗教、イデオロギーなどに関与するものではない）

部門構成

＊交通問題特別委員会
＊教育問題特別委員会
＊世界大会特別委員会
＊その他

それぞれの委員会において理念検討グループ、実践検討グループなどが構成されてもよい

記　録

地区協議会に先立って行われた会長部門アンケート回答要旨

会長エレクトの年度中何か問題に直面しましたか？

回答数：問題あり　28

退会者（経済事情、死亡を含む）　14クラブ
クラブ運営　17クラブ
　財政問題、運営に関し異論
　姉妹提携クラブとの対応
　出席率の低下（欠席取扱）
　会長選考の困難さ
　委員会編成の困難さ
　委員会行事の準備不足
　地区大会出席率の悪さ
　米山奨学生問題
　例会場変更
クラブ活動　6クラブ
　奉仕活動のマンネリ感
　会員増強の方法
　委員長の意識
　ロータリー情報の周知徹底
　クラブ行事の改廃
　交換留学生の受け入れ

任期中にどのような課題に直面すると思ってますか？

回答数：課題あり　54

退会抑止、会員増強　18クラブ
出席率
姉妹クラブ（増加、ホームステイ）　4クラブ
ローターアクト、インターアクト増強、再開　4クラブ
記念事業　11クラブ
社会奉仕、国際奉仕の活性化　3クラブ
新しい挑戦の可能性　3クラブ
クラブ運営の困難さ（年齢層、個性的会員）　4クラブ
クラブの活性化（老齢化など）　4クラブ
財政問題　4クラブ
財団、米山寄付の増額　1クラブ

貴クラブの運営あるいはクラブ活動を見直す必要があると思われますか？　それらの改良策は？

回答数：あり　47

クラブ運営、活動の見直し
伝統は大切にし、新しい挑戦を可能にするニーズを模索する
例会とくに卓話を大切に、格調高い例会にする
出席率100％への努力；見直して90％（メーキャップ方法に問題あり）
クラブ運営に関する経済的基盤の確立
経費節約のための例会場移転、情報活動に多面性をもたせる
地区大会への全員参加
マンネリ化に対し、全会員で地域社会問題など検討、実践　会員の発言の機会を増やす
活動計画、予算配分などを新規に見直す
クラブ活動を見直し活力化する
ローターアクトの強化
会長の委員会把握の方法を考え実践する
例会以外の会合をもつ
情報の提供、ミニコミ誌への情報提供
例会の卓話中の私語
食事時間の延長など見直し
親睦を重視し、風通しをよくして明るいクラブにする
会員増強方針の見直し　若い会員の獲得（青年会議所との親睦）、地場産業との友好関係
委員会の数を増やし活動を活性化、協議会を２つに分けて討論
運営、活動を見直し、委員会を活性化して改良策を考える
クラブのメイン行事、弱い委員会の活動を積極的にする
委員会活動を見直し、全委員が企画の段階から参画する
奉仕活動を実践の奉仕活動に転換する
年齢による断層を埋めるため友好行事を企画して交流を計る
経済悪化のもとで総支出の見直し
会員がグループ化の傾向、例会の半分は指定席とする
高齢化による膠着状態を見直す
予算、クラブ運営の基本的事項すべての方針変更
継続事業の見直し、運営、活動への全員参加
意識の高揚
会長が積極的に計画に参画して委員会を活性化
親睦活動の活性化による会員相互理解をとおしての退会防止
事業を活性化してマンネリ化防止
魅力あるクラブ、活動について見直し、種々の会合、活動を通じて全員参加の意識をつくる
報告事項のマンネリ化を防止する
皆が主人公をテーマに
会員少数のため卓話の負担が過重
国際奉仕主流を社会奉仕主流へ

会長の時間をどのように使おうとされてますか？

回答数：67

ロータリー情報を中心に
（ロータリーワールド、ガバナー月信、友など）　36クラブ
推進月間の話題　3クラブ
その他
ロータリアンとして日々感じたこと
皆に喜んでもらえる話
クラブ定款、細則の復習
現在、過去、未来のロータリー関係話題
事務連絡を中心に
親睦を重視
オピニオンリーダーとして社会問題、人間性教育などにつき自分自身の考え方を述べる
RIテーマの徹底を折にふれて
雰囲気を楽しくする話題、楽しいクラブ作りを
活性化のために熱意をもって
聞くものの心をなごます社会、文化芸術の話からロータリー情報、ロータリーの心に繋ぐ
家族的な雰囲気を助長、醸成するような話題
社会の情報に関してのロータリアンとしての自分の判断を述べる
自分自身の紹介
問題点の解決への呼びかけ
奉仕の話題、ロータリー精神とチームワーク
基本方針のみにして短く
心と心　心、物、金の順序で話す

記　録

ロータリーの心とリーダーシップ

ガバナー・ノミニー（当時）近藤雅臣

最近ロータリークラブがややもすればマンネリ化し、多発する問題にうまく適応しきれない傾向があると指摘されている

ロータリアンの一般像を要約すると素質に恵まれ、人間向上を目指し、他人のために尽くそうとする優れた人であるが、多忙のためややもすると無関心になり、面倒なことはしたくないというように見受けられる

このような人々をロータリーの魅力に引き付けるためには優れた指導力が必要である

ロータリーの活力増進には、最も基本的な重要な要素であるクラブの活性化が必要である

クラブの活性化には会長自身の積極的姿勢と各リーダーとそのグループに積極的な活動を促す指導力が必要

卓越した理想を掲げ、奉仕の実践を積み重ね、しっかりした組織をもって、優れた人材を擁してより良い社会を築くために努力しているロータリーこそ、成功への要件をそなえた組織である

異業種のトップリーダーの集まりであるロータリークラブにおいてリーダーシップを研讃する機会に恵まれたことに感謝すべきである

リーダー（会長）は良きパートナー（委員長）が必要である、そしてそのパートナーは組織のリーダーとして構成員（委員）に対して役割推進に積極的に参加することを促すこと

リーダーとして活動した人は、それを終えた後にもそれによって高められた資質は消え失せるものではない

できるだけ多くの会員に多くの役割を与えること

理想的には全員が持ち回りで重要な役割を担い、貴重な経験を積み重ねる機会を与える

リーダーシップの３要素

1．生まれつきの性格
2．与えられたポスト
3．メンバーの支持（チームワーク）

メンバーの支持を得るには、自己研讃による人格形成が必要であり、進んで範を示す勇気と、人情の機微に通じた人間味が必要である

4．説得力

相手の言い分考え方を充分聞く、分かりやすく説く、相手の自尊心と人間性に訴えること

チームワーク活性化の５原則

1．話し合いによる相互理解
2．役割の分担
3．メンバーの合意による価値ある目標の確立
4．相互啓発（年配者と若い人のセンスと行動力を分かち合う）
5．チームリーダーの人間味

この５原則から

1．会長は委員長と、委員長は委員とよく話合っているか
2．会長は委員長の、委員長は委員の全員に役割と責任の分担を行っているか
3．合意で委員会の目標をたてているか
4．相互啓発をしているか
5．会長は委員長の、委員長は委員の話をよく聞いているか

これらを自問自答してみては

リーダーシップの必要条件

L…listen…傾聴する
E…explain…説明する
A…assist…援助する
D…discuss…話し合う
E…evaluate…評価する
R…response…応答する

人間の欲求

第一段階　生物的欲求
第二段階　安全・安定の欲求
第三段階　親和の欲求
第四段階　自己実現・自己完成の欲求

親和の欲求

共同体志向、人間的結合によって和を求める要望

自己実現・自己完成の欲求

金銭や地位を超越して、生きがいを求め、創造的生活、社会への貢献、自己啓発、自己研讃で人間的に成長したいとの欲求

第三段階、第四段階の高度な欲求を実現しようとしているのがロータリーの姿である

ロータリーの心

クラブライフ
ENJOY
STUDY
SERVE
CARESとSERVICE

ロータリーの効用

＊クラブの規律に従うことにより自己中心的な生活を反省できる
＊地域の職業を代表し、決定権を持つ立派なメンバーと友情を温め、信頼を深め、情報を交換し、学び合うことができる
＊これらの人達と同じ目的で奉仕する過程で、利害を越えた幅広い活動の場が与えられる
＊ロータリアンになってまわりにいかに多くの立派な人がいるかに気付き、自己研讃への意欲が高まる
＊無意識の行動は長年月に心に刻み込まれる生活の軌跡であることから、ロータリーの環境から長い間に得られる良い習慣が自然に身につく
＊ロータリーの利害を越えたつながりの中で、学ぶ心を知り、時間の大切さを悟り、思いやりの心を養い、規則正しい生活を学び、終生の友を得、楽しさのある日々を送ることができる

当日、講演をお願いしていた戸田研修リーダー（パスト・ガバナー）が入院のため出席不可能となり、お送り頂いた文献を私なりにまとめさせて頂いたものの要約です。なお、戸田様は現在元気でご活躍されていますのでご安心下さい。

今年度RIテーマ　解題　*Show Rotary Cares*
ロータリーの心を

ガバナー・ノミニー（当時）近藤雅臣

1997－98年度RI活動重点目標
『貧困と飢餓との地球規模の闘い』

貧困問題の統計

＊世界人口の20％は、１日米貨１ドル以下で暮らしている
＊毎日、１分毎に約50人が貧困家庭で誕生している（毎日７万２千人、毎年2,628万人がうまれている）
＊開発途上国では9,500万人を超える15才以下の子供が家庭を助けるために働いていると推測されている
＊約１億の子供たちはホームレスで、貧しい路上生活者である
＊約１億2,000万の人々が失業者であり、更に多くは不完全就職者である
＊教育を受けたにも拘わらず、生産的な仕事への道が閉ざされている若者が多い

貧困の影響

＊毎年1,500万人が飢餓死し、その大半は児童
＊５才未満の児童の34％は栄養不良
世界で20億人以上が栄養不足のため学習能力の欠除、失明、精神遅滞、早産による死亡の危険がみられる
＊貧困のため養育できず、親に捨てられて路上生活をしている児童が約１億人いる
＊アフリカの何百万人という児童は、エイズの蔓延で孤児となり、ストリート・チルドレン

がかなり増加すると予測されている
＊11才から15才までの推定9,000万人の貧困家庭の児童が就労し、その多数は搾取されながら働いている
＊児童虐待は所得の多寡とは関係ないが、赤貧の家庭でおこりがちである

貧困の根を断つ

＊栄養不良は貧困の原因と結果の両方
妊婦、乳幼児、児童に充分な栄養を与える
＊読み書き計算能力の不足も貧困の根源（約9億人）
これらの能力を身に付けられるよう支援する
＊国にっては非識字人口の3分の2は女性
これらの女性を教育することにより子供の教育に役立ち、健康な子育てができる

貧困の因果関係を断ち切る計画

＊食糧貯蔵所設置の支援、炊き出しの実施、食糧・衣料収集運動、ストリート・チルドレン、ホームレスの人々への安全な避難所の提供
＊持続可能な農業プロジェクトの開発による食糧分配の方法の向上
＊余剰食料の提供システムの設営
＊識字率向上プログラムの開発
＊職業研修プログラムと新しい職種の開発による雇用機会の提供
＊少額貸付制度による貧しい人の小さい商いの補助
＊リサイクル計画の推進
＊プロジェクトに貧しい人達を参加させ、自主、自助の精神を引き出す

1997－98年度 第2660地区 基本的理念

ロータリースピリットの原点にもどりロータリー活動を見直そう
＊ロータリアンとしての誇りと喜びに自信が持てるか
＊クラブ活動がマンネリ化していないか
＊クラブ活動に改良、改廃の必要はないか
＊クラブ活動への会員の関心は
＊地区活動がマンネリ化してないか
＊地区活動に改良、改廃の必要はないか
＊地区活動の成果が各クラブに充分フィードバックされているか

ロータリーの原点は『愛』である
そして
ロータリーは愛にはじまって愛におわる
私たちの理想的な人生のように
人は愛によって生まれ
愛に育まれ
愛の手を差し伸べ
愛にかこまれて終わる

今、私たちはこの愛の手を差し伸べる年齢層にあります。救いを求める人達に愛の手を差し伸べ、喜びを分かち合いましょう。救いを求める人達は、身のまわりに、地域に、世界のいたるところにいます。すべてのロータリアンが個人で、また、協力して一人でも多くの人達に喜んで頂ければロータリーの心が示されたことになるでしょう。

四大奉仕部門すべてを通じてロータリーの心を示そう

◆社会奉仕

クラブが地域社会の指導者であることを明瞭に示すような社会奉仕プロジェクトを開発する

最も困難な地域問題、貧困、児童虐待、青少年の薬物乱用など、他の団体にただお金を集めるだけでなく、自らのプロジェクトによりロータリーの足跡を残す

立案、実施のすべての段階に会員を参加させよう

◆職業奉仕

専門職務、同業者団体で指導的役割を引受け、ロータリーの理想と高度の倫理的水準を同僚や同業者に分かち合う

専門職務、同業者団体を通じて直接あるいは間接的にロータリー活動を支援する

◆クラブ奉仕

ロータリー独自の職業分類制度を活用し、クラブの発展につくす

新会員の心をとらえるような奉仕プロジェクトを開発し、入会の動機を提供する

すべてのロータリアンに真のロータリアンとなれるような経験と、指導力を発揮できるような機会を提供する

◆国際奉仕

世界の他の地域により良い社会をつくるため国境を越えて援助する

世界平和にとって第一の障害となっている貧困、飢餓に対する挑戦そしてその原因のひとつと考えられる識字率の向上という世界社会奉仕プロジェクトを支援する

世界平和へのロータリーの人道的活動を更に広げるためロータリー財団プログラムに参加する

年次基金、恒久基金への寄付を通じて財団を支援する

会員増強と人材増強

ロータリーの最大の資産は常に個々のロータリアンである（ロータリーの基盤はまず人材である）

一人の会員を失うごとにその資産は減少し、一人の会員を得るたびに資産は増加して奉仕の可能性が増大する

世界中の人々の生活の質を向上させるため活動することにより“ロータリーの心”を示すことができるようロータリーは成長し続けなければならない

会員の増加はロータリーの究極の目的を達するためにより多くのロータリアンの協力が得られることになる

会員増強の目標をたてることも必要であるが、目標にこだわって単に数合わせだけに終わってはならない

会員ひとりひとりが新しいロータリアンをみつける喜びと責務を感じるようにならなければならない

ロータリアンとしての資格をもつ候補者を探す努力と同時に退会を防止する努力が必要である

入会時にロータリーについての充分な説明を行い納得してもらう

新入会員が適切なオリエンテーションと研修を受けるようにクラブの教育プログラムを計画、実施する

クラブ拡大

会員数が多いことには利点と同時に難点もある

クラブ活動が特定の集団に限られ、傍観的立場に立つ会員をつくりがちである

一業種一名という職業分類上の制約により、同一地域内ではロータリアンにふさわしい人がいても入会してもらいにくい

会員増強の有益な手段として考え、スポンサークラブとして新しいクラブの創設に関わり、支援することに喜びを感じる

1997－98年度地区目標

会員増強	2％（純増）
クラブ拡大	1
財団寄付	
年次プログラム資金	680,000ドル
恒久基金	81人

RI 目 標

会員増強	3％（純増）

国際大会の日程

1997年６月15～18日
グラスゴー（スコットランド）

1998年６月14～17日
インディアナポリス（アメリカ）

1999年６月13～16日
シンガポール

2000年６月４～７日
ブエノスアイレス（アルゼンチン）

2001年　サンアントニオ（アメリカ）

2004年　大阪（関西、日本）

◆I.M.日程

組	年 月 日	ホストクラブ	参 加 ク ラ ブ	ゼネラルリーダー（P.G.）	臨 席 P.G.
4	1997年 8月23日(土)	東大阪西	東大阪・東大阪東・東大阪中・東大阪西・ 大阪柏原・八尾・八尾中央・八尾東 (8)	武尾敬之助	伊瀬 芳吉 種田 憲次
8	1997年 10月4日(土)	大阪阿倍野	大阪阿倍野・大阪阪南・大阪イブニング・ 大阪平野・大阪城南・大阪住之江・大阪住吉・ 大阪東南・大阪天王寺・大阪咲洲 (10)	古田 敬三	菅生 浩三 熊澤 忠躬
2	1997年 11月8日(土)	高槻東	茨木・茨木東・茨木西・千里・摂津・吹田・ 吹田西・吹田江坂・高槻・高槻東・高槻西 (11)	菅生 浩三	戸田 孝 中野 董夫
1	1997年 11月29日(土)	箕面	池田・池田くれは・箕面・箕面中央・豊中・ 豊中ー大阪国際空港・豊中南・豊中千里 (8)	山中 文和	廣瀬勘一郎 中野 董夫
6	1998年 2月14日(土)	大阪中之島	大阪・大阪東・大阪東淀・大阪城東・大阪城・ 大阪北淀・大阪中之島・大阪大手前・ 大阪城北・大阪鶴見・大阪淀川 (11)	中野 董夫	坂東 宏 山中 文和
3	1998年 2月21日(土)	大東	大東・大東中央・枚方・枚方くずは・門真・ 交野・守口・寝屋川・寝屋川東・四条畷 (10)	大森 慈祥	松本 良諄 中川 章三
7	1998年 2月28日(土)	大阪御堂筋	大阪本町・大阪御堂筋・大阪南・大阪難波・ 大阪なにわ・大阪南西・大阪西南・大阪船場・ 大阪心斎橋・大阪うつぼ (10)	熊澤 忠躬	古田 敬三 大森 慈祥
5	1998年 3月7日(土)	大阪北梅田	大阪ちゃやまち・大阪中央・大阪堂島・大阪北・ 大阪みなと・大阪西・大阪大淀・大阪西北・ 大阪天満橋・大阪梅田・大阪梅田東・ 大阪北梅田・大阪さねざき (13)	中川 章三	武尾敬之助 熊澤 忠躬

◆1997－98年度 公式訪問日程

… 7 月 …

9日（水） 大阪北淀
15日（火） 大阪東南
16日（水） 大東中央
17日（木） 大阪天満橋
18日（金） 豊中・大阪国際空港
22日（火） 大阪柏原
23日（水） 四条畷
24日（木） 東大阪東
25日（金） 大阪城南
28日（月） 大阪船場
29日（火） 大阪本町
30日（水） 茨木
31日（木） 大阪難波

… 8 月 …

1日（金） 寝屋川
4日（月） 池田くれは
6日（水） 八尾
19日（火） 大阪阪南
20日（水） 大阪城北
21日（木） 高槻西
23日（土） (I.M.4組)
25日（月） 大阪東淀
27日（水） 大阪西南
28日（木） 大阪中央
29日（金） 高槻東

… 9 月 …

1日（月） 大阪西
2日（火） 大阪西北
3日（水） 茨木西
4日（木） 門真
5日（金） 箕面中央
8日（月） 大阪南西
9日（火） 吹田江坂
10日（水） 豊中千里
11日（木） 大阪イブニング
12日（金） 交野
16日（火） 豊中
17日（水） 守口
18日（木） 大阪東
19日（金） 大阪住吉
24日（水） 大阪咲洲
25日（木） 豊中南
26日（金） 八尾東
29日（月） 大阪住之江
30日（火） 大東

… 10 月 …

1日（水） 高槻
2日（木） 大阪平野
3日（金） 大阪梅田
4日（土） (I.M.8組)
13日（月） 東大阪中
14日（火） 大阪鶴見
15日（水） 池田
16日（木） 箕面
17日（金） 大阪淀川
20日（月） 吹田西
21日（火） 八尾中央
22日（水） 寝屋川東
23日（木） 茨木東
24日（金） 大阪心斎橋
27日（月） 大阪堂島
28日（火） 枚方
29日（水） 大阪阿倍野
30日（木） 大阪中之島
31日（金） 摂津

… 11 月 …

5日（水） 大阪北
6日（木） 大阪大淀
7日（金） 大阪大手前
8日（土） (I.M.2組)
10日（月） 東大阪西
11日（火） 大阪南
12日（水） 枚方くずは
13日（木） 吹田
14日（金） 大阪うつぼ
17日（月） 大阪ちゃやまち
18日（火） 大阪梅田
19日（水） 東大阪
20日（木） 大阪御堂筋
21日（金） 大阪城東
26日（水） 大阪城
27日（木） 大阪なにわ
28日（金） 大阪
29日（土） (I.M.1組)

… 12 月 …

1日（月） 大阪北梅田
3日（水） 大阪そねざき
4日（木） 大阪みなと
5日（金） 大阪天王寺
9日（火） 千里

1997－98年度　国際ロータリー第2660地区 組織図

(1997年6月10日現在)

◎：委員長　○：副委員長

米山記念奨学会地区担当理事
種田憲次（大阪住吉）1997年8月まで

ロータリーの友地区委員会
中谷良恭（千里）

地区協議会ホスト
千里ロータリークラブ

地区大会
- 委員長　熊谷信昭（千里）
- 幹事　奥野善彦（千里）
- プログラム委員長　川瀬甲子雄（千里）

地区財務委員会
会計
- ◎田村興作（千里）
- 横溝美良（大阪城南）
- 安達昌秀（千里）
- 須崎洋一（東大阪東）
- 伊藤誠（千里）

地区幹事
- ◎井上暎夫（千里）
- ○永野啓之介（豊中大阪国際空港）
- 西田泰晤（千里）
- 新原健市（千里）
- 川瀬甲子雄（千里）
- 神島博昭（千里）
- 北垣次彦（千里）
- 藤満宣夫（千里）
- 小谷澄信（千里）
- 寺井明納（千里）
- 安達昌秀（千里）
- 依田平（千里）
- 井上義信（吹田）
- 瀧川紀征（吹田西）
- 堀田稔（吹田江坂）
- 吉川忠章（東大阪東）

地区研修リーダー
戸田孝（八尾）

ガバナーノミニー
吉川謹司（東大阪東）

第二六六〇地区ガバナー
近藤雅臣（千里）

地区ガバナー指名委員会
- ◎中川章三（大阪城南）
- 伊瀬芳吉（池田）
- 種田憲次（大阪住吉）
- 戸田孝（八尾）
- 中村俊一（東大阪）
- 坂東宏（吹田）
- 松本良諄（大阪東）
- 古田敬三（大阪）
- 武尾敬之助（大阪西北）
- 廣瀬勘一郎（大阪西南）
- 菅生浩三（大阪北）
- 山中文和（大阪南）
- 大森慈祥（茨木）
- 中野董夫（大阪阪南）
- 熊澤忠躬（守口）

意義ある業績賞委員会
- ◎中川章三（大阪城南）
- 中野董夫（大阪阪南）
- 熊澤忠躬（守口）

地区諮問委員会
パスト・ガバナー
- 伊瀬芳吉（池田）
- 種田憲次（大阪住吉）
- 戸田孝（八尾）
- 中村俊一（東大阪）
- 坂東宏（吹田）
- 松本良諄（大阪東）
- 古田敬三（大阪）
- 武尾敬之助（大阪西北）
- 廣瀬勘一郎（大阪西南）
- 菅生浩三（大阪北）
- 山中文和（大阪南）
- 大森慈祥（茨木）
- 中野董夫（大阪阪南）
- 熊澤忠躬（守口）
- 中川章三（大阪城南）

国際ロ
- 事務総長　アーロン・ハイアット
- 理　小　谷　隆　一

特別奉仕部門

世界大会特別委員会
古田敬三（大阪）
- 山中文和（大阪南）
- 中川章三（大阪城南）
- 近藤雅臣（千里）
- 吉川謹司（東大阪東）

交通問題特別委員会
廣瀬勘一郎（大阪西南）
- ◎崎島九郎（大阪西南）
- 浅沼清太郎（大阪）
- 田辺和宏（寝屋川）
- 隅田博（大阪天満橋）
- 藤井武治（大阪みなと）
- 大橋融（大阪北淀）
- 岡崎忠（大阪西）
- 浦川光雄（箕面中央）
- 新津敬直（大阪西）
- 丹羽健二（大阪西南）

教育問題特別委員会
菅生浩三（大阪北）
- 土居原作郎（大阪天王寺）
- 平岡龍人（大阪）
- 河村洋二郎（大阪北）
- 熊谷信昭（千里）
- 松岡博（大阪）
- 澤田順司（高槻西）
- 柴田弘文（大阪）
- 浮舟邦彦（大阪鶴見）
- 山本研二郎（大阪阪南）
- 山崎正博（大阪東南）
- 吉岡康雄（大阪西北）

拡大部門
熊澤忠躬（守口）

拡大部門アドバイザー
村岡秀雄（大阪東）

拡大委員会
〈拡大カウンセラー〉
- ◎崎島七郎（大阪住之江）
- ○芦谷光（守口）
- 池田實（大東）

〈委員〉
- 杉本一三（八尾）
- 服部修（枚方）
- 松島盤（寝屋川）

米山寄付金委員会
- ◎平田啓治郎（大阪西南）
- ○小松英二（大阪北）
- 宮竹昭（大阪大手前）

米山奨学選考委員会
- ◎酒井宏（大阪南）
- ○渋谷敏郎（大阪北）
- 宮田久嘉（枚方）
- 大森清（大阪淀川）

米山奨学生委員会
- ◎北川哲（大阪天満橋）
- ○藤川隆治（池田）
- 坪内隆（茨木西）
- 小竹靖二（大阪中之島）

米山学友委員会
- ◎中澤章好（大阪住吉）
- ○末村斉（豊中）

米山奨学部門
菅生浩三（大阪北）

米山奨学委員会
- ◎三好三郎丸（大阪天満橋）
- ○平田啓治郎（大阪西南）
- 酒井宏（大阪南）
- 中澤章好（大阪住吉）
- 北川哲（大阪天満橋）

ロータリー財団部門
山中文和（大阪南）

ロータリー財団委員会
- ◎山中文和（大阪南）
- ○増田鼎（八尾）
- 執行経世（枚方）
- 阿部成之助（大阪鶴見）
- 松岡茂雄（大阪鶴見）
- 吉川稔（寝屋川）
- 滝一郎（大阪南）

財団情報委員会
- ◎増田鼎（八尾）
- ○米田誠宏（高槻）
- 宮田宏章（大阪北）

財団増進委員会
- ◎執行経世（枚方）
- ○矢部文治（大阪）
- 谷口勉（大阪難波）
- 中西啓詞（八尾）
- 金田勝弘（大阪城南）

財団学友委員会
- ◎吉川稔（寝屋川）
- ○簡仁一（茨木）
- 岸本卯一郎（箕面中央）
- 山本光勇（大阪柏原）
- 溝畑正信（東大阪東）
- 吉川忠章（東大阪東）

財団人道的援助委員会
- ◎大谷透（大阪西南）
- ○飯原弘章（大阪住吉）
- 増本猛（茨木東）
- 川村一郎（大阪城北）
- 岩井孝明（大阪西）

財団国際親善奨学生委員会
- ◎阿部成之助（大阪鶴見）
- ○寺田秀興（東大阪東）
- 奥嘉隆（交野）
- 奥野喜好（寝屋川）
- 酒井泰男（大阪阿倍野）
- 櫻井良文（大阪）
- 佐藤俊一（大阪鶴見）
- 小谷年司（大阪）

研究グループ交換委員会
- ◎松岡茂雄（大阪鶴見）
- ○中園直樹（守口）
- 櫃村泰信（摂津）
- 大内昭男（大阪鶴見）
- 加藤隆（八尾）
- 大野忠雄（大阪梅田東）
- 大石博雄（大阪北淀）
- 松本甫（枚方くずは）
- 吉川謹司（東大阪東）

ポリオプラス委員会
- ◎滝一郎（大阪南）
- ○池田正（大阪本町）
- 岡本健治（大阪東南）

国際奉仕部門
古田敬三（大阪）

世界社会奉仕委員会
- ◎横山守雄（大阪中央）
- ○坂本旭（大阪東淀）
- 藤井宏一（大阪西北）
- 堀内顕（八尾東）
- 瀧田浩彦（東大阪中央）
- 長澤利治（茨木）
- 吉川謹司（東大阪東）

青少年交換委員会
- ◎中一皓（枚方くずは）
- ○三宅一嘉（大阪東南）
- ○毛利哲三（大阪西南）
- 近藤眞道（高槻西）
- 植田豊實（箕面中央）
- 岡豊（大阪鶴見）
- 常楽寺喜雄（東大阪東）
- 大門康剛（交野）
- 河村裕司（枚方くずは）
- 林輝久（大阪東）
- 杉浦勝昭（大阪東南）

国際交流・平和委員会
- ◎笹井敏之（大阪イブニング）
- ○吉川邦英（大阪）
- 小山雄三（大阪東）
- 清水明（大阪船場）
- 加古康明（大阪梅田東）
- 祖父江一郎（大阪御堂筋）
- 村岡大輔（大阪西）

青少年奉仕部門
松本良諄（大阪東）

青少年活動委員会
- ◎板垣美一（大阪住吉）
- ○有賀一夫（大阪咲洲）
- 垣内康弘（大阪みなと）
- 三浦高行（東大阪）
- 西田恵心（大阪城北）
- 中井敬和（八尾中央）
- 本田和正（大阪南）
- 増成恒哉（大阪）
- 大堀舜久（大阪中央）
- 八木誠（大阪大手前）

ローターアクト委員会
- ◎小西眞明（寝屋川）
- ○岩津陽介（大阪御堂筋）
- 神島喜與一（大阪西南）
- 国分順一（大阪平野）
- 石田肇（東大阪東）
- 吉田弘（枚方）
- 磯田郁子（大阪東淀）
- 前田節ノ助（大阪西）
- 常盤泰弘（守口）

インターアクト委員会
- ◎朝倉良（大阪城南）
- ○角屋正進（大阪南西）
- 片上淑子（大阪住吉）
- 成瀬俊昭（大阪城南）
- 今川和明（八尾）
- 南喜代春（大阪南）
- 奥剛典（大阪阪南）

社会奉仕部門
大森慈祥（茨木）

社会奉仕委員会
- ◎矢橋弘嗣（千里）
- ○岡崎忠（大阪西）
- 大橋融（大阪北淀）
- 甚田倫弘（豊中千里）
- 山野謹五郎（大阪梅田東）
- 宮崎信夫（大阪北淀）
- 豆村賢治（大阪うつぼ）
- 塚田雄一郎（東大阪）
- 大迫茂人（大阪南）
- 福田公二（池田くれは）

環境保全委員会
- ◎櫻井勲（大阪本町）
- 柳雄二（八尾中央）
- 庄司修三郎（箕面）
- 藤井健蔵（大阪うつぼ）
- 竹中照次（東大阪）

職業奉仕部門
中野董夫（大阪阪南）

職業奉仕委員会
- ◎丹羽健二（大阪西南）
- ○近藤浩司（大阪南）
- 久我三郎（大阪南）
- 細川壽太郎（大阪阪南）
- 上田直樹（大阪西南）
- 中村憲次（茨木）
- 伊藤俊夫（大阪北）

ボランティア委員会
- ◎岡本克持郎（大阪城南）
- ○松岡晃一郎（大阪うつぼ）
- 小池明（茨木）
- 日野上輝夫（大阪阪南）
- 松本豊（大阪東南）
- 浅沼善次郎（大阪咲洲）

1997－98年度　国際ロータリー第2660地区 組織図

(1997年6月10日現在)

◎：委員長　○：副委員長

地区協議会

地区大会
- 委員長　熊谷信昭（千里）
- 幹事　奥野善彦（千里）
- プログラム委員長　川瀬甲子雄（千里）

地区財務委員会
- ◎田村興作（千里）
- 横溝美良（大阪城南）
- 安達昌秀（千里）
- 須崎洋一（東大阪東）
- 会計　伊藤誠（千里）

地区幹事
- ◎井上暎夫（千里）
- ○永野啓之介（豊中大阪国際空港）
- 西田泰晤（千里）
- 新原健市（千里）
- 川瀬甲子雄（千里）
- 神島博昭（千里）
- 北垣次彦（千里）
- 藤満宣夫（千里）
- 小谷澄信（千里）
- 寺井明納（千里）
- 安達昌秀（千里）
- 依田平（千里）
- 井上義信（吹田）
- 瀧川紀征（吹田西）
- 堀田稔（吹田江坂）
- 吉川忠章（東大阪東）

地区研修リーダー
- 戸田孝（八尾）

ガバナーノミニー
- 吉川謹司（東大阪東）

第二六六〇地区ガバナー
- 近藤雅臣（千里）

地区ガバナー指名委員会
- ◎中川章三（大阪城南）
- 伊瀬芳吉（池田）
- 種田憲次（大阪住吉）
- 戸田孝（八尾）
- 中村俊一（東大阪）
- 坂東宏（吹田）
- 松本良諄（大阪東）
- 古田敬三（大阪）
- 武尾敬之助（大阪西北）
- 廣瀬勘一郎（大阪西南）
- 菅生浩三（大阪北）
- 山中文和（大阪南）
- 大森慈祥（茨木）
- 中野董夫（大阪阪南）
- 熊澤忠躬（守口）

意義ある業績賞委員会
- ◎中川章三（大阪城南）
- 中野董夫（大阪阪南）
- 熊澤忠躬（守口）

地区諮問委員会
パスト・ガバナー
- 伊瀬芳吉（池田）
- 種田憲次（大阪住吉）
- 戸田孝（八尾）
- 中村俊一（東大阪）
- 坂東宏（吹田）
- 松本良諄（大阪東）
- 古田敬三（大阪）
- 武尾敬之助（大阪西北）
- 廣瀬勘一郎（大阪西南）
- 菅生浩三（大阪北）
- 山中文和（大阪南）
- 大森慈祥（茨木）
- 中野董夫（大阪阪南）
- 熊澤忠躬（守口）
- 中川章三（大阪城南）

国際ロータリー
- 会長　グレン・W・キンロス
- 理事　竹山涼一、小谷隆一
- 事務総長　アーロン・ハイアット

拡大部門　熊澤忠躬（守口）

拡大部門アドバイザー
村岡秀雄（大阪東）

拡大委員会
〈拡大カウンセラー〉
- ◎崎島七郎（大阪住之江）
- ○芦谷光（守口）
- 池田實（大東）

〈委員〉
- 杉本一三（八尾）
- 服部修（枚方）
- 松島盤（寝屋川）

米山奨学部門　菅生浩三（大阪北）

米山奨学委員会
- ◎三好三郎丸（大阪天満橋）
- ○平田啓治郎（大阪西南）
- 酒井宏（大阪南）
- 中澤章好（大阪住吉）
- 北川哲（大阪天満橋）

米山寄付金委員会
- ◎平田啓治郎（大阪西南）
- ○小松英二（大阪北）
- 宮竹昭（大阪大手前）

米山奨学選考委員会
- ◎酒井宏（大阪南）
- ○渋谷敏郎（大阪北）
- 宮田久嘉（枚方）
- 大森清（大阪淀川）

米山奨学生委員会
- ◎北川哲（大阪天満橋）
- ○藤川隆治（池田）
- 坪内隆（茨木西）
- 小竹靖二（大阪中之島）

米山学友委員会
- ◎中澤章好（大阪住吉）
- ○末村斉（豊中）

財団情報委員会
- ◎増田鼎（八尾）
- ○米田誠宏（高槻）
- 宮田宏章（大阪北）

財団増進委員会
- ◎執行経世（枚方）
- ○矢部文治（大阪）
- 谷口勉（大阪難波）
- 中西啓詞（八尾）
- 金田勝弘（大阪城南）

財団学友委員会
- ◎吉川稔（寝屋川）
- ○簡仁一（茨木）
- 岸本卯一郎（箕面中央）
- 山本光勇（大阪柏原）
- 溝畑正信（東大阪東）
- 吉川忠章（東大阪東）

財団人道的援助委員会
- ◎大谷透（大阪西南）
- ○飯原弘章（大阪住吉）
- 増本猛（茨木東）
- 川村一郎（大阪城北）
- 岩井孝明（大阪西）

ロータリー財団部門　山中文和（大阪南）

ロータリー財団委員会
- ◎山中文和（大阪南）
- ○増田鼎（八尾）
- 執行経世（枚方）
- 阿部成之助（大阪鶴見）
- 松岡茂雄（大阪鶴見）
- 吉川稔（寝屋川）
- 滝一郎（大阪南）

財団国際親善奨学生委員会
- ◎阿部成之助（大阪鶴見）
- ○寺田秀興（東大阪東）
- 奥嘉隆（交野）
- 奥野喜好（寝屋川）
- 酒井泰男（大阪阿倍野）
- 櫻井良文（大阪）
- 佐藤俊一（大阪鶴見）
- 小谷年司（大阪）

研究グループ交換委員会
- ◎松岡茂雄（大阪鶴見）
- ○中園直樹（守口）
- 櫃村泰信（摂津）
- 大内昭男（大阪鶴見）
- 加藤隆（八尾）
- 大野忠雄（大阪梅田東）
- 大石博雄（大阪北淀）
- 松本甫（枚方くずは）
- 吉川謹司（東大阪東）

ポリオプラス委員会
- ◎滝一郎（大阪南）
- ○池田正（大阪本町）
- 岡本健治（大阪東南）

国際奉仕部門　古田敬三（大阪）

世界社会奉仕委員会
- ◎横山守雄（大阪中央）
- ○坂本旭（大阪東淀）
- 藤井宏一（大阪西北）
- 堀内顕（八尾東）
- 瀧田浩彦（東大阪中央）
- 長澤利治（茨木）
- 吉川謹司（東大阪東）

青少年交換委員会
- ◎中一皓（枚方くずは）
- ○三宅一嘉（大阪東南）
- ○毛利哲三（大阪西南）
- 近藤眞道（高槻西）
- 植田豊實（箕面中央）
- 岡豊（大阪鶴見）
- 常楽寺喜雄（東大阪東）
- 大門康剛（交野）
- 河村裕司（枚方くずは）
- 林輝久（大阪東）
- 杉浦勝昭（大阪東南）

国際交流・平和委員会
- ◎笹井敏之（大阪イブニング）
- ○吉川邦英（大阪）
- 小山雄三（大阪東）
- 清水明（大阪船場）
- 加古康明（大阪梅田東）
- 祖父江一郎（大阪御堂筋）
- 村岡大輔（大阪西）

青少年奉仕部門　松本良諄（大阪東）

青少年活動委員会
- ◎板垣美一（大阪住吉）
- ○有賀一夫（大阪咲洲）
- 垣内康弘（大阪みなと）
- 三浦高行（東大阪）
- 西田恵心（大阪城北）
- 中井敬和（八尾中央）
- 本田和正（大阪南）
- 増成恒哉（大阪）
- 大堀舜久（大阪中央）
- 八木誠（大阪大手前）

ローターアクト委員会
- ◎小西眞明（寝屋川）
- ○岩津陽介（大阪御堂筋）
- 神島喜與一（大阪西南）
- 国分順一（大阪平野）
- 石田肇（東大阪東）
- 吉田弘（枚方）
- 磯田郁子（大阪東淀）
- 前田節ノ助（大阪西）
- 常盤泰弘（守口）

インターアクト委員会
- ◎朝倉良（大阪城南）
- ○角屋正進（大阪南西）
- 片上淑子（大阪住吉）
- 成瀬俊昭（大阪城南）
- 今川和明（八尾）
- 南喜代春（大阪南）
- 奥剛典（大阪阪南）

社会奉仕部門　大森慈祥（茨木）

社会奉仕委員会
- ◎矢橋弘嗣（千里）
- ○岡崎忠（大阪西）
- 大橋融（大阪北淀）
- 甚田倫弘（豊中千里）
- 山野謹五郎（大阪梅田東）
- 宮崎信夫（大阪北淀）
- 豆村賢治（大阪うつぼ）
- 塚田雄一郎（東大阪）
- 大迫茂人（大阪南）
- 福田公二（池田くれは）

環境保全委員会
- ◎櫻井勲（大阪本町）
- 柳雄二（八尾中央）
- 庄司修三郎（箕面）
- 藤井健蔵（大阪うつぼ）
- 竹中照次（東大阪）

職業奉仕部門　中野董夫（大阪阪南）

職業奉仕委員会
- ◎丹羽健二（大阪西南）
- ○近藤浩司（大阪南）
- 久我三郎（大阪南）
- 細川壽太郎（大阪阪南）
- 上田直樹（大阪西南）
- 中村憲次（茨木）
- 伊藤俊夫（大阪北）

ボランティア委員会
- ◎岡本克持郎（大阪城南）
- ○松岡晃一郎（大阪うつぼ）
- 小池明（茨木）
- 日野上輝夫（大阪阪南）
- 松本豊（大阪東南）
- 浅沼善次郎（大阪咲洲）

クラブ奉仕部門　中川章三（大阪城南）

会員増強委員会
- ◎西原房三（守口）
- ○熊谷常一（豊中南）
- 沖原徹（茨木東）
- 境高彦（大阪城南）
- 多田昭三（大阪東南）
- 西村淳（大阪平野）
- 岩知道寿夫（千里）

広報・雑誌委員会
- ◎新津敬直（大阪西）
- 中井保（大阪大淀）
- 中谷隆三（守口）
- 田邊純一（大阪西）
- 高島凱夫（大阪中之島）

規定・情報委員会
- ◎土井正裕（大阪北）
- 川崎壽（大阪中央）
- 向井伸太（東大阪）
- 島津禮次（茨木）
- 橋本崇志（大阪北）

〈卓話銀行担当〉
- 伊藤徳次郎（吹田）
- 小林勝（大阪ちゃやまち）

親睦活動委員会
- ◎大川進一郎（大東）
- ○徳永孝哉（大阪船場）
- 家村武秀（守口）
- 松本一夫（大阪そねざき）
- 塩山博之（大阪心斎橋）
- 野口幸助（大阪天満橋）
- 中島武（大阪堂島）

R	茨木	1959/12/23	水曜日	12:30	いばらき京都ホテル	(0726) 20-2121	茨木商工会議所３Ｆ	567	茨木市上中条１-９-20	(0726) 22-2255	(0726) 24-1105	田中 義信	辰巳 克平
	茨木東	1974/ 2/14	木曜日	12:30	茨木商工会議所４Ｆ 会議室	(0726) 22-6631	国里メディカビル１階101号	567	茨木市永代町８-８	(0726) 27-5753	(0726) 23-9902	西中 務	若林 三雄
	茨木西	1993/12/ 8	水曜日	18:30	いばらき京都ホテル	(0726) 20-2121	糟天宗信者会館２Ｆ	567	茨木市西穂積町７-41	(0726) 23-2668	(0726) 22-8802	大森 保延	中西 隆英
RT	池田	1954/ 4/24	水曜日	12:30	池田商工会議所２階	(0727) 52-3355	池田商工会議所３階	563	池田市城南１-１-１	(0727) 52-3355	(0727) 52-7800	徳永 昭夫	明石 巧
	池田くれは	1984/ 4/16	月曜日	18:30	池田市民文化会館	(0727) 61-3131	池田商工会議所３階	563	池田市城南１-１-１	(0727) 53-5353	(0727) 51-9080	石田 明正	新田 耕平
	門真	1969/ 4/17	木曜日	12:30	門真パブリックホテル２Ｆ	(06) 904-4045	門真パブリックホテル305号	571	門真市新橋町２番８号	(06) 904-4045	(06) 904-8928	末田 正	堀内 司朗
	交野	1984/ 6/25	金曜日	12:30	グリーンビレッジ交野１階グリル交野	(0720) 93-1358	グリーンビレッジ交野101号室	576	交野市私市９-４-５	(0720) 93-3700	(0720) 93-3800	安養寺敏彦	加藤 秀逸
	箕面	1969/ 4/17	木曜日	18:30	箕面観光ホテル	(0727) 23-2323	箕面観光ホテル	562	箕面市温泉町１-１	(0727) 24-2781	(0727) 24-1786	青 敬佑	藤原 敏裕
	箕面中央	1980/ 6/13	金曜日	12:30	千里阪急ホテル	(06) 872-2211	千里中央センタービル４階	565	豊中市新千里東町１-２-１	(06) 835-2300	(06) 835-2500	西田 隆昭	山口 誠治
R	守口	1961/ 3/20	水曜日	12:30	守口プリンスホテル	(06) 994-1111	サンキュービル２階	570	守口市寺内町２-７-３	(06) 994-0010	(06) 994-0009	横山 正憲	橋本 泰明
R	寝屋川	1969/ 4/18	金曜日	12:30	大和銀行寝屋川支店３階会議室	(0720) 26-3301	樋口第一ビル２階	572	寝屋川市八坂町15-10	(0720) 22-6622	(0720) 22-6555	山下 勇	梶田 周作
	寝屋川東	1995/ 4/29	水曜日	12:30	大和銀行寝屋川支店３階会議室	(0720) 26-3301	樋口第一ビル２階	572	寝屋川市八坂町15-10	(0720) 23-6622	(0720) 23-1110	大原 孝	坂元 照明
R	大阪	1922/11/17	金曜日	12:15	リーガロイヤルホテル	(06) 448-1121	リーガロイヤルホテル418号室	530	大阪市北区中之島５-３-68	(06) 441-7930	(06) 441-7720	金森順次郎	吉本 晴之
I	大阪阿倍野	1979/ 5/ 9	水曜日	18:00 第1,3週	近鉄百貨店本店10階バンケットルーム	(06) 624-1111	アベノセンタービル６階	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋１-５-36	(06) 647-8621	(06) 644-0486	酒井 泰男	藤田誠一郎
	大阪阿倍野		水曜日	12:30 第2,4,5週									
	大阪ちゃやまち	1992/ 1/27	月曜日	12:30	ホテル阪急インターナショナル	(06) 377-2100	ホテル阪急インターナショナル５階	530	大阪市北区茶屋町19-19	(06) 371-0290	(06) 371-0292	小林 勝	木岡 良郎
	大阪中央	1984/ 1/26	木曜日	12:30	ホテルグランヴィア大阪20階	(06) 344-1235	ホテルグランヴィア大阪21階1127号室	530	大阪市北区梅田３-１-１	(06) 345-6881	(06) 345-6882	武田 直和	植村 甚久
	大阪堂島	1987/ 6/15	月曜日	12:30	大阪全日空ホテル５階 「ガーデンルーム」	(06) 347-1112	大阪全日空ホテル722号室	530	大阪市北区堂島浜１-３-１	(06) 344-2008	(06) 344-2009	海原 亘	藤原 良彦
I	大阪阪南	1969/ 6/10	火曜日	12:30	天王寺都ホテル本館	(06) 779-1501	新和興産ビル302号室	543	大阪市天王寺区悲田院町８-11	(06) 772-5816	(06) 779-7956	田村 弘	和田 健
R	大阪東	1957/ 6/ 6	木曜日	12:30	帝国ホテル大阪	(06) 881-1111	帝国ホテル大阪 アネックス２階	530	大阪市区北区天満橋１-８-50	(06) 357-5151	(06) 357-5252	伊藤 彰彦	北川 勝治
	大阪東淀	1970/ 6/26	月曜日	12:30	東洋ホテル内	(06) 372-8181	東洋ホテル414号室	531	大阪市北区豊崎３-16-19	(06) 375-0088	(06) 375-0087	竹田 八郎	城村 幸治
R	大阪平野	1975/ 2/20	木曜日	12:30	天王寺都ホテル新館５階	(06) 627-4910	東陽ビル３Ｆ	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋２-１-37	(06) 627-3813	(06) 627-3823	国分 順一	佐野 元英
	大阪本町	1991/ 3/26	火曜日	12:30	ホリディ・イン エクスプレス大阪うつぼパーク	(06) 446-6111	ウツボパークビル802号室	550	大阪市西区靱本町２-２-22	(06) 445-5000	(06) 445-5115	山本 兼右	岸 孝太郎
	大阪イブニング	1986/ 1/23	木曜日	18:30	ホテルエコーオーサカ	(06) 633-1141	竹澤ビル５階	545	大阪市阿倍野区旭町１-１-10	(06) 631-3951	(06) 631-9232	加藤 勝	西沢 彰敏
	大阪城	1988/ 5/11	水曜日	12:30	大阪国際交流センター	(06) 772-5931	M.U.building２Ｆ	543	大阪市天王寺清水谷町19-10	(06) 764-0919	(06) 764-0938	妙中 幹男	辻中 明一
I	大阪城南	1969/ 5/30	金曜日	12:30	都ホテル大阪３階「志摩の間」	(06) 773-1111	都ホテル大阪632号室	543	大阪市天王寺区上本町６-１-55	(06) 771-9009	(06) 772-9090	西澤 正男	梅崎 道夫
	大阪城東	1973/ 4/27	金曜日	12:30	ホテルニューオオタニ大阪	(06) 941-1111	大阪マーチャンダイズマートビル私書箱13号	540	大阪市中央区大手前１-７-31	(06) 943-2226	(06) 943-2229	照屋 貞夫	有山 茂
	大阪柏原	1970/ 6/ 1	火曜日	12:30	柏原市商工会議所内	(0729) 73-3655	柏原市商工会議所内	582	柏原市大正２-10-１	(0729) 73-3655	(0729) 73-2300	岡村 政嗣	高井 康伊
R	大阪北	1952/12/16	水曜日	12:30	阪急百貨店８階	(06) 361-1381	㈱阪急百貨店	530	大阪市北区角田８-７	(06) 361-2681	(06) 361-0406	河村洋二郎	原 眞一
	大阪北梅田	1992/ 1/20	月曜日	12:30	ホテルプラザ	(06) 453-1111	ホテルプラザ940号室	531	大阪市北区大淀南２-２-49	(06) 454-0401	(06) 454-1614	熊本 武史	和泉 正彦
	大阪北淀	1985/ 5/ 8	水曜日	12:30	新大阪ワシントンホテル内	(06) 303-8111	新大阪ワシントンホテル	532	大阪市淀川区西中島５-５-15	(06) 305-1010	(06) 301-2525	菅本憲市郎	松本 圭右
	大阪御堂筋	1993/ 1/28	木曜日	12:30	ホテル日航大阪32階	(06) 244-1111	㈱大丸炭屋町別館６階	542	大阪市中央区西心斎橋１-７-３	(06) 241-6893	(06) 241-6894	茂田 文彦	山田 耕司
RI	大阪南	1952/12/16	火曜日	12:30	南海サウスタワーホテル大阪７階 「芙蓉の間」	(06) 646-1111	南海サウスタワーホテル大阪15階1503号室	542	大阪市中央区難波５-１-60	(06) 646-5288	(06) 646-5289	久我 三郎	浅沼 健一
	大阪みなと	1980/ 4/10	木曜日	12:30	中之島センタービル31Ｆ トップラウンジ	(06) 445-1977	中之島センタービル内31Ｆ （私書箱69号）	530	大阪市北区中之島６-２-27	(06) 445-0654	(06) 445-0906	江指 助	松本 國奉
	大阪中之島	1992/10/29	木曜日	12:30	太閤園内	(06) 356-1111	太閤園	534	大阪市都島区網島町９-10	(06) 353-2215	(06) 353-9889	杉本 憲治	井上 明
	大阪難波	1976/ 8/ 5	木曜日	12:30	南海サウスタワーホテル大阪７階 「芙蓉の間」	(06) 646-1111	南海サウスタワーホテル大阪５Ｆ	542	大阪市中央区難波５-１-60	(06) 632-3956	(06) 632-3957	山口 貞夫	樫畑 寛治
	大阪なにわ	1984/ 2/23	木曜日	18:00	ホテル南海３階「真珠の間」	(06) 649-1521	堤ビル403号室	556	大阪市浪速区元町１-10-６	(06) 632-7281	(06) 632-7289	辻 壽	春木 洋次
	大阪南西	1974/ 6/10	月曜日	12:30	高島屋別館２階「ローズルーム」	(06) 631-9808	イレブンハイツ５階502号室	542	大阪市中央区難波千日前14-22	(06) 643-8721	(06) 643-8722	葛井 重雄	南 克昌
	大阪西	1957/ 6/ 4	月曜日	12:30	阪神百貨店11階グリーンルーム	(06) 348-8436	阪神百貨店11階	530	大阪市北区梅田１-13-13	(06) 348-8436	(06) 347-4556	北方 龍一	西浦 正勝
	大阪大手前	1983/ 3/18	金曜日	12:30	大阪コクサイホテル	(06) 941-2661	大阪コクサイホテル内	540	大阪市中央区本町橋２-33	(06) 946-7174	(06) 941-6549	佐藤 良和	今井 宏一
	大阪大淀	1973/ 2/22	木曜日	12:30	ホテルプラザ	(06) 453-1111	ホテルプラザ1240号室	531	大阪市北区大淀南２-２-49	(06) 458-2918	(06) 458-7008	菊川 起男	富永 正蔵
	大阪咲洲	1995/10/11	水曜日	12:30	ハイアット・リージェンシー・オオサカ２Ｆ	(06) 612-1234	ハイアット・リージェンシー・オーサカ５Ｆ	559	大阪市住之江区南港北１-13-11	(06) 613-5633	(06) 613-5665	有賀 一夫	成山 肇
	大阪西北	1969/ 5/27	火曜日	12:30	大阪ヒルトン４階「真珠の間」	(06) 347-7111	大阪ヒルトン11階1105室	530	大阪市北区梅田１-８-８	(06) 347-7100	(06) 347-7109	松山 恒太	奥野 武久
R	大阪西南	1969/ 5/21	水曜日	12:30	リーガロイヤルホテル	(06) 448-1121	リーガロイヤルホテル４階416号室	530	大阪市北区中之島５-３-68	(06) 443-2819	(06) 443-1441	枝本 実	笠井 文雄
	大阪船場	1988/ 5/23	月曜日	12:30	ホテル日航大阪32階	(06) 244-1111	㈱大丸炭屋町別館６階	542	大阪市中央区西心斎橋１-７-３	(06) 244-1008	(06) 244-1010	大磯 隆一	亀田 光宏
	大阪心斎橋	1970/11/10	金曜日	12:30	ホテル日航大阪32階	(06) 244-1111	㈱大丸炭屋町別館３階	542	大阪市中央区西心斎橋１-７-３	(06) 245-4950	(06) 244-0932	宮田 貴代	藤原 博満
	大阪城北	1977/ 6/29	水曜日	12:30	太閤園	(06) 356-1111	太閤園	534	大阪市都島区網島町９-10	(06) 352-0634	(06) 352-6207	上堀 博三	森川 紀一
	大阪そねざき	1994/ 3/ 2	水曜日	12:30	大阪ヒルトン４階	(06) 347-7111	大阪ヒルトン11階1115号	530	大阪市北区梅田１-８-８	(06) 345-5067	(06) 345-2518	井田 保子	岸本美智子
	大阪住之江	1975/ 3/24	月曜日	12:30	近鉄百貨店本店10階バンケットルーム	(06) 624-1111	近鉄百貨店本店	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋１-１-43	(06) 624-1111	(06) 628-2361	小室 智	清川 忠義
RI	大阪住吉	1961/ 2/14	金曜日	12:30	近鉄百貨店本店10階バンケットルーム	(06) 624-1111	近鉄百貨店本店	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋１-１-43	(06) 624-1111	(06) 621-8885	石田清和喜	渡部冨士雄
R	大阪天満橋	1967/11/ 4	木曜日	12:30	大阪ヒルトン４階「真珠の間」	(06) 347-7111	大阪ヒルトン11階1117室	530	大阪市北区梅田１-８-８	(06) 345-1115	(06) 344-8222	衣斐 孝雄	中川 政照
	大阪天王寺	1988/ 9/10	金曜日	12:30	天王寺都ホテル新館５階	(06) 628-3200	天王寺都ホテル本館５階	543	大阪市天王寺区悲田院町10-48	(06) 775-6001	(06) 775-6002	小林 明	新屋 正富
	大阪東南	1985/11/26	火曜日	12:30	ホテルニューオオタニ大阪	(06) 941-1111	大実ビル２階205号室	542	大阪市中央区東平２-３-15	(06) 765-4404	(06) 765-3087	高階 喜好	山本 林三
	大阪鶴見	1984/ 7/10	火曜日	12:30	太閤園	(06) 356-1111	太閤園	534	大阪市都島区網島町９-10	(06) 357-8171	(06) 352-2031	音在 秀信	賀屋 雅雄
R	大阪梅田	1977/ 6/29	火曜日	12:30	ザ・リッツ・カールトンホテル大阪	(06) 343-7000	ハービスPLAZA６階	530	大阪市北区梅田２-５-25	(06) 343-7792	(06) 343-7793	奥田 孝夫	杉村 利史
	大阪梅田東	1988/ 5/20	金曜日	12:30	新阪急ホテル２階	(06) 372-5101	新阪急ホテル３階	530	大阪市北区芝田１-１-35	(06) 375-3522	(06) 375-3523	増田 喜彦	木村 正紀
	大阪うつぼ	1981/ 4/17	金曜日	18:00	ホリディ・イン エクスプレス大阪うつぼパーク	(06) 446-6111	ウツボパークビル403号室	550	大阪市西区靱本町２-２-22	(06) 445-1000	(06) 446-0071	田中 浩	池田 周弘
	大阪淀川	1961/ 1/14	金曜日	12:30	阪神百貨店11階グリーンルーム	(06) 345-1201	阪神百貨店11階	530	大阪市北区梅田１-13-13	(06) 348-8437	(06) 347-4556	杉本 忠博	中村 豊
	千里	1973/ 6/12	火曜日	12:30	千里阪急ホテル内	(06) 872-2211	千里阪急ホテル	565	豊中市新千里東町２-１・D-１	(06) 833-7891	(06) 833-7557	芦田 元	村口 光彦
	摂津	1970/ 9/26	金曜日	12:30	オオサカサンパレス	(06) 878-3400	近畿コカコーラボトリング㈱６階	566	摂津市千里丘７-９-31	(06) 330-2267	(06) 330-2267	小坂 勉	西川 保
	四条畷	1978/ 2/ 3	水曜日	18:00	「別館くるまや」	(0720) 77-1198	飯盛ハイツ105	575	四条畷市中野２-２-22	(0720) 79-5505	(0720) 79-5505	山口 愛彦	田村 實
R	吹田	1958/12/18	木曜日	12:30	サニーストーンホテル３階	(06) 385-1281	サニーストンホテル	564	吹田市広芝町10-３	(06) 388-0266	(06) 388-5801	川上 浩邦	紙谷 正行
	吹田江坂	1990/ 2/27	火曜日	12:30	江坂東急イン３階	(06) 338-0109	大同生命江坂ビル12階	564	吹田市江坂町１-23-101	(06) 821-0222	(06) 821-0222	田中 襄吉	東 秀夫
	吹田西	1980/ 6/12	月曜日	18:00	江坂東急イン	(06) 338-0109	江坂東急ビル１階	564	吹田市豊津町９-40	(06) 338-0832	(06) 338-0020	青木 郁二	大谷 壽
R	高槻	1954/ 6/15	水曜日	12:30	西武タカツキショッピングセンター６階バンケットルーム	(0726) 84-5379	西武タカツキショッピングセンター４階	569-11	高槻市白梅町４-１	(0726) 83-1158	(0726) 83-1174	前内 宏文	小池 征司
	高槻東	1973/ 3/ 1	金曜日	12:30	西武タカツキショッピングセンター６階バンケットルーム	(0726) 84-5379	西武タカツキショッピングセンター２階	569-11	高槻市白梅町４-１	(0726) 83-1159	(0726) 81-2515	長谷川暉郎	堀江 義明
	高槻西	1989/ 6/15	木曜日	18:30	西武タカツキショッピングセンター６階バンケットルーム	(0726) 84-5379	グリーンプラザたかつき１号館402号室	569	高槻市紺屋町１-１	(0726) 83-0015	(0726) 83-1171	古畑 時夫	川合 宏宣
	豊中	1959/ 6/16	火曜日	12:30	ホテルアイボリー	(06) 849-1111	ホテルアイボリー３階	560	豊中市本町３-１-16	(06) 858-1551	(06) 857-0011	馬場 一雄	青木禎一郎
	豊中南	1969/ 6/ 5	木曜日	12:30	ホテルアイボリー	(06) 849-1111	ホテルアイボリー３階	560	豊中市本町３-１-16	(06) 841-6996	(06) 852-2500	西川 治男	大野 昭一
R	豊中－大阪国際空港	1972/ 2/23	金曜日	12:30	大阪国際空港ターミナルビル４階 「華の間」	(06) 856-6671	大阪国際空港ターミナルビル４階	560	豊中市螢池西町３-555	(06) 856-8855	(06) 841-9561	池田 正義	杉本 博己
	豊中千里	1986/ 2/ 5	水曜日	12:30	千里阪急ホテル	(06) 872-2211	緑地駅ビル２階	560	豊中市寺内２-４-１	(06) 866-2800	(06) 866-5000	笹山 利雄	高橋 貞夫
I	八尾	1961/ 3/28	水曜日	12:30	八尾商工会議所会館３階	(0729) 22-1181	八尾商工会議所２階	581	八尾市本町２-２-８	(0729) 91-2129	(0729) 24-0010	板倉與兵衛	中島 孝夫
	八尾中央	1982/12/ 7	火曜日	18:30	八尾商工会議所会館３階	(0729) 22-1181	八尾商工会議所２階	581	八尾市本町２-２-８	(0729) 92-1110	(0729) 24-0050	山分 義一	東口 晏己
R	八尾東	1973/ 2/23	金曜日	12:30	西武百貨店八尾店６階バンケットルーム	(0720) 97-0111	岩田ビル４階10号	581	八尾市山本町南４-１-３	(0729) 97-0626	(0729) 97-2620	木村 久一	増田 潔

1997－98　国際ロータリー第2660地区　ロータリー・クラブ一覧表

IR	部門/クラブ名	創立年月日	曜日	例会時間	例会実施場所	例会実施TEL	事務所	郵便	市区町村と地区番地	事務所TEL	事務所FAX	クラブ会長	クラブ幹事
I	大東	1967/12/26	火曜日	12:30	大東市民会館4階「鳳凰の間」	(0720) 71-0001	ポップタウン別館	574	大東市赤井1-2-12	(0720) 75-1200	(0720) 75-1200	米沢 三吾	河村 孝正
	大東中央	1996/ 3/14	水曜日	18:00	ホテル阪奈	(0720) 69-0181	ポップタウン別館	574	大東市赤井1-2-12	(0720) 72-6349	(0720) 72-6349	浜田 清司	西垣 文雄
R	東大阪	1957/ 6/ 4	水曜日	12:30	都ホテル大阪3F「志摩の間」	(06) 773-1111	都ホテル大阪636号室	543	大阪市天王寺区上本町6-1-55	(06) 779-5050	(06) 779-5045	吉澤 和夫	古谷 勝紀
R	東大阪東	1965/ 3/ 4	木曜日	12:30	ホテルセイリュウ	(0729) 81-5001	ホテルセイリュウ306号室	579	東大阪市上石切町1-11-12	(0729) 85-0189	(0729) 85-0577	澤村 正勝	常楽寺喜雄
	東大阪中央	1972/ 2/20	月曜日	12:30	都ホテル大阪3階「志摩の間」	(06) 773-1111	丸善88シティハイツ3003号	543	大阪市天王寺区石ヶ辻町5-5	(06) 772-2320	(06) 772-2327	湯谷登來男	木村 正一
	東大阪西	1985/ 3/18	月曜日	18:30	大阪国際交流センター	(06) 772-5931	ハーティ上本町206号室	543	大阪市天王寺区上本町7-3-7	(06) 775-5111	(06) 775-5112	岩崎 旭人	今井 澄
R	枚方	1961/ 2/28	火曜日	12:30	北大阪商工会議所	(0720) 43-5151	北大阪商工会議所	573	枚方市大垣内町2-12-27	(0720) 43-5304	(0720) 43-5100	三村雄太郎	北本 健二
	枚方くずは	1974/ 5/30	水曜日	12:30	京阪くずは会館3階Uルーム	(0720) 55-4718	京阪くずは会館3階	573	枚方市楠葉花園町15-1	(0720) 55-4718	(0720) 68-6001	片山 通夫	金森 市造
R	茨木	1959/12/23	水曜日	12:30	いばらき京都ホテル	(0726) 20-2121	茨木商工会議所3F	567	茨木市上中条1-9-20	(0726) 22-2255	(0726) 24-1105	田中 義信	辰巳 克平
	茨木東	1974/ 2/14	木曜日	12:30	茨木商工会議所4F 会議室	(0726) 22-6631	国里メディカビル1階101号	567	茨木市永代町8-8	(0726) 27-5753	(0726) 23-9902	西中 務	若林 三雄
	茨木西	1993/12/ 8	水曜日	18:30	いばらき京都ホテル	(0726) 20-2121	糟天宗信者会館2F	567	茨木市西穂積町7-41	(0726) 23-2668	(0726) 22-8802	大森 保延	中西 隆英
RT	池田	1954/ 4/24	水曜日	12:30	池田商工会議所2階	(0727) 52-3355	池田商工会議所3階	563	池田市城南1-1-1	(0727) 52-3355	(0727) 52-7800	徳永 昭夫	明石 巧
	池田くれは	1984/ 4/16	月曜日	18:30	池田市民文化会館	(0727) 61-3131	池田商工会議所3階	563	池田市城南1-1-1	(0727) 53-5353	(0727) 51-9080	石田 明正	新田 耕平
	門真	1969/ 4/17	木曜日	12:30	門真パブリックホテル2F	(06) 904-4045	門真パブリックホテル305号	571	門真市新橋町2番8号	(06) 904-4045	(06) 904-8928	末田 正	堀内 司朗
	交野	1984/ 6/25	金曜日	12:30	グリーンビレッジ交野1階グリル交野	(0720) 93-1358	グリーンビレッジ交野101号室	576	交野市私市9-4-5	(0720) 93-3700	(0720) 93-3800	安養寺敏彦	加藤 秀逸
	箕面	1969/ 4/17	木曜日	18:30	箕面観光ホテル	(0727) 23-2323	箕面観光ホテル	562	箕面市温泉町1-1	(0727) 24-2781	(0727) 24-1786	青 敬佑	藤原 敏裕
	箕面中央	1980/ 6/13	金曜日	12:30	千里阪急ホテル	(06) 872-2211	千里中央センタービル4階	565	豊中市新千里東町1-2-1	(06) 835-2300	(06) 835-2500	西田 隆昭	山口 誠治
R	守口	1961/ 3/20	水曜日	12:30	守口プリンスホテル	(06) 994-1111	サンキュービル2階	570	守口市寺内町2-7-3	(06) 994-0010	(06) 994-0009	横山 正憲	橋本 泰明
R	寝屋川	1969/ 4/18	金曜日	12:30	大和銀行寝屋川支店3階会議室	(0720) 26-3301	樋口第一ビル2階	572	寝屋川市八坂町15-10	(0720) 22-6622	(0720) 22-6555	山下 勇	梶田 周作
	寝屋川東	1995/ 4/29	水曜日	12:30	大和銀行寝屋川支店3階会議室	(0720) 26-3301	樋口第一ビル2階	572	寝屋川市八坂町15-10	(0720) 23-6622	(0720) 23-1110	大原 孝	坂元 照明
R	大阪	1922/11/17	金曜日	12:15	リーガロイヤルホテル	(06) 448-1121	リーガロイヤルホテル418号室	530	大阪市北区中之島5-3-68	(06) 441-7930	(06) 441-7720	金森順次郎	吉本 晴之
I	大阪阿倍野	1979/ 5/ 9	水曜日	18:00 第1,3週	近鉄百貨店本店10階バンケットルーム	(06) 624-1111	アベノセンタービル6階	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-5-36	(06) 647-8621	(06) 644-0486	酒井 泰男	藤田誠一郎
	大阪阿倍野		水曜日	12:30 第2,4,5週									
	大阪ちゃやまち	1992/ 1/27	月曜日	12:30	ホテル阪急インターナショナル	(06) 377-2100	ホテル阪急インターナショナル5階	530	大阪市北区茶屋町19-19	(06) 371-0290	(06) 371-0292	小林 勝	木岡 良郎
	大阪中央	1984/ 1/26	木曜日	12:30	ホテルグランヴィア大阪20階	(06) 344-1235	ホテルグランヴィア大阪21階1127号室	530	大阪市北区梅田3-1-1	(06) 345-6881	(06) 345-6882	武田 直和	植村 甚久
	大阪堂島	1987/ 6/15	月曜日	12:30	大阪全日空ホテル5階「ガーデンルーム」	(06) 347-1112	大阪全日空ホテル722号室	530	大阪市北区堂島浜1-3-1	(06) 344-2008	(06) 344-2009	海原 亘	藤原 良彦
I	大阪阪南	1969/ 6/10	火曜日	12:30	天王寺都ホテル本館	(06) 779-1501	新和興産ビル302号室	543	大阪市天王寺区悲田院町8-11	(06) 772-5816	(06) 779-7956	田村 弘	和田 健
R	大阪東	1957/ 6/ 6	木曜日	12:30	帝国ホテル大阪	(06) 881-1111	帝国ホテル大阪 アネックス2階	530	大阪市北区北区天満橋1-8-50	(06) 357-5151	(06) 357-5252	伊藤 彰彦	北川 勝治
	大阪東淀	1970/ 6/26	月曜日	12:30	東洋ホテル内	(06) 372-8181	東洋ホテル414号室	531	大阪市北区豊崎3-16-19	(06) 375-0088	(06) 375-0087	竹田 八郎	城村 幸治
R	大阪平野	1975/ 2/20	木曜日	12:30	天王寺都ホテル新館5階	(06) 627-4910	東陽ビル3F	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-37	(06) 627-3813	(06) 627-3823	国分 順一	佐野 元英
	大阪本町	1991/ 3/26	火曜日	12:30	ホリディ・イン エクスプレス大阪うつぼパーク	(06) 446-6111	ウツボパークビル802号室	550	大阪市西区靱本町2-2-22	(06) 445-5000	(06) 445-5115	山本 兼右	岸 孝太郎
	大阪イブニング	1986/ 1/23	木曜日	18:30	ホテルエコーオーサカ	(06) 633-1141	竹澤ビル5階	545	大阪市阿倍野区旭町1-1-10	(06) 631-3951	(06) 631-9232	加藤 勝	西沢 彰敏
	大阪城	1988/ 5/11	水曜日	12:30	大阪国際交流センター	(06) 772-5931	M.U.building2F	543	大阪市天王寺清水谷町19-10	(06) 764-0919	(06) 764-0938	妙中 幹男	辻中 明一
I	大阪城南	1969/ 5/30	金曜日	12:30	都ホテル大阪3階「志摩の間」	(06) 773-1111	都ホテル大阪632号室	543	大阪市天王寺区上本町6-1-55	(06) 771-9009	(06) 772-9090	西澤 正男	梅崎 道夫
	大阪城東	1973/ 4/27	金曜日	12:30	ホテルニューオオタニ大阪	(06) 941-1111	大阪マーチャンダイズマートビル私書箱13号	540	大阪市中央区大手前1-7-31	(06) 943-2226	(06) 943-2229	照屋 貞夫	有山 茂
	大阪柏原	1970/ 6/ 1	火曜日	12:30	柏原市商工会議所内	(0729) 73-3655	柏原市商工会議所内	582	柏原市大正2-10-1	(0729) 73-3655	(0729) 73-2300	岡村 政嗣	高井 康伊
R	大阪北	1952/12/16	水曜日	12:30	阪急百貨店8階	(06) 361-1381	㈱阪急百貨店	530	大阪市北区角田8-7	(06) 361-2681	(06) 361-0406	河村洋二郎	原 眞一
	大阪北梅田	1992/ 1/20	月曜日	12:30	ホテルプラザ	(06) 453-1111	ホテルプラザ940号室	531	大阪市北区大淀南2-2-49	(06) 454-0401	(06) 454-1614	熊本 武史	和泉 正彦
	大阪北淀	1985/ 5/ 8	水曜日	12:30	新大阪ワシントンホテル内	(06) 303-8111	新大阪ワシントンホテル	532	大阪市淀川区西中島5-5-15	(06) 305-1010	(06) 301-2525	菅本憲市郎	松本 圭右
	大阪御堂筋	1993/ 1/28	木曜日	12:30	ホテル日航大阪32階	(06) 244-1111	㈱大丸炭屋町別館6階	542	大阪市中央区西心斎橋1-7-3	(06) 241-6893	(06) 241-6894	茂田 文彦	山田 耕司
RI	大阪南	1952/12/16	火曜日	12:30	南海サウスタワーホテル大阪7階「芙蓉の間」	(06) 646-1111	南海サウスタワーホテル大阪15階1503号室	542	大阪市中央区難波5-1-60	(06) 646-5288	(06) 646-5289	久我 三郎	浅沼 健一
	大阪みなと	1980/ 4/10	木曜日	12:30	中之島センタービル31Fトップラウンジ	(06) 445-1977	中之島センタービル内31F（私書箱69号）	530	大阪市北区中之島6-2-27	(06) 445-0654	(06) 445-0906	江指 助	松本 國奉
	大阪中之島	1992/10/29	木曜日	12:30	太閤園内	(06) 356-1111	太閤園	534	大阪市都島区網島町9-10	(06) 353-2215	(06) 353-9889	杉本 憲治	井上 明
	大阪難波	1976/ 8/ 5	木曜日	12:30	南海サウスタワーホテル大阪7階「芙蓉の間」	(06) 646-1111	南海サウスタワーホテル大阪5F	542	大阪市中央区難波5-1-60	(06) 632-3956	(06) 632-3957	山口 貞夫	樫畑 寛治
	大阪なにわ	1984/ 2/23	木曜日	18:00	ホテル南海3階「真珠の間」	(06) 649-1521	堤ビル403号室	556	大阪市浪速区元町1-10-6	(06) 632-7281	(06) 632-7289	辻 壽	春木 洋次
	大阪南西	1974/ 6/10	月曜日	12:30	高島屋別館2階「ローズルーム」	(06) 631-9808	イレブンハイツ5階502号室	542	大阪市中央区難波千日前14-22	(06) 643-8721	(06) 643-8722	葛井 重雄	南 克昌
	大阪西	1957/ 6/ 4	月曜日	12:30	阪神百貨店11階グリーンルーム	(06) 348-8436	阪神百貨店11階	530	大阪市北区梅田1-13-13	(06) 348-8436	(06) 347-4556	北方 龍一	西浦 正勝
	大阪大手前	1983/ 3/18	金曜日	12:30	大阪コクサイホテル	(06) 941-2661	大阪コクサイホテル内	540	大阪市中央区本町橋2-33	(06) 946-7174	(06) 941-6549	佐藤 良和	今井 宏一
	大阪大淀	1973/ 2/22	木曜日	12:30	ホテルプラザ	(06) 453-1111	ホテルプラザ1240号室	531	大阪市北区大淀南2-2-49	(06) 458-2918	(06) 458-7008	菊川 起男	富永 正蔵
	大阪咲洲	1995/10/11	水曜日	12:30	ハイアット・リージェンシー・オオサカ2F	(06) 612-1234	ハイアット・リージェンシー・オーサカ5F	559	大阪市住之江区南港北1-13-11	(06) 613-5633	(06) 613-5665	有賀 一夫	成山 肇
	大阪西北	1969/ 5/27	火曜日	12:30	大阪ヒルトン4階「真珠の間」	(06) 347-7111	大阪ヒルトン11階1105室	530	大阪市北区梅田1-8-8	(06) 347-7100	(06) 347-7109	松山 恒太	奥野 武久
R	大阪西南	1969/ 5/21	水曜日	12:30	リーガロイヤルホテル	(06) 448-1121	リーガロイヤルホテル4階416号室	530	大阪市北区中之島5-3-68	(06) 443-2819	(06) 443-1441	枝本 実	笠井 文雄
	大阪船場	1988/ 5/23	月曜日	12:30	ホテル日航大阪32階	(06) 244-1111	㈱大丸炭屋町別館6階	542	大阪市中央区西心斎橋1-7-3	(06) 244-1008	(06) 244-1010	大磯 隆一	亀田 光宏
	大阪心斎橋	1970/11/10	金曜日	12:30	ホテル日航大阪32階	(06) 244-1111	㈱大丸炭屋町別館3階	542	大阪市中央区西心斎橋1-7-3	(06) 245-4950	(06) 244-0932	宮田 貴代	藤原 博満
	大阪城北	1977/ 6/29	水曜日	12:30	太閤園	(06) 356-1111	太閤園	534	大阪市都島区網島町9-10	(06) 352-0634	(06) 352-6207	上堀 博三	森川 紀一
	大阪そねざき	1994/ 3/ 2	水曜日	12:30	大阪ヒルトン4階	(06) 347-7111	大阪ヒルトン11階1115号	530	大阪市北区梅田1-8-8	(06) 345-5067	(06) 345-2518	井田 保子	岸本美智子
	大阪住之江	1975/ 3/24	月曜日	12:30	近鉄百貨店本店10階バンケットルーム	(06) 624-1111	近鉄百貨店本店	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43	(06) 624-1111	(06) 628-2361	小室 智	清川 忠義
RI	大阪住吉	1961/ 2/14	金曜日	12:30	近鉄百貨店本店10階バンケットルーム	(06) 624-1111	近鉄百貨店本店	545	大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43	(06) 624-1111	(06) 621-8885	石田清和喜	渡部冨士雄
R	大阪天満橋	1967/11/ 4	木曜日	12:30	大阪ヒルトン4階「真珠の間」	(06) 347-7111	大阪ヒルトン11階1117室	530	大阪市北区梅田1-8-8	(06) 345-1115	(06) 344-8222	衣斐 孝雄	中川 政照
	大阪天王寺	1988/ 9/10	金曜日	12:30	天王寺都ホテル新館5階	(06) 628-3200	天王寺都ホテル本館5階	543	大阪市天王寺区悲田院町10-48	(06) 775-6001	(06) 775-6002	小林 明	新屋 正富
	大阪東南	1985/11/26	火曜日	12:30	ホテルニューオオタニ大阪	(06) 941-1111	大実ビル2階205号室	542	大阪市中央区東平2-3-15	(06) 765-4404	(06) 765-3087	高階 喜好	山本 林三
	大阪鶴見	1984/ 7/10	火曜日	12:30	太閤園	(06) 356-1111	太閤園	534	大阪市都島区網島町9-10	(06) 357-8171	(06) 352-2031	音在 秀信	賀屋 雅雄
R	大阪梅田	1977/ 6/29	火曜日	12:30	ザ・リッツ・カールトンホテル大阪	(06) 343-7000	ハービスPLAZA6階	530	大阪市北区梅田2-5-25	(06) 343-7792	(06) 343-7793	奥田 孝夫	杉村 利史
	大阪梅田東	1988/ 5/20	金曜日	12:30	新阪急ホテル2階	(06) 372-5101	新阪急ホテル3階	530	大阪市北区芝田1-1-35	(06) 375-3522	(06) 375-3523	増田 喜彦	木村 正紀
	大阪うつぼ	1981/ 4/17	金曜日	18:00	ホリディ・イン エクスプレス大阪うつぼパーク	(06) 446-6111	ウツボパークビル403号室	550	大阪市西区靱本町2-2-22	(06) 445-1000	(06) 446-0071	田中 浩	池田 周弘
	大阪淀川	1961/ 1/14	金曜日	12:30	阪神百貨店11階グリーンルーム	(06) 345-1201	阪神百貨店11階	530	大阪市北区梅田1-13-13	(06) 348-8437	(06) 347-4556	杉本 忠博	中村 豊
	千里	1973/ 6/12	火曜日	12:30	千里阪急ホテル内	(06) 872-2211	千里阪急ホテル	565	豊中市新千里東町2-1・D-1	(06) 833-7891	(06) 833-7557	芦田 元	村口 光彦
	摂津	1970/ 9/26	金曜日	12:30	オオサカサンパレス	(06) 878-3400	近畿コカコーラボトリング㈱6階	566	摂津市千里丘7-9-31	(06) 330-2267	(06) 330-2267	小坂 勉	西川 保
	四条畷	1978/ 2/ 3	水曜日	18:00	「別館くるまや」	(0720) 77-1198	飯盛ハイツ105	575	四条畷市中野2-2-22	(0720) 79-5505	(0720) 79-5505	山口 愛彦	田村 實
R	吹田	1958/12/18	木曜日	12:30	サニーストーンホテル3階	(06) 385-1281	サニーストンホテル	564	吹田市広芝町10-3	(06) 388-0266	(06) 388-5801	川上 浩邦	紙谷 正行
	吹田江坂	1990/ 2/27	火曜日	12:30	江坂東急イン3階	(06) 338-0109	大同生命江坂ビル12階	564	吹田市江坂町1-23-101	(06) 821-0222	(06) 821-0222	田中 襄吉	東 秀夫
	吹田西	1980/ 6/12	月曜日	18:00	江坂東急イン	(06) 338-0109	江坂東急ビル1階	564	吹田市豊津町9-40	(06) 338-0832	(06) 338-0020	青木 郁二	大谷 壽

1997－98年度国際ロータリー第2660地区

収　支　予　算　書

自 平成９年７月１日
至 平成10年６月30日

作成 1997年４月10日
承認 1997年５月10日

ガバナー　近藤雅臣
地区財務委員長　田村興作
地区会計　伊藤誠

収入の部

（単位:円）

科目	予算額（案）	前年度予算額
前期繰越金	14,000,000	10,000,000
RI交付金	2,000,000	2,000,000
地区資金　15,000円×5,500人	83,250,000	82,500,000
雑収入	3,600,000	2,000,000
合計	102,850,000	96,500,000

支出の部

（単位:円）

科目		予算額（案）	前年度予算額
委員会活動費		25,300,000	24,700,000
	地区ガバナー指名委員会	150,000	150,000
	意義ある業績委員会	50,000	50,000
クラブ奉仕部門	会員増強委員会	150,000	150,000
	広報雑誌委員会	400,000	300,000
	規定情報委員会	400,000	500,000
	親睦活動委員会	280,000	250,000
職業奉仕部門	職業奉仕委員会	350,000	350,000
	ボランティア委員会	160,000	140,000
社会奉仕部門	社会奉仕委員会	700,000	800,000
	環境保全委員会	250,000	260,000
青少年奉仕部門	青少年活動委員会	2,330,000	2,300,000
	インターアクト委員会	2,840,000	2,800,000
	ローターアクト委員会	5,190,000	5,000,000
国際奉仕部門	世界社会奉仕委員会	230,000	200,000
	青少年交換委員会	450,000	450,000
	国際交流・平和委員会	250,000	200,000
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	120,000	120,000
	財団情報委員会	120,000	120,000
	財団増進委員会	150,000	150,000
	国際親善奨学金委員会	1,500,000	1,500,000
	研究グループ交換委員会	6,150,000	7,000,000
	財団学友委員会	700,000	700,000
	ポリオプラス委員会	50,000	50,000
米山奨学部門	米山奨学委員会	640,000	640,000
拡大部門	拡大委員会	200,000	180,000
特別奉仕部門		1,100,000	－
	委員会活動予備費	390,000	340,000
アドホック部門	クラブ事業助成金	1,000,000	－
会議費		7,720,000	7,920,000
	地区大会補助	300,000	300,000
	R.I.会長記念品代	160,000	160,000
	同上歓迎会	370,000	370,000
	直前ガバナー記念品代	260,000	260,000
	地区協議会補助	300,000	300,000
	地区委員会	3,300,000	3,500,000
	ガバナー打合せ会議費	2,000,000	2,000,000
	G.N.国際会議参加補助	830,000	830,000
	予備費	200,000	200,000
日本国内地区ガバナー会　200円×5,550人		1,110,000	1,100,000
ロータリー文庫協力費　300円×5,550人		1,665,000	1,650,000
地区大会分担金　3,000円×5,550人		16,650,000	16,500,000
ガバナー月信印刷費		6,500,000	8,500,000
ガバナー事務所経費		32,400,000	32,560,000
共通及び緊急予備費		500,000	0
次期ガバナーノミニー事務所経費引当金		5,000,000	0
合計		97,845,000	92,930,000
次期繰越金		5,005,000	3,570,000

	'96年12月末	'97年３月末
クラブ数	81	81
会員数	5,652人	5,629人

注:'96～'97年度の期初（'96.７）会員数5,588人

（単位:円）

ガバナー事務所経費内訳		
科目	予算額（案）	前年度予算額
借室料・光熱費	6,500,000	8,000,000
賃金給料	11,500,000	＊14,500,000
コンピューターシステム費	＊4,100,000	
ガバナー交通会合費	800,000	1,300,000
印刷費	1,800,000	1,800,000
交通通信費	2,500,000	2,500,000
文献費	200,000	160,000
事務用消耗品費	1,700,000	1,200,000
什器備品費	1,300,000	1,000,000
雑費	1,500,000	1,600,000
予備費	500,000	500,000
合計	32,400,000	32,560,000

＊ガバナーシステムソフト料を含む
（前年度今年度の２ヵ年計画）

◆国際ロータリー 主要年間行事

年　間	行　事　名	
8　月	会員増強および拡大月間	(Membership and Extension Month)
9　月	新世代のための月間	(New Generations Month)
10　月	職業奉仕月間	(Vocational Service Month)
10　月	米山月間	(Yoneyama Month)
11　月	ロータリー財団月間	(The Rotary Foundation Month)
1　月	ロータリー理解推進月間	(Rotary Awareness Month)
1月25日～1月31日	追悼記念週間	(Rememberance Wweek)
2　月	世界理解月間	(World Understanding Month)
2月8日～2月14日	家族週間	(Family Week)
2月23日	ロータリー創立記念日・世界理解と平和の日	(Rotary Anniversary・World Understanding & Peace Day)
2月23日～3月1日	世界理解と平和週間	(World Understanding & Peace Week)
3月8日～3月14日	世界ローターアクト週間	(World Roteract Week)
4　月	ロータリーの雑誌月間	(Rotary's Magazine Month)
4月19日	ポール・ハリスの誕生日	(Paul Harris' Birthday)

◆1997～98年度国際ロータリー第2660地区 年間カレンダー

年　月　日	行　事　名	会　場
1997年7月5日	合同地区委員会	千里阪急ホテル
8月1日～3日	少年少女ニコニコキャンプ	大阪府立青少年海洋センター　ホストクラブ：大阪南
9月13日～15日	山のライラ（初級・上級）	大阪府立青少年野外活動センター　ホストクラブ：八尾中央
11月9日	インターアクト年次大会	ホストクラブ：大阪南西
1998年1月11日～16日	規定審議会	ニューデリー（インド）
3月6日～13日	1998年国際協議会	アナハイム（アメリカ）
4月11日	会長エレクト研修セミナー 次期地区委員長会議	薬業年金会館
5月3日～5日	海のライラ（初級）	大阪府立青少年海洋センター　ホストクラブ：大阪大手前
5月8日～9日	1997年～98年度地区大会	リーガロイヤルホテル、フェスティバルホール
5月16日	1998～99年度のための地区協議会	リーガロイヤルホテル
5月17日	ローターアクト年次大会	大阪市立平野区民センター　ホストクラブ：大阪平野
6月6日	現・次年度合同地区委員長会議	薬業年金会館
6月14日～17日	1998年度国際大会	インディアナポリス（アメリカ）

◆報告書送付及び送金先

国際ロータリー世界本部	Rotary International, One Rotary Center, 1560 Sherman Avenue, Evanston, IL, U.S.A 60201-3698
国際ロータリー 日本サービス・センター	〒160 東京都新宿区新宿1-36-12 サンカテリーナ1階 奉仕室 ☎(03)3355-5383 地区・クラブ関係のお問い合わせ FAX(03)3226-4606 資料室 ☎(03)3355-5391～3 文献、資料の注文、お問い合わせ（各室共通） 財務室 ☎(03)3355-5425～6 財務関係、お問い合わせ 送金先:さくら銀行東京営業部 口座No.0968049 国際ロータリー日本S.C.所長 大島四郎(おおしましろう)
財団法人 ロータリー米山記念奨学会	〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階 ☎(03)3434-8681（さくら銀行京橋支店 口座No.普0920373） FAX(03)3578-8281
ロータリーの友事務局	〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階 ☎(03)3436-6651（さくら銀行浜松町支店 口座No.普6326314） FAX(03)3436-5956
青少年交換事務局 事務局長 河合 良	〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館8階 ☎(03)3433-6497 FAX(03)3433-7695
国際ロータリー第2660地区 会　計 伊藤 誠	〒552 大阪市港区弁天1-2-1 2311号 ☎(06)577-2660（大和銀行千里北支店 普通口座No.1262351）

◆主要報告書

報　告　事　項	期　　日	報　　告　　先
1．半期報告	7月1日 1月1日	①　RI世界本部（RIより送付された指定用紙） ②　(写)ガバナー ③　(写)RI日本サービスセンター財務室 ④　(写)クラブに保管
2．クラブ出席率報告	翌月14日午前中までに必着	ガバナー事務所
3．クラブ細則の変更	その都度	ガバナー事務所
4．充塡未充塡職業分類表	8月31日	ガバナー事務所
5．クラブ計画及び目標の要約	クラブ公式訪問の 2週間前	所定の用紙3部に記入して、ガバナー事務所に2部 1部はクラブに保管
6．地区大会提出・信任状証明書	1998年4月20日	直前の半期人頭分担金支払時会員数25名毎に1名または その端数13名以上の場合はさらに1名を選ぶ。 （RI細則第15条第5節1） （ガバナー事務所より送金された指定用紙）
7．新入会員、退会者、会員の 住所または種類の変更	その都度	①　RI世界本部（英文・所定の用紙） ②　ガバナー事務所
8．クラブ会長、幹事、例会場、 日時、事務所等の変更届	その都度	①　RI日本サービスセンター ②　ガバナー事務所　　③　ロータリーの友事務所
9．RI文献購入申込 各R.C.常備の注文用紙にて	その都度	RI世界本部（英文の文献） RI日本サービスセンター（和文の文献）
10．次年度クラブ会長、幹事報告 （公式名簿・記載資料）	クラブ役員選挙後 2週間以内に	①　RI世界本部（RIより送付された3色刷の用紙） ②　ガバナー　　③　ガバナー・ノミニー
11．全国会員名簿のための校正 （送られてきたゲラ印を 校正し返送する）	2　月	ロータリー全国名簿編集室 〒162 東京都新宿区市谷左内長1　山本ビル3階 ☎(03)3267-5265
12．国際大会提出・信任状証明書 （会長・幹事のサインが必要）	4　月	国際大会出席者の代議員またはその代理者（ガバナー・ノミニー等）用紙はRIより直接各クラブに送付される。 会員50名以上のクラブは50名毎に1名またはその端数 26名以上の場合はさらに1名を選ぶ。（RI定款第9条a）

◆主要送金

送　　金	期　　日	送　　付　　先
1．人頭分担金1人当り半年分　$17.50 ・7月2日より10月1日まで ・1月2日より4月1日までに中途入会した会員　$8.75	7月1日・1月1日 10月1日・4月1日	RI日本サービスセンター財務室
2．規定審議会のための追加人頭分担金1人当り　$1.00	7月1日	
3．ロータリー財団への寄付 寄付金は1人　$10.00以上 新入会員は入会時　$10.00 その他の寄付は随時送金	7月1日	
4．地区資金一人当り半年分　¥7,500 （内、地区大会分担金　¥1,500） 中途入会者及び新クラブ設立の場合 ・7月2日より10月1日まで及び1月2日より 4月1日までに入会した会員に対し　¥5,000 （内、地区大会分担　¥1,000）	7月1日・1月1日 10月1日・1月1日	RI第2660地区地区会計
5．地区青少年交換ファンド1人当り半年分　¥1,000	7月1日・1月1日	
6．財団法人ロータリー米山記念奨学会への寄付 普通寄付金は一人当り各クラブの決定額の半分 特別寄付金は随時送金	7月1日・1月1日	ロータリー米山記念奨学会
7．「The Rotarian」の講読料半年分　$6.00	7月1日・1月1日	RI日本サービスセンター財務室
8．「ロータリーの友」講読料半年分　¥1,260（消費税含む） （但し、中途入会者については雑誌を受け取った月より 月割1部¥210計算）	7月1日・1月1日	ロータリーの友事務所

♪日本のロータリーを海外に知らせる最も良い贈り物♪

『ロータリーの友』英語版
“THE ROTARY－NO－TOMO”
新年度分　ご予約受付中!!

本年度は第47号誌（冬号）を11月１日に、第48号誌（春号）を来年４月１日に刊行の予定です。

◈掲載記事内容

『ロータリーの友』誌より海外向けにふさわしい記事を編集転載。また日本の地区別ロータリー地図と全クラブの例会日一覧表、その他日本の文化、社会、経済および一般事情の紹介記事を掲載。

◈活用方法

1．特に冬号（グリーティングカード付き）の場合クリスマスカード代わりに、海外のロータリアン、友人、知人または、海外の取引先に贈呈。
2．海外の姉妹クラブ、友好クラブに定期的に送付。
3．1998年国際大会（米国インディアナポリス）参加の際、外国のロータリアンに配布、その他海外旅行の際おみやげとして携行。
4．海外でメークアップのとき、また例会で海外ビジターに贈呈。
5．ロータリー財団国際親善奨学生、青少年交換学生、GSEメンバー（派遣、受け入れとも）、米山奨学生、本人およびホスト、カウンセラーに贈呈。
6．地域や大学、高校の図書館に寄贈。
7．RI発行の公式名簿（Official Directory）を利用して外国のRC会長に贈呈（一例：加盟した年が同じクラブに贈る）。

◈雑誌代金　１口分1,000円（消費税別、国内送料共）
第47号誌と第48号誌を各１冊、合計２冊で１口

◈海外代行郵送もいたします

先方のご住所、ご氏名をいただければ、代行郵送もいたします。国際奉仕の一助としてぜひご活用ください。なお、海外送料は実費で請求させていただきます。

■ クラブ会長並びに幹事各位

○一年間のご奉仕ご苦労さまです。皆様の手助けとなれますよう、ガバナー、地区幹事、事務局員ともども努力いたします。よろしくお願いいたします。

○この月信を発行するのはガバナーの任務であります。ロータリーの原点にかえると云う近藤ガバナーの方針に加え、経費の節減・重点配分の一環として、今年度は月信を会長並びに幹事各位への親書とわり切りました。したがいまして全員配布は本号と最終号のみとし、それ以外の号は各クラブ宛には10部の送付とさせて頂きます。必要に応じまして、会長の時間、情報提供の場を通じ、会員の皆様へインフォメーションを頂ければ幸です。

○この月信は、地区幹事新原健市が担当致します。なおお気付きの点はガバナー事務所宛FAXにてお知らせ下さい。よりよき月信の一助とさせて頂きます。

文　庫　通　信 (117号)

新年度にあたり改めてご挨拶申しあげます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく［ロータリー文庫］は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、27年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、１万７千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のために、ぜひご活用くださるようお待ちしております。

☆利　用　方　法☆

文庫資料は自由に閲覧出来ますが、電話や書信によるお問合せも承ります。お問合せは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

（文庫資料をご希望の場合は）

・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
・絶版のものは実費（１枚20円＋送料）でコピーサービスを致します。
・重複資料はご希望により無料進呈致します。

（貸　出　し）

・一般資料（印刷物）の貸出しは出来ませんが、視聴覚資料（ビデオ・スライド・フィルム）は予約制（申込用紙有）で貸出し致します。

（登録資料の紹介）

・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。

（ご　寄　贈）

・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

〒105 東京都港区芝公園２－６－３　abc会館７階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

おねがい

○　ガバナー事務所へのご連絡はFAXでおねがいします。

　こちらからも早急にFAX、文書でおこたえいたします。

○　投稿は原稿（写真付のばあいはそれも添えて）を掲載月の前月10日迄に、事務所必着でお送りください。原稿はなるべくワープロでおねがいします。

　掲載の採否、字数の整理ならびに止むを得ない掲載月の変更等については当方にご一任ください。

○　物故会員の連絡は速報でおねがいします。ガバナーからの弔電をお送りいたします。

ロータリー適用相場変更のお知らせ

本年７月１日より総ての振込に対する適用相場（ロータリーレート）が**１ドル117円**に変更されます。ご留意ください。

参　考：手続要覧（1995）より抜粋

ガバナー月信 (Governor's Monthly Letter)

地区内のクラブ会長と幹事それぞれに月信を発行するのはRI細則第15条第15.090.節に規定されているガバナーの任務である。月信は、地区内クラブのその月の会員数と出席報告など、特に関心も高く重要な事項を直接、公式に伝達するものである。（中略）（67）

ガバナー月信を個々のロータリアンに送るにはRIの資金では不十分である。地区の費用でガバナー月信を個々のロータリアンに送ることにするかどうかは、各地区が決定すべきことである。（33）

編集後記

やっと月信第１号を送り出すことができました。

記事にもありますように、ガバナーから会長・幹事への親書とわり切り、簡潔を旨といたしました。

文字を大きく、読み易くの希望をうけて、紙形もＡ４版になりました。

当初DTPでとの考えもあったのですが、結果的にご覧の体裁に落ちつきました。

不慣れから誤りも多いかと存じますが、お許しください。

この一年よろしくおつき合いの程、おねがい申し上げます。

なお企画と校正に関しまして、千里ロータリークラブの矢橋弘嗣会員（地区委員）、的場延雄会員ならびにガバナー事務所スタッフご一同のご協力を得ました。ここに付記し御礼のことばといたします。

（新　原）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤雅臣
地区代表幹事	井上暎夫
地区代表幹事補佐	西田泰晤
地区幹事	藤満宣夫
事務局員	福田妙子
〃	井上綾
〃	小林久美枝

■所在地・電話・ファックス

〒522 大阪市港区弁天１－２－１

オーク１番街2311号

TEL 06-577-2660　FAX 06-577-1608

■執務時間

月～金曜日　午前10時～午後５時

休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日

夏　　期　８月13日～15日

年末年始　12月29日～１月２日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

8月

AUG.1 1997 No.2

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

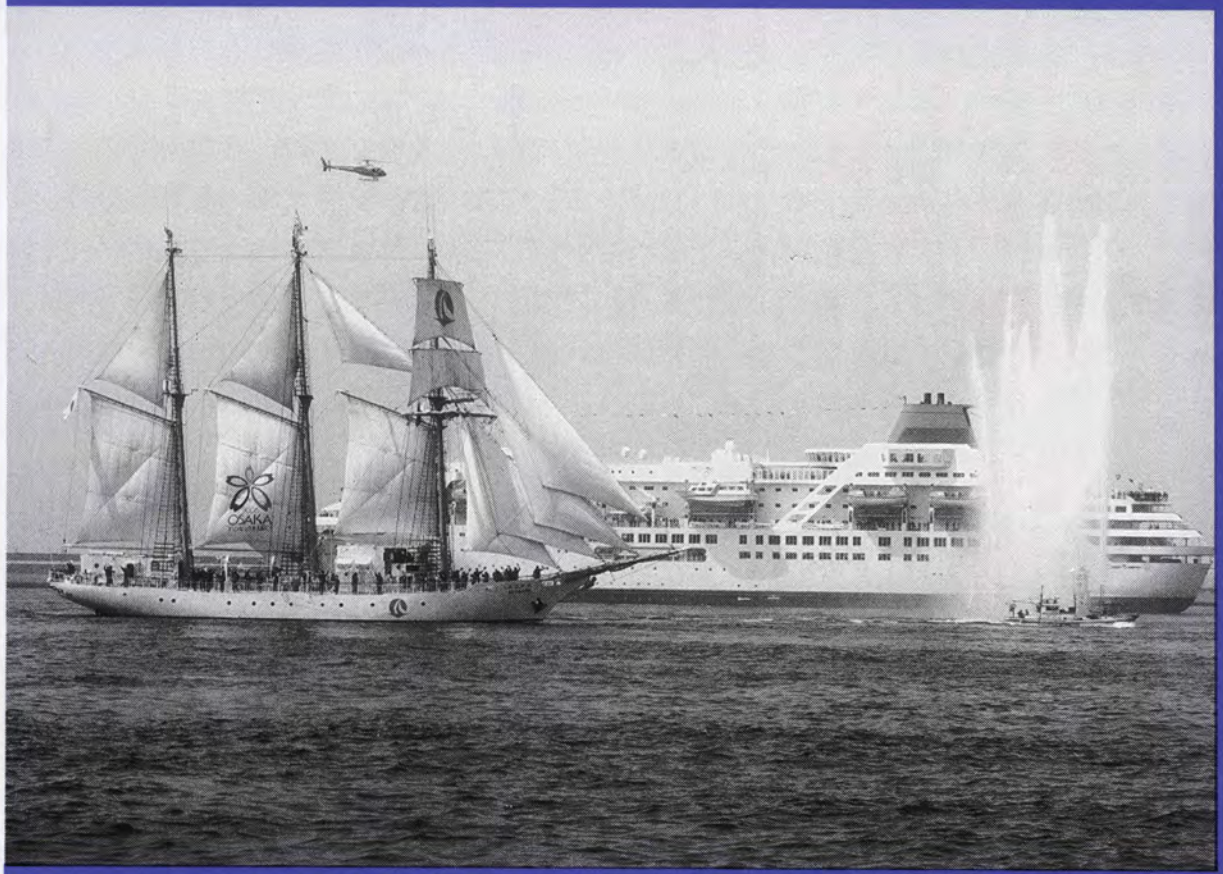
今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 近藤雅臣



「大型帆船はあこがれ丸（日本・大阪）」SAIL OSAKA '97の海上パレードから

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーのメッセージ
会員増強・拡大月間にあたって

暑中御見舞申し上げます。

会長、幹事の皆様にはそれぞれのお役目に就かれてから大変お忙しい毎日をお過ごしになったと思います。クラブ例会もすでに数回主催され、順調な歩を続けられていることと推察致します。私も大阪北淀ロータリークラブの公式訪問をはじめとして12月中旬までの81クラブの公式訪問の途につきました。公式訪問では今年度のRIの方針を再度皆様にお伝えし、各クラブの活動方針を拝聴するとともに様々な問題点を皆様とともに考え、解決の方途を探りたいと考えています。当日の会議運営、次第についてはそれぞれのクラブの特色を生かして有意義な会議となりますよう工夫して頂いて結構です。よろしくお取り計らい下さい。なお、過日の地区協議会会長部門におきまして申し上げましたとおり、公式訪問時の特別のご配慮は遠慮させて頂きますので再度お願い申し上げます。

さて、今月は『**会員増強・拡大月間**』であります。就任のご挨拶の中にも書きましたとおり、ロータリーの最大の財産は個々のロータリアンであります。素晴らしいロータリアンを一人でも増やすことはそれだけ奉仕の機会と力を増加させることになり、それが地域の、国の、そして世界の救いを求める人達への援助につながり、世界平和への貢献の増大にまで発展するものと考えます。それぞれのクラブでこの月間を有意義に活用され、今月を出発点として増強に励んで下さい。私は常日頃考えていることなのですが、日本のロータリーは陰徳を美徳として参りました。これは個人的には大切なことと思いますが、ロータリー活動を一人でも多くの人達に理解して頂くためにはもっとロータリーを社会に広報する必要があるのではないかと考えています。各地域でミニコミ、マスコミ或いは他の広報手段を利用して品位ある活動紹介をしてはどうかと提案致します。このことがまた会員増強にもつながるのではないでしょうか。

一方、このところ退会者の数が増加しております。前年度でも多数の退会者を出しましたが、死亡、転勤、不況など不可抗力による退会は致し方ないにしてもその他の退会に関してはクラブの在り方に工夫を凝らす必要もあり、ロータリー精神の原点にかえって、もう一度クラブの在り方を見直して頂きたいと思います。退会者を出さないことも会員増強につながることを再度お願いしておきます。

最近ロータリアンの平均年齢が高くなってきていることが問題にされています。もっとも多忙な若手のロータリアンを得ることは大変難しいことです。しかし、ロータリーの将来を考えればどうしても有望な若手の会員が必要です。地域の青年層とのつながりを重視しロータリー活動への理解を深めるよう努力して下さい。青少年活動への支援

と実践は長い目でみて優秀な若いロータリアンの獲得につながります。次代を担う青少年への期待は大であります。大切に育成しなくてはなりません。今年度の重点目標にはなっていませんが、私はこの問題は永遠の課題として取り上げるべきもので、その意味でこの度教育問題特別委員会を設置するとともに青少年の育成にも配慮したいと思っています。

クラブ拡大も会員増強と密接な関係にあります。しかし、拡大はその手段となってはならないと思います。大きなクラブにはそれなりの利点がありますが、その反面ロータリー活動に関し傍観者を作りやすい欠点もあります。新しいクラブを生み、育成することによりそれぞれが活性化されロータリー活動をより広めることができることが肝要であると思います。拡大は大変重要な課題であると思いますが、ホストクラブも生まれようとする子クラブもロータリーの心をもって喜びあうものでなければなりません。

会員増強、拡大の意味をご理解頂き、素晴らしいリーダーシップを発揮されてより良い成果を挙げられることを期待しております。

Rotary World 日本語版 第3巻第1号、1996年7月より

ロータリーを分かち合う会員増強および拡大月間

8月は会員増強および拡大月間です。各ロータリアンが誇りにするロータリーの会員資格を他の人たちと分かち合う時です。グレン W. キンロスRI会長は、全ロータリアンがロータリー独特の特質である職業分類システムを全面的に活用して新会員を引き付けるように要請しておられます。

会長は、「このシステムを全面的に活用することによって、各ロータリー・クラブは、それぞれの地域社会の職業および事業界の横断面を反映させ、各ロータリアンは、それぞれの職業あるいは専門職務を代表するリーダーであるという資格と自覚を具備することができるのである」と言っておられます。

会員となる資格を十分に備えた人物を探すのに加え、各ロータリー・クラブでは、新会員にロータリー会員としての責務と特典を教育し、全会員をクラブの活動やプロジェクトに全面的に参与させることによって退会防止をはかることができるのであります。

各地区ガバナーと相談の上、全クラブは、1997年7月1日から1998年4月30日までの期間中に達成するべき会員増強目標を設定されました。各クラブにおける目標数の合計が、その地区としての会員増強の目標数となります。その目標を達成された地区は、1998年6月のインディアナポリス大会の席上、表彰されることになります。

会員の増強に努めるロータリアンの参考資料には、会員増強・退会防止の手引き（417－JA）と新会員教育実施要項（414－JA）があります。また、RIおよび各ゾーンの会員増強および教育実行グループのメンバーも、各クラブにおける新会員の誘致と会員の教育プログラムについて指導、援助する準備を整えておられます。これらの実行グループ・メンバーの氏名は、1997－98年度公式名簿（007－EN）に掲載されています。

1999－2000年度ガバナー・ノミニー候補者を推薦して下さい!!

締切：９月末日

地区ガバナー指名委員会
委員長　中 川 章 三（大阪城南）

国際ロータリー細則第13条13.020の規則及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をお願いします。

意義ある業績賞について

意義ある業績賞委員会
委員長　**中 川 章 三**（大阪城南）

ロータリー・クラブの、有意義で卓越したロータリー活動に対して、RIから『意義ある業績賞』が贈呈されます。そのために、各地区ガバナーは受賞クラブを選び、RIに選定を証明する手続きをとることになっていますが、本年度の第2660地区における選定の基準及び手続きは次の通りであります。

（申請手続きについては1995年版手続要覧49～50頁参照）

◆選定の基準

1．プロジェクトは、その土地において、或いはその土地のみに限らず、誰の目からも重要とみられている問題またはニーズを対象とするものでなければならない。
2．プロジェクトは、単なる金銭的な奉仕でなく、クラブ会員の大半または全員が直接参加するようなものでなければならない。
3．プロジェクトは、他のロータリー・クラブもこれに習って行うことができるようなものでなければならない。
4．プロジェクトは、当該年度に始められたものであることを要しないが、そのプロジェクトが現に実施中のものであること、もしくは、その表彰の行われるロータリー年度に終えるものであることを立証するものを提出しなければならない。
5．同一プロジェクトについて、重ねて業績の認証を受けることはできない。

◆選定の手続

1．各クラブは、表彰申請書をできるだけ詳しい資料を添えて、10月31日までにガバナー事務所気付「意義ある業績賞委員会」宛提出すること。
2．「意義ある業績賞委員会」は、12月１日までに会議を開き、５クラブまでを限度として受賞候補クラブを選び、これをガバナーに送達する。
3．ガバナーは、その中の１クラブを選んでRIに選定を証明する手続きをとる。
4．RIから正式の認定状が送付されてくると、ガバナーは地区大会で、この認定状を受賞クラブに贈呈して表彰する。

本年度地区委員会活動計画（その１）

地区ガバナー指名委員会

委員長　中川　章三（大阪城南）

1）地区ガバナー指名委員会規約に基づき、ガバナー月信第２号において、1999～2000年度ガバナー・ノミニー候補者の指名案を各クラブより提出するよう要請し、その最終期限を９月末日とする。

2）別に10月１日以後、早い時期に指名委員会を開催し、候補者の指名をすることとし、ガバナー月信第６号乃至第７号で公表、第７号または第８号でガバナー・ノミニーの宣言を行う。

意義ある業績賞委員会

委員長　中川　章三（大阪城南）

1）ガバナー月信第２号において、選定基準と委員会に関する発表を行い、申請期限を10月末日とすることを公示する。
（申請手続きについては1995年版手続要覧49～50頁参照）

2）12月１日までに選考委員会を開催し、５クラブまでを限度として、受賞クラブを選び、ガバナーに申達する。

3）各ロータリー・クラブに対して巾広い奉仕活動の実践につき、積極的に申請するよう勧奨する。

クラブ奉仕部門

担当パスト・ガバナー
中川　章三（大阪城南）

会員増強委員会

委員長　西原　房三（守　　口）

ロータリーの財産は「会員」そのものであると云われております。適格な会員が、一人でも多く入会し、クラブ活動に参加する事によって、ロータリーの活動が、幅広く充実した力強いものになります。

会員一人一人が絶えず適格な会員を発見し、会員増強を推進される事に依り、それが奉仕活動の原動力となり、ロータリー活動の、社会的意義がより高まる事になります。

★活動計画

1．地区増強目標を純増２％以上とし、同時に地区内で会員減少クラブ０を目標にいたします。

2．「会員増強および拡大月間」には、会員増強月間卓話、増強推進フォーラムを実施していただき、増強ムードを盛り上げていただきます。

3．地区会員増強セミナー開催
クラブ会員増強委員長の出席をいただきます。
第１回　1997年８月２日（土）　予定
第２回　1998年１月下旬　　予定

4．職業分類、会員選考、及びロータリー情報委員会が連携を密にし、増強推進を図る。

5．「５名で１名の新会員計画」について、有効的方策を計画し実行する。

広報・雑誌委員会

委員長　新津　敬直（大阪西）

前年度に引き続き活発な広報雑誌活動を実施します。

★活動計画

(1) 各RCへアンケート実施
次の説明をご回答下さい。
a．奉仕活動でマスコミ（地方紙、ミニコミ紙を含む）
掲載された事例を詳細に
b．独自に行った奉仕活動及び米山、財団、

奨学生、交換学生ホームステイ等々のエピソードなどの事例

c．各RC所属のマスコミ関係の方々の氏名、役職、会社電話番号

以上ご報告いただき随時各RCに広報し、奉仕活動に活用していただく。

(2) マスコミとガバナーとの懇談会を開催

ロータリーの本質、米山奨学生、ロータリー財団、交換学生、ポリオプラスと地区及び各RCの奉仕活動等を理解し、マスコミに掲載してもらうよう要望する。

(3) 交通安全問題を地区及び各RCをあげて、大キャンペーンを展開する。

(4) 前年度の「ロータリーの友誌」意識調査の結果に基づき、各RCの委員長が雑誌発行前に入手し最重要項目を週報に掲載し、例会で必要な項目をお知らせする。

(5) 世界心理学者の第一人者として活躍中のM・セリグマン博士（米国シアトル）が本年９月初旬来日される機会を利用して、マスコミ（新聞・放送）の主催（後援）、国際ロータリークラブ2660地区広報雑誌委員会後援（協賛）でセリグマン博士の講演会開催を計画したい。

規定・情報委員会

委員長　土井　正裕（大 阪 北）

ロータリー情報の周知徹底をはかるほか、1998年１月にニューデリー（インド）で開催される規定審議会に関連した活動を行う。

１）規定審議会に提案される案件の内容を検討し、クラブ委員長に説明するとともに、地区代表議員に報告する〔1997年10月～12月頃〕。

２）規定審議会で採択された制定案および決議案をクラブ委員長に説明する〔1998年３月～４月頃〕。

３）ロータリーの規定と情報に関するクラブの質問に積極的にお答えする。

４）ロータリー情報集『ご存じですか？』の利用を推奨する。

５）卓話銀行講師の見直しを行う。

親睦活動委員会

委員長　大川進一郎（大　　東）

中川章三ガバナー、熊沢忠躬担当パストガバナーの御指導のもと、地区親睦ゴルフ大会、地区ガバナー杯野球大会、ポリオプラス撲滅の為のチャリティコンサート等を主催いたしました。御協力頂きました会員の皆様に厚く御礼申し上げます。2004年のRI世界大会が大阪で開催される際、趣味・職業別親睦活動で是非花をそえたい、その準備の為の「趣味・特技アンケート調査」を全クラブに依頼しております。その結果をみて方針を決めたいと思っております。

１．趣味・特技のアンケート調査の結果を見て、地区委員会、クラブ親睦活動委員長会議を開催し、優先順位を決定する。

２．第３回地区親睦ゴルフ大会の開催

３．恒例の地区ガバナー杯野球大会の実施

４．地区カラオケ大会の実現化

５．第３回チャリティコンサートの準備

６．地区大会第１日目晩餐会でのバンド演奏の実施

職業奉仕部門

担当パスト・ガバナー

中野　董夫（大阪阪南）

職業奉仕委員会

委員長　丹羽　健二（大阪西南）

１．基本方針

職業奉仕とは、会員一人ひとりが企業や専門職務での職業活動において、常に職業倫理の向上を目指し行動することであります。そして従来から職業奉仕こそロータリーの奉仕の中でも最も基本的な奉仕といわれてきましたが、科学技術を中心とした自然科学の分野が飛躍的に発展する一方で哲学や道徳といった精神的な分野の発達が必ずしもそれに伴っ

ていない昨今の状況を見る時、今こそロータリーの職業奉仕の重要性はますます増大しつつあるといっても過言ではないと思います。そしてさらには社会の変化に対応してか、1980年代後半以降、RIの職業奉仕に対するスタンスの取り方に微妙な変化が見られる現状に鑑み、各クラブも会員一人ひとりに対してあらためて職業奉仕の基本理念を鼓吹育成し住みよい社会の為に大きく貢献する任務を担っているのではないでしょうか。

当委員会はRI－地区－クラブ間の情報伝達の機関として、その一助たらんと努力致します。

2．活動計画

1．RIの目指す職業奉仕の研究
2．職業奉仕の新方針（1987年RI理事会採択）の研究
3．職業奉仕の事例の紹介と研究
4．職業奉仕月間の円滑な推進
5．クラブ職業奉仕活動に関するアンケートの実施
6．（仮称）交通安全特別委員会への協力

ロータリー・ボランティア委員会

委員長　岡本克持郎（大阪城南）

当委員会は永く存置して来た地区及びクラブの諸委員会と異って、実施せらるべき委員会活動について、当面する年度の当初において、在来慣行的な、もしくは前例となる様な、いわば一定のパターンが無く、ひたすら「手続要覧」にも掲げられて居るこの委員会についてのRIの指導方針に従い、各クラブに対する啓蒙活動にかなりの力点を置きつつ最終目標である地区内国内でのロータリー・ボランティア・プロジェクトの実施及び海外でのボランティア登録者の増強を今後とも推進して参り度い。

その方法として

1．ロータリアン、ローターアクター、財団学友ほかに対しての個人サイドでのロータリー・ボランティア登録の一層の推進を図ること。
2．前年度から実施して居る、ロータリアンがある程度の影響力を行使する事が出来る企業その他の法人、団体等の組織による将来期待的ボランティア活動（阪神大震災での例などいわばフィランスロピー的見地から）についても当該ロータリアンの名前で前項1．のそれと並んで法人、団体の類としての登録についても前年同様推進して参り度い。
3．1．2．につき一層のコンピュータ化を計り、諸種検索が容易である様工夫して行き度い。
4．ロータリー・ボランティア・プロジェクトの実現、実施については結論的には単年度の試みではあったが1991年～92年度、菅生ガバナーのとき、当地区に社会奉仕委員会の傘下に「地域対策室」なる機関が設置され、社会奉仕（委）提唱で、職業、青少年、ローター、インター等の各委員会を結集したかたちでの奉仕がたびたび検討され、クラブの垣値を越えての協同社会奉仕事業、又クラブの内部に於いても委員会での枠をはずしての奉仕が考えられ、かつ実行された一時期があったが、RIの説くロータリー・ボランティア・プロジェクトはまさに此の事をグローバルに指し示して居るものであり、此の点わが地区においては前記の実績が有り、前向きにRIの方針に基づきプロジェクトの実現を計り度い。
5．国の内外での大規模災害の発生は今後も必至であり、ロータリーの地区レベル、クラブレベルでの「緊急時マニュアル」の作成について前年度で実質的に廃止された「阪神大震災対策委員会」でその検討、研究の為の委員会の設立が決議されたが、もし当年度において此の種委員会が発足すればボランティア委員会としても積極的に参加し度い。

社会奉仕部門

担当パスト・ガバナー
大森　慈祥（茨　　木）

社会奉仕委員会

委員長　矢橋　弘嗣（千　　里）

★活動方針

本年度の地区社会奉仕委員会は、先人が奨めてきた「地域社会に生き、働き、そして奉仕する」との社会奉仕活動の基本理念を受け継ぎ、たとえささやかであっても「地域のニーズに基づいた奉仕活動」へのすべてのロータリアンの参加をめざしたい。

★活動計画

○人間尊重

① 高齢者の問題
　1）高齢者への心配り
　2）高齢者の雇用問題
　3）独居老人への心配り
　4）高齢者の作文募集
　5）GSC（70歳以上ロータリアンの交流）の展開
② 障害者の問題
③ 薬物乱用防止

○地域発展

① 里親制度の問題
② 保健、衛生の問題
③ 社会安全の問題

○協同奉仕

① 海遊館へのご招待
② インターアクト、ローターアクトの皆さんとの協同奉仕の問題

環境保全委員会

委　員　長　櫻井　　勲（大阪本町）
報告者：委員　柳　　雄二（八尾中央）

我々環境保全委員会は、最近「水問題」「汚水問題」「ゴミ問題」とテーマを追いかけてまいりました。

環境問題は、当然のことでありますが範囲が広く、ロータリーとしてどのような問題の取り上げ方をするか大変難しいことであります。

人間が生きてゆく限り、また経済活動を行う限り環境破壊が続くことになります。

自分達の周りから汚物や廃棄物を見えない所に持ってゆけば事足れりとしてきた我々の考えは既に限界にきており、例えばゴミ等の焼却後の灰を捨てる埋立地を増やすことが不可能になるのも時間の問題であり、次世代にゴミの焼却灰の捨て場所は無く、マスコミ等で取り上げられているように産業廃棄物の捨て場所が存在しなくなると考えられます。

ということは、産業廃棄物は絶対に出せないということが単なる危惧では無さそうであります。

これら身近な問題でありながら、目を向けようとしない現実を訴え続けることを例年通りの活動計画と致します。

しかし、本年度は、この春にオープン致しました鶴見緑地のワクワク地球館の見学をはじめ当地に点在する環境関係の諸施設の見学により、地球環境を考えることをも予定しております。

先日行いました各クラブの環境保全に関するアンケートでは、緑化運動の必要性を訴えるものが多数あり、それらを受けて、この年度は2660地区を世界の緑化運動の推進の起点とすべく活動の展開のための準備期間としなければならないとも考えております。

地球規模の緑化運動は、ロータリーに相応しいテーマだろうと考えております。

青少年奉仕部門

担当パスト・ガバナー
松本　良諄（大 阪 東）

青少年活動委員会

委員長　板垣　美一（大阪住吉）

★活動計画

例年通りライラ（RYLA）を２回、少年少女

ニコニコキャンプを１回実施します。

１．ライラ　RYLA（青少年指導者養成セミナー）の実施

これまで通り秋と春の２回実施します。１昨年度より実施している、上級ライラを更に充実させて本年度も実施します。

①　山のライラ

ホスト：八尾中央RC（初級、上級）

1997年９月13～15日　大阪府立総合青少年野外活動センター（能勢町）

②　海のライラ

ホスト：大阪大手前RC（初級）

1998年５月３～５日　大阪府立青少年海洋センター（岬町淡輪）

２．少年少女ニコニコキャンプの実施

小学校４・５・６年生を対象に、２泊３日のキャンプを通して、自然と親しみ集団生活を体験して、新しい友だちも作ってもらおうというプログラムです。ライラの参加者やRAC・IACの青少年達に、リーダーとしての訓練をする目的もあります。今年度は海で実施いたします。

①　少年少女ニコニコキャンプ

ホスト：大阪南RC

1997年８月１～３日　大阪府立青少年海洋センター（岬町淡輪）

３．ライラマニュアルの改訂

最近の資料を加えて改訂版を発行いたします。

４．各クラブの青少年奉仕活動の情報の収集と提供

各クラブにおいて、青少年奉仕活動の具体的なプログラムを策定することは難しいので、実施しているクラブのプログラム内容を収集して、情報をして提供する。

ローターアクト委員会

委員長　小西　眞明（寝 屋 川）

★基本方針

第2660地区ローターアクトは現在22クラブ会員数は約350名である。ここ数年全国的にみてもクラブ数の減少と同時に会員数も減少している。

当地区に於いても会員数が減少気味であり、会員数にばらつきが目立ちクラブとしての活動を十分に行えない状態になっているクラブが数クラブあります。この様な状況の下、今期は本来の姿である各クラブ単位で組織的活動の可能なクラブ作りを主にしながら次のような活動計画を実行致します。

★活動計画

(1)　今年度の地区ターゲットは

Fill your hearts“奉仕の心を広げよう”としローターアクトの原点を見つめ直し、ローターアクトの目的、目的意識を再認識し、魅力あるローターアクト、魅力あるクラブを目指す。

(2)　クラブ拡大と会員増強

今期２クラブの拡大を目標とし、会員数についても15名以下のクラブを中心に会員増強を努める。

(3)　海外研修

本年度の海外研修は韓国とし、現地ローターアクトとの親睦交流と社会奉仕活動を重点的に行い、ローターアクターの国際感覚の養成に寄与する。

(4)　地区行事

リーダーシップフォーラム、地区連絡協議会等の討議内容を充実し、ロータリーの心のあり方を各自で体得し奉仕の充実をはかると同時に、これら地区行事並びに各クラブの活動報告を地区報を通じて発信し、各クラブの活性化をはかる。

インターアクト委員会

委員長　朝倉　　良（大阪城南）

★活動方針

(1)　当委員会は、提唱８ロータリークラブの理解と協力を得て、加盟校の顧問、インターアクターと協調して、その目的「奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神の中で相共に活

動する機会を青少年に与えるために結成される。インターアクトクラブに入会できる者は高校に在学中の学生または年齢14歳から18歳までの若い人である」に添うべく若い人と友達になり、相談相手になるように努め、地域社会でさらに国際社会で奉仕と国際理解に役立つように活動する機会を与える。

(2) 当地区では学校を基盤としてインターアクトクラブを提唱しており、各学校の実情に添って、インターアクターと共に活動を展開する。

(3) 最近の中・高等学校の生徒数減少傾向により、各学校のインターアクトクラブにもその影響が現れている。魅力あるインターアクトにするため若者のニーズを研究する。

(4) 活動計画については、地区インターアクト委員会はガバナーの方針に基づき各インターアクトクラブの顧問団と協議し、夫々は学校長、提唱クラブとの連絡や報告をすることとする。

(5) 活動に対しての担当となる提唱クラブの負担を軽減する為に、出来るだけ地区予算の範囲で納めるように、手作りや手配先を考慮して重複軽減など行っていく。

★活動計画

(1) 年次大会——1997年11月に開催予定
提唱：大阪南西RC
担当：大阪教育大学教養学部付属高等学校
平野校舎IAC（主幹事校）

(2) 海外研修
提唱：大阪住吉RC
担当：浪速中学・高等学校IAC（副幹事校）
1997年8月17日(日)～21(木)4泊5日
行き先：台湾・台北に決定
第3480地区ガバナーノミニーと書簡の交換を行い、計画進行中である。

(3) 地区インターアクト活動年次報告書「スクラム」№23発行
提唱：大阪城南RC
担当：明浄学院高等学校IAC（副幹事校）

(4) 新入生歓迎会
提唱：大阪南西RC
担当：大阪教育大学教養学部付属高等学校
平野校舎IAC（主幹事校）
開催日　未定

(5) 第2640地区、第2650地区との交流
昨年に初めて行い、昨年度にはジアイRI会長のインターアクト公式訪問により交流ができましたが、引き続き本年度も両地区インターアクトクラブとの交流を計画している。

(6) 現在の活動8クラブより更に新クラブ設立の努力をする。

(7) ライラその他地区青少年奉仕部門の行事にも授業の許す限り参加を勧める。

(8) 昨年度より、新聞型の「スクラム」に変えて、小冊子タイプの報告書に致しました。年次報告、海外研修、年間活動報告と共に地区、提唱それに各インターアクトクラブの名簿を掲載して一年間の記録とする。

(9) 第2660地区インターアクトクラブ　ガイドブックを作成し、新クラブ結成、新入クラブ員募集に役立てるようにする。

(10) リーダーシップ　フォーラム　2回
顧問会議　6回
地区委員会　4回　開催の予定

1997－98年度　合同地区委員会

7月5日(土)千里阪急ホテルにおいて、合同地区委員会が開催された。

午前10時30分、近藤ガバナーの点鐘により開会。司会進行の井上地区代表幹事からパスト・ガバナー、地区委員長（各委員)、地区幹事の紹介の後、近藤ガバナーの就任挨拶が行われた。ここで今年度のRIのテーマ“Show Rotary Cares（ロータリーの心を)”に触れ、更に地区の基本理念「ロータリー精神の原点にもどり、ロータリー活動を見直そう」とあらためて提唱、ロータリーの将来のための有望な若い芽をみつけ育てることの重要性を説いた。この後中川直前ガバナーの退任挨拶に続き、メインテーマの今年度の活動計画について、各委員長が順次発表し、定刻4時45分閉会した。

各委員会から発表された活動計画は、本号と次号（9月号）に要約を掲載する。

（月信担当　新原記）

社会奉仕委員長会議報告

地区社会奉仕委員会

委員長　矢橋　弘嗣（千里）

本年度第1回クラブ社会奉仕委員長会議を7月10日(木)午後2時から午後4時まで、千里阪急ホテルにおいて開催した。

はじめに近藤ガバナー、社会奉仕部門担当大森パスト・ガバナーからご挨拶を頂き、続いて本年度の地区社会奉仕委員会の活動方針、活動計画について、それぞれ担当の地区委員より説明があった。また地区の協同奉仕活動として、10月30日(木)に海遊館招待行事を、来年6月に麻薬・覚醒剤乱用防止への取り組みを実施することが決定された。

暫時の休憩の後、午後3時30分から、大阪府環境保健部薬務課長翁　健氏に「薬物乱用とは」と題してご講演をして頂いた。翁課長の「麻薬・覚醒剤は一回使っても乱用だ」とのお話に、出席者は薬物乱用防止への取り組みの大切さを改めて再確認した。

吉川ガバナー・ノミニーから締めくくりのご挨拶を頂き、岡崎副委員長の閉会の言葉で会議を終了した。

ロータリー米山奨学生学友会（関西）
1997年度総会及び新規奨学生歓迎会報告

地区　米山学友委員会　委員長　中澤章好（大阪住吉RC）

97年度米山奨学生学友会（関西）総会及び新規奨学生歓迎会が６月15日(日)大東洋（大阪市北区）において清河雅孝会長のもとに開催されました。

総会では皆様のお蔭様をもちまして創立12周年を迎えることになり、これはひとえにロータリアンの皆様のあたたかいご支援とご協力の賜物と理解し、学友会の今後の発展のため一層の国際理解と国際親善に努力しようと会長が述べられ終了しました。

引き続き、新規奨学生歓迎会が開催され近い将来米山奨学生が彼等の国と日本との架け橋となってくれるであろうことを期待しながら有意義な歓迎会も楽しく無事終了しました。

なお、地区米山奨学委員会では、米山奨学会活動のあり方の基本方針及び、展望等の検討、対策をはじめとして、奨学金の確保充実、奨学生の選考、奨学生との接触と世話活動の強化充実、世話クラブ及びカウンセラー活動への協力支援を行い学友との連携活動を円滑にするために下記委員会を設置しました。

(1)　米山寄附金委員会
(2)　米山奨学生選考委員会
(3)　米山奨学生委員会
(4)　米山学友委員会

青少年交換学生募集要項

次代を担う若人に、国境を越えて他国で生活し勉強する機会を与えることは、その国の人々を理解し、親善と平和に役立つ為の最も有意義な奉仕活動であります。

それぞれのロータリアンが、力と知恵を出し合って、この価値ある奉仕活動に参加して下さいますよう御願い申し上げます。

次年度（1998年～1999年）の青少年交換学生を下記の通り募集します。

青少年交換学生は、地区内のロータリアンの子弟のみならず、親戚や関係者の子弟、また来日学生がお世話になった学校からの推薦などにより応募できます。この機会に、特にロータリアンの子弟の参加をお勧めします。

1．予定交換先

①カナダ	②米国	③ブラジル	④アルゼンチン
⑤フィンランド	⑥ベルギー	⑦ドイツ	⑧オーストリア
⑨スペイン	⑩インド	⑪ニュージーランド	⑫英国（交渉中）

2．交換期間と人数

1998年１月～1998年８月の間に出発し、期間は１年間。

募集人員は、予算の都合上約15名を限度とし、採用は青少年交換委員会において決定します。

3．交換内容

主としてロータリークラブ会員宅で居住し、現地の高等学校に通学する。この間に語学力をつけ、その土地の人々と交わり、その生活や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の国情を伝え、国際理解と親善に努めます。

4．交換費用

交換地までの往復旅費と保険料は、本人が負担します。

彼地での生活費と教育費の全額及び少々のお小遣いは、ホストロータリークラブ並びにホストファミリーが負担します。

5．応募資格

１）交換出発時、15～18才の高校生であること。（交換地区により若干異なります）

２）健康で志操正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の修得に意欲的な生徒であること。

学業成績は、学年の１/３位内の者。（在学高等学校により差があるので、相談して下さい）

３）学校長の推薦と、１年間の休学許可が得られる生徒であること。

４）ロータリークラブの推薦が得られる生徒であること。

6．応募期限

1997年９月末日

7．応募案内

応募者は必ずスポンサーロータリークラブを通じて、地区青少年交換委員長まで申し込んで下さい。関係書類をお渡しし、応募手続きを説明いたします。

8．来日学生の受入

原則として、派遣学生を送り出したクラブは、相手国より来日学生を受入れることになります。

問い合わせ先

青少年交換委員長　中　一皓
地区事務局　〒573 大阪府枚方市町楠葉１－５－８　修英ビル２F
TEL：0720-50-2426　　FAX：0720-50-2416
E-mail：kazu-n@po.aianet.ne.jp

税制上の優遇措置のご案内

1997年７月より、ロータリアン、ロータリアン以外の個人および法人からの下記対象プログラムへの寄付につきましては、特定公益増進法人である国際交流基金に対する寄付金として扱われ、税制上の優遇措置（個人は所得控除、法人は損金算入）が受けられることになりました。

1．寄付金額

・￥300,000以上（一時払い）

2．対象プログラム

下記教育的プログラム

・国際親善奨学金（含むジャパン・プログラム）
・開発途上国で奉仕する大学教員のための補助金
・研究グループ交換

3．認証（振込時のロータリー・レートが適用されます）

個人寄付（下記いずれか）

・ポール・ハリス・フェロー（年次プログラム基金 累計＄1,000）
・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
（年次プログラム基金 累計＄2,000～累計＄6,000）
・ベネファクター（恒久基金 ＄1,000以上）
・大口寄付者（年次プログラム基金・恒久基金 累計＄10,000以上）

法人寄付（下記いずれか）

・感謝状（法　人）
・ポール・ハリス・フェロー（個　人）
・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（個　人）
・ベネファクター（個　人）

注：年次プログラム基金への寄付はシェアの対象となります。
恒久基金への寄付はシェアの対象外ですが、収益は指定すればシェアの対象となります。

お申込・送金の際は添付「税制上の優遇措置扱い分寄付申込書・送金明細書」（個人用）（法人用）をお使い下さい。尚、国際ロータリー日本サービス・センターは入金約１ヶ月後に領収証を発行しますが、税制上の優遇措置が受けられる寄付金領収書は国際交流基金から国際ロータリー日本サービス・センター日本ロータリー奨学金委員会を通じて各寄付者宛に送付されます。

詳しくは、国際ロータリー日本サービス・センター財務室（Tel：03－3355－5425, Fax：03－3226－4606）宛お問い合わせ下さい。

文 庫 通 信 (118号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

貧困・飢餓・識字率（新年度テーマ）に関する資料

◎「会長のメッセージ　貧困と飢餓について」　R.I. 1997年

◎「識字率の向上を促進するロータリー」　R.I. 1997年

◎「飢餓との闘い…飢餓救済団体のリスト」　R.I. 1994年 35頁

◎「世界社会奉仕プロジェクト交換 1996－97年度第1号」　R.I. 1996年 55頁

［上記申込先サービス・センター TEL(03)3355-5391］

ビデオテープ

◎「活動するロータリー：飢餓と栄養」　R.I. 1994年 12分

◎「活動するロータリー：保健と治療」　R.I. 1994年 15分

◎「援助の手（3－Hプロジェクト）」　R.I. 1990年 16分

スライド

◎「識字率の向上を推進する」　R.I. 1993年 40枚・台本付

［上記購入：サービス・センター TEL(03)3355-5391　借用：ロータリー文庫］

ロ ー タ リ ー 文 庫

〒105 東京都港区芝公園2－6－3 abc会館7階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館＝午前10時～午後5時　休館＝土・日・祝祭日

各クラブ入会金・年会費・ビジターフィー一覧表

国際ロータリー第2660地区
平成９年７月16日現在

クラブ名	入会金	年会費	ビジターフィー	備考
大東	¥150,000	¥240,000	¥3,000	
大東中央	¥100,000	¥180,000	¥3,000	
東大阪	¥160,000	¥320,000	¥4,500	
東大阪東	¥150,000	¥320,000	¥4,000	
東大阪中央	¥200,000	¥285,000	¥4,500	
東大阪西	¥100,000	¥300,000	¥4,000	
枚方	¥200,000	¥250,000	¥3,000	
枚方くずは	¥200,000	¥280,000	¥3,500	
茨木	¥150,000	¥280,000	¥4,300	
茨木東	¥100,000	¥230,000	¥3,000	
茨木西	¥150,000	¥290,000	¥4,500	毎月第３例会日　¥3,000
池田	¥250,000	¥260,000	¥3,000	
池田くれは	¥200,000	¥260,000	¥3,500	
門真	¥100,000	¥292,600	¥3,500	
交野	¥150,000	¥220,000	¥3,000	
箕面	¥150,000	¥260,000	¥3,300	
箕面中央	¥200,000	¥276,000	¥4,500	
守口	¥150,000	¥280,000	¥4,000	
寝屋川	¥100,000	¥290,000	¥3,000	
寝屋川東	¥100,000	¥250,000	¥3,000	
大阪	¥100,000	¥300,000	¥4,700	
大阪阿倍野	¥150,000	¥300,000	¥3,600	
大阪ちゃやまち	¥300,000	¥300,000	¥4,500	毎月第３例会日　¥2,300
大阪中央	¥250,000	¥300,000	¥4,000	
大阪堂島	¥200,000	¥300,000	¥4,500	
大阪阪南	¥100,000	¥160,000	¥4,000	毎月最終例会日　¥2,700
大阪東	¥200,000	¥280,000	¥4,700	
大阪東淀	¥200,000	¥300,000	¥4,200	
大阪平野	¥200,000	¥360,000	¥4,500	毎月最終例会日　¥2,800
大阪本町	¥200,000	¥240,000	¥4,100	
大阪イブニング	¥150,000	¥340,000	¥4,500	
大阪城	¥200,000	¥370,000	¥4,000	
大阪城南	¥100,000	¥160,000	¥4,500	
大阪城東	¥150,000	¥340,000	¥4,500	
大阪柏原	¥100,000	¥280,000	¥2,500	
大阪北	¥150,000	¥250,000	¥4,200	
大阪北梅田	¥300,000	¥300,000	¥4,400	
大阪北淀	¥200,000	¥300,000	¥4,000	

クラブ名	入会金	年会費	ビジターフィー	備考
大阪御堂筋	¥300,000	¥300,000	¥4,800	
大阪南	¥200,000	¥300,000	¥4,500	
大阪みなと	¥200,000	¥300,000	¥3,800	
大阪中之島	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
大阪難波	¥200,000	¥330,000	¥4,500	毎月最終例会日　¥2,700
大阪なにわ	¥150,000	¥330,000	¥4,800	
大阪南西	¥200,000	¥280,000	¥4,000	毎月最終例会日　¥2,600
大阪西	¥150,000	¥260,000	¥4,000	
大阪大手前	¥200,000	¥320,000	¥4,300	
大阪大淀	¥200,000	¥300,000	¥4,400	
大阪咲洲	¥200,000	¥300,000	¥4,500	
大阪西北	¥200,000	¥260,000	¥4,700	
大阪西南	¥150,000	¥280,000	¥4,600	
大阪船場	¥150,000	¥320,000	¥4,800	
大阪心斎橋	¥150,000	¥300,000	¥4,900	
大阪城北	¥200,000	¥280,000	¥4,000	
大阪そねざき	¥250,000	¥300,000	¥4,700	
大阪住之江	¥200,000	¥340,000	¥3,600	
大阪住吉	¥150,000	¥280,000	¥3,600	
大阪天満橋	¥200,000	¥300,000	¥4,700	
大阪天王寺	¥200,000	¥360,000	¥4,000	
大阪東南	¥150,000	¥120,000	¥4,600	毎月第3例会日　¥3,000
大阪鶴見	¥200,000	¥280,000	¥4,000	
大阪梅田	¥200,000	¥320,000	¥4,800	
大阪梅田東	¥200,000	¥300,000	¥4,000	毎月第1、5例会日　¥2,800
大阪うつぼ	¥200,000	¥342,000	¥4,100	
大阪淀川	¥200,000	¥250,000	¥4,000	
千里	¥200,000	¥240,000	¥4,500	
摂津	¥100,000	¥250,000	¥3,500	
四条畷	¥100,000	¥240,000	¥3,000	
吹田	¥150,000	¥240,000	¥3,000	
吹田江坂	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
吹田西	¥200,000	¥300,000	¥4,000	
高槻	¥120,000	¥230,000	¥3,000	
高槻東	¥120,000	¥240,000	¥3,000	
高槻西	¥120,000	¥280,000	¥3,000	
豊中	¥200,000	¥300,000	¥3,800	
豊中南	¥200,000	¥320,000	¥3,800	
豊中－大阪国際空港	¥150,000	¥300,000	¥3,000	
豊中千里	¥200,000	¥320,000	¥4,500	
八尾	¥100,000	¥274,000	¥2,500	
八尾中央	¥100,000	¥300,000	¥3,000	毎月第3例会日　¥4,500
八尾東	¥100,000	¥290,000	¥2,500	

各クラブ創立日・認証日一覧表

国際ロータリー第2660地区
平成９年７月14日現在

クラブ名	創立日	認証日	創立記念周年
大東	1967年12月26日	1968年１月24日	
大東中央	1996年３月14日	1996年４月16日	
東大阪	1957年６月４日	1957年６月17日	
東大阪東	1965年３月４日	1965年４月28日	
東大阪中央	1972年２月20日	1972年３月３日	
東大阪西	1985年３月18日	1985年３月29日	
枚方	1961年２月28日	1961年４月３日	
枚方くずは	1974年５月30日	1974年６月25日	
茨木	1959年12月23日	1960年２月９日	
茨木東	1974年２月14日	1974年３月８日	
茨木西	1993年12月８日	1993年12月21日	５周年
池田	1954年４月24日	1954年５月４日	
池田くれは	1984年４月16日	1984年４月24日	
門真	1969年４月17日	1969年６月13日	
交野	1984年６月25日	1984年６月28日	
箕面	1969年４月17日	1969年５月９日	
箕面中央	1980年６月13日	1980年６月13日	
守口	1961年３月20日	1961年４月24日	
寝屋川	1969年４月18日	1969年６月25日	
寝屋川東	1995年４月29日	1995年11月６日	
大阪	1922年11月17日	1923年２月10日	
大阪阿倍野	1979年５月９日	1979年６月６日	
大阪ちゃやまち	1992年１月27日	1992年２月20日	
大阪中央	1984年１月26日	1984年２月６日	
大阪堂島	1987年６月15日	1987年６月29日	
大阪阪南	1969年６月10日	1969年６月21日	
大阪東	1957年６月６日	1957年６月17日	
大阪東淀	1970年６月26日	1970年８月10日	
大阪平野	1975年２月20日	1975年３月29日	
大阪本町	1991年３月26日	1991年４月12日	
大阪イブニング	1986年１月23日	1986年２月17日	
大阪城	1988年５月11日	1988年５月30日	10周年
大阪城南	1969年５月30日	1969年６月13日	
大阪城東	1973年４月27日	1973年６月７日	25周年
大阪柏原	1970年６月１日	1970年６月17日	
大阪北	1952年12月16日	1953年１月16日	
大阪北梅田	1992年１月20日	1992年２月17日	
大阪北淀	1985年５月８日	1985年５月17日	

クラブ名	創立日	認証日	創立記念周年
大阪御堂筋	1993年1月28日	1993年3月9日	5周年
大阪南	1952年12月16日	1953年1月16日	
大阪みなと	1980年4月10日	1980年4月29日	
大阪中之島	1992年10月29日	1992年10月29日	
大阪難波	1976年8月5日	1976年8月27日	
大阪なにわ	1984年2月23日	1984年3月5日	
大阪南西	1974年6月10日	1974年6月17日	
大阪西	1957年6月4日	1957年6月17日	
大阪大手前	1983年3月18日	1983年4月6日	15周年
大阪大淀	1973年2月22日	1973年3月20日	25周年
大阪咲洲	1995年10月11日	1995年10月31日	
大阪西北	1969年5月27日	1969年6月13日	
大阪西南	1969年5月21日	1969年6月9日	
大阪船場	1988年5月23日	1988年6月3日	10周年
大阪心斎橋	1970年11月10日	1970年11月19日	
大阪城北	1977年6月29日	1977年6月20日	
大阪そねざき	1994年3月2日	1994年3月16日	
大阪住之江	1975年3月24日	1975年4月27日	
大阪住吉	1961年2月14日	1961年4月7日	
大阪天満橋	1967年11月4日	1967年12月21日	
大阪天王寺	1988年9月10日	1988年9月26日	10周年
大阪東南	1985年11月26日	1985年12月10日	
大阪鶴見	1984年7月10日	1984年8月6日	
大阪梅田	1977年6月29日	1977年7月30日	
大阪梅田東	1988年5月20日	1988年6月1日	10周年
大阪うつぼ	1981年4月17日	1981年4月28日	
大阪淀川	1961年1月14日	1961年3月28日	
千里	1973年6月12日	1973年6月28日	25周年
摂津	1970年9月26日	1970年10月9日	
四条畷	1978年2月3日	1977年12月3日	20周年
吹田	1958年12月18日	1959年4月15日	40周年
吹田江坂	1990年2月27日	1990年3月15日	
吹田西	1980年6月12日	1980年6月13日	
高槻	1954年6月15日	1954年7月6日	
高槻東	1973年3月1日	1973年4月19日	25周年
高槻西	1989年6月15日	1989年6月27日	
豊中	1959年6月16日	1959年6月27日	
豊中南	1969年6月5日	1969年6月13日	
豊中－大阪国際空港	1972年2月23日	1972年3月2日	
豊中千里	1986年2月5日	1986年2月20日	
八尾	1961年3月28日	1961年5月3日	
八尾中央	1982年12月7日	1982年12月15日	
八尾東	1973年2月23日	1973年5月2日	25周年

1997～98年度地区幹事担当一覧表

井　上　暎　夫　（千　　里）	代表幹事、統括、公式訪問
永　野　啓之介　（豊　中　－　大阪国際空港）	副代表幹事、諮問委員会、特別奉仕部門
西　田　泰　晤　（千　　里）	代表幹事補佐、地区協議会、拡大
新　原　健　市　（千　　里）	幹事、ガバナー月信
川　瀬　甲子雄　（千　　里）	幹事、地区大会
神　島　博　昭　（千　　里）	幹事、RI、国際奉仕
北　垣　次　彦　（千　　里）	幹事、諸会合、I.M.
藤　満　宣　夫　（千　　里）	幹事、事務所管理、クラブ奉仕
小　谷　澄　信　（千　　里）	幹事、地区協議会、米山奨学会
寺　井　明　納　（千　　里）	幹事、地区協議会、ロータリー財団
安　達　昌　秀　（千　　里）	幹事、財務委員、職業奉仕
依　田　　平　（千　　里）	幹事、社会奉仕
井　上　義　信　（吹　　田）	幹事、地区活動全般、規定・情報
瀧　川　紀　征　（吹　田　西）	幹事、地区大会、青少年奉仕
堀　田　　稔　（吹田江坂）	幹事、地区大会、青少年奉仕
吉　川　忠　章　（東大阪東）	幹事、事務連絡

ガバナー月信７月号（No.１）の変更・訂正とおわび

〔組織図〕 発行後次のように変更がありました。

研究グループ交換委員会

旧

研究グループ交換委員会
◎松　岡　茂　雄(大阪鶴見)
○中　園　直　樹(守　　口)
櫃　村　泰　信(摂　　津)
大　内　昭　男(大阪鶴見)
加　藤　　隆(八　　尾)
大　野　忠　雄(大阪梅田東)
大　石　博　雄(大阪北淀)
松　本　　甫(枚方くずは)
吉　川　謹　司(東大阪東)

⇨

新

研究グループ交換委員会
◎松　岡　茂　雄(大阪鶴見)
○中　園　直　樹(守　　口)
櫃　村　泰　信(摂　　津)
大　内　昭　男(大阪鶴見)
加　藤　　隆(八　　尾)
大　石　博　雄(大阪北淀)
松　本　　甫(枚方くずは)
中　島　　守(大阪住吉)
吉　川　謹　司(東大阪東)

〔クラブ一覧表〕　　変更・訂正箇所

	旧または誤		**新**または**正**
大阪イブニング	幹事　西沢　彰敏	⇨	小松　大二
大阪大淀	幹事　富永　正蔵	⇨	藤川　幸久
大阪東南	幹事　山本　林三	⇨	山木　林三
大阪南西	大阪南西	⇨	I　大阪南西 インターアクトクラブ有
大阪天王寺	天王寺都ホテル新館５階	⇨	天王寺都ホテル本館５階

事務所だより

先日ガバナー事務所に、長崎県福江市から福江RC、福江中央RCの代表者の方々の来訪があった。

福江――大阪の航空便の利用が激減しているとか、そのため「2660地区のメンバーさんに是非五島列島を訪ねてほしい」とのこと、皆さんすばらしい五島ツアーは如何でしょうか。

編集後記

◇　暑中お伺い申し上げます。

◇　列島各地に水害や土砂崩れを引き起こした豪雨禍に自然の猛威をみせつけられ、われわれ人間の慣れとおごりに対する警鐘を感じざるを得ません。

被災されたすべての方々にお見舞いと、亡くなられた方々へ哀悼の気持を捧げます。

◇　８月は増強・拡大月間　無理のない計画と、折角の縁(えにし)でなじんだ仲間の退会を防ぐことで、手堅い実績を築きましょう。　（新　原）

9月

SEP.1 1997 No.3

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 辻巻雅臣

地区内の風物：大阪モノレール延伸（総延長21.2キロメートルは国内最長）羽田裕三会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

新世代のための月間

ガバナー 辻巻雅臣

人間忙しいときに限って何となく判っているようなことでも却ってこだわってみたくなるときがあります。実は、新世代とは何かということです。また、次世代とどう違うのかということが気に掛かっています。日本流でいえば明治、大正、昭和の世代と続き、次は平成の世代となるのでしょうか。それならば、平成生まれは昭和の次世代であります。西暦でいえば20世紀に活躍した年代が現世代であるとすれば、21世紀に活躍する世代はやはり次世代と呼ぶのではないか。それをわざわざ新世代と呼ぶのであれば、全く異なった人間像を描いてのことなのか？　などと連日の暑さの中での公式訪問で疲れた脳細胞を更に苦しめています。もし、新世代という言葉がわれわれの世代の延長としての次世代ではなく、21世紀における今迄と異なった新しい人間像を指さしているのであれば、新世代の育成は、21世紀の急速な科学的、社会的進展を予知し、それに焦点を絞って行わなくてはならないことになります。コンピューター社会の進展、地球を超えた宇宙規模の世界観など科学の進歩によるハードの面の進展は途方もない広がりと先行きを予測させます。新世代の人達はまたこれに追い付き追い越せという競争に巻き込まれ、油断をすると取り残されてしまいます。この競争は今世紀よりも更に苛酷なものになるでしょう。そして、今よりも益々ソフトの面とでもいいますか心の糧が消費、喪失されていくような気がしてなりません。これが新世代であってはならないと思います。人類愛、平和を希求する心、人類すべてが平等に健康で幸福な生活を享受できることなど、人類に課せられた永遠の課題を実現する心をもった世代であって欲しいと思います。その心が失われ、進展する科学の成果が人間を支配すれば、時としてそれは凶器ともなります。人類愛に根ざした確固たる人間性があってはじめてその成果が人類の幸福な生活に役立つものと思います。過去に戦争体験をもち、今も争いが絶えないわれわれの世代はその意味では次世代に繋ぐのではなく、一度絶ち切って改めて新世代としての育成を目指すべきではないかと思います。科学の進展は極言すれば頭脳と資金があれば放って置いても可能であります。しかし、心の豊かさを育むためにはそれにふさわしい心が必要です。ここにロータリー活動の必要性が生まれるのではないでしょうか。人間社会の幸福な繁栄が人類愛にもとずくものとすれば、新世代も次世代もその育成には変わりはありませんが、今のままでの次世代への移行には問題があるように思えます。もちろん、頼もしい若人も多く存在することは認めますが、彼らも含めて新世代という新しい人間像としてとらえ、考えてみてもよいように思います。ロータリー精神の普及と実践、そして、それに根ざした教育、とくに家庭をも巻き込んだ幼児教育にはじまる生涯教育の改革が急務であると思えてなりません。

「新世代月間に当って」

――地域に、世界に、ロータリーの心を、身をもって示そう！――

青少年奉仕担当パスト・ガバナー　　松本　良諄

I　はじめに

9月は、以前「青少年活動月間」と呼んでいたが、昨年度から「新世代月間」と呼ぶようになりました。それは昨年、ジアイRI会長の提案により理事会において「手続要覧」の第8章「青少年への奉仕」が「新世代のためのプログラム」に改められたことによるものであります。但し、新世代プログラムは今年度のキンロス会長の重点事項ではないので、青少年奉仕が重要であることには変りはありませんが、各クラブにおいては、クラブの実情に最も適した青少年活動を実施されるよう期待致します。

II　ロータリーの原点に返って、ロータリー活動を見直そう

本年度の国際ロータリーのテーマは「ロータリーの心を」（あなたの住むところ、私たちの世界、そこに住むすべての人々に）であります。近藤ガバナーはこれを受けて、標記の通り「ロータリーの原点に返って、ロータリー活動を見直そう」と呼びかけておられます。

ロータリーの原点は何かといえば、それはロータリーの綱領でありましょう。綱領は「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成することにある」と謳っています。これを易しくいえば、「およそロータリアンたる者は職業観、人生観の根底にロータリー精神をしっかり培い、根づかせて、どんな場合にも、自然に、相手の身になって物事に当ることができるようでなければならない」ということでしょうか。

「ロータリアンは青少年の鑑（かがみ）」（ハーバート・テーラー＝四つのテストの創案者）といわれるように、青少年奉仕はロータリアンの実践躬行に負うところが大きいことを忘れてはなりません。わが国の「子は親の背中を見て育つ」という諺は親子、とりわけ父親と子供の関係を言い得て妙であります。

III　ロータリーの国際大会と2008年オリンピックの招致運動

国際ロータリーは西暦2004年の国際大会を、大阪市（大阪ドーム）で開催すると決定したので、近畿4地区は準備体制に入りました。1999年3月にはリハーサル大会として、4地区の合同地区大会を大阪ドームで開催することになりました。因みに、ライオンズでは2002年に同じく大阪ドームで世界大会を開催されます。

日本オリンピック委員会は、先頃、2008年のオリンピック競技大会の日本国内候補地に大阪市を選び、同市は2001年の最終決定に向けてＰＲ運動に入りました。それに関連して幾多の中小イベントが続出するでしょうし、その他関西には、既に多方面にわたる

イベントが計画されているので、21世紀初頭にかけてイベントのラッシュが予想されます。大阪ないし関西がこれらを受けて立つことは大変なことですが、共通の前提条件として、次のようなことが必要であると考えます。

1．イベント開催に対する住民の支持
2．イベント開催にふさわしい町づくり
3．開催地をアピールする広報活動
4．来場者に対する地域のホスピタリティ　etc.

紙幅の関係で詳述できませんが、これらの中にロータリーの奉仕やボランティアの格好の芽が無尽蔵に含まれていると思います。この絶好の機会を逃すことなく、ロータリー、ローターアクト、インターアクト・クラブおよび個々の会員は、美しいサービスやボランティアの花を咲かせて、各イベントの成功に寄与されるよう、心から念願する次第です。

終りに、各イベントは本番まで長丁場となりますから若年層とりわけ青少年に期待する所が大であります。そこで毎々申し上げている、インターアクト、ローターアクト・クラブの拡大提唱並びに会員増強について、この機会に格別のご尽力をお願い申し上げます。

ローターアクトの強化を

ローターアクト委員長　　小西　眞明

ローターアクトの始まりは、1960年代の初頭、ロータリー・クラブが社会奉仕プログラムとして、大学レベルの青少年グループの提唱を呼びかけ、当初はクラブレベルの活動としてスタート致しました。

1967～68年度RI会長ルーサー・H・ホッジス氏とRI理事会により、クラブのこの活動に国際性があると考え、その結果、ローターアクトは1968年にロータリー・クラブの公式プログラムとして承認されました。

この年最初に加盟したクラブは、米国ノースキャロライナ州のシャーロッテロータリー・クラブがスポンサーになり、ノースキャロライナ大学ローターアクト・クラブでした。

日本では、同年６月に川越ロータリー・クラブが国際商科大学ローターアクト・クラブを、当2660地区では同年大阪北ロータリー・クラブが大阪北ローターアクト・クラブを提唱したのが始まりです。

その後急速に国際性を高め、来年1998年３月でローターアクト・クラブ誕生30年を迎えますが、その間に設立されたローターアクトの数は1997年３月の時点で、127ヶ国、6,107クラブと140,000人を越える会員を有する世界的な組織になりました。

我が国では現在428クラブ、6,500人と、ここ数年はクラブ数の減少と同時に会員数も

減少し、どのクラブも会員の増強に苦慮している事が推察出来ます。

当地区に於いてもローターアクトは22クラブとこの数年間に拡大がなされず、会員数も360人程度で多少減少気味であり、各クラブに於いても会員数にばらつきが目立ち、クラブとしての機能を十分に果たす事の出来ない状態になっている所も数クラブあるというのが実態です。

ローターアクトの目的は申すまでもありませんが、「奉仕を通じての親睦」を標語に、18才から30才までの青年男女が個々の能力開発に役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会に対する物質的あるいは社会的ニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて、全世界の人々の間により良い信頼関係を推進するための機会を提供する事にあります。

来るべき21世紀に向けて、私達ロータリアンは、一人でも多くの次代を担う青年男女にロータリー精神を鼓吹し、ロータリーの指導、後援の下に奉仕活動を行う事を奨励し、その活動を通じて地域社会に於ける将来の指導者を育成するプログラムであります。

又、ロータリーと手を結んで奉仕の喜びと感激を供するロータリーの共同奉仕者として導く事によって、ロータリーの将来を確実なものにする事が出来ます。ローターアクトは次代のロータリアンとしての育成の期間であります。

今年度RIより送られてきた資料、1997～98年度「奉仕の機会」の中で18才から30才までの若者達のために、ローターアクト・クラブのスポンサーになりましょう。インターアクターと同様、ローターアクターは、自分達の活動を自分達で計画しますが、提唱ロータリー・クラブと協力して奉仕活動を行う機会を歓迎します。

共同奉仕プロジェクトを通して、ローターアクターとの親睦を楽しみ、お互いから学び合いましょう、と書かれています。

第2660地区ローターアクトクラブ1997～98年度の地区ターゲットは、「Fill Your Hearts　～奉仕の心を広げよう～」であります。

Fill Your Hearts、心を満たせ、これは会員個人、各奉仕委員会、各クラブ、そして地区といったそれぞれのレベルに於いて、活動内容を充実させ、さまざまな場面で達成感と充実感を味わおう、という事です。

サブタイトルである「奉仕の心を広げよう」は、会員増強をしよう、アクターの仲間を増やそう、という事です。

特に今期はローターアクトの原点を見つめ直し、ローターアクトの目的意識を再認識し、魅力あるローターアクト、魅力あるクラブづくりに重点を置き、その活動内容の中でもとりわけ「各クラブ単位での活動の充実」を目指しています。

云うまでもなく、ローターアクト活動の中心は各クラブに於ける活動にあります。そのためにも会員増強が不可欠の条件になります。

どうかこの様な観点に立ってローターアクトを支援して下さい。未提唱のクラブは提唱を検討して下さい。提唱ロータリーはローターアクトの強化をよろしくお願い致します。

本年度地区委員会活動計画（その２）

国際奉仕部門

担当パスト・ガバナー
古田　敬三（大　　阪）

世界社会奉仕委員会

委員長　横山　守雄（大阪中央）

活動方針

地区や各クラブが実施する飢餓・疫病救済、生活改善のための職業訓練や教育プログラム、緊急災害援助等の国際奉仕プロジェクトを通じて国際理解と親善を推進する。

活動計画

1．各クラブに対し世界社会奉仕活動についての基本的なインフォメーションを提供する。
2．基本的には各クラブが独自でWCS活動を実施することを勧めるが、クラブ単独で活動が困難なクラブに対しては地区が実施するプロジェクトに協力して貰う。
3．各クラブのWCS活動の予算は会員一人当たり５千円以上とし、地区事業に全面的に協力されるクラブは会員一人当たり５千円を地区に拠出していただく。又クラブ単独事業が一人当たり５千円以下の場合、その差額は地区に拠出し地区事業に協力して貰う。
4．地区が実施済み、或いは継続中のプロジェクト、新規実施予定のプロジェクトについて十分な調査を行う。各プロジェクトについての進捗状況や結果を把握し、必要があれば地区の視察団を派遣する。
5．地区事業は日本国の置かれた立場を勘案し、東南アジア諸国を中心に意義ある国際プロジェクトを実施する。

青少年交換委員会

委員長　中　一皓（枚方くずは）

１．活動方針

次代を担う青少年を、逞しく、立派に育成することは我々ロータリアンにとって、最大の関心事です。

特に、現代は国際化、ボーダレスの次代と云われています。それが更に進展する21世紀において、日本は益々、世界中の国々と相互理解を深め、信頼と友好の絆を強固にし、世界平和に貢献することが望まれます。

そのためには、心身共に柔軟で溌剌たる高校時代に、大きな夢と目標を持って家族や故郷を離れ、未知の世界にチャレンジさせることが望まれます。可愛いい子には旅をさせるのです。高校生にとって、僅か一年間の身を持って接した新しい家族、言葉、習慣や異文化での生活体験は、彼らに国際感覚と将来を如何に生きるべきかの新たな目標を与えます。

しかし、未成年で親の保護下にある高校生を対象にした、このプログラムを成功させるためには、周到な準備と数多くの人々の援助が不可欠です。

そのために、以下のような委員会組織及び役割分担で、活動計画と年間行事予定を作成し、派遣学生をスポンスし、来日学生をホストしていただくクラブ、ファミリー、並びに高等学校のお力になりたいと考えています。また、彼の地で頑張っている派遣学生には担当委員が定期的に連絡を取り合って、所期の目的が達成できるよう勇気づけて参ります。

２．活動計画

(1)　派遣・来日交換学生に関する海外折衝
(2)　派遣学生の募集・選考
(3)　派遣・来日交換学生に対するオリエンテーション
(4)　派遣中の派遣学生のフォロー
(5)　ホストクラブ・ホストファミリー・受入高等学校に対するオリエンテーション
(6)　ホストクラブ・ホストファミリー・受入高等学校での来日学生の状況把握

(7) 派遣・来日学生並びにホストクラブ・ホストファミリーの月例報告の処理
(8) ホストクラブ・ホストファミリー・受入高等学校に対する感謝状作成・贈呈、来日学生への修了証書の作成・授与
(9) 派遣・来日学生の体験文集の作成
(10) 歓送迎会、クリスマス会並びに新年会の計画・実施
(11) 研修旅行の計画・実施、座禅・茶会、鶴見祭等への参加、地区大会、RYLA等の地区行事への参加
(12) 各種アンケート調査・集計
(13) PR用パンフレットの企画・作成、卓話の実施
(14) 国際会議への参加、全国会議の主催、その他各種会議への参加
(15) ROTEX（帰国学生同窓会）の育成指導及び支援

国際交流・平和委員会

委員長　笹井　敏之（大阪イブニング）

国際交流平和委員会は世界のロータリアンと友情を深め、奉仕活動を活発にする為、

① 国際大会への参加
② 姉妹友好クラブの締結
③ 友情交換
④ 職業別親睦活動
⑤ 世界理解平和月間

等についてPRを行う。

1）国際大会について

国際大会出席の勧誘は当委員会の大切な任務です。

本年度は　アメリカ　インディアナポリス
　　6月14日～17日
1999年　シンガポール
　　6月13日～16日
2000年　アルゼンチン　ブエノスアイレス
2001年　アメリカ　サンアントニオ
2002年　ヨーロッパ　ウイーン
2003年　アフリカ　未定
2004年　日本、京都、大阪、兵庫、和歌山、四地区合同
2005年　アメリカ　シカゴ

の予定で長期計画を立てられ多数参加して頂く様PRに御協力下さい。

2）姉妹友好クラブについて

現在81クラブ中16クラブが未締結です。

世界の何処かのクラブと結んでいただき交流を深めつつ、WCS活動も行って下さい。

3）友情交換について

友情交換には二つのプログラムがあります。

A）クラブ対クラブの訪問プログラム
B）地区対地区のチームプログラム

がありますが現在は余り利用されていませんが、出来るだけ利用して下さい。

4）趣味職業別親睦活動（RRVF）

世界親睦活動と国際職業連絡のグループが一つになりました。世界のロータリアンと趣味を通じて友好を深めていただきたいと思います。

日本では「ハム」「ヨット」「ゴルフ」「スキー」等参加されている会員が居られます。

5）平和委員会について

毎年2月23日ロータリー創立記念日であり世界理解と平和の日で、2月には各クラブで平和に関する卓話又はフォーラムの開催をお願いする。

ロータリー財団部門

担当パスト・ガバナー
山中　文和（大 阪 南）

ロータリー財団委員会

委員長　山中　文和（大 阪 南）

○ 1996年4月に「ロータリー財団管理委員会の重要決定」が発表され、その後1997年3月にそれに関する詳しい説明がありました。

① 従来からある「ポール・ハリス・フェロー、準フェローのクレジット」が3年周期で期限切れになる事になった。

② 元会員あるいは死亡された会員の準フェローとしての累計額を移し変えたり使用して新しいポール・ハリス・フェローを指名する事は1996年7月1日以降、受託されない事になっています。

しかし、生存するロータリアンが記録を移し変える場合は、本人が文書で申し出れば出来ます。

このクレジット自体があまり当地区内ロータリアンに理解されていないのでしばらく混乱を来すが少しでも理解を得るべく情報の徹底をはかる予定。

○① 当地区では、当地区に割り当てられたシェアの大部分を国際親善留学生（教育目的）に使っていたが今年より約US$66,000を人道的に使用する事に決まった。

② その為「財団人道的援助」の委員会が新しく発足し、委員長　大谷透（大阪西南）、副委員長　飯原弘章（大阪住吉）、委員　増本猛（茨木東）、委員　川本一郎（大阪城北）、委員　岩井孝明（大阪西）が決定、この委員会は単に物品を贈るのみでなく、委員が現地へ伺いその援助金が使われている状況を詳しく調査し、後に当地区各クラブへ報告することになった。

○ 昨年度当地区のシェア分から寄付をしたアラスカ、シベリア（第5010地区）からと、インド（第3260地区）から1名づつ今年度、当地区の大学へ留学生として来る予定です。

尚、語学研修生として、エストニア1名、イタリー1名、フランス1名、オーストラリア3名、計6名が当地区へ来る予定です。

○ ポリオ・プラスパートナーシップに協力して今年度はアフリカへポリオ予防接種関連の物資を、寄贈する予定です。

財団情報委員会

委員長　増田　　鼎（八　　尾）

基本方針

本委員会が地区の財団実績活性化の一助として「財団情報の推進」を目指して創設されてから早3ヶ年を経過した。ロータリー財団では年々新方針や新企画が提案、実施されている現況に鑑み、ロータリー財団各委員会、特に財団増進委員会との連携および結束を緊密にしながら、ロータリー財団の伝達、浸透に遺漏なきを期したい。

事業計画

1）財団情報ニュースは前年度方針を引き続き年3回発行し、クラブ財団委員長会議、地区協議会等で配布する。

2）ロータリー財団の新資料や関連情報資料は入手に万全を期し、財団ニュースで紹介、解説するほか、各ブロック別のI.M.開催の機会を活用するよう努める。

3）ロータリー財団増進委員会との合同会合を引き続き随時開催して新情報の入手、交換に努める。

4）最近特に躍進の著しい同額補助金制度についてその申請や実施状況についてアンケートを実施したい。

財団増進委員会

委員長　執行　経世（枚　　方）

ロータリー財団の活動内容と、財団への寄付に関して、各クラブ会員に一層の理解と認識を高めてもらい、寄付の増進を計って行きたい。

本年度の目標として、

◎年次寄付の地区目標額68万ドル

◎年次寄付の1人当たり平均額145ドル

◎ベネファクターを各クラブ1名以上

以上の地区目標を達成のために以下の活動をおこなう。

● ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、への推奨と、クレジッ

トの有効期限を確認して、ポール・ハリス・フェロー並びに準フェローへの利用を勧める。

- 冠名奨学金、冠名奨学基金、冠名基金等への理解を深め、各クラブ１人以上の、ベネファクターを推奨する。
- ロータリー財団月間、I.M.等の会合を情報提供の機会として活用する。
- 財団情報委員会との連携を密にして、増進活動をすすめたい。

財団国際親善奨学生委員会

委員長　阿部成之助（大阪鶴見）

(1) 当委員会はロータリー財団の最重要使命である教育的プログラムを担当する責任を充分に自覚し国際親善奨学生の選抜派遣の事業に専念する地区の従来の方針を堅持致します。

(2) 近時財団本部より人道的プログラムへの一部充当要請が強く（事実前年度奨学金受領数は日本388名でアメリカを抜き世界のトップとなり豊かな国として過大であると国際的批判の声あり）此の批判を無視すること能わず本年度、始めて１学年度奨学金３名分（66,000弗）を人道プログラムに提供する事を決定しました。

(3) 此の人道的プログラム実施に当っては当委員会活動から分枝独立した財団の新委員会（仮称財団人道的援助委員会）の設置を提案しています。

従って第2660地区一般寄付の60％シェアーとして還元された地区財団資金（D.D.F）から３名分の１学年度奨学金（計66,000弗）を控除した枠から計算し、今回の'98～'99年度、奨学金申請応募者の中から22名補欠３名を加え25名を国際親善奨学生として選抜'98年７月から１年間各志望大学に送り出す事とします。そして留学予定の来年７月迄に３回のオリエンテーションを予定しております。

(4) 今回のテスト選考に当っては従来の語学力重点の結果合格者中女子、文科系語学系学部に偏り過ぎる傾向を改め男子、理科系の層をひろげ同時に将来に対する明確な目的意識使命観をもち国際親善使節としての義務を充分に理解した優秀な学生を選ぶ方針であります。

(5) 前年度当地区財団資金から寄贈した国際親善奨学金２名分として第5010地区（ロシア）より１名第1420地区（エストニア）より１名、ジャパンプログラム奨学生として、第3260地区（インド）より１名、文化研修のための奨学金による奨学生として５名（フランス１名、イタリア１名、オーストラリア３名）の受入れを予定している。

(6) 年間日程は次の通り

○ '97年７月15日(火)(16:00～20:00)
国際親善奨学生委員会（第１回）新年度メンバー顔合せ及び委員会事業全般にわたる意見交換打合せ

○11月15日(土)(13:30～16:30)
第１回'98～'99年度・奨学生オリエンテーション実施
昨年度にひきつづき財団学友委員会と共催の形で数名の学友メンバーから先輩としての貴重な体験談アドバイスを聞く機会をつくり同時に奨学生の国際親善大使としての使命意識の徹底教育する予定

○12月２日(火)(16:00～20:00)
国際親善奨学生委員会（第２回）奨学生募集方針の決定

○'98年３月14日(土)(13:30～16:30)
第２回'98年～'99年度・国際奨学生オリエンテーション

○４月18日(土)(11:30～13:30)
国際親善奨学生委員会（第３回）'99～2000年度・奨学生選考試験申請書のチェック試験問題の決定
選考試験の役割り分担決定

○５月17日(日)(９:00～17:00)
'99～2000年度・国際親善奨学生第１回試験

○ 6月7日(日)(9:00～17:00)
'99～2000年度・国際親善奨学生第2回試験

○ 6月20日(土)(11:30～13:30)
国際親善奨学生委員会（第4回）(13:30～16:30)
第3回'98～'99年度・国際親善奨学生オリエンテーションにひきつづき送別会

研究グループ交換委員会

委員長　松岡　茂雄（大阪鶴見）

(1) 交換組合せ
R.I.第6150地区
（アメリカ、アーカンソー州）

(2) 期　間

(イ) 派　遣
5月3日出発、6月3日帰国。現地滞在約4週間。

(ロ) 受　入
3月28日関空着、4月26日関空発。約4週間の滞在。
(注)飛行機の座席予約の都合で、受入日程は1週間早まる可能性もあり調整中。

(3) 活動計画の基本

(イ) 派遣団員の選考については、単に語学能力だけではなく、現地社会で何を学びたいか、志望動機を優先する。派遣のテーマとしては「コミュニティ」「専門教育」「ボランティア活動」などを考えている。帰国後は、報告会を開き、報告書を作成する。

(ロ) 受入については、全4週間を4つにわけ、各週ごとに受入実行委員会を編成したい。また、日程の編成については下記に留意する。
- 一般研修については、各週担当の意見をつきあわせ、重複や抜けのない、バランスのよい日程を編成したい。
- 職業研修日を3～4日設け、先方団員の希望を満足させるよう、配慮したい。団員希望を当地区ロータリアンに周知徹底し、研修協力をお願いする。
- クラブ例会訪問は8～9回とし、訪問希望を受け付け、調整する。
- ホームステイをお引受け頂く家庭を、団員1人1週間、計20家庭募集する。

(ハ) 主な日程
- 7月初旬　派遣団長・団員募集開始。
- 10月　派遣団長・団員決定。
- 12月初旬　先方団員につき情報配布。各週担当組分け発表。
- 1月下旬　受入調整。
- 2月下旬　ホスト家庭決定。
- 3月中旬　受入最終打ち合わせ。
- 3月28日　アーカンソーチーム来阪。
- 3月29日　歓迎会。
- 4月25日　アーカンソーチーム帰国、当地区チーム派遣歓送会。
- 5月3日　当地区チーム出発
- 6月3日　当地区チーム帰国

財団学友委員会

委員長　吉川　稔（寝屋川）

活動方針

PSC（パスト サービス クラブ）「財団奨学生OB、OG」のより一層の充実を計るため、PSC役員と共に活発な活動を展開する。

活動計画

(1) 財団学友委員会を偶数月の第一金曜日または土曜日に年6回国際交流センターで開催する。この委員会に国際親善奨学生候補者及び顧問ロータリアンの出席を頂き、親善奨学生の留学中の任務、役割、及び帰国後のPSCへの積極的参加を呼びかける。

(2) PSC例会を同じく偶数月の第一週目に年6回国際交流センターで行う。前記候補者及び顧問ロータリアンに出席頂き、PSCメンバーとの直接対話により交流を深めると共に留学体験を聞き、質問し、次年度出発への情報交

換の場とする。

(3) 8月23日(土)PSC総会及び94～96年3年間の国際親善奨学生の帰国歓迎報告会を開催する。

(4) 国際親善奨学生留学マニュアル冊子を奨学生候補者に配布する。

(5) PSCニュースをPSC例会の都度作成し、各クラブへ送付する。PSCニュースを年一回まとめて“PSC便り”を作成配布する。又学友名簿を年一回発行する。

(6) PSC運営協力金として国際親善奨学生候補者のスポンサークラブより、1名につき年間20,000円をPSCに対してお支払い頂く。

(7) PSCメンバー独自の卓話銀行を開設し、従来のロータリー財団月間卓話以外にも各クラブの要請に依りPSCの卓話を実施したい、また理解も深めたい。

(8) 国際親善奨学生が留学先でローターアクト・クラブへ入会するよう指導する。又、帰国後も当地区のいずれかのローターアクト・クラブへの入会を要請する。

(9) PSCメンバーと国際親善奨学生候補者、又、留学生の間で連絡を密にする為インターネットを通じて情報、意見交換の場としたい。

ポリオプラス委員会

委員長　滝　　一郎（大阪南）

1995年5月、WHOは、西暦2000年までにポリオを根絶することをめざしていると宣言し、RIもこれに同調して、ロータリーの創立100周年記念の2005年までにポリオを根絶するプログラムを計画し、その計画は現在も進行中である。最近に至る迄に、ロータリアン、ロータリー財団の支援者、あるいは、その他の人達によって、既に2億4,700万ドル以上の寄付が行われ、この基金で購入され提供されたワクチンによって、1988－93年の5年間に、97ヶ国の約5億人の子供が免疫接種を受け、ポリオプラス計画が提唱された1985年の初めには、ポリオが発生しない国は85ヶ国でしかなかったのに、10年後の1995年の初めには145ヶ国になっており、また、開発途上国の児童の免疫接種率は、1990年代の初めには80％となったと報告されている。

この様に、ポリオプラス計画は既に大成功を納めているものの、免疫接種率を100％にするのはそう簡単ではなく、色々な困難を伴うものであり、また、一方で、免疫接種率が低下している国も出始めているのが現状である。ポリオプラス計画はポリオ撲滅まで継続遂行しなくては意義を失うので、これからが最後の仕上げの時期になるということになり、1996年に再びポリオプラス委員会が設置された。

当2660地区では、1996年のインド地区におけるポリオ絶滅作戦に対し、350万円の拠出を担当することになり、当地区の各クラブに募金を御願いし、募金額は327万円の金額に達した。しかし、このインド地区におけるポリオプラス活動は、1996年2月末で締め切りとなり、募金はそのまま残ったので、他地区のポリオプラス事業の援助に充当することになり、まず、ヴェトナムの要請に応じて、150万円が支出された。

その後、更に、ネパール地区のポリオプラス事業に対する援助の要請があったが、前回募金の残金150万円では、この要請に応ずることが出来なかった。これを援助するため、1996年11月、朝日フェスティバルホールで、地区親睦委員会の主催による、ポリオ・プラスのキャンペーンとしてチャリティショウが行われることになったので、これを見越して、1996年7月、急遽、ネパールのポリオ撲滅運動に対し、地区ポリオ基金の残額全部、223万円の支出が行われた。

が、1997年1月、RIポリオプラス・パートナー・プログラム副委員長、中島治一郎氏より、モンゴリアにおけるポリオ・ワクチン一斉投与の効果を検査、調査するための資金の調達の要請があり、これに対して、要請金額100万円を、RI日本サービスセンターを通じて送金した。

ポリオプラス計画の今後の進行はどうなるの

か、これからポリオ撲滅のための免疫接種が全国的な規模で実施されると思われる地区の内で、主として東南アジア地区における活動がどう展開するかに左右され、その次には、最後に取り残されているアフリカのポリオプラスとの関わりが生じてくると予想される。兎に角、ポリオが世界から姿を消すまではポリオプラス事業は続くものであると信じられ、今年度、RIよりどのような要請があるか予測はできないものの、当地区としては、募金の残額でそれに対応する計画である。

財団人道的援助委員会

委員長　大谷　　透（大阪西南）

活動計画

1）カンボジアの地雷で手や足を失った人々に、義肢装着の援助を通して、障害者の自立を援助する。

2）障害者個々に応じた対応が必要なため、専門的な技術を持った義肢装具士を派遣し、英国のNGOであるカンボジア・トラスト所有の工場設備を借用し、日本の優秀な技術を役立て、個々のケースに応じた義肢を作製し、装着、微調整、訓練、指導にあたる。

3）義足は消耗品であり、2～3年で新しいものに取り替える必要があるため、現地で現地人がこの事業を継承できるよう指導にもあたる。

4）優秀な技術を持つ日本の義肢装具士を国際的に通用する専門家へ、育成・援助する。

米山奨学部門

担当パスト・ガバナー
菅生　浩三（大 阪 北）

米山奨学委員会

（本委員会は4つの小委員会委員長で構成）

委員長　三好三郎丸（大阪天満橋）

米山奨学会活動のあり方の基本的方針及び、展望等の検討及び対策をはじめとして

奨学金の確保充実

奨学生の選考

奨学生との接触と世話活動の強化充実、世話クラブ及びカウンセラー活動への協力支援を行い、学友との連携活動を円滑にするために下記の通り小委員会を設置する。

(1)　米山寄附金委員会
(2)　米山奨学生選考委員会
(3)　米山奨学生委員会
(4)　米山学友委員会

米山寄附金委員会

委員長　平田啓治郎（大阪西南）

活動方針

奨学寄附金の確保充実を計る

事業計画

①　5月開催される地区協議会への書類作成と提出

②　9月開催のクラブ米山委員長会議開催場の設置、書類の準備、開催日のすべて諸準備、当日の運営説明等を行う

③　募金目標

・1人当たり2万円
（普通寄付と特別寄付の合計額）
・地区総額1億1千万円

(イ)　普通寄付
一人当たり5千円以上お願いする。

(ロ)　特別寄付
準米山功労者にクラブ会員の皆さん全てになって頂く様に協力要請し、又米山ファンドフェロー、米山功労者や米山功労法人、準米山功労法人等になって頂く様にお願いする。

④　米山月間
【1997年10月1日(水)～10月31日(金)】

・各クラブにお世話頂いている米山奨学生やクラブ米山奨学委員長に依る卓話をお願いする。
・米山奨学事業へのご理解と特別寄付のご協力をお願いする。

・地区委員、米山奨学生、学友の卓話斡旋もする。

米山奨学生選考委員会

委員長　酒井　　宏（大 阪 南）

活動方針

米山奨学生の選考にあたる

事業計画

① 1997年度　米山奨学生選考試験

(イ) 申込期間

1997年10月１日(水)～10月７日(火)

(ロ) 書類審査

1997年11月

地区委員会に依る資格審査と申込書チェック

(ハ) 書類選考会議

1997年12月

専門委員と一般委員に依り開催

(ニ) 面接試験

1998年２月Ｙ奨学生

1998年２月Dis Ｙ奨学生

専門委員と一般委員に依り行う

(ホ) 最終選考会議

1998年２月

専門委員と一般委員に依り決定する

(ヘ) 選考委員名の米山本部への提出

専門委員：文化系、理科系、医科系の各２名宛専門部門のロータリアン６名を委嘱する

一般委員：ガバナー、ガバナー・ノミニー、地区米山奨学部門担当パスト・ガバナー、米山記念奨学会評議員、地区担当理事、地区米山奨学委員長の６名を委嘱する。

② クラブ米山奨学会（CY奨学金）の申込に就いて

(イ) 応募資格

現在奨学金を受給中の者で、奨学期間終了後１年以内に博士号取得見込みの者

(ロ) 申込受付期間

３月１日～３月10日

８月１日～８月15日（９月終了予定者）

（申請者と同時にCY用特別寄付金を送金）

(ハ) 採否の決定

常務理事会で決定

(ニ) 奨学期間

６ヶ月または１年

米山奨学生委員会

委員長　北川　　哲（大阪天満橋）

活動方針

米山奨学生に対する指導及び助言、その他の接触の充実強化するとともに、世話クラブ及びカウンセラーとの連帯、調整、協力及び支援にあたる。

① 米山奨学生レクリエーション（10月）会場予約

宝塚劇場観覧席の確保、パーティ、カラオケ、金券、席割、他の金券、プログラム等、ロータリアン、その家族、奨学生とその家族別

② 米山奨学期間終了者の歓送会

記念品（バック１ヶ￥5,000－）

パーティその他の会場の予約等

楯の贈呈

③ 世話クラブ、米山カウンセラーとの連携

④ 米山奨学生との連絡相談

⑤ 1997学年度米山奨学生

【1997年４月～1998年３月】

継続受給者15名

（YU２名、YMD９名、SY－OB４名）

新規奨学生35名

（YMD２７名、DisY－B８名）

クラブ米山３名

合　計　53名

⑥ 世話クラブの設定とその依頼をし、ガバナー事務所連絡、推薦クラブへの通知、米山カウンセラー諸手続を完了させる。

⑦ 次年度新規奨学生、カウンセラーへのオリエンテーション。

米山学友委員会

委員長　中澤　章好（大阪住吉）

活動方針

学友との連絡及び、連携の充実あたる。（関西学友会）

事業計画

① 学友会総会（6月）に参加する。
② 10月米山活動月間卓話者を派遣
③ 米山奨学生レクリエーション、歓送会への参加連絡
④ 学友会員との連絡、世話にあたる。

行　事　日　程　表

年　月　日	行　事	備　考
1997年 5月10日(土)	1997～98年度　地区協議会	ロイヤルホテル
5月15日(木)	米山奨学生オリエンテーション	新阪急ホテル
6月15日(日)	1997年　在日奨学生学友会（関西） 総会及び新規奨学生歓迎パーティー	大東洋
9月10日(水)	クラブ米山奨学会委員長会議	薬業年金会館
10月1日(水)～31日(金)	米　山　月　間	
10月1日(水)～7日(火)	1998年度　米山奨学生募集	
10月5日(日)	米山奨学生レクリエーション	宝塚
1998年 2月　日(　)～　月　日	米山奨学生面接試験	
3月　日(　)	米山奨学生終了者歓送会	
4月　日(　)	米山奨学生新規世話クラブ決定	
5月8日(金)～9日(土)	国際ロータリー第2660地区 1997～98年度　地区大会	

拡　大　部　門

担当パスト・ガバナー

熊澤　忠躬（守　　口）

拡大委員会

委員長　崎島　七郎（大阪住之江）

“静止は退歩である”と申します。当地区におきましても毎年1クラブ以上の拡大を目指す事はガバナーの任務の最も重要な事の一つであろうと存じます。

拡大につきましては、現在のクラブのメンバー諸氏の間に異なった意見がある事を承知の上でそれぞれの地域の方々と話合いを深めて新しいクラブの創設に協力を得られる様、私共拡大委員の全員が力を合わせて努力して参り度いと存じて居ります。

よろしく御支援下さい。

特別奉仕部門

世界大会特別委員会

担当パスト・ガバナー

古田　敬三（大　　阪）

交通問題特別委員会

担当パスト・ガバナー
廣瀬勘一郎（大阪西南）

委員長　崎島　九郎（大阪西南）

1．基本方針

ロータリーの歴史に画期的な特別奉仕委員会の将来の発展（位置付け）のために、1997年の地区大会に於いての決議第4号（交通事故防止運動に協力の件――日々交通事故が絶えず、命を失うなど悲惨な運名を背負わねばならない人々が増加の一途をを辿っています。本大会では、この悲惨な交通事故を防止し、貴重な人命を守るため、地区として、また地区内全クラブとして、交通事故防止運動に強力に取り組む事を決議します）に基づき、人道的見地から、幅広い交通問題の中から、交通事故防止に重点を置き、積極的な運動を展開する。

この運動は、車社会の続く限り、継続的に行うべき運動であり、ロータリアン全員に関わる問題として、社会、職業、青少年、広報等、各奉仕部門と密接な、共同、連携を必要とする横断的活動である。

2．活動計画

1．各委員会が分担して、各クラブに資料を携えて、奨励に廻る
2．地区委員会と各クラブは、情報交換を積極的に行い、相互に密接な関係を保つ。
3．各ロータリークラブは、地域の警察並びに関係機関、団体との協力体制の構築を図る
4．ロータリアンは、まず自ら、交通ルールを守り、家族ぐるみ、職場ぐるみ、地域ぐるみで、交通事故防止に取り組む。
5．各クラブは、青少年に対して交通事故防止の働き掛けを行う。
6．マスコミに訴えて、全面的な協力、支援を要請する。

教育問題特別委員会

担当パスト・ガバナー
菅生　浩三（大 阪 北）

基本的認識

わが国の教育は、明治初年以来、社会の外面的な整備と物質文明の充実を当面の目的としたため、欧米流の科学技術を主力とする知能偏重の手法に傾斜し、その現実面における著しい成果は兎も角として、真の人文と人間の心への指向の欠落の弊は、深刻な敗戦の体験によっても殆ど是正されることなく経過し、却って戦後における企業などの社会集団の効率本位の体質や家庭その他の生活集団の個人的分化の進行などによって悪化の一途を辿り、ただに社会病理の根本原因たるにとどまらず、民族としての精神的基盤の欠落さえ招き兼ねない状況にあり、しかも抜本的な改善の展望は、殆ど期待できない現状にある。のみならず、科学技術を中核とする教育と研究活動自体ですら、資金面、施設面、人事面その他の諸条件のもとで、長期的に劣化を招き兼ねない現況にある。

活動計画

1．学校教育（幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、大学院、専門学校、各種学校などの国公立及び私立の学校における教育を含む。）、家庭教育、職場教育及び生涯学習を含む社会教育一般（以下総称して「教育」という。）のわが国における現状について、可及的的確な共通の認識を形成すること。
2．わが国の教育が帯有する欠陥ないし問題点を把握し、その原因を解析すること。
3．教育活動の現状認識を世界的視野において形成し、社会形成活動としてのそのあるべき姿と、わが国教育との関連のあり方について、歴史的、地域的その他の人文的諸要素を十分に加味しつつ、徹底した考案を行うこと。
4．わが国教育の欠陥の解消ないし問題点の解

決のための対策を考究し、その実現のために必要で効果的な提言を行うこと。

ロータリーの友

地区委員　中谷　良恭（千　　里）

I　「ロータリーの友」委員会

「ロータリーの友」委員会は原則として奇数月の第１月曜日に東京において開催されます。

今年度の第１回委員会は７月１日、東京プリンスホテルで

・地区委員のオリエンテーション

・新旧委員合同会議（含新旧ガバナー）

を行い新年度の諸計画を検討し、運営方針を決定致します。

II　「ロータリーの友」への出稿

地区委員として「地区の便り」、「わがまち、わが地区」の編集を担当いたします。

１．「地区の便り」

1997年11月号　締切日８月20日

２．「わがまち、わが地区」

1998年４月号　締切日２月10日

III　活動方針

本年度、近藤雅臣ガバナーの基本方針は、ロータリー活動を原点にかえって見直し、それに基づいて行動する、に在ります。

「ロータリーの友」はこれだけ立派な雑誌なのに「読まれざるベストセラー」との声も聞きます。そこで、この事を情報誌の原点にかえって徹底的に考えたいもの、そして読むのが楽しみな「ロータリーの友」を目指したいものです。

ロータリーの友委員会、地区広報、クラブ雑誌委員長及び、会員各位の投稿への協力をお願いし、役に立つ「ロータリーの友」となる様、心掛けたいと思います。

財務委員会

委員長　田村　興作（千　　里）

１．地区資金収支予算の方針

地区資金収支予算の編成につきましては、数年来大変厳しいものがありました。これまでの地区財務委員会の努力と地区委員長を始めとする各位のご理解により、収支は均衡に向かいつつありますが、次年度への繰越金が減少の傾向にあり、引き続き状況回復の努力が必要となっております。

1997～98年度はこうした経過や実績のもとガバナーの方針を踏まえ、次年度財務委員会としての予算編成の方針を次のとおりとします。

(1)　基本方針

前年度からの繰越金を1,400万円、地区クラブ会員数を5,550人と予定し、RI交付金等を加え収入総額を１億285万円とし、ガバナー事務所経費、会議費他の削減に努め、事業活動費が前年度予算額を少しでも上廻るようにし、そして経常収入の範囲内での支出予算組みの方向をめざします。

(2)　収　入

地区資金の基盤となる地区内のクラブ会員１人当りの地区拠出金は、時節柄を考慮し、年15,000円と据え置きます。

(3)　支　出

収入に見合った支出予算の編成のため各部門の責任者の方々に大変なご協力をお願いしております。

地区大会

委員長　熊谷　信昭（千　　里）

報告者：幹　事　奥野　善彦（千　　里）

日程及び開催場所

第１日

平成10年（1998年）５月８日(金)

於：リーガロイヤルホテル

第２日

平成10年（1998年）５月９日(土)

於：フェスティバルホール

□ 解説 1997～'98年度
地区資金・特別会計予算について

財務委員長　田村　興作

'97～'98年度地区資金の中の特別会計については、９つの特別会計で出発するものと考えられます。

(1) 青少年交換ファンド
(2) 世界社会奉仕委員会基金
(3) 規定情報出版
(4) 海遊館の集い
(5) 米山奨学生活動費
(6) ライラ指導指針
(7) 社会奉仕委員会「なかよし運動会」
(8) 緊急災害対策基金
(9) ポリオ基金

以上の中で、活動の動きのある(1)～(5)の５委員会につき予算検討、承認の手続きを進めてきました。以下はその予算内容です。なお、(6)、(7)の特別会計は、会計上の動きがみられません。(8)、(9)の特別会計は、義捐金等のための基金を目的とするものです。

(1) 青少年交換ファンド

委員会名：青少年交換委員会
委員長名：中　　一皓

【収入の部】

項目		金額
前年度より繰越		32,000,000
特別会計収入	人頭金　@2,000×5,500名	11,000,000
登録料収入	会合参加ロータリアン登録料等	1,140,000
合計		44,140,000

【支出の部】

項目		金額
会合費	オリエンテーション等	4,605,000
補助金	受入クラブへの補助金	14,300,000
行事参加費	広島研修旅行、座禅体験等	800,000
教材・出版費	快一ho、英文の友、パンフレット等	1,680,000
事務・通信諸費	電話、FAX、郵便、文具等	690,000
ローテックス運営費	例会・総会、事務・通信諸費	360,000
予備費	予備費	1,000,000
小計		23,435,000
基金組み入れ	最悪事情想定緊急時費用	10,000,000
特別会議費	全国青少年交換役員会議大阪会議	2,000,000
小計		12,000,000
支出計		35,435,000
翌年へ繰越		8,705,000
合計		44,140,000

(2) 世界社会奉仕委員会基金

委員会名：世界社会奉仕委員会
委員長名：横山　守雄

【収入の部】

項目	金額
前期繰越金	3,500,000
基金（地区事業参加クラブからの拠出金）	8,400,000
合計	11,900,000

【支出の部】

項目	金額
ブラジル　マナウス日伯学校施設援助	750,000
ペルー　小中学校給水施設援助	750,000
フィリッピン　極貧地域に於ける自立の為の識字教育並びに職業訓練センター	2,500,000
ラオス　井戸堀援助	1,750,000
インド　ホープアカデミー（極貧地域の子供の教育援助）	2,500,000
バングラディッシュ　極貧地域に於ける識字教育	750,000
緊急災害援助準備金	1,000,000
翌年度への繰越	1,900,000
合計	11,900,000

(3) 規定情報出版

委員会名：規定・情報委員会
委員長名：土井　正裕

【収入の部】

項目	金額
前期繰越金	279,677
冊子販売代	120,000
合計	399,677

【支出の部】

項目	金額
印刷代	0
次期繰越金	399,677
合計	399,677

注　'98年１月の規定審議会による改訂による「ご存知ですか」の改訂版印刷は、'98～99年度と規定。

(4) 海遊館の集い

委員会名：社会奉仕委員会
委員長名：矢橋　弘嗣

【収入の部】

項目	金額
参加費　@4,000×300名	1,200,000
繰越金	465,223
利息	300
合計	1,665,523

【支出の部】

項目	金額
入館料　@1,800×300名	540,000
昼　食　@1,600×300名	480,000
文　集　@150×500名	75,000
立看板一式	120,000
保険料	20,000
振込手数料　５件	3,000
小計	1,238,000
予備費	427,523
合計	1,665,523

(5) 米山学生活動費

委員会名：米山奨学委員会
委員長名：三好三郎丸

【収入の部】

項目	金額
米山記念奨学会補助　（53名×@¥50,000－）	2,650,000
参加費（レクリェーション）	385,000
合計	3,035,000

【支出の部】

項目	金額
レクリェーション	1,635,000
オリエンテーション	900,000
修了者歓送会	500,000
合計	3,035,000

少年少女ニコニコキャンプ報告

地区青少年活動委員長　板垣　美一（大阪住吉RC）
ニコニコキャンプ実行委員長　小西　欣一（大阪南RC）

第2660地区『少年少女ニコニコキャンプ』が、今年も８月１日から３日まで大阪府泉南郡淡輪の大阪府立青少年海洋センターにおいて開催された。

参加したのは各ロータリークラブが推薦招待した小学校４年、５年、６年生計100名の児童たち。男子58名、女子42名。

募集は90名。なんとかキャパシティ一杯まではと対応したものの、それでもキャンセル待ちのまま参加出来なかった子供も出て、このキャンププログラムが如何に地区に定着し高い評価を得ているかを示している。

海洋センタースタッフの指導の下、児童たちの世話をするリーダーには、ローター・アクトを中心にした15名の若者たちがあたり、更にこれをロータリアンが補助する形でキャンプは運営実施された。

８月１日昼過ぎ、南海電鉄難波駅に集合。付き添う父兄と別れて期待一杯、不安もちょっぴりの表情の子供たち。新しい仲間づくりを体験してもらうため学校や学年を混在させた７～８人のグループに班編成して、海洋センターに出発。

海洋センター到着後、直ちに開かれた開会式では、地区青少年活動委員会板垣委員長の開会の辞につづき、吉川ガバナー・ノミニー、山中パスト・ガバナー、海洋センター山西所長、ホスト大阪南RC久我会長が挨拶。続いて班毎に、リーダーを中心にお互いの自己紹介のあと、班の旗づくりをする。『チャー班』などというユニークな班の名前を考えるグループなど新しい友達づくりは急速に進む。

部屋に荷物を置いた後、ヨットハウスに移動、『コラーサII世号』の前で記念撮影、そのヨットに乗って太平洋、大西洋のひとりぼっち単独横断を果たし、70才で再度の挑戦をされようという鹿島さんの話を聞かせてもらった。

夕食の後に星空の下でキャンプファイヤー。歌やダンスやゲームに目を輝かせて喜ぶ子供たち、興奮がさめないのか、部屋に戻って就寝時間を過ぎても、はしゃぐ声が遅くまで響いていた。

翌８月２日、６時30分起床、７時30分朝食。快晴、海には絶好の天候。

予定していた小型ヨットを自分たちで操縦するOPヨットのプログラムは、湾内が『なみはや国体』のための工事の作業船で狭くなっているため中止、

大型ヨット『はくちょう号』に乗ってのクルージングとなった。交替でクルージングする間は、隣接の海水浴場でのビーチプログラム。海水浴のほかビーチバレー、バケツリレーゲーム、西瓜割りを真夏の太陽の下で思いっきり遊ぶ子供たち。プログラムを手伝う中で、ロータリアンも暑さにたまらず海へ飛込んだり、童心にかえって世代間交流を愉しんだ。

夜は立食パーティに続いて各班対抗でのパフォーマンス大会。わずか一日半の付き合いとは思えないチームワークぶりを発揮してのパフォーマンス、抱腹絶倒の珍芸もあり、笑いの渦巻くひとときを過ごす。

8月3日最終日。仲間づくりの仕上げはカッタープログラム、みんなの力をひとつにして漕がないとうまく進めない。カッターの順番待ちの間には石ころペインティングで記念品づくり、思い出の土産も自分自身で作る。

昼食後閉会式。近藤ガバナーの挨拶、終了証書授与、山西海洋センター所長の講評の後、板垣地区委員長の閉会の辞をもって全てのプログラムを終了。

海洋センターを出発して淡輪駅より難波駅へ帰る帰路、流石にエネルギーを使い果たしたのか殆ど全員がいねむり状態。ともかくも全員が無事に難波駅に到着したことを確認し15時30分解散した。

ニコニコキャンプの目的は、

団体生活でチームワークを作る
新しい友達をつくり仲良くなる
自然と親しみ自然と触れ合う

であるが、今回は天候にも恵まれ、事故もなく、参加者それぞれの心に目的に沿った思い出を残しえたのではないかと、海洋センターの皆様方をはじめ、ローター・アクトやライラからリーダーとして参加しキャンプを実質的に支え運営してくれた若者たち、ご協力頂いた各ロータリークラブ関係者に厚く御礼申し上げます。

クラブ会員増強委員長会議報告

地区会員増強委員会委員長　　西原　房三

1997年8月2日(土)　於：薬業年金会館

前年度は、クラブ会長の出席を得て、会員増強のバズセッションを行いました。本年度は、近藤ガバナー、中川パスト・ガバナー、吉川ガバナー・ノミニーの参加をいただ

いて、クラブ会員増強委員長は対象として、バズセッションを開催した。今回の分科テーマは、(1)会員増強ムードを高める為の具体的方策。(2)退会防止について。(3)いかにして女性会員を迎えるべきか。以上3題に絞って8テーブルに分けて意見交換が行われた。

(1) 「増強ムードを高める方策」に対しては、大きく2つの意見にまとめられる。その一つは、会員増強の中心となる会長、幹事、増強委員長の三役が先頭に立って、リーダーシップを発揮する事に要約される。そして今一つはムードを高める為、P.Jチームを編成して責任体制を細分化し、目標達成に努力してもらうと云うシステムである。更にこのシステムは長期間にわたって継続させる事によって、会員の意識は向上し成果に結びつくものと考えている。

(2) 「退会防止について」であるが、最多の意見としては、クラブの歴史が古くなるに伴い、会員の高齢化が進み、死亡者や健康上の理由で退会者が増える傾向にあるのと同時に、企業環境の変動による退会理由も多くなっている。この様な要因による影響は阻止困難であるが、其の他の理由による退会について意見が目立つのは、新会員、老若会員、会員相互のコミュニケーションを深める為に例会の在り方を考えて楽しい会合の演出や、懇親会、同好会、家族会等を実施してふれ合いの場を多く創り出す事が有効との発言が多い。又、入退会に指摘される事由として、出席義務に対するこだわりもある。結論として考えてみると、クラブ全体の雰囲気を良くして、楽しい会合づくりを目指す事が最善の策と言うのが一番判り易い。

(3) 「いかにして女性会員を迎えるべきか」について、前回行われたバズセッションでは、女性会員在籍クラブと、不在クラブとの、バランスの関係もあって比較的発言内容は少なかった事などを話しながら、今回は活発な意見交換が行われた。女性会員が入会しているクラブでは、殆どのところで、クラブ内が明るくなった。今後も増員を考えている。女性会員はのびのびと活動している等前向きの発言が目立った。其の一方で女性会員に対する会員の見方が変って来たクラブや、現在検討中である等の中間派、受け入れムードが皆無であると言うアレルギー派もあり、それぞれのクラブ事業が明白にあらわれている。しかし、イエス、ノーは別にして、各クラブに於て、新しい息吹きを感じ、積極的に、女性会員に対する考え方について、議論の花を咲かせる時期に来ている様にみうけられる。今回のバズセッションによって、更なる関心が広がる事を期待したい。

結びとして今回貴重な時間を割いて、ご出席していただいた各クラブ関係者に、地区会員増強委員会一同、心から感謝申し上げる次第です。そして本年度、近藤ガバナーの提唱されている「ロータリー精神の原点にもどり、ロータリー活動を見直そう」を基本理念として、地区委員会の方針として掲げている「地区目標2％以上、会員減少クラブ0目標」を合言葉に、其の必達に努力を払いたい。

交通問題特別委員会担当者会議報告

地区交通問題特別委員長　　崎島　九郎

日　　時　　1997年７月23日(水)　14時～16時
場　　所　　薬業年金会館４階、401号室
出 席 者　　廣瀬パスト・ガバナー、吉川ガバナー・ノミニー、新津、丹羽、大橋、隅田、田邉、藤井各委員
出席クラブ　　73クラブ

定刻、委員長より、今年度より新たに、ガバナー直轄の特別奉仕部門が設けられ、その中に交通問題特別委員会ができ、本格的な活動を開始するに当って、各クラブの理解と協力無くしては運動の成果は上がらない事、また本運動は１年限りの運動ではなく、継続的且つ横断的に各奉仕部門にもご理解とご協力を頂いて行わなければならないことの説明がなされた。

今後この運動に取り組むに当っての考え方の一つとして、これからの講演を聞いて欲しい旨の委員長からの話に続いて、大阪大学名誉教授・交通科学研究所所長　長山　泰久氏による「今後の交通問題を考える」と題して、交通事故撲滅のためには、終身教育が必要であり、それが大きな成果に繋がっているとの海外並びに国内のデーターに基づいた講演がなされた。

講演に対して、大橋委員から自身の経験から、幼児教育の難しさと、今日の講演を生かして事故の発生を未然に防ぐために生かしていきたいとの話がなされた。

公演終了後、廣瀬パストガバナーより、交通問題特別委員会設立の経緯と意義について、現実に起こっている交通事故に因る犠牲者が、戦後50万人を越え、重軽傷者にいたっては、その100倍の5,000万人と言う恐るべき数になる、その上この交通事故は、車社会が続く限り続くもので、それによる悲劇は、被害者は勿論の事、加害者にも大きく、はかりしれないものになっている。しかも「今日は他人(ひと)の身、明日は我が身」となる危険性を孕んでおります。

平素人道主義を奉仕の理想として掲げているロータリーが既に行っている他の運動と同様に、一人でも交通災害による犠牲者を防ぐ事に立ち上がるべきと考えて、本運動に取り組む事を提唱した。

ただこの問題には、ポリオプラスのように特効薬は無く大変難しい問題なので、皆様とともに力を併せて取り組んでいきたい。特に、事故を未然に防ぐ事に力を注いでいきたい。

その切り口は、非常に多いが、その中でも企業としての取り組みについて考えていき

たい。との説明がなされた。

報告事項として、新津委員より、大阪府警察本部交通総務課、尾関警視正との打ち合わせ結果の報告がなされた。

特に警察から、①ロータリアンの企業が交通問題に取り組んで頂く事に大きな期待を寄せている事　②若年層への教育についての啓蒙について各クラブの活動に期待をしている事の説明がなされた。

次に、藤井議員から、本年９月23日に万博公園のお祭り広場で開催される'97おおさか交通安全フェスティバルへの参画についての途中経過の報告がなされた。

既に交通安全運動に取り組んで実績のある２クラブからの報告と今後の活動予定の発表に引き続き質疑応答を行った。

最後に吉川ガバナー・ノミニーより、活発な討議への感謝と交通問題にロータリーが取り組む事は意義深い事で、次年度も引き続き本問題に取り組んでいきたい旨のコメントを頂き閉会した。

交通災害防止とロータリアン

――交通安全月間に因んで――

パスト・ガバナー　　廣瀬　勘一郎

1997年度から新たにガバナー直轄の特別奉仕部門が設置され、その中に交通問題特別委員会ができ活動を開始できました事は、ロータリーの奉仕活動にとっても画期的な事であると確信を致しております。

なぜなら、今この瞬間にも日本のどこかで交通事故が発生し、貴い人命が虫けら同然に奪われており、『今日は他人(ひと)ごと、明日は我が身』になりかねないからです。この事実を日頃人道主義を奉仕の理念として標榜しているロータリアンとして捨ててはおけないのではないでしょうか。

これまでも、各クラブ単位で色々な活動を展開してこられたように、この運動の重要性については、十分御理解されておられると思います。

ただ、この問題に対する特効薬はなく、運動の成果がなかなか見えないこと、しかも、車社会が続く限り永久に続く問題である事に、この問題への取り組みの難しさがあります。

でも、起こってからでは遅いのです。自らは勿論のこと、家族を守り、多くの人々の貴い人命を守るためにも、地区ロータリーが、発進基地となって、全国運動へと展開を図っていく事が、ロータリーの奉仕活動を一層意義深いものにすると思います。

では、具体的な活動としては何をしたら良いのでしょうか。

交通災害は、だれも起こそうと思って起こしているのではなく、そのほとんどが、不注意やルール違反に起因すると言えます。

そこで、まず、ロータリアン一人ひとりが、交通ルールを守ることから始めては、いかがでしょうか。その方法として、ご自分の所有される車に、ルールを守る旨のステッカーを貼る事や、バッジをつけるなどはいかがでしょうか。

そのほかにも、ロータリアンの家族及び近隣または、親戚等への啓蒙運動が個人としての運動として考えられます。

次に、各クラブ毎の運動としては、各地域の交通安全行事への積極参加、積極的には、1．地区の教育委員会や、幼稚園、学校等への交通安全教育への取り組みの働きかけや、2．啓蒙用の機器の寄贈、3．その他、安全施設等の寄贈などが考えられます。

特に幼児から高齢者までの一貫した交通安全教育が大きな成果を上げている事は、アメリカ、ドイツ、イギリスにおいて顕著な実績として現われている点で、日本とは大きな差となっています。また、各クラブでのロータリアンを対象としたキャンペーンで意識の高揚を図る事が必要と思います。なぜなら、ご承知の通り、この運動は、個人の意識の問題であり、人から強制されて効果の出るものではないからです。

三番目に、ロータリーには企業のトップの方が多くおられる事から、企業を中心とした、交通事故（違反）防止をぜひ展開して頂きたいと思います。

警察のように強制力を持たない民間での運動として、従業員に対する本運動の推進は、企業単位で見た時に、ある程度の強制力を行使できる点で、効果も期待できるとおもいます。

また、企業に於いて交通事故を抑制する事は企業活動に於いても、大きな経済的メリットをもたらします。昨今では、この点に注力され、企業単位で、交通事故（違反）防止に取り組まれる企業が急増しており、大阪商工会議所からも企業向けの「企業の交通問題対策の手引き」と言う冊子が発行されました。既に第2660地区の各クラブには3冊づつ頂き、配布させて頂きました。また、他の地区でも興味を持たれた方は、当方までご一報頂ければ、早速送らせて頂きます。

さらに、企業に於いても、単に運転者に止まる事なく、全社員に交通安全に対する認識を深めて頂くような運動にまで展開して頂きますようお願い致します。

ここに述べましたものは、ほんの一例です。だれが何をしなさいと言ったものではなく、身の回りにある何からでも良いのです。例えば信号を守る事さえ完全にはできていないのではないでしょうか。一人ひとりのちょっとした注意が肝心なのだと思います。

だれでも、どこでもできる運動なのです。でも、今まではできていないのです。

ロータリアンの一言、一つの態度が、多くの人を救う事になるとしたら素晴らしい事ではないでしょうか。

不幸にして事故に遭われた方に対して援助をするのも奉仕活動かも知れませんが、それ以上に犠牲者を減らす事の方が大切だと思います。

悲惨な交通災害から大切な命を守る運動が、一人ひとりの心の中に芽生え、災害のない楽しい社会を築くために立ち上がろうではありませんか。

地区広報・雑誌委員会委員長会議報告

平成９年７月11日PM２:00～４:00開催、サウスタワーホテル浪華の間

出　席　者　近藤ガバナー、吉川ガバナー・ノミニー、クラブ奉仕担当中川パスト・ガバナー、藤満地区幹事、新津地区委員長、中井、田辺、高島地区委員、各RC広報委員長、雑誌委員長（兼任者を含む）129名出席

挨　　拶　近藤ガバナー、中川パスト・ガバナー

新津委員長　(1) 各RCへアンケート実施

次の設問をご回答下さい。

A　奉仕活動でマスコミ（地方紙・ミニコミ誌を含む）掲載された事例を詳細に

B　独自に行った奉仕活動及び米山・財団・奨学生・交換学生・ホームステイ等々のエピソードなどの事例

C　各RC所属のマスコミ関係の方々の氏名、役職、会社電話番号

以上、ご報告頂き、随時各RCに広報し、奉仕活動に活用して頂く。

(2) マスコミとガバナーとの懇談会を開催

ロータリーの本質・米山奨学会・ロータリー財団・交換学生・ポリオプラスと、地区及び各RCの奉仕活動等を理解し、マスコミに掲載してもらうよう要望する。

(3) 交通安全問題を地区及び各RCをあげて、大キャンペーンを展開する。

(4) 前年度の「ロータリーの友」誌意識調査の結果に基づき各RCの委員長が雑誌発行前に入手し最重要項目を週報に掲載し、例会で必要な項目をお知らせする。

(5) 「ロータリーの友」誌について

歴史・公式地域誌としての意義・編集方針・現況

中井委員　フロイト以来の革命的理論家と評されている米国ペンシルバニア大学教授Dr.セリブマンを囲むロータリアンの集いを９月24日(水)に開催

田邉委員　　テレビ放送界の現況
閉会の挨拶　　吉川ガバナー・ノミニー

国際ロータリー第2660地区
ガバナーとマスコミとの懇談会報告

地区広報雑誌委員長　　新津　敬直

数年間、途絶えておりましたが、去る８月15日、ロイヤルホテル「ガーデン」で開催しました。

お盆中にもかかわらず、マスコミ在阪11社中８社の報道トップの方々が参加され、ロータリーからは近藤G、吉川GN、中川担当PG、菅生PG、熊沢PG、松岡研究グループ委員長、岡崎交通安全問題特別委員会委員が出席され、近藤ガバナーからはロータリーの意義活動方針を、菅生PGからは米山奨学生及び教育問題特別委員会、熊沢PGからは阪神大震災、震災遺児への７RCの援護状況、松岡委員長より、研究交換グループ、岡崎委員より交通安全問題について、資料を駆使して皆さんに説明があり、ついで質疑応答が活発に行われ、和やかに会が進行し、実のある会合となりました。

文 庫 通 信 (119号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

世界社会奉仕に関する資料

◎「中央アフリカで医療活動 — RI超我の奉仕賞の広島・辻　守康君」
大下　龍介　友：1995・2月　1頁

◎「ネパール農業支援の方法と効果」　小泉　忠男　友：1996・6月　1頁

◎「アルゼンチンへ医療機器補充の支援」　佐藤　眞　友：1996・6月　1頁

◎「ネパールの識字教育」　大城　尚史　友：1997・2月　1頁

◎「人類への奉仕に向かって — ロータリー国際理解賞受賞スピーチ要約」
緒方　貞子　友：1996・9月　3頁

◎「日系比国青少年育英会バギオ基金より」松原　治　友：1996・12月　2頁
［上記申込先　ロータリー文庫（コピー）］

ビデオテープ

◎「『バギオ基金』のご案内」　バギオ基金　1995年　26分
［上記購入：バギオ基金 TEL(03)3350-4502　借用：ロータリー文庫］

◎「なにか私にできること — シスター・テレジア海野の第二の人生 —」
健全映画鑑賞会　1995年　52分
［上記購入：健全映画鑑賞会 TEL(0425)83-3166　借用：ロータリー文庫］

ロ ー タ リ ー 文 庫

〒105 東京都港区芝公園2-6-3　abc会館7階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後5時　休館＝土・日・祝祭日

1997年7月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	7月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	7月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	5	100.00	1	大阪中之島	55	55	0	0	5	94.48	54
大東中央	32	33	12	1	5	86.00	78	大阪難波	76	76	0	0	5	96.58	41
東大阪	81	81	0	0	5	97.74	27	大阪なにわ	48	48	0	0	5	100.00	5
東大阪東	73	75	0	2	5	97.22	30	大阪南西	71	72	2	1	3	96.11	44
東大阪中	58	59	0	1	3	99.43	13	大阪西	92	92	0	0	3	99.02	17
東大阪西	61	61	0	0	3	95.98	47	大阪大手前	61	62	0	1	4	96.22	42
枚方	61	60	0	−1	5	96.73	39	大阪大淀	81	81	0	0	5	90.67	70
枚方くずは	65	66	0	1	4	99.61	11	大阪咲洲	42	42	3	0	5	88.57	76
茨木	59	62	1	3	5	100.00	2	大阪西北	79	79	0	0	5	97.74	28
茨木東	53	54	3	1	5	97.21	31	大阪西南	114	114	9	0	5	100.00	6
茨木西	42	43	7	1	5	91.16	67	大阪船場	64	67	0	3	3	96.92	37
池田	57	58	0	1	5	87.41	77	大阪心斎橋	80	79	0	−1	4	98.94	18
池田くれは	46	46	0	0	3	90.84	68	大阪城北	64	64	1	0	5	90.42	71
門真	29	30	0	1	5	96.18	43	大阪そねざき	62	65	50	3	5	99.69	10
交野	48	48	0	0	4	94.27	55	大阪住之江	49	49	0	0	3	97.86	26
箕面	37	37	0	0	5	95.31	49	大阪住吉	80	80	5	0	4	94.62	52
箕面中央	51	51	0	0	4	92.50	64	大阪天満橋	122	122	0	0	5	96.00	45
守口	92	92	5	0	5	93.95	58	大阪天王寺	40	40	0	0	4	76.88	80
寝屋川	53	53	0	0	4	93.14	60	大阪東南	66	66	0	0	5	98.48	22
寝屋川東	27	30	0	3	5	98.60	21	大阪鶴見	49	48	0	−1	5	97.07	34
大阪	285	285	0	0	4	84.38	79	大阪梅田	67	67	0	0	5	97.48	29
大阪阿倍野	56	58	3	2	5	94.86	50	大阪梅田東	59	60	0	1	4	98.75	19
大阪ちゃやまち	61	61	0	0	3	89.83	74	大阪うつぼ	73	73	0	0	4	95.64	48
大阪中央	69	69	1	0	5	100.00	3	大阪淀川	75	77	0	2	4	96.00	46
大阪堂島	55	55	0	0	3	93.71	59	千里	75	76	0	1	5	97.07	35
大阪阪南	75	75	0	0	5	99.42	14	摂津	52	52	0	0	4	96.94	36
大阪東	138	140	0	2	5	98.20	23	四条畷	25	26	0	1	5	90.13	72
大阪東淀	63	63	4	0	3	90.84	69	吹田	82	83	4	1	5	99.52	12
大阪平野	55	55	0	0	5	100.00	4	吹田江坂	55	55	2	0	5	100.00	7
大阪本町	62	62	0	0	5	92.78	63	吹田西	65	65	0	0	3	100.00	8
大阪イブニング	42	42	1	0	5	91.66	66	高槻	67	68	0	1	5	96.79	38
大阪城	17	17	0	0	5	92.94	62	高槻東	55	55	0	0	4	97.15	32
大阪城南	83	83	0	0	4	99.10	15	高槻西	44	44	0	0	5	98.18	24
大阪城東	64	65	0	1	4	99.07	16	豊中	74	77	0	3	5	96.68	40
大阪柏原	50	51	3	1	5	94.71	51	豊中南	59	58	0	−1	5	100.00	9
大阪北	190	193	0	3	5	92.40	65	豊中大阪国際空港	49	49	0	0	4	94.57	53
大阪北梅田	64	64	0	0	3	94.05	56	豊中千里	46	46	3	0	5	90.00	73
大阪北淀	48	52	0	4	4	98.06	25	八尾	83	83	0	0	5	98.68	20
大阪御堂筋	78	78	0	0	5	97.14	33	八尾中央	41	42	0	1	5	94.00	57
大阪南	188	189	0	1	5	93.10	61	八尾東	58	58	4	0	4	89.60	15
大阪みなと	36	38	2	2	5	88.67	75								
								クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
								81	5472	5518	125	46		95.3	

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1997)

※徳永昭夫	(2回目)	池田RC
奥野喜好		寝屋川RC
足立陽一		大阪中央RC
鳥居鋭徳		大阪中央RC
立川隆蔵		大阪北淀RC
津田博		大阪南RC
樫畑寛治		大阪難波RC
辻井用一		大阪南西RC
樋口正大		大阪大淀RC
平野茂夫		大阪大淀RC
岩本潤三		大阪大淀RC
富永正蔵		大阪大淀RC
矢野厳		大阪大淀RC
上堀博三		大阪城北RC
※三好三郎丸	(3回目)	大阪天満橋RC

※印＝2回目以上

米山功労法人

次の会社に米山功労法人の称号が贈られました。(1997)

西谷商事㈱　大阪東RC

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1997)

茨木壽男	大阪中央RC
小林惇三	大阪中央RC
森勝紀	大阪中央RC
赤堀精一	大阪東淀RC
望月亮	大阪東淀RC
大津久直	大阪東淀RC
杉本憲治	大阪中之島RC
木村利雄	大阪大淀RC
松尾忠治	大阪大淀RC
島伸彦	大阪大淀RC
杉村章二	大阪大淀RC

訃報（地区外）

湯浅恭三君（東京RC）

平成9年8月3日逝去（享年98歳）
1962−63年度　第2580地区ガバナー
1971−72年度　国際ロータリー理事
1972−73年度　国際ロータリー副会長
㈶ロータリー米山記念奨学会名誉理事長

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

訃報

西田恵吉君（大阪北淀RC）

平成9年7月25日逝去（享年59歳）
1938年（昭和13年）3月31日生まれ
1985年（昭和60年）5月8日入会
チャーターメンバー
1987−88年度　会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

三好誠一君（高槻RC）

平成9年8月5日逝去（享年74歳）
1965年（昭和40年）1月入会
1971−72年度　幹事
1973−74年度　地区幹事
（田宮　佐ガバナー時代）
1979−80年度　会長

西井二郎君（大阪天満橋RC）

平成9年8月8日逝去（享年80歳）
1918年（大正7年）7月29日生まれ
1971年（昭和46年）3月1日入会
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

中西一郎君（大阪中央RC）

平成9年8月13日逝去（享年70歳）
1988年（昭和63年）7月入会
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山ファンドフェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

例会の中途退出は止めましょう！

月信に関するお問い合せ等について

○あらかじめ〔問い合せ先〕を付記してある記事や案内文等については、直接そちらへおねがいいたします。
○それ以外のお問い合せ、お申し入れならびに配送に関することなどは、下記のガバナー事務所宛にご連絡ください。
なお、ご連絡はFAXにておねがいいたします。

米山記念奨学会、地区内役員・評議員 8月20日の総会にて下記の通り決定

理　事（任期２年）　中野　董夫
（第2660地区担当理事）
監　事（任期２年）　種田　憲次
評議員（任期１年）　近藤　雅臣
吉川　謹司
菅生　浩三
（菅生PGは学務専門委員兼務）

ロータリー財団　1996～97年度 寄付実績暫定報告

2660地区の年次寄付は846,582.37で目標に対して124％、堂々世界第二位、指定寄付は、基金を含む合計寄付では第４位となりました。
因みに第一位は、共に2650地区でした。
地区内各クラブの皆様、中川直前ガバナーを始め、地区関係者の皆様に心より敬意を表します。

ガバナー事務所だより

災害による援助を求めています。
1．インド　洪水
６月20日～７月２日のGujarat州で起きた大洪水で１億５千万USドル相当の被害
2．チェコ　洪水
共和国の北東部で10億USドル相当の被害
3．ベネズエラ　地震
７月９日に震度6.9の地震発生
4．ポーランド　洪水
南部の大部分が浸水　過去100年以上を通じ東ローロッパ中部での史上最悪の洪水
上記はいずれも、被害地区或いはロータリー財団がクラブに援助を求めております。
希望されますクラブは送金先についてガバナー事務所までお問合せ下さい。

ガバナー月信８月号（No.２）正誤表

下記各表に誤りがございました。おわび申し上げます。尚ご面倒ですが、お手許の訂正方よろしくお願い申し上げます。

▶各クラブ入会金・年会費・ビジターフィー一覧表
P.16　大阪阪南ＲＣ　年会費欄
¥160,000 → ¥320,000
P.17　大阪西ＲＣ　年会費欄
¥260,000 → ¥270,000
〃　大阪西南ＲＣ　ビジターフィー欄
¥ 4,600 → ¥ 4,700
〃　大阪淀川ＲＣ　年会費欄
¥250,000 → ¥280,000

▶各クラブ創立日・認証日一覧表
P.19　大阪天満橋ＲＣ　創立記念周年欄
30周年書き加え
〃　吹　田ＲＣ　〃
40周年 → 削除

編　集　後　記

◇　預かった原稿に忠実に、したがって削除や書きあらためなどをできるだけしない方針で臨んでいる。
◇　それにしても、原稿集め、ゲラ校正、印刷本番どれをとっても、お盆休みをはさんで苦労の多い月であった。
◇　執筆の皆様やガバナー事務所の皆様には大変ご協力いただきました。感謝いたします。
（新　原）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ
ガバナー　近藤　雅臣
地区代表幹事　井上　暎夫
地区代表幹事補佐　西田　泰晤
地区幹事　藤満　宣夫
事務局員　井上　綾
〃　小林久美枝
〃　福原　香織

■所在地・電話・ファックス
〒522 大阪市港区弁天１－２－１オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間
月～金曜日　午前10時～午後５時
休　日　土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始　12月29日～１月２日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

10月

OCT.1 1997 No.4

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 近藤雅臣

地区内の風物：南港暮色　坂口　健会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

職業奉仕月間、米山月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　近藤雅臣

公式訪問もようやく半数のクラブを終えることができました。訪問させて頂いたクラブの会長様、幹事様はじめすべての会員の皆様の今年度にかける活力に感動し、明日への喜びと意欲を感じさせて頂きました。厚く御礼申し上げます。さて、今月は職業奉仕、米山月間であります。まず、職業奉仕についてでありますが、その基本はやはり自らの職業における倫理観を高めるということでありましょう。昨今特にロータリアンとして改めて自覚しなくてはならない問題であるといえます。そして、自らの専門職を通じて身近なところから奉仕活動を実践することでしょう。ロータリアンの奉仕活動はやはりI serveから始まると思います。自分の周りを目を凝らして見れば、救い、助けを求めている人を見つけることができますし、また、求めてくる人もいるはずです。まずその人達に愛の手を差し伸べましょう。そして、それがクラブレベルの奉仕にまで発展すれば素晴らしいことと思います。すでに実現されているクラブもあり喜ばしいことであります。

米山奨学金制度に関しては、わが国独自の大変重要な国際奉仕活動であります。アメリカのガリオア、フルブライト奨学生制度が如何に日本の発展のために役立ち、良好な日米関係の形成につながったかを思い出しますと、米山制度の充実と発展が如何に大切かがよく判ると思います。そのためには今の制度が果たして本当に役立っているかどうか、改良するべき点はないかどうかを見直す時期にきているように思えます。奨学生の選抜方法（現地での選抜方法を含め）などについての検討が財団定款範囲内で必要かと思われます。これらの点について今後地区委員会でも考えて頂けるものと思っています。

職業奉仕月間に際して

パスト・ガバナー　　中野　董夫

今年度の近藤ガバナーは『ロータリー精神の原点に立ち戻り、ロータリー活動を見直そう』と呼びかけておられます。そして『ロータリーの原点は“愛”であり、ロータリーは愛にはじまって愛に終わる奉仕の理想を追求する個々のロータリアンの結合体である』と申されています。これらのガバナーのお考えを私なりに解釈して職業奉仕に当てはめてみようと思います。

ガバナーが示されたロータリーの原点は心の原点でありますが、歴史的原点に立ち戻りますと職業奉仕は、初めから約80年間は主としてロータリアン個人の責務とされていました。それが10年前の1987年のRI理事会が、職業奉仕をクラブと会員個人の共に負う責務としました。ロータリ・クラブの責務とされたものは職業指導、職業奉仕活動、ロータリー・ボランティアなどですが、これらは形のあるものですから比較的考えやすく、クラブ職業奉仕委員会にお任せしておけば良いわけです。

ところで、職業奉仕は難しいという声を良く聞くことがありますがそれはどうゆうわけ

でしょうか。それは個人の責務とされている職業奉仕についてであると思いますが、ロータリー・クラブの憲法であるクラブ定款によりますと、その第３条の四大奉仕について書いた綱領（すなわち目的）の第２項に職業奉仕が規定されています。それはほかの項目に比べて大変抽象的で目に見える形にはなりにくいものです。ロータリーの綱領は皆さんがお持ちのロータリー手帳の表紙を開いた右側のページに書いてありますので取り出してみて下さい。その抽象性のために難しく思われる方がおられるのだと思います。しかし、クラブ定款の第５条を見ますとそこに会員身分について詳しく書かれてあり、その第１節の全般的資格条件に「本クラブは、善良な成人であって、職業上良い世評を受けている者によって構成されるものとする。」と書かれています。したがって、職業奉仕をしている方々がロータリアンになっておられるわけです。その世評を持ち続けておられれば職業奉仕をしていることになるのですから難しく考えなくてもよいことになります。

それにもかかわらず職業奉仕が強調されるのは、ロータリー・クラブへ入会した時の初心を忘れないためです。事業に携わるロータリアンの指針として四つのテストが、ロータリー手帳の表紙を開いた左側のページに書かれています。ただし日本語訳は、調子を良くするためだと思いますが不十分で、２項と４項の「みんな」は「利害関係のあるみんな」とした方が良いと思います。

私が此処で申したいことは、本来の職業奉仕はロータリアン個人のものであり、それはガバナーの申されているロータリーの原点である“愛”であるということです。

米山月間に寄せる

米山奨学部門担当
パスト・ガバナー　　菅生　浩三（大阪北）

わが国最大の民間奨学財団として米山記念奨学会がアジアからの留学生を中心に果して来た支援活動は、世界的に極めて高い評価を受けており、日本のロータリーが世界に誇る国際貢献の一つである。私どもは、今後共この貴重な奨学会活動を継続し、さらにその充実と発展に努めて行かなければならない。

ところで、人間社会の国際化を支える教育自体の国際化は、私どもが均しく取組むべき基本的な作業であり課題である。その場合、科学技術の学習の国際化は人類共通の思惟を前提とする関係から比較的容易であるのに比して、人文や精神文化の相互理解と移転は民族の個性を前提とする関係上比較的困難であることに、十分な配慮が必要であろう。さらに、本来米山記念奨学会は、米山梅吉翁の東アジアからの留学生を支援する志向と実績を記念して発足したものであったために、その事業もその目的に沿う内容のものとして企画され実施されて今日にいたっているが、国際情勢が大きく変化した今日、その目的と内容は大きな変容が予定され、教育の国際化に向けてのわが国ロータリーの国際奉仕活動の一環としての位置付けに、あらためて検討を加えなければならない。このような観点から、現今の米山記念奨学会は、次のような幾多の課題を負っているものと思われる。

先ず、奨学生に提供しているわが国の教育の質自体の問題である。欧米の物質文明に追い付くことを当面の目的とした明治教育は、科学技術を中心とした欧米の知識教育の習得に偏向し、わが国固有の人文や精神文化との脈絡を欠落したまま推移し、終戦を折返し点とする各半世紀宛を経過してその間数々の異常な社会事象の生起をみても、何ら根本的な解決がはかられることもなく、問題の認識すら指摘されていない現況にある。このような見地から、奨学生の教育の内容と環境に不備不整が認められるときは、その速やかな是正と補完のために、適切な措置が講じられねばならない。

次に、教育の国際化のために真に必要な課題は、科学技術を中心とする知識の学習と移転もさることながら、むしろ留学生の母国とわが国それぞれの人文や精神文化の相互理解と移転にあるのであるから、これに必要な手法と機会が奨学生に適切に提供されねばならない。

さらに、支援のあり方も、経済的支援以外に、各種情報の提供など種々の手法が考えられるし、奨学生個人に対する経済的支援だけでなく、外国の大学における講座の開設と教員の派遣とか、発展途上国における各種教育施設の提供や人材の派遣など、多様で柔軟な手法が検討されるべきではないかと思われる。

均衡のとれた国際化のために、奨学生の選抜の範囲が韓国や中国台湾に偏することなく、広く世界の各地から採用するよう努めるべきであるとか、非常な困難はあるが、奨学生募集の範囲を在日学生に限定することなく、現地募集に努めるべきであることは、いうまでもない。

いずれにせよ、社会の国際化は、現今の人間社会が抱える最大最終の課題であり、ロータリーが目指す真の国際理解と平和も、これによってのみ実現されるものと思われる。従って、その基礎作業である教育の国際化は、ロータリーにとっても最重要課題の一つであろう。私どもが米山記念奨学会活動の意義を再認識し、その新しい発展と充実のために注力すべきであると考える所以である。

教育問題二題

RI識字及び計算能力向上
タスクフォース・ゾーン3コーディネーター
地区特別奉仕部門教育問題特別委員会担当
パスト・ガバナー　菅生　浩三

当面のロータリーの教育関係の活動を、RIレベル及び地区レベルで各1つ宛について述べてみたい。前者はいわば発展途上国における教育の質と量の絶対的不足に起因する問題である。後者は先進国における教育の質の不整と量の過剰に起因する問題である。いずれも、人間社会にとって深刻かつ不幸な事象であり問題であるといいながら、その原因と結果においては極端な対照を示している。私どもにとって、今後この2つの問題を、教育という人間と社会を形成する活動としての原点から、統一的に理解し把握する途を模索する努力が、避けて通れないのではないかと思われる。

1．識字率及び計算能力（Literacy and Numeracy）向上プログラム関係（RIレベル）

Glen W. Kinross会長は、就任にあたり、1997－98年度のRIテーマとして「ロータリーの心を　―あなたの住むところ　私たちの世界　そこに住むすべての人々に」を掲げられるにあたり、栄養不良、早産、精神障害、重篤な疾病、死亡、幼児虐待、子供の重労働、ストリート・チルドレン、捨児、家庭破壊、犯罪、民族紛争、戦争その他この世におけるさまざまな悪の根源である貧困と飢餓との闘いを開始しようと呼びかけられた。そして、地域社会の最も困難な問題であり、国際社会における世界理解と平和にとって重大な障害となっている貧困と飢餓の問題に挑戦し、すべての人々の識字率と計算能力の向上に全力をあげて真剣に取組むように訴えられた。けだし、私どもは、文字と数字の世界に生きているといって過言ではないが、貧困は、教育や学習によって読み書きと計算の能力を身につける機会を奪われた人々を生み出し、これらの非識字者達は、人間の相互理解や平和の心とか豊かな生活の感情を以て生きることはおろか、自立して自らの生計の糧を手に入れる手段すら与えられず、貧困からの脱却は絶望的であるだけでなく、さらに新たな貧困を生み出す。Kinross会長が、世界人口の20％以上が貧困と飢餓に苦しむ人々であり、世界で９億人を超える人々が非識字者であり計算能力を欠く人達であるという現実を直視し、貧困と非識字問題との悪循環を断ち切るために、識字率や計算能力の高低にかかわらず、全世界のロータリアンが一致してその向上の課題に取り組むべきことを、ポリオ・プラスの後を継ぐRIの最も重要なプログラムとして、提唱されている所以である。

RIでは、世界の全ての地域とゾーンと地区を通じ、全てのロータリークラブとロータリアンがこの問題に対する認識を深めて現実の計画に参加することを促すために、タスクフォースを設け、RIの本部にゼネラル・コーディネーターを、全世界の８つの各地域にエリア・コーディネーターを、全世界34の各ゾーンにゾーン・コーディネーターを（一部の複合ゾーンでは、アシスタント・ゾーン・コーディネーターを併せて）任命している。ゼネラル・コーディネーターはこの問題の世界の先導者であるRichard F. Walker（オーストラリア、サリスベリRC）で、わが国のロータリーが属しているアジア地域のエリア・コーディネーターはNoraseth Pathmanad（タイ、バンコクRC）であり、わが国のゾーン・コーディネーターは、重田政信（ゾーン１、高崎北RC)、岡崎全宏（ゾーン２、横浜南)、小生（ゾーン３、大阪北)、須之内淳二（ゾーン４、アシスタント、松山西）の４名である。

過般７月18日から20日までの間、タイのバンコクにおいて、エリア・コーディネーター主催の下にアジア地域のゾーン・コーディネーターのワークショップが開催され、わが国のゾーンからは小生が出席したが、周知のとおり、タイでは1987－91年にわたってタイのロータリアンがオーストラリアのロータリアンの支援の下に「灯台戦略」“Lighthouse Strategy”という識字率向上の３Ｈプログラムを実施して非常な成功をおさめ、その結果このプログラムは政府の手によって全国の小学校に公式に適用されて現在にいたっている実績がある。識字率及び計算能力向上の手法としては、家族の識字率向上、児童の早期教育、小学校教育の改善、成人、女性、職場などの

各教育における識字教育や、ストリート・チルドレンの問題があり、このうち小学校教育の改善問題については、その義務教育化や就学率の向上のほか、「CLEの手法」“Concentrated Language Encounter Techniques”がある。このCLEの手法は、1つの問題を集中的に討論して、子供の心の内面から興味と関心を掘り起す手法で、総花式に広く浅く外面から教え込んで行く管理教育の手法とは対照的であり、一旦就学した児童は卒業後も非識字者に戻らないし、未就学ないしは不定就学の児童を小学校に確定的に吸引する大きな力がある。今回のワークショップでは、初等教育のCLEプロジェクト（タイプA）、成人の識字教育プロジェクト（タイプB）、ストリート・チルドレンのプロジェクト（タイプC）を試験的に取り上げることとし、ゾーン5（北インド、パキスタン、ネパール）、ゾーン6（南インド、スリランカ、タイ、バングラデシュ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ブルネイ）、ゾーン7（北西オーストラリア、パプアニューギニア、フィリピン）の各ゾーンから、9月末日を目途にそれぞれの試験的プロジェクトをエリア・コーディネーターに提出し、ゾーン1から4までは、世界社会奉仕World Comunity Service、ロータリー財団の3Hプログラム、同学補助金Matched Grantsなどによる支援を行う準備を検討することとして、意見の集約が行われた。

さらに、RIでは、7月度の理事会で、(1)識字率及び計算能力向上のプロジェクトを2005年まで継続拡大する。(2)識字能力向上のライトハウス計画（灯台戦略）を、1998年のアナハイムとインディアナポリスの国際協議会と国際研究会の問題に取上げる。(3)7月を識字向上月間とする。(4)各ロータリー・クラブと各地区とが政府期間などを活用して目的を効果的に遂行するよう激励する。などの諸点を決定した。

そこでわが国のゾーン・コーディネーターとしては、このようなRIの方針を体し、去る8月31日にガバナー会正副議長との懇談の機会を持ち、わが国の全ゾーン及び全地区並びに全ロータリー・クラブに、ゾーン5、6、7からの具体的な計画の連絡があり次第、ゾーン単位又は地区単位など相当規模で、世界社会奉仕や同額補助金などの手法による支援計画を立案遂行できる態勢を立てていただくよう協力方を要請した。当地区の各クラブにおかれても、積極的な検討を賜わるよう、お願いする次第である。

2．教育問題特別委員会関係（地区レベル）

近年わが国社会を揺るがしている異常な社会事象の続発は、明治以来の教育のあり方の不備不整ないしは欠陥がその根本原因である。過般来の臨教審、中教審の意見や、これらを基本とする文部省主導の教育改革は、無用どころか却って有害であって、真の教育改革に必要な根本的で正しい提言を早急に行う必要があるとの観点を以て、前年度後半からの準備期間を経て、本年度当初から、地区の特別奉仕部門に、教育問題特別委員会が設置された。その構成は、委員長松岡博（大阪RC）、副委員長山本研二郎（大阪阪南RC）の両氏ほか、地区内の幼稚園、小、中、高校、大学、大学院、高専、専修、特殊学校などの国公私立の学校教育、幼児教育、家庭教育、職場教育、生涯学習を含む社会教育、登校拒否問題などの関係ロータリアン15名の委員である。また、その活動計画は、(1)学校教育、幼児教育、家庭教育、社会教育など教育一般のわが国における現状について、可及的に的確な共通の認識を形成する。(2)わが国の教育

が帯有する問題点ないし欠陥を把握し、その原因を解析する。(3)教育活動の現状の認識を世界的視野において形成し、社会形成活動としての教育活動のあるべき姿を審究するとともに、これとわが国教育との関連のあり方について、歴史的、地域的その他の人文的諸要素を十分に加味しつつ、徹底した考察を行う。(4)わが国教育の欠陥の解消その他問題点の解決のための対策を考究し、その実現のために必要で効果的な提言を行う。との４点にあり、すでに活発な活動を開始している。

周知のとおり、明治初年以来のわが国の教育は、欧米先進社会からの遅れを早急に取戻すことを当面の目的としたために、社会の外面的な整備と物質文明の充実に必要な欧米流の科学と技術を中心とする知識の修得に偏向したものとなった。その結果、わが国固有の精神文化なり人文なりの非知識分野にかかる教育は、知識分野の教育との脈絡を断たれ、遂には教育の世界から忘れ去られたものとなった。戦前は皇国史観の存在が、戦後は人間教育を思想教育と速断したアレルギーの存在が、これらの跛行的現象を決定的なものとした。欧米流の知識の修得を以て豊かな人間性の涵養の完成とする後進的錯覚が、いわゆる知識人の間に汎く瀰漫していたことや、欧米流の知識教育に伴うべき人間教育への配慮が、欧米人に対する場合と非欧米人に対する場合とで本質的に相違する点が安易に看過されていたことも、その一因に加えるべきであろう。しかも、真の人文と人間の心への指向の欠落の弊は、深刻な敗戦の体験によっても殆ど是正されることなく経過し、戦後における企業などの社会集団の効率本位の体質や家庭その他の生活集団の個人的分化の進行などとの悪循環によって、さらに悪化の一途を辿り、ただに社会病理の根本原因たるにとどまらず、民族としての精神的基盤の欠落さえ招き兼ねない状況にあるだけでなく、抜本的な改善の展望は、殆ど期待できない現状にある。

ところで、知識は外面からの管理教育によっても伝達は可能であるが、人間性ないしは人間の心といった非知識分野は、被教育者自身の内面からの自主的な努力を基本とする非管理的手法によらなければ、到底その涵養が不可能である。この点において、明治以来の従前教育を改革するとして文部省、中教審、臨教審などが発表している意見や実施している手法は、結局において知識分野に対すると同様の外部からの管理教育の手法をそのまま非知識分野に適用しようとする域を出てないもので、その妥当性の根本において重大な疑問があり、近時わが国社会を揺るがしている異常な犯罪行為や反社会的行為の続出などの事態や、管理教育の面からの改革が論ぜられる都度却って教育の現場の質が悪化する等の事態も、このような従前の管理教育の安易な継続が齎らした当然の同質的帰結とも考えるべきであろう。

しかも、以上のことは、欧米の教育に本来的に内在する根本的な問題であって、そのような教育が世界の各地域に浸透して行くに伴って国際社会共通の問題として拡散しつつある。人間性と知識とを豊かに兼ね備えた人間を育成しうる教育の手法の案出は、知能という両刃の剣を備えた生物である人間にとって筆舌を絶ずる難問であろうが、私どもは、よりよい豊かな人間らしい将来社会の形成を目指して、現状の根本的な改善をはかるために、渾身の努力を注ぐことが必要であろうと考える。私どもが、地区に特別委員会を設けて注力する所以である。

I. M. 第４組報告書

ホストクラブ　東大阪西ロータリークラブ
I. M. 委員長　　島田　直弥（東大阪西RC）

日　　時 ： 1997年８月23日(土)
場　　所 ： 大阪国際交流センター　大ホール
ホ　ス　ト ： 東大阪西ロータリークラブ
参加クラブ ： 八尾・大阪柏原・八尾東・八尾中央・東大阪・東大阪東・東大阪中央・東大阪西　　計８ロータリークラブ
登録者数 ： 507名
出席者数 ： 305名
地区外ビジター ：　３名

テーマ「ロータリー財団・米山奨学会の認識をたかめよう」
―― ロータリアン　ひとりひとりが　サポーター ――

上記のテーマのもと、第2660地区第４組のIMを開催致しました。

指名を受けてより約11ヶ月、武尾ゼネラルリーダーのご指導の下、今の時代に何を指標にしてIMを開催するかと種々検討の結果、ロータリー財団創立80周年・米山記念奨学会財団法人設立30周年に当たることでもあり、我国が国際化の波に洗われている現今、国際的地位の向上に資する所の大きい両組織の再認識が大切と結論し、取り上げました。又、当日は両奨学生を呼び、生の声を聞き、音と映像によって両制度の重要性を認識していただくよう考えました。

又当日は、近藤ガバナーを始め吉川ガバナーノミニー、伊瀬、種田、戸田パスト・ガバナー及び多数の会員の御参加を得て、楽しく終わる事が出来厚く御礼申し上げます。

その後の懇親会にもバグパイプ奏者の演奏等も取り入れ、楽しくかつ有意義に閉会する事が出来ました。

I. M. 実行委員長　島田　直弥

「ダメ。ゼッタイ。」
国連支援募金運動の結果について（報告）

地区社会奉仕委員会
委員長　矢橋　弘嗣

平素から社会奉仕活動にご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「国連麻薬乱用撲滅の10年」（1991年～2000年）の支援事業の一環として全国的に繰り広げられている「国連支援募金運動」につきまして、各クラブの皆様方に多大のご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

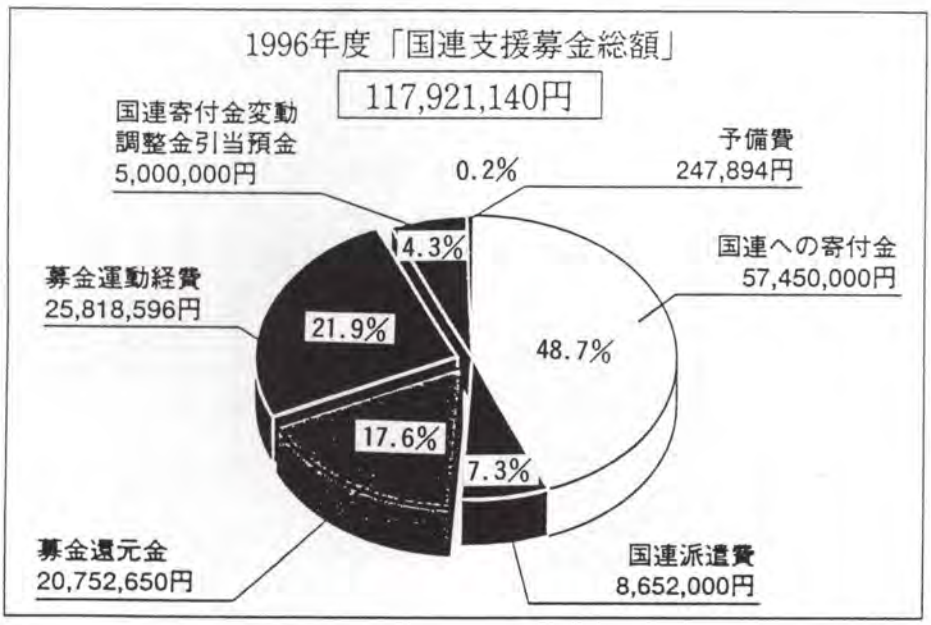
平成８年度の実施結果について、㈶麻薬・覚せい剤乱用防止センターが取りまとめたものをご報告いたします。

記

全国から寄せられた募金総額	117,921,140円
（内）全国ロータリークラブ	15,550,680円
大阪　59クラブ	2,267,359円
（2660地区 46クラブ　2640地区 13クラブ）	

国連への寄付金　50万米ドル

国連への寄付金は民間国連ヤング大使の手で国連に届けられ、薬物乱用防止啓発活動支援発展途上国NGOの助成金としてラテンアメリカ及びカリブ諸国、アフリカ、アジア環太平洋、東ヨーロッパの諸国で活動するNGOに配分されます。



1997－98年度ロータリー財団国際親善奨学生　カウンセラー一覧表

	出身国	受入先	留学期間	ホストクラブ	カウンセラー	カウンセラー住所	電話	FAX
ジャパンプログラム国際親善奨学生								
SMITA SINHA	インド	大阪YMCA	1年	大阪東	杉浦　嘉功	杉浦内科 大阪市北区天満橋1－8－30OAPタワーズ12F 吹田市江坂町2－20－49	06-351-1600 06-384-2167	06-351-1600
一学年度国際親善奨学生								
ALEXEI ALEXANDROVICH VASSILIEV	ロシア	関西大学	1年	守口	熊澤　忠躬	関西医科大学 守口市分園町10-15 枚方市楠葉美咲3－2－13	06-992-1001 0720-55-3535	0720-55-3535
TRIIN MARTSON	エストニア	関西大学	1年	吹田西	平野　富義	エフビーオートメ㈱ 吹田市広芝町12-14 茨木市山手台7－16－4	06-386-7751 0726-49-4508	06-384-6531 0726-49-4508
文化研修国際親善奨学生								
ANDREA LOUISE SWINBURNE-JONES	オーストラリア	大阪YWCA	3ヶ月	大阪城東	北村　譲	㈱アークエース 守口市寺方本通1－8－3 豊中市東豊中町1－29－22	06-993-0841 06-854-1017	06-854-1049
FRANCESCA NITTI	イタリア	大阪YWCA	6ヶ月	大阪北	笹岡　正治	笹岡薬品㈱ 大阪市中央区南本町1－7－15明治生命堺筋本町ビル8F 芦屋市奥池南町24-30	06-266-1230 0797-34-3456	06-266-1708 0797-34-3456
ELIZABETH ANNE RICHARDSON	オーストラリア	大阪YWCA	3ヶ月	大阪城北	加納　晴彦	加納歯科医院 大阪市北区芝田1－1－4阪急ターミナルビル9F 宝塚市仁川高丸3－18－2	06-373-6794 0798-52-3911	06-373-4953
CAROLYN ANNE MANWARING	オーストラリア	大阪YWCA	6ヵ月	大阪そねざき	野村　浩司	野村海外旅行㈱ 大阪市西区西本町2－14岡島ビル6F 高槻市南平台1－20－8	06-543-1251 0726-93-0457	06-543-1296
LAURIE CHEOUX	フランス	大阪YWCA	6ヶ月	大阪鶴見	佐藤　俊一	サトウ歯科医院 大阪市鶴見区放出東3－6－9 大阪市鶴見区放出東3－6－9	06-961-2940 06-962-5019	06-961-2940
HEUNG-YU LINDA TSUI	香港	大阪YWCA	3ヶ月	大阪	小谷　年司	栄光時計㈱ 大阪市中央区博労町3－3－1 大阪市阿倍野区北畠3-14-37北畠マンション	06-251-3968 06-652-3754	06-245-8118 06-652-3754

1997年8月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	8月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	8月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	3	100.00	1	大阪中之島	55	55	0	0	1	95.15	51
大東中央	32	34	12	2	3	73.50	81	大阪難波	75	75	0	0	3	96.87	35
東大阪	81	81	0	0	3	98.41	24	大阪なにわ	48	48	0	0	3	100.00	4
東大阪東	73	75	0	2	3	95.00	53	大阪南西	71	75	3	4	3	96.71	36
東大阪中央	58	57	0	−1	4	96.61	39	大阪西	92	92	0	0	3	98.55	21
東大阪西	61	61	0	0	4	93.59	58	大阪大手前	61	63	0	2	4	96.67	38
枚方	61	61	0	0	3	95.08	52	大阪大淀	81	81	0	0	3	96.23	43
枚方くずは	65	66	0	1	4	97.62	30	大阪咲洲	42	42	3	0	3	81.74	80
茨木	59	60	1	1	3	99.26	14	大阪西北	79	80	0	1	1	97.74	29
茨木東	53	54	3	1	3	96.12	44	大阪西南	114	114	9	0	3	100.00	5
茨木西	42	43	7	1	3	99.22	15	大阪船場	64	67	0	3	4	95.77	48
池田	57	59	0	2	3	87.39	76	大阪心斎橋	80	80	0	0	4	96.48	40
池田くれは	46	46	0	0	4	84.33	79	大阪城北	64	66	1	2	3	88.00	75
門真	29	30	1	1	3	84.62	78	大阪そねざき	62	66	50	4	3	100.00	6
交野	48	48	0	0	4	92.71	64	大阪住之江	49	49	0	0	4	97.88	27
箕面	37	40	0	3	3	96.99	34	大阪住吉	80	79	5	−1	4	92.81	63
箕面中央	51	51	0	0	4	92.50	65	大阪天満橋	122	121	0	−1	3	94.00	56
守口	91	93	5	2	3	93.43	59	大阪天王寺	40	40	0	0	4	92.50	66
寝屋川	53	53	0	0	4	97.00	33	大阪東南	66	66	0	0	3	98.48	22
寝屋川東	27	30	0	3	3	93.30	60	大阪鶴見	49	48	0	−1	3	94.26	55
大阪	285	284	0	−1	4	85.21	77	大阪梅田	67	67	0	0	3	95.25	50
大阪阿倍野	56	58	3	2	3	89.88	73	大阪梅田東	59	60	0	1	4	98.75	19
大阪ちゃやまち	61	61	0	0	4	91.85	68	大阪うつぼ	73	77	0	4	4	96.25	42
大阪中央	69	70	1	1	3	100.00	2	大阪淀川	75	77	0	2	4	97.85	28
大阪堂島	55	55	0	0	3	98.14	25	千里	75	76	0	1	3	97.37	31
大阪阪南	75	75	0	0	4	99.63	10	摂津	52	52	0	0	4	98.47	23
大阪東	138	140	0	2	3	97.25	32	四条畷	25	26	0	1	3	89.44	74
大阪東淀	63	64	4	1	3	98.03	26	吹田	82	83	4	1	3	100.00	7
大阪平野	55	56	0	1	3	100.00	3	吹田江坂	55	54	2	−1	3	98.76	18
大阪本町	62	62	0	0	3	93.79	57	吹田西	65	64	0	−1	3	98.90	16
大阪イブニング	42	42	1	0	3	91.60	71	高槻	67	69	0	2	3	100.00	8
大阪城	17	17	0	0	3	96.08	46	高槻東	55	55	0	0	4	99.50	12
大阪城南	83	83	0	0	4	98.80	17	高槻西	44	44	0	0	3	100.00	9
大阪城東	64	66	0	2	4	99.54	11	豊中	74	77	0	3	3	94.34	54
大阪柏原	50	51	3	1	3	96.37	41	豊中南	59	59	0	0	4	99.28	13
大阪北	190	193	0	3	3	92.82	62	豊中大阪国際空港	49	50	0	1	4	91.72	69
大阪北梅田	64	64	0	0	3	96.69	37	豊中千里	46	47	3	1	3	93.00	61
大阪北淀	48	51	0	3	3	95.37	49	八尾	83	85	0	2	4	98.68	20
大阪御堂筋	78	78	0	0	3	96.10	45	八尾中央	41	42	0	1	3	95.83	47
大阪南	188	189	0	1	3	91.47	72	八尾東	58	59	4	1	4	91.70	70
大阪みなと	36	38	2	2	3	92.48	67								
								クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
								81	5470	5538	127	68		95.2	

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1997)

村井正直	枚方くずはRC	6・30
妹尾美知子	〃 RC	〃
吉留一夫	〃 RC	〃
谷本治子	〃 RC	〃
松本晋平	〃 RC	〃
戸田和孝	八尾RC	〃
中島紀子	〃 RC	〃
居相美佐子	〃 RC	〃
加藤優利恵	〃 RC	〃
大隅清明	門真RC	7・7
※佐野静夫	大阪南西RC	7・9
福元依子	大阪中央RC	〃
柴谷恭子	〃 RC	〃
藤田桂子	〃 RC	〃
笹木美奈子	〃 RC	〃
足立八重子	〃 RC	〃
横山悦子	〃 RC	〃
岡育子	〃 RC	〃
松浦洋子	〃 RC	〃
金森順次郎	大阪RC	7・14
※亀井孝夫	大阪東淀RC	〃
小橋賢二	〃 RC	〃
小山幸春	〃 RC	〃
望月亮	〃 RC	〃
※坂本旭	〃 RC	〃
田村弘	大阪阪南RC	7・17
※茨木壽夫	大阪中央RC	7・18
※田中久雄	〃 RC	〃
北尾郁二	〃 RC	〃
益田照夫	〃 RC	〃
隅谷幸子	大阪柏原RC	7・19
竹田澄子	〃 RC	〃
戸島晴子	〃 RC	〃
高井良子	〃 RC	〃
大西妙子	〃 RC	〃
伊山喜二	〃 RC	〃
山本幸子	〃 RC	〃
原栄子	〃 RC	〃
天野登世子	〃 RC	〃
岸克恵	〃 RC	〃
辰巳千鶴子	〃 RC	〃
吉村美代子	〃 RC	〃
植田幸子	〃 RC	〃
山本寿賀子	〃 RC	〃
山本耕造	〃 RC	〃
中島美代子	〃 RC	〃
中島一三	〃 RC	〃
山本直美	〃 RC	〃
早川敏子	〃 RC	〃
林知世子	〃 RC	〃
岩崎春江	大阪柏原RC	7・19
髙萩秀子	〃 RC	〃
宮川洋子	〃 RC	〃
関口千代子	〃 RC	〃
山本佳正	〃 RC	〃
中田幸恵	大阪南RC	〃
中田寧子	〃 RC	〃
松井喜久子	〃 RC	〃
堀口富士子	〃 RC	〃
望田悦子	摂津RC	〃
大関百合子	高槻RC	〃
藤川隆治	池田RC	〃
松本弘	〃 RC	〃
松本武夫	〃 RC	〃
中村勝彦	豊中RC	7・22
※西山敏之	〃 RC	〃
※橋本佳明	大阪大淀RC	〃
木村勝彦	〃 RC	〃
森薫夫	〃 RC	〃
中村暢秀	〃 RC	9・22
※岡本政和	〃 RC	〃
阿部武	大阪中之島RC	9・23
※杉浦嘉功	大阪東RC	〃

ベネファクター

岩崎旭人	東大阪西RC	7・18
井上明	大阪中之島RC	7・23

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1997)

※岩崎旭人	(2回目)	東大阪西RC
岡野文雄		大阪阿倍野RC
高尾哲人		大阪阿倍野RC
小坂勉		摂津RC
青木郁二		吹田西RC
平野善次		吹田西RC
大関道麿		高槻RC
園田昭治		高槻RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1997)

近藤勲	大阪阪南RC
奥剛典	大阪阪南RC
山本研二郎	大阪阪南RC
西川保	摂津RC
上田幸資	摂津RC

ガバナー事務所より

援助を求めています　ウクライナの地崩れ

6月6日の地崩れにより、2,500人以上の人々が家を失い、米貨2億ドルの被害が予測されています。

資金、物資の援助をしていただけるクラブは、ガバナー事務所までおしらせ下さい。

文　庫　通　信　(120号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最新資料の中から

◎「標準職業分類一覧表　1997年版」　D.2600　1997年　88頁
［申込先　D.2600　TEL(0263)36-8190］

◎「職業分類基準表　1997年」　D.2680　1997年　66頁
［申込先　D.2680　TEL(0795)65-9222］

◎「職業奉仕事例集」　D.2680　1997年　68頁
［申込先　D.2680　TEL(0795)65-9222］

◎「職業奉仕セミナー報告書－新会員教育セミナー報告書」　D.2680　1997年　56頁
［申込先　D.2680　TEL(0795)65-9222］

◎「先達に学ぶ－職業奉仕とその周辺」　D.2780　1997年　48頁
［申込先　D.2780　TEL(0463)91-2780］

◎「ロータリーと新世代への奉仕」　鳴海淳郎　1996年　11頁
［申込先　鳴海クリニック　FAX(0977)26-4085］

◎「きずな－家族週間エッセイ集－」　D.2770　1997年　43頁
［申込先　D.2770　TEL(048)648-7575］

◎「ロータリー情報集」　熊本グリーンR.C.　1997年　281頁
［申込先　熊本グリーンR.C.　TEL(096)354-4521］

◎「ロータリー理解のための年表　その時松戸は・日本は・世界は・ロータリーは・そしてあなたは？」　稲葉八朗　1997年　65頁
［申込先　松戸R.C.　TEL(0473)66-2266］

◎「米山梅吉翁　人物寫眞集」　米山聰・大川孝昭編　1997年　229頁
［申込先　米山梅吉翁写真集出版会　FAX(0559)87-8844］

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

〒105 東京都港区芝公園2－6－3　abc会館7階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後5時　休館＝土・日・祝祭日

訃　　報

植出明雄君（大阪堂島ＲＣ）
平成９年９月３日逝去（享年63歳）
1933年（昭和８年）12月26日生まれ
1987年（昭和62年）６月15日入会
チャーターメンバー
1995－96年度　会長
マルチプル・ポール・
ハリス　フェロー（２回）
米山ファンドフェロー
米山功労者

小室史郎君（大阪住吉ＲＣ）
平成９年９月12日逝去（享年90歳）
1907年（明治40年）７月18日生まれ
1961年（昭和36年）２月14日入会
チャーターメンバー
1975－76年度　会長
ポール・ハリス　フェロー

子安義彦君（池　　田ＲＣ）
平成９年９月28日逝去（享年69歳）
1971年（昭和46年）11月27日入会
1975－76年度　幹事
1982－83年度　副会長
1987－88年度　会長
ポール・ハリス　フェロー
米山功労者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

おしらせ１

大阪なにわＲＣ
事務局・例会場・ビジターフィー変更
１．事務所移転（1997年６月28日より）
〒556　大阪市浪速区難波中１丁目16－12
グローリー21ビル403号室
TEL　06－632－7281（従来通り）
FAX　06－632－7289（従来通り）
２．例会場移転
〒542　大阪市中央区難波５－１－60
南海サウスタワーホテル大阪
TEL　06－646－1111
７階「花桐の間」にて18:00～
３．ビジターフィー変更（1997年７月より）
現行4,500円 → 4,800円に変更

おしらせ２

大阪梅田ローターアクト・クラブ　例会場等変更
〒530　大阪市北区梅田２－５－25
ハービスPLAZA 6F
ガーデンシティクラブ大阪
TEL　06－343－7770
メーキャップ料
ＲＣ 3,000円　　ＲＡＣ 2,000円
大阪梅田ローターアクト・クラブ
（提唱　大阪梅田ロータリークラブ）
〒530　大阪市北区梅田２丁目５－25
ハービスPLAZA 6F　大阪梅田ＲＣ気付

ガバナー月信９月号（No.３）正誤表

Ｐ.21　交通問題特別委員会担当者会議報告
２行目　地区交通問題特別委員長
→地区交通問題特別委員会委員長
20行目　公演→講演

編集後記

◇　過日、日韓サッカーをＴＶで観た。キックオフ前のセレモニーでの両国国歌斉唱、カメラは非情にも選手ひとり一人の表情をなめていく。
◇　声高らかに唱和する韓国チーム、片やロパクもできず、つぐんだままの日本チーム。
◇　「君が代」是非論はさておき、子供のときから胸をはって誇らしく歌う機会のなかったことが、これを招いたのだろうか。
◇　予選の一幕とはいえ、この試合の結果はご存じの通り。　　（新原 記）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス
〒522 大阪市港区弁天１－２－１オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608
■執務時間
月～金曜日　午前10時～午後５時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始　12月29日～１月２日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

11月

NOV.1 1997 No.5

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 近藤雅臣

地区内の風物：Silent Autumn（御堂筋 秋の風情）坂口　健会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーのメッセージ

ロータリー財団月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　近藤雅臣

今月はロータリー財団月間であります。昨年度における当地区の一般寄付額は世界第二位であり、個人当たりでは第五位という優秀な成績をおさめられました。会員各位の財団活動への深いご理解がこのような結果をもたらしたものと敬意を表しますとともに御礼申し上げる次第です。財団への寄付はいうまでもなくロータリーの掲げる崇高な奉仕の理想を世界的レベルで広めるための活動を支援するためのものであります。皆様から頂くお金がどのようなことに使われ、どのように役立っているかをまずクラブですべての会員に充分に理解して頂くよう努力して下さい。会員の皆様の理解と共感さえ得られればロータリアンである以上は自ら寄金の額は増加するものと思います。本来寄付金は目標額を設定したり、順位を争ったりするものではありません。如何に会員の理解と共感を得られるか、如何に皆様に感動を伝えられるか努力することから始まるものと思います。

どうかこの月を会員の皆様に財団活動への理解を深める月にして頂きたいと思います。財団への深い理解は財団へのそしてロータリー活動への大きな貢献に繋がります。皆様方の御理解を大いに期待しています。

ロータリーの現況を見直しませんか　(1)

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　近藤雅臣

ガバナー訪問をさせて頂くにつれ、多くのことが目につきはじめてきました。また、ガバナーに着任し、今まで気付かなかった問題が多々あり、より良い方向への解決法を見い出す必要が生じました。これらのことを今後機会をみて皆様に訴え、お互いに考えてみたいと思いました。

今回はまず、メーキャップの問題であります。ロータリーは会員の例会出席を義務付けていることは周知のとおりであります。そして、ホームクラブ出席を最大義務とし、どうしても出席不可能なときは他のクラブの例会に出席してこれにかえるようになっています。これをメーキャップと称し、それを行う人をビジターと称しています。したがって、ビジターは他のクラブに「出席」することが必要なのであってカードを貰いに行く

のではないと思いますが如何でしょうか。最近のビジターの態度を見ていますと目を覆いたくなるような光景に出くわします。食事が終り、卓話が始まる直前ひどいときは数十人のビジターが一斉に音を立てて退出します。それもまるで当然の如き態度で例会場を去って行きます。これが果たしてロータリアンでしょうか。本当に一刻を争う程忙しい人は幾人いるのでしょうか。ＩＭにおいてもしかりです。今や一種の習慣のように当り前のことになってしまっていることを恐れています。これがガバナー公式訪問のときもゲストスピーカーのときも同じです。ロータリーは贅沢な食事をしながら団欒する会といわれていても仕方がないのが現実です。もっとひどいのは例会が休会のとき多くのロータリアンが群がりカードを頂いて帰るそうです。何とあさましいことでしょう。うかつにも休会を知らなかった人は別として、それならば堂々とホームクラブを欠席しなさいと伝えたいと思います。例会でもＩＭでもそれを素晴しいものにするために主催者はどれだけロータリーの心を注いでおられることでしょう。ビジターはそれに応える心を例会終了まで在席するという態度で示して欲しいと思います。卓話が面白くないからという人もいます。私はその人に問いたいと思います。それなら貴方はどれだけ面白い話ができるのですかと。ロータリーの例会は友情を温め合うと同時に学ぶ場でもあります。話す人も聞く人も学ぶ態度さえもっておれば何か得るところがあります。

もう一度皆様に問いかけたいと思います。メーキャップとは食事を頂いてカードを貰う、或いは休会を目指してカードを貰うことだけで良いのでしょうか。前述のように早退が習慣的なものになり、残っていようと思ってもつい一緒に出てしまう有様、そして、それがどうにもならないとあきらめているクラブ側のこの雰囲気がロータリー全体に無気力さ、無関心さとなって現われないことを祈っています。

「ロータリー財団月間に因んで」

ロータリー財団担当
パスト・ガバナー　**山中　文和**

①　ロータリー財団の創設について

1917年アトランタの国際大会で「世界的な規模で慈善や教育其他の奉仕分野で何か人類に役立つ事をする為の基金を作ろう」という提案がされ採択された。当初はあまり大きな発展はなかったが、やがてロータリー財団というＲＩのなかではあるが別の事業組織体となり、1947年（昭和22年）ポールハリスが亡くなった時にロータリーの創始者の死を悼み、その功をたたえて全世界から続々と寄付が寄せられ遂に100万ドル以上に達し、ロータリー永年の夢であった奨学生を出す事になり、７ヵ国から選ばれた18人の極めて優秀な学生に大学院課程奨学金が支給された。これが最初の財団の奨学生となった。

その後財団に対する全世界の理解が深まり急激に拡大され、今や民間における世界最大の育英制度となってきた。

因に現在国連で世界平和の為に大活躍されている緒方貞子女史は財団奨学生の第２回目の奨学生である。

②　当地区の寄付について

ロータリー財団への寄付には年次寄付、恒久基金への寄付、ポリオプラスパートナーシップや冠名寄付の様な指定寄付に別れている。

当地区の昨年度（1996－97年）の寄付は

A）年次寄付（一般寄付）１人当たり　US＄ 151	小計	US＄ 846,582.37
B）恒久基金（内ベネファクター59人）並びに指定寄付	小計	US＄ 81,789.90
	合計	US＄ 928,372.27

であった。

この財団への寄付金はＲＩ財団で３年間運用され、３年後まるまる全額奉仕活動に使われる。即ちＲＩ財団の事務所費用や人件費、諸書類作成費用や郵送費はその３年間の運用利益でまかなわれる事になる。

従って上記のUS＄ 928,372.27が３年後（1999－2000年）に財団の活動資金に全額使われる事になる。

③　シエアーシステム

全寄付金のうち年次寄付とベネファクターの利息の合計の60％は当地区自体の選択により活動目的を決める事ができる。

従って昨年度

上記　年次寄付		US＄ 846,582.37
ベネファクターへの寄付に対する利息		US＄ 7,723.41
		US＄ 854,305.78

の60％のUS＄ 512,583.47が1999－2000年度に当地区で自由に選択出来るD.D.F.（DISTRICT DESIGNATED FUND）となる。

但しこのD.D.F.は現金で当地区へ返ってくるのではなく「シエア」と言うプログラムのメニューが送られてきて、その中から地区でプログラムを決めて申請する事になり、補助金はそのプログラムにそって直接国際親善奨学生や慈善奉仕の現場へ送られる事になる。

④　財団への寄付はどの様に使われているかについて

教育目的援助と人道目的援助、並びに国際交流目的援助の３目的にそって各々多くのプログラムがある。

A）当地区もそうであった如く今までは自由に地区で使えるD.D.F.のほとんど全部が財団国際親善奨学生に支給する奨学金に使用されていたが近年この教育目的援助と同

じ様に人道的（慈善的）援助プログラムが重要視されてきたので当地区も昨年度は同じ奨学生でも当地区から学生を海外へ出すのみでなくジャパンプログラムにそってインドから１名（上限US＄ 29,000）ホスト大阪東ＲＣ、１年留学生としてロシアとエストニヤから各１名（上限US＄ 22,000×２名）ホスト守口ＲＣと吹田西ＲＣ合計３名分を当地区内の大学へ留学する事を条件に、上記の様にあまりめぐまれない地区へ寄付をした。

現在既にエストニアから女性の外交官が来日し、関西大学にて勉強しており（P.15参照）、インドとロシアは手続き中である。

上記３名の他に文化研修生として

オーストラリア	３ヵ月	ホスト大阪城東ＲＣ	受入先	大阪ＹＭＣＡ
イタリア	６ヵ月	ホスト大阪北ＲＣ	〃	〃
オーストラリア	６ヵ月	ホスト大阪城北ＲＣ	〃	〃
オーストラリア	６ヵ月	ホスト大阪そねざきＲＣ	〃	〃
フランス	６ヵ月	ホスト大阪鶴見ＲＣ	〃	〃

の５名を受け入れている。

B）当地区から海外へ派遣する学生は1998年５月に第１次試験を、６月に第２次試験を行い、若しその人々が極めて優秀でロータリーの国際親善をよく理解出来る人々であるならば上限22名と補欠２名として奨学生を選出する予定である。近年、受験生は女子が男子よりも倍以上も多くしかも語学の関係もあり文科系が多く、理工系や医薬系が少ないので各クラブよりの御推薦は出来れば男子学生で理工系や医薬系を１人でも多く御推薦頂きたいと願っています。

C）尚今年からは財団人道的援助委員会を創設し（大谷　透委員長西南ＲＣ）カンボジアの地雷で手足を失った人々に義肢装着の援助をして障害者の自立を助け、いずれ近いうちに現地で現地の人々が自力でこの事業を継承して頂ける様育成援助するべく目下活動内容を委員会で鋭意検討中である。

予算は今年度US＄ 66,000である。カンボジアにはプノンペンロータリークラブがあるので同クラブと組んで同額補助金を申請するか、若しくはヘルピンググランド制度を利用して行うか只今連絡交渉中である。

D）ＧＳＥについて

ＧＳＥは今年度は国際ロータリー第6150地区アメリカ・アーカンソー州（クリントン大統領の故郷）と交換する事に決定。当地区の人選も出来て、野村団長（大阪そねざきＲＣ）を中心に素晴らしい人材５名が1998年５月３日に出発、６月３日帰国の予定が決まっている。

E）学友活動について

当地区の学友委員会は全国各地区の中で際立って素晴らしい活動をしており、毎偶数月の第一金曜日に国際交流センターでP.S.C.（元奨学生）のメンバーと関係ロータリアン並びこれから海外へ留学する学生が集まりＰＳＣのメンバーも、その勉強し

てきた国へこれから行く学生達のカウンセラーとなり色々な手続きの促進や、不安をとりのぞく仕事をして頂いている。

F）ポリオプラスパートナーシップ活動について

1昨年度はインド1億3千万人の新生児へのワクチン投与について、昨年度はネパールの2760地区への一斉投与のパートナーシップ活動として参加し、今年度はアフリカのカメルーンへのワクチン一斉投与をサポートすべく色々と検討中である。

全ロータリアンや各国政府並び保険機構の努力の結果アジアでのポリオの発生はほとんど終息に近づいている。あとはアフリカの26ヵ国とブルガリア、ルーマニアとアジアの1部の国々が残っており、これからそれらの国々に一斉投与して、それらの国々のポリオ発生をコントロール出来れば2000年までに絶滅も出来るかもしれないところまできている。ポリオプラスパートナーシップ活動に御協力頂いている当地区の全ロータリアンに改めて心から感謝申し上げます。

グレン・W・キンロス会長からのメッセージ

拝　啓

西暦2000年までに全世界からポリオを撲滅させるという目標に向かって、大きな進歩が遂げられています。けれども、私たちの目標を達成することは、容易ではありません。ポリオ撲滅活動を支援する全てのロータリアンによる集中的努力が、私たちを軌道からはずれないように助けてくれます。

ご存知の通り、11月はロータリー財団月間です。これは、私たちの財団を通して行う活動を省て、新しい活動に着手する時です。私は、ポリオ・プラス・パートナー・プロジェクトに参加したり、ポリオ・プラス・パートナーに関するクラブ・プログラムを行ったりすることによって、ロータリー・クラブが財団月間を記念されるよう切望いたします。

ポリオ撲滅活動における皆さんの継続的ご尽力は、近い将来、世界中の子供たちが、この恐ろしい病気から守られる日が来ることを確実にするためには不可欠なものであり、ご活躍をお祈り申し上げます。

敬　具

国際ロータリー会長

予　告

地区大会のおしらせ（No.1）

地区大会実行委員会

1997-98年度の地区大会は下記の要領で開催いたします。今からご予定のほどお願いいたします。

地区大会日程および開催場所

1998年５月８日(金)　リーガロイヤルホテルにて
会長・幹事懇談会／部門別懇談会／シンポジューム
／ＲＩ会長代理歓迎晩餐会
※【家族の集い】は　松竹座にて
1998年５月９日(土)　フェスティバルホールにて
本会議／記念講演

地区大会事務所（1997年10月20日開設）

〒552　大阪市港区弁天１丁目２番１－2311
国際ロータリー第2660地区ガバナー事務所内
TEL；06-577-1626　　FAX；06-577-1627
幹　　事：奥　野　善　彦
事務局員：西　村　侑　子

詳細は追ってお知らせいたします

地区内各委員会報告

「山のライラ」、「上級ライラ」報告

地区青少年活動委員長　**板垣　美一**（大阪住吉）
山のライラ実行委員長　**小林　達夫**（八尾中央）
上級ライラ実行委員長　**有賀　一夫**（大阪咲洲）

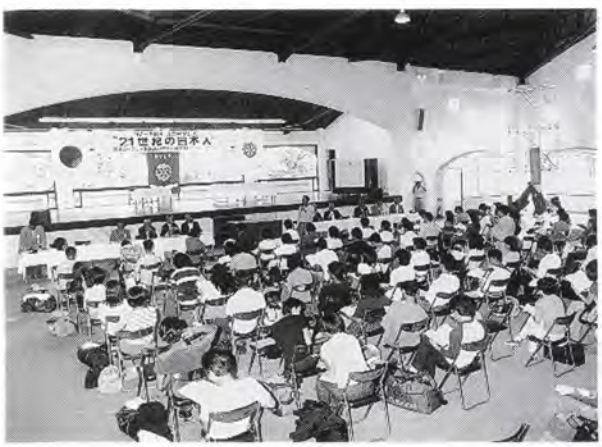
1）山のライラ

去る９月13/14/15日に実施した1997－98年度の「山のライラ」は、混迷、停滞する台風19号に伴う激しい暴風雨に見舞われながらも、関係者の皆様のご支援により、無事終了しました。このことは、地区青少年委員会並びに大阪府立青少年野外活動センター

谷川所長はじめ、奥総括リーダーのご指導と、ＲＩ第2660地区の登録総数395名をいただき、各クラブ会長およびロータリアン、青少年委員会の皆様方のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

今年度の“テーマ「21世紀の日本人」”について、在日25年のトーマス・ロブ京都産業大学教授、1990－91年ＧＳＥ団員杉野美礼さん、'96－97年上級ライラ受講生　井上憲一君ら、シンポジストの提言を受けた、123名の初級ライラ受講生は、暴風雨によって野外活動が制限されたため、かえってグループ討議が深まる結果となり、来日したばかりの青少年交換留学生ともども10グループのそれぞれの通訳アシスタントに助けられて、積極的なグループワークに参加、グローバルなディベートが展開され、21世紀の未来に自ら築くべき家庭像（果たして自分は親になり得るのか)、激増する青少年の凶悪犯罪、オゾン層破壊を招く環境問題、インターネットによって象徴されるボーダーレス、国際語としての英語による国際的コミュニケーション問題、地球規模の南北・東西にかかわる諸問題、貧困・飢餓・病気・戦争その他、予想される21世紀に、押しよせる世紀末の不安感を前にして、誠実に又果敢に立ち向かう真剣な若者らの、深夜に及ぶ熱心なグループ討議に圧倒され、ライラ初参加のロータリアンは、希望に満ちあふれた若者達に深い感動を呼び覚まされた初級ライラでした。

最後に、現地における開会式には、吉川ガバナー・ノミニー、地区青少年奉仕部門担当　松本パスト・ガバナー、又、閉会式には近藤ガバナーのご出席を賜り、深甚なる感謝の意を表します。



2）上級ライラ

第３回上級ライラが今年も９月13日(土)～15日(月・祝)まで大阪府立総合青少年野外活動センターにおいて開催された。

① 参加したのは各ロータリークラブが推薦した男女６名

井上　大輔	男子	29才	（吹田ＲＣ推薦）
金子　峰加	女子	26才	（吹田ＲＣ推薦）
寺井　太郎	男子	29才	（守口ＲＣ推薦）
東野　恭子	女子	27才	（八尾中央ＲＣ推薦）
山庄司美保	女子	27才	（八尾中央ＲＣ推薦）
石田　　将	男子	23才	（東大阪東ＲＣ推薦）

② セミナープログラム

指導　大阪府総合青少年野外活動センター
　　企画業務課主事　和　田　　操

９月13日(土)　第１日目

12：30　能勢電鉄「山下駅」集合
12：30　出発
15：00　開講式　体育館にて（初級と合同）
15：30　第３キャンプ場　テントエリア集合
16：00　夕食自炊　「チキンカレー」
19：00　「青少年指導者とは」　野外活動センター谷川所長
20：30　懇親会　第３キャンプ場　マーキーテント
　　シャワー　第１キャンプ場

９月14日(日)　第２日目

６：00　起床
７：00　朝食自炊　「御飯・豚汁・果物」
10：00　源流探し　ゆずり川
　　昼食　「パンセット」
15：00　第１キャンプにてシャワー
16：00　夕食自炊　「御飯・野菜スープ・岩塩焼き」
19：00　「青少年指導者とは」　野外活動センター山本課長
20：30　懇親会　第３キャンプ場　マーキーテント

９月15日(月・祝)　第３日目

６：00　起床
７：00　朝食自炊　「オープンサンド」
９：00　清掃・荷物整理
９：30　ダンボールオーブン作り
　　昼食自炊　「ピザ」
12：30　上級ライラ　まとめ“近藤ガバナーを囲んで”

13：00　第３キャンプ場　出発
13：30　閉講式　体育館　（初級と合同）
14：30　退所

今回は台風19号の日本上陸と時を相前後したため、天気が気に掛かりましたが何とか無事に事故も無く、大きな天気の崩れもなく、総てのプログラムを消化する事が出来た。

プログラムの一部を紹介します。

イ　第２日目の「源流探し」も心配していた天候も何とか大きな崩れにならずに実施できた（ロータリアン２名の飛び入り参加）

ロ　第１日目の勉強会谷川所長の「青少年指導者について」要旨
“指導者の感性がメンバーの素晴しい感性を引き出す”
“愛の心は、より素晴しい感性を生む”
“リーダーシップとは、良い感性と愛の心である”

ハ　第２日目の勉強会山本課長の「青少年指導者について」要旨
“心優しい善意”と“それを実行する勇気”
“リーダーシップには欠かせない大切な心構えです”

ニ　講師・ロータリアンを囲んでの懇親会も２日間にわたり夜遅くまで楽しく有意義に実施された。

ホ　受講生の全日程の生活はテントでの寝起き、食事は総て自炊。

ヘ　第３日目の上級ライラのまとめには近藤ガバナーにご出席頂き受講生から今回の上級ライラに参加して“本当に良かった”“将来の自分達の活動に生かしたい”“もっと多くの仲間たちが参加するよう薦めたい”等の言葉が聞けた。

尚今回の上級ライラセミナーの事後研修会を10月25日に開催する。

６名の受講生は全員この研修会に参加する。

当日初級ライラの修了者からアンケートをお願いし、次回の第４回上級ライラの参加希望者が早くも３名ありました事を最後にご報告致します。

上記山のライラではホストクラブ八尾中央ＲＣ会員の総力をあげてのホスト役でこのライラが成功裡に終ったこと、上級ライラでは野外活動センターの和田操主事に全面的にお世話になったことに心よりお礼申し上げます。

青少年交換委員会報告

青少年交換委員会　副委員長　三宅　一嘉（大阪東南）

1．現況報告

現在当地区に滞在中の来日学生は下記の通り12名です。今年からロシア、フィンランドが加わり６ヶ国になりました。来日学生の受入れに当り御世話いただいていますホストクラブ、ホストファミリー、受入高等学校、関係ロータリアンの皆様に心から感謝と御礼を申上げます。

1997－98年度　　来日学生

1997年10月現在

ホストクラブ	来日学生名	スポンサー地区、都市名、国名
東大阪東	James Gaskin　（男） 生年月日：1979, 7 ,16	D－5890 Texas U.S.A.
枚方くずは	Valentina Melnikova　（女） 生年月日：1982, 8 ,28	D－5010 Chita Russia
交野	Elias Rantapuska　（男） 生年月日：1979, 8 , 7	D－1390 Lahti Finland
	Ruth Mauritz　（女） 生年月日：1980,12,28	D－1870 Monchengladbach Germany
守口	Jimmy Butcher　（男） 生年月日：1980,11,30	D－5890 Texas U.S.A.
	Derek McDaniel　（男） 生年月日：1980,11,14	D－6070 Missouri U.S.A.
大阪本町	Melanie Muller　（女） 生年月日：1981, 4 ,21	D－1850 Niedersgchsen Germany
大阪西北	Laura Koponen　（女） 生年月日：1980, 4 ,28	D－1400 Vihanti Finland
大阪鶴見	Jeffery Magliola　（男） 生年月日：1978,10,18	D－6050 Missouri U.S.A.
摂津	Kristen Wellman　（女） 生年月日：1980, 6 ,20	D－5950・5960 Minnesota U.S.A.
高槻西	La-Ong Xiong　（女） 生年月日：1980,11,18	D－6270 Wisconsin U.S.A.
大阪城南	Simom Page　（男） 生年月日：1978, 9 ,29	D－9910 New Lynn New Zealand

2．来日学生参加行事

8月24日(日)　1：30PM～　　来日学生オリエンテーション　於月華殿
8月30日(土)　5：00PM～　　ウエルカムパーティー　於三井アーバンH
9月7日(日)　終　日　　大阪鶴見区民祭　於花博公園・太閤園
9月13日(土)～15(月)　　山のライラ
10月19日(日)　10：00AM～　　ROTEXとのスポーツ大会　於万博記念公園

3．次年度派遣学生の募集は９月末日で締切りました。14名の応募がありました。

1997－98年度研究グループ交換派遣チーム決定

第2660地区研究グループ交換委員会

本年度の研究グループ交換は、アメリカアーカンソー州リトルロックとその周辺部をテリトリーとするR.I.第6150地区と行いますが、さる10月11日(土)に団員応募者の面接を行い次の方々の派遣を決定いたしました。

● 団　長

野村　浩司（大阪そねざきＲＣ直前会長）

● 団　員

庄村　祐三（関西医科大学胸部外科助手、門真ＲＣ推薦）
金重　恵介（株式会社ミキハウス社員、八尾東ＲＣ推薦）
佐藤　玲子（大阪市教育委員会、大阪ＲＣ推薦）
阪上　　光（株式会社アイエスアイ、八尾中央ＲＣ推薦）

（補　欠）

植木ゆかり（歯科医師、大阪南ＲＣ推薦）

なお、派遣は1998年５月３日より、第6150地区チームの受け入れは３月21日より、それぞれ４週間の予定です。

「マーティン・セリグマン博士を囲むロータリアンの集い」を開催（報告）

国際ロータリー第2660地区
広報・雑誌委員会委員長　新津　敬直

第2660地区では、９月24日、ＴＰＩジャパン、朝日放送、朝日新聞社の協力を得て、「マーティン・セリグマン博士を囲むロータリアンの集い」を、ホテルプラザ及び中之島・リサイタルホールの２会場で開催した。同博士は現在ペンシルバニア大学教授で、今日世界で最もよく知られた心理学の第一人者である。革新的な新理論を次々に発表し数多くの賞を受けられ、また、このたび98年度米国心理学会の会長にも選出された。

集いには、マーティン・セリグマン博士とは古くからの友人である関西学院大学の今田寛学長、社会学部教授の立木茂雄氏にもご出演いただき、子供の教育問題、阪神大震災後の災害ストレスケアなど最近の深刻な社会問題を事例に、貴重なお話をいただき、大変充実した集いとなった。

セリグマン博士には「オプティミスト（楽観主義者）はなぜ成功するか」をテーマに

講演していただき、博士は、楽観思考が才能や意欲と同じくらい人生にとって大変重要であると述べられていた。近年の若者に蔓延している不安感、無気力感等の抑うつ・悲観的思考が、経済をはじめ様々な社会構造に悪い影響を及ぼしていることを危惧されていた。その解決策として、家庭、学校、企業など、社会全体でしっかりと教育改革に取り組み、倫理観と忍耐力と勇気を基本にした“柔軟な楽観主義”を強く主張されていた。

また一方、様々な分野の指導的立場におられるロータリアンが、多数この集いに参加され熱心に聴講されたことについて博士は大いに満足された様子で、これを機会に日本のロータリアンの皆様方がよりよい社会構築のため大いに貢献されることを強く願っておられた。

講演会には総勢300名を超えるロータリアンにご参加いただいたが、21世紀をまもなく迎える私たちに、「人間とは何か、社会とは何か」を改めて問題提議していただいたこと、これからのロータリアンの奉仕活動を進める上で大きなヒントを与えてくれた大変有意義な集いであったことを明記させていただきます。

（中井保委員　記）

地区米山奨学委員会報告

米山奨学生レクリエーション

米山奨学委員会　副委員長　**藤川　隆治**（池田）

朝方小雨のぱらつく天候でしたが、ロータリアン各位の熱意が通じたのか、次第に晴れ上がって心地良い秋の行楽日和になりました。

10月５日(日)恒例の奨学生レクリエーションが宝塚劇場で開催されました。

午前10:00～登録、当日のプログラム、観劇券、金券等の配布。

参加登録者総数125名（内訳：ロータリアン31名、ロータリアン家族20名、奨学生24名、その家族32名、学友会（関西）３名、地区関係者13名、地区関係者の家族21名）

近藤雅臣ガバナー、菅生浩三米山担当パスト・ガバナー、中野董夫地区米山担当理事、三好三郎丸米山総括委員長を始め、ロータリアン諸兄に率先してお世話頂きました。

歌劇は雪組の公演で午前11:00～ミュージカル、真夜中のゴースト、第一部歌劇、昼食をはさんで午後1:00～第二部グランドレビュー、レ・シェルバンと多彩な踊りや歌劇で参加奨学生は満足された事と思います。

観劇後、ファミリーランド見学、自由行動、午後３:30～劇場内エスプリホールで北川哲米山奨学生委員長の司会の下、懇親会が開催されました。

座席テーブル形式で、盛り沢山な御馳走の中、日頃のきびしい勉強のはざまで、良き気分転換になって大いにリラックスして頂いた。

懇親会の自己紹介の中で、奨学生の研究テーマの発表をして頂き、アトラクションで恒例のカラオケ大会が始まり、近藤雅臣ガバナーの歌唱力も手伝って、会も盛り上がり、お互いの交流が大いに計られました。

１位には「うまいで賞」、２位には「うまかったで賞」、３位には「よかったで賞」が手渡され最後に「手に手つないで」の大合唱で散会致しました。

エストニアからの国際親善奨学生を迎える
（トリーン・マルツォンさんについて）

吹田西ロータリークラブ
ロータリー財団委員長　カウンセラー　**平野　富義**

9月10日早朝、関西新空港に到着した彼女は長旅の疲れも見せず出迎えた我々に笑顔で挨拶をしてくれました。

当日は早朝にもかかわらず地区財団国際親善奨学生委員会阿部成之助委員長ご夫妻、同委員会の佐藤俊一委員、それに当クラブ関係者総勢10名が歓迎の横幕と手作りのエストニア国旗、それに花束を用意して出迎え、空港で簡単なセレモニーも行いました。

即一人暮らしは色々問題があるので10日間程青木会長宅と大谷幹事宅でお世話になり、日本の生活になじんでもらうこととしました。

この間、彼女が通う関西大学に出向き必要な手続きをしたり、田中充担当指導教授にこれからの学習方法についての指導を仰いだりしました。

そして18日には自分の住まいに移り、22日より関西大学大学院経済学研究科で工業経済、産業構造、日本経済の国際化等の勉強が始まったのです。

彼女はエストニアでは外務省の3等書記官をしていましたが、今回の留学のため退職をして来日しました。

日本での勉強を終え、帰国後再度外務省に入り、日本との懸け橋になれればと考えているようです。

当2660地区では社会主義国からの財団の奨学生受け入れは今回が始めてと聞いておりますので、当クラブあげての支援で今回のこの留学が彼女にとっても、両国にとっても有意義なものとなり満足して帰国できるよう全員で頑張っております。

美人で頭脳明晰、それに7ヵ国語にも堪能なトリーンを皆様のクラブの例会などにお招き頂き、交流を深めて頂ければ幸いでございます。（簡単な日本語のスピーチ）

ロータリー財団1997－98年度プログラム予算

奨学金（除く奨学金基金分）	24,346	千ＵＳドル
研究グループ交換	5,311	〃
同額補助金とヘルピング・グランド	14,882	〃
保健、飢餓追放、人間性尊重補助金	1,153	〃
ロータリー・ボランティアー	1,049	〃
世界社会奉仕助成金	138	〃
ロータリー・平和プログラム	150	〃
ロータリー国際理解日	100	〃

特別イニシアチブ補助金	100	〃
シェアから世界資金へ寄付（３Ｈに充当）	335	〃
世界資金－未配分額（　〃　）	3,512	〃
1997年10月管理委員会で決定分	732	〃
運営予備資金よりポリオプラス指定の同額補助金	2,000	〃
ポリオプラス資金より補助金	23,800	〃
その他の条件付資金より	469	〃
支出予算総額	77,666	〃

クラブ便り

下記は大阪市教育委員会の主催事業であるが、当初大阪北ＲＣの単独協賛でスタートした。回を重ねる毎に協賛するクラブが増え、第10回以降は大阪市内全ＲＣの参加をみることになったという。

因みに今年の募集要項によると、大阪市内に住む（あるいは勤める）60歳以上の人達を対象にして、

〈作文〉高齢社会における指針として、広く世代を超えて伝えたい私の「声」

〈絵〉作文集の表紙にふさわしい作品

の両方を募るとあり、ここに紹介する記事は今年行われた第19回目の成果報告である。

なお実行委員会は事業の遂行をはかるとともに、パブリシティにも努め、今年９月９日付サンケイ新聞大阪版にはトップ記事として華々しく活動ぶりが報じられた。

（編集者　註）

「第19回高齢者の声」作文表彰及び発表会（報告）

実行委員長　**新津　敬直**

平成９年９月12日(金)表記の会が西長堀のこども文化センターで開催されました。

吉川ガバナー・ノミニーをはじめロータリアン40数名参加し、来会者300名を越えました。

市内44ロータリークラブの協賛で大阪みなとロータリークラブがホストで盛大に行われました。

応募者222名入賞者11名で高齢者の前向きな姿勢が年々うかがわれる力作揃いでした。

表彰式の後、手話落語　桂　福団治及び歌の先生荒井敦子のアトラクションがあり、皆様大喜びでした。

吉川ガバナー・ノミニーには適切な祝辞を頂きました。

「高齢者の声」作文募集事業実績

回	表彰月日	応募作品数	入選数	協賛ロータリークラブ
1	54.6.9	208編	20編	大阪北
2	55.6.27	149	〃	〃
3	56.9.28	102	〃	〃
4	57.9.27	181	〃	〃
5	58.11.30	111	〃	大阪北・大阪西・大阪淀川・大阪西北・大阪大淀・大阪梅田
6	59.11.29	198	〃	大阪北・大阪西・大阪淀川・大阪西北・大阪大淀・大阪梅田・大阪東淀・大阪駅
7	60.11.25	213	25編	〃
8	61.9.14	302	〃	〃
9	62.9.13	265（最高齢特別賞設置）	26編	大阪市内33クラブ
10	63.9.11	348（大阪市長賞、特別賞、ロータリークラブ賞設置）	43編	大阪市内36クラブ
11	元.9.19	435（市制100周年記念）	47編	大阪市内37クラブ
12	2.9.29	387	43編	〃
13	3.9.21	401	44編	大阪市内38クラブ
14	4.9.9	388	46編	大阪市内40クラブ
15	5.9.14	366（＋奨励賞）	48編	大阪市内42クラブ
16	6.9.13	271	49編	大阪市内43クラブ
17	7.9.12	271（＋上寿賞）	49編	大阪市内43クラブ
18	8.9.10	作文 225	50編	大阪市内44クラブ
		表彰絵 9	2点	
19	9.9.9	作文 222	50編	〃
		表彰絵 20	1点	

第10回より大阪市内全ロータリークラブが参加する。それ以後実行委員会を結成し新津敬直（大阪西RC）が実行委員長をつとめる。

（会場　1～7回－中央公会堂　8～11回－国際交流センター　12～19回－こども文化センター）

1997年9月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	9月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	8月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	4	100.00	1	大阪中之島	55	55	0	0	0	93.98	57
大東中央	32	35	12	3	4	84.00	80	大阪難波	75	76	0	1	4	97.36	31
東大阪	81	81	0	0	4	98.00	25	大阪なにわ	48	48	0	0	4	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	4	95.08	48	大阪南西	71	75	3	4	4	95.84	42
東大阪中央	58	56	0	−2	4	98.69	17	大阪西	92	95	0	3	4	96.02	39
東大阪西	61	61	0	0	4	95.00	49	大阪大手前	61	63	0	2	4	96.25	39
枚方	61	62	0	1	4	98.17	24	大阪大淀	81	81	0	0	4	92.31	67
枚方くずは	65	66	0	1	4	96.01	41	大阪咲洲	42	41	3	−1	4	87.54	79
茨木	59	61	1	2	4	99.45	10	大阪西北	79	80	0	1	4	97.60	29
茨木東	53	52	3	−1	4	98.58	19	大阪西南	114	114	9	0	4	100.00	1
茨木西	42	43	7	1	4	100.00	1	大阪船場	64	69	0	5	4	96.58	35
池田	57	59	0	2	4	87.94	78	大阪心斎橋	80	80	0	0	4	97.39	30
池田くれは	46	46	0	0	3	88.32	77	大阪城北	64	66	1	2	4	93.00	62
門真	29	30	1	1	4	94.45	52	大阪そねざき	62	66	50	4	4	99.23	11
交野	48	48	0	0	4	95.32	46	大阪住之江	49	49	0	0	4	97.87	26
箕面	37	40	0	3	4	94.87	50	大阪住吉	80	78	5	−2	4	92.29	69
箕面中央	51	51	0	0	4	94.00	56	大阪天満橋	122	121	0	−1	4	94.36	54
守口	91	93	5	2	4	93.35	60	大阪天王寺	40	40	0	0	4	93.13	61
寝屋川	53	53	0	0	4	94.50	51	大阪東南	66	66	0	0	4	98.48	21
寝屋川東	27	31	0	4	4	93.00	62	大阪鶴見	49	48	0	−1	4	94.01	55
大阪	285	292	0	7	4	83.32	81	大阪梅田	67	66	0	−1	4	96.02	39
大阪阿倍野	56	58	3	2	4	90.96	72	大阪梅田東	59	60	0	1	4	98.75	16
大阪ちゃやまち	61	61	0	0	4	91.23	71	大阪うつぼ	73	76	0	3	4	92.54	65
大阪中央	69	69	1	0	4	99.64	7	大阪淀川	75	78	0	3	4	95.65	44
大阪堂島	55	55	0	0	4	98.64	18	千里	75	78	0	3	4	97.75	27
大阪阪南	75	75	0	0	4	99.05	14	摂津	52	52	0	0	4	91.33	70
大阪東	138	140	0	2	4	97.14	32	四条畷	25	26	0	1	4	90.50	74
大阪東淀	63	64	4	1	4	96.63	34	吹田	82	83	4	1	4	100.00	1
大阪平野	55	56	0	1	4	99.54	8	吹田江坂	55	54	2	−1	4	100.00	1
大阪本町	62	64	0	2	4	92.33	66	吹田西	65	64	0	−1	4	99.18	12
大阪イブニング	42	43	1	1	4	95.78	43	高槻	67	72	0	5	4	98.88	15
大阪城	17	17	0	0	4	95.59	45	高槻東	55	55	0	0	4	96.70	33
大阪城南	83	83	0	0	4	98.49	20	高槻西	44	44	0	0	4	98.30	23
大阪城東	64	67	0	3	4	99.08	13	豊中	74	77	0	3	4	95.27	47
大阪柏原	50	51	3	1	4	93.92	58	豊中南	59	59	0	0	4	99.47	9
大阪北	190	195	0	5	4	93.57	59	豊中大阪国際空港	49	48	0	−1	4	89.97	75
大阪北梅田	64	64	0	0	4	88.52	76	豊中千里	46	47	3	1	4	96.30	37
大阪北淀	48	51	0	3	4	98.47	22	八尾	83	85	0	2	4	97.75	27
大阪御堂筋	78	77	0	−1	4	96.38	36	八尾中央	41	42	0	1	4	94.38	53
大阪南	188	191	0	3	4	92.79	64	八尾東	58	59	4	1	4	92.30	68
大阪みなと	36	38	2	2	4	90.61	73								

クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減	平均出席率
81	5470	5559	127	89	95.4

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1997)

今西恭晟	大手前RC	8・5
湊　雅俊	〃　RC	〃
山本忠雄	〃　RC	〃
小林　明	天王寺RC	8・6
※原田肇	摂津RC	〃
※青野明	交野RC	8・8
習田豊	吹田西RC	〃
※瀧川紀征	〃　RC	〃
※吉川稔	寝屋川RC	8・12
門谷孟	茨木RC	8・21
辰巳克平	〃　RC	〃
小林進	摂津RC	8・26
池田正義	豊中大阪国際空港RC	9・2
※中尾正三	〃　RC	〃
※寺村幸雄	〃　RC	〃
※真銅孝三	大阪RC	〃
※鈴木基弘	吹田西RC	9・4
※戸高秀明	大阪南西RC	9・8
※南克昌	〃　RC	〃
※葛井重雄	〃　RC	〃
※中川広司	摂津RC	〃
水沼健男	大阪東南RC	9・12
※高島政康	東大阪西RC	〃
北本健二	枚方RC	〃
水尾祥一	〃　RC	〃
天野正亮	東大阪東RC	9・18
※久我三郎	大阪南RC	9・22
筒井一太	大阪淀川RC	9・25
幸前哲郎	〃　RC	〃
※江原省吾	〃　RC	〃
※水兼克介	大阪RC	9・29
※羽間平安	〃　RC	〃
※石田圭一	大阪みなとRC	9・30

ベネファクター

森脇隆	大阪東南RC	8・29
照屋貞夫	大阪城東RC	9・12

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1997)

河北勝彦	東大阪RC
井上千次	枚方RC
岩阪俊介	〃　RC
門前武彦	〃　RC
森本匡胤	〃　RC
寺嶋三郎	〃　RC
平林良雄	大阪天満橋RC
小倉裕	〃　RC
中川広司	摂津RC

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1997)

大野順造	枚方RC
執行経世	〃　RC
武地晧	〃　RC
今井勇	守口RC
住吉正敏	大阪城東RC
牛山淳一郎	〃　RC
辻壽	大阪なにわRC
中澤章好	大阪住吉RC
森敏	大阪天満橋RC
井戸幹雄	〃　RC
池田正義	豊中大阪国際空港RC

訃報

瀧本恵造 君（東大阪中央RC）
平成9年10月13日逝去（享年73歳）
1924年（大正13年）9月22日生まれ
1973年（昭和48年）12月7日入会
1989－90年度　会長
マルチプル・ポール・ハリス　フェロー
米山功労者

畠山武嗣 君（　　RC）
平成9年10月24日逝去（享年73歳）
1924年（大正13年）7月5日生まれ
1964年（昭和39年）1月7日入会
1967－68年度　幹事
1970－71年度　幹事
1981－82年度　会長
ポール・ハリス　フェロー
米山功労者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ガバナー事務所だより

援助を求めています

▶フィリピン　洪水および火山泥流

第3790地区内で台風と季節風による集中豪雨とピナツボ火山からの泥流とで８千万米ドルの被害発生

▶インド　洪水

第3120地区ならびに第3150地区内で発生した大規模な洪水により甚大な被害が発生資金の援助をしていただけるクラブはガバナー事務所までおしらせ下さい。

文庫通信（121号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万７千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から　その１（1995－96）

◎「元気に、しなやかに、したたかに」　加藤　タキ　D.2510　16頁

◎「宮沢賢治とは何か」　梅原　　猛　D.2520　９頁

◎「有馬稲子の読書講座」　有馬　稲子　D.2540　10頁

◎「ロータリー炉辺談話」　奥澤　俊一　D.2590　14頁

◎「北海道で考える」　倉本　　聰　D.2700　15頁

◎「最近のロシア事情」　森本　忠夫　D.2720　15頁

◎「人間と文明」　森本　哲郎　D.2730　12頁

◎「今、日本が直面する課題」　櫻井よしこ　D.2740　22頁

◎「世界の識字と寺子屋運動」　千葉　杲弘　D.2770　５頁

ロータリー文庫

〒105 東京都港区芝公園２－６－３　abc会館７階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

ガバナー・ノミニー事務所開設

11月１日よりガバナー・ノミニー事務所を開設致しました。

○事務所スタッフ

ガバナー・ノミニー	吉川　謹司
次期地区代表幹事	吉川　忠章
ノミニー事務所担当	寺田　秀興
事務局員	竹上　智里
〃	中川育久子

○所在地・電話・ＦＡＸ

〒552　大阪市港区弁天１－２－１
オーク１番街2311号
TEL 06－577－2661
FAX 06－577－1615

○執務時間

10：00～17：00
（土曜日は10：00～12：00）
但し、日曜日と祝祭日及び年末年始（12月29日～１月２日）は休ませていただきます。

投稿についてのおねがい

○　各委員会報告文等は、会議・行事の終り次第なるべく早くご出稿ください。

○　その他の原稿は、○月号掲載希望と明記してさえいただければ、早目の出稿大歓迎です。

○　原稿は、編集者によるリライト、素材の取拾送択、再構成の必要のない、完全に近い原稿でお願いいたします。

○　写真も上記に準じますが、なお簡潔なキャプションをつけていただけると幸いです。

例会場・事務局移転、ビジターフィーのお知らせ

大阪大手前ＲＣ　　1997年10月17日(金)より

１．新例会場
帝国ホテル大阪

２．事 務 局
〒530　大阪市北区天満橋１－８－50
ＯＡＰ 帝国ホテル大阪 806号室
ＴＥＬ 06－357－8917
ＦＡＸ 06－357－8907

３．10月17日(金)の例会より、ビジターフィーを¥4,600に変更

編集後記

● 暗いニュースが多い。しかも急速に悪質化している。市井のいわゆる三面記事に限らない。官・政・財その他この国のトップ指導層の総弛みとしかいえないような事件があとを絶たない。

● 性懲りもなく悪事を企み、加担し、挙げ句の果に白日のもとにさらされていくあわれな姿。

● 彼らの中に、同じバッジをつけ「四つのテスト」を唱和していた手合いがいたかどうかはしらない。しかしとかく臭いものに蓋で終ってはいまいか。どこかに向って叫びたくなる衝動を押え、冷静に胸に手を当ててみよう。われわれに自浄作用はあるのだろうか。

● 企業倫理や業界内論理が、正常な一般社会の規範と遠く離れて存在する筈がない。

（新原　記）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス
〒522 大阪市港区弁天１－２－１オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間
月～金曜日　午前10時～午後５時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始　12月29日～１月２日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

12月

DEC.1 1997 No.6

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 近藤雅臣

地区内の風物：Illuminations（御堂筋）坂口　健会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーのメッセージ

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 辻 義郎

公式訪問を終えて

7月9日の大阪北淀ＲＣにはじまり12月10日の大阪北ＲＣを最後に81クラブの公式訪問をつつがなく終えさせて頂きました。各クラブの会長、幹事をはじめ役員、委員長そして会員の皆様には大変お世話になりました。ここに厚く御礼申し上げます。人との出会いの楽しさ、お会いできたすべての方々の温かさを今しみじみ感じています。そして、これだけ多くの同志の友情の輪の中に、その一人として加わっている喜びとロータリアンとしての誇りを改めて実感した次第です。公式訪問時まず気がついたことは、会長の皆様が本年のＲＩテーマならびに地区の目標を十分理解して頂き、それをクラブ運営に取り入れ実践すべく努力して頂いていることでした。私なりのロータリーへの思いを込めてロータリー精神の原点を述べ、果たしてロータリアンは今のままで良いのか、ここでもう一度原点に返って一人一人が心の改革に踏み出そう、そして、それが目に見えないもの、数字に現われないものであってもどれだけ素晴らしい成果であるのかを皆様と共に証明したいと申し上げました。今のままで良いのかという疑問は多くの方々も共感して頂いたようで、ロータリーはやはり素晴らしい人達の集まりであると嬉しく思った次第です。ただ、どうしたら良いのかというもどかしさを持たれた人も多かったようです。私はまず一人一人が奉仕の発信者になろう、身近なところから愛の手を差し伸べよう、そして、その心を持った人達が集まって、より広い範囲での奉仕すなわちクラブとしての奉仕活動を実践しようと申し上げました。これはロータリー活動はＩ serve から始まると私は信じているからであります。クラブとして奉仕プロジェクトを作成し、それにただお金を出しただけで奉仕したというのでは奉仕ということに関し疑問を感じます。できれば一度でも良いから奉仕の実践を行って欲しいと思います。奉仕－Serviceとは本来お返しを求めないものであることは当然です。しかし、奉仕の実践からまたとない感動という素晴らしい贈り物が得られ、生涯の宝物として心に残ります。残念ながらこのチャンスに恵まれない方は、その残念さの気持ちを寄金に籠めて表わして頂ければと思っています。奉仕の発信者としてロータリーの心を持ち、知的で品格と誇りを持った人々のクラブであれば、そして、その努力を地道に続ければ豪華な食事をして談笑する会という誤評は消え去るでしょうし、また、そうしなければならないと思います。ロータリーは世界最高の叡知集団であります。その叡知をクラブの改革に注ぎましょう、そして、また、その叡知を結集して素晴らしい未来を創造するための原動力となりましょう。この年度は理想とするクラブ造りへの基礎となる年度にして下さい。ロータリー精神の原点に還り、ロータリー活動を見直しましょう。叡知に裏付けられた知的な奉仕団体として活動して行こうではありませんか。

21世紀に向けてのロータリーの進路
－ロータリー研究会（10月８、９日札幌）における発言要旨－

パスト・ガバナー　菅生　浩三

１．はじめに－20世紀と21世紀の総括

ロータリーの立場からすれば、20世紀は、正にロータリーの世紀でありました。この世紀の初頭、シカゴの最初の只１人のロータリアン、ポール・ハリスの胸に宿りました「サービスの理念」“The Ideal of Service”は、略百年を経た今日、全世界121万余のロータリアンの胸にしっかりと宿っております。その都市只１つのクラブは、全世界２万８千余のクラブへと驚異的な拡大を遂げました。その間ロータリーは、その基本理念を些かも変えることなく堅持しながら、社会の変化に応じて手法の適切な対応を重ね、活動の総量を全世界に拡大して来たのであります。

ところが、来るべき21世紀は、正に激動の世紀となるものと思われます。人間は、優れた知能というたぐい希な資質を与えられた生物でありますが、この知能という原資を過去無制約に無限定に開発し利用して、その活動の成果を集積して参りました。21世紀は、その集積の結果が、善しきにつけ悪しきにつけ、私ども人間社会の基盤に、自然や社会の環境はおろか、私どもの個体としての存在自体にまでも、一挙に激甚な変化として表面化して来る世紀になるものと思われます。もちろん、ロータリーの基本理念は不変でありますが、ポール・ハリスも指摘していられるように、私どもは、社会の変化の感得に敏であると同時に、対応の手法の選択において適切でなければなりません。かつてない深刻で本質的な変化への当面が予定される今日、この問題は、非常な切実さを以て私どもに検討を迫って参っております。今回の研究会のテーマに、この問題が取り上げられた所以であると思う次第であります。

そこで私は、先ず21世紀にどのような変化や問題点が予想されるかを一瞥し、次いでロータリーがこれらに対して採るべき対応の手法のあり方に言及したいと思います。

２．21世紀に予想される変化と問題点

申すまでもなく、21世紀に予想される変化の主因は、人間の知能であります。そして、変化の内容の要約は、欧米に発した科学と技術を中心とする知識の開発と展開の急激な進行によって、人間社会の基盤に激甚な拡大と変質が進行することであります。ここで、科学とは自然科学と社会科学の双方を、技術とは工業技術と社会管理技術の双方を、それぞれ含みます。もちろん、このような知能の科学技術にかかる知識部分の開発は、私どもに極めて高度の快適生活の保証を与えてくれておりますが、反面その高価な代償として、社会の基盤の破壊を招き兼ねない次の４項目に集約されるような深刻な障害を、私どもに課して参っております。

(1)　自然の破壊の進行

現代社会は工業技術によって支えられているといっても過言ではありませんが、その工業技術は、実は膨大なエネルギーの需要を前提として成り立っております。その結果、地球上において化石燃料や核燃料など過去蓄積された太陽エネルギーの恣意的で大規模な開放を行うこととなる現時のエネルギーの調達と消費の継続は、私ども現在の生物が生存を続けて行くために必要な地球の生態系と気象の現況の基本条件の均衡の維持に、着実に逐次甚大な影響を及ぼしつつあります。地球温暖化による陸地都市部分の水没の危険とか、オゾン層破壊による皮膚ガン増加の懸念など

は、その一例に過ぎません。さらにまた、次々と新しく開発される化学物質の多用の累積は、私どもの生存の生理条件に徐々に恐るべき変化を与えて行くでありましょうし、バイオテクノロジーの開発と利用は、私ども生存の象徴である遺伝子自体に引き返すことのない加工を加えて行くでありましょう。そして、このような事態は、地球の自然は人間のために存在するという人間中心の観念と価値観によって、益々深刻の度合いを増すこととなるでありましょう。

(2) 人間と社会における病理現象の進行

科学技術の開発は物の開発を結果し、物の開発は人々の物に対する関心と欲望を挑発します。また、政治や経済その他の社会機構の組織と運営にかかる社会管理技術の整備は、これを支える社会科学とその基本前提である人間の個人的存在を絶対とする意識を進行させ、これに起因する価値観の多様化と混乱を進行させるでしょう。この2つの要因の相乗効果として、まず企業その他の社会集団を含む社会全体が物の表面的な強化や整備に向けて傾斜を深めて行くという病理が促進されるでしょうし、次に家庭などの生活集団の個人への分解とこれに続く個人自体の内部意識の分裂という病理が進行するでしょう。

(3) 人文その他の精神文化の衰退

欧米に発した科学技術を中心とする知識文化の世界レベルへの弥漫は、世界の諸民族の精神文化を含む広義の人文、なかんづく非欧米の諸民族のそれとのボタンのかけ違いを多発させ、一面的で画一的な評価を適用することによって、本来多様であるべき人文の保存と育成への意欲の着実な低下や消退を招き、ひいては人文自体の著しい衰退を招きます。このような諸民族の人文の衰退は、民族間の真の相互理解の質を低下させるとともに、諸民族相互間の調整のために必要な各種の基準、例えば部族や民族間の対立抗争を調整するための基準や、世界レベルで経済秩序を公正に規律して行くための基準や、先進、発展途上、未開発各社会の人々の相互間の生存条件を調節するための基準などを、合意によって設定することを著しく困難とし不可能とすることになりましょう。そしてこのことは、ロータリーが究極の目的とする世界の人々の相互理解と親善及び平和を実現するための障害を解決するどころか、却ってこの理想に背馳する災厄を定着させ増加させる結果を齎すこととなるでしょう。

(4) 教育の欠陥による問題の増幅

まず基本的に、私どもの意識が自然に対する人間中心の観念と価値観から一歩も出ていないことは先述のとおりでありますが、このことは、私どもが受けた現代教育が、同様の根本的な欠陥を帯有していることの証左であります。次に人間資質に対する現代の評価は、その帰属の個人的側面だけが強調され、社会資源としての性格に対する評価が完全に欠落しております。その結果、現代教育は、個人の利益を追及する能力を獲得する手段としての知識教育に偏向し、人間と社会を形成するための基本的な社会活動であるとの視点が欠落しております。また、社会的存在としての人間に与えられた知能には、社会性による制約があることは自明の理でありますのに、現代の教育には、知能の自己制約の必要とそのあり方を教える部分が欠落しております。現代教育の内容が科学技術に偏向し、人文の要素が稀薄であることは、指摘するまでもありません。このような教育の欠陥によって、(1)から(3)までに述べた問題点は、時を追うに従って増幅し深刻化して来るものと思われます。

3．21世紀における変化と問題点に対するロータリーの対応のあり方

20世紀におけるロータリーの活動は、いわゆるアイ・サーブとウイ・サーブのいずれかであ

るかを問わず、いわば既成の社会基盤を当然の前提として、その上で展開されていたといえましょう。ところが、20世紀の100年間において、人間社会の基盤は、点から線、線から面へと世界レベルに飛躍的に拡大し変質しましたが、その拡大と変質は、先述しましたとおり、科学技術の開発を主たる要因として展開されました。しかるに、その間ロータリーは、科学技術に内在する各種の消極的な問題点に必ずしも十分な関心を払ったとはいえなかったと思われます。そのために、20世紀における人間社会の基盤の拡大と変質は、殆どロータリーとは無関係に進行したといっても過言ではありません。ところが、来るべき21世紀における社会基盤の変化は、20世紀における変化の延長を遙かに超え、果てしのない拡大と予想を絶する変質が予定されます。ここにおいて、21世紀のロータリーは、社会基盤の存在を既成の前提とするのではなく、社会基盤の構築自体を活動の対象として取上げ、その基本理念の提唱と実現に向けての努力を払うべく、さらに一歩を踏込むべきものと考えます。何故ならば、ロータリーの活動が、従来のように社会基盤自体を既成の前提条件としてその上で行われるべき活動に限定されますならば、21世紀の人間社会は、ロータリーの活動とは関係なく、ロータリーの手の届かないところに拡大と変質を遂げて行く公算が大であり、このことは、人間社会にとって取り返しのつかない不幸な事態と考えられるからであります。

このような観点からロータリーの操るべき対応の手法の具体例を簡単に例示いたしますと、大略次の５項目に集約されると思われます。

(1) 自然の破壊の修復と保全への努力

地球の自然は、人間の社会基盤のさらなる根元的な基礎でありますから、その過去における無秩序な破壊の修復と今後における厳重な保全の継続は、人間がその生存を続けるために課せられた基本的な責務であります。ただ、その際に厳に注意すべきは、先述しましたとおり、人間中心の考え方を根本的に是正する必要があることであります。地球の自然は、人間のために、人間がそのほしいままの欲望を充足するために存在するという従前の観念と価値観は、明白な誤りであります。人間は、たまたま自然の摂理により他の生物とともに地球上にその生存を許された生物の１類型に過ぎないことを、厳に自覚しなければなりません。人間は地球の自然と地球上の他の生物とともに地球上に生存を許されている生物に過ぎないという真実の認識に立脚した観念と価値観への転換が必要であります。この意味では、安易に多用される「自然の環境」という用語すら、人間中心の発想の表現として、適切を欠く疑いがあることに留意すべきでありましょう。

(2) 人文の尊重と強調

諸民族の人文は、先述しましたとおり、人間の国際社会において、民族本来の存在自体ともいうべきかけがえのない重要な本質を持つものであり、その重要性は、科学技術を中心とする知識に優るとも劣るものではありません。そこで、科学技術知識の優位が依然として着実に進行している現状のアンバランスを是正し解決する必要があります。そのためには、とりあえず人文の衰退に歯止めをかけてその回復をはかるために、各自の悩みや欠陥や困難にかかる訴えを相互にきき合い、理解し合い、その解決のために協力し合うための共同作業の実施が必要となるだけでなく、さらに進んで、積極的に諸民族の人文相互の認識と理解を促進することとして、相互の接触や情報と成果の交換その他の共同作業を効果的に実施することが必要となりましょう。

(3) 教育活動の根本的変革への努力

現代教育が帯有する先述の欠陥を根本的に是正することは、緊急の課題であります。そのためには、先ず根本的に地球の自然と地球上の他の生物に対する人間中心の観念と価値

観からこれらを相互等質共同の存在として位置付けるという自覚に基づく観念と価値観への転換を教育面に適確に反映させる変革が必須であることは、申すまでもありません。また、個人の利益を追及する能力を獲得するための手段たる知識教育から人間社会を形成する基本的活動たる教育への転換、知能の無制約な開発を目的とする教育から知能の自己制約をしっかりと教え込む教育への転換、科学技術偏重の教育から人文を再認識して重視する教育への転換、などを主たる内容とする根本的変革が早急に検討され実施されるべきであり、そのための調査や、検討、提言と、非政治的手法による影響力の行使が予定されるべきであります。

(4) 各種社会管理領域の監視と改善への努力

教育のみらなず、行政、経済、医療、社会福祉その他あらゆる社会活動の管理領域には、従来から数々の不備不整が漫然と放置されて参っただけでなく、今後さらに次々と新たな不備不整が続発し、社会基盤の悪化を確実に進行させて行くこととなりますので、これらの領域の現状に対する不断の観察、点検、情報の蒐集、是正への提言や、非政治的手法による影響力の行使が予定されるべきであります。

(5) 解決のための体制の確立

以上の(1)から(4)までに例示しましたような諸問題の解決のためには、個別の事例から出発して逐次拡大して行くというロータリー独特の従来手法のほかに、それぞれの社会の状況に応じ、もっと全面的で、組織的で、継続的な対応をはかるに必要な体制の整備と確立が必要となるでありましょう。

因みに付言しますならば、ロータリーの従来の活動の中にも、このような視点と効果が期待されるものが現に存在します。例えば、WCSや青少年交換のプログラムもそうですし、財団のプログラムの関係でも、教育的プログラムでは、途上国に奉仕する大学教員のための補助金、ポール・ハリス・センター計画、ジャパン・プログラム、職業研修プログラムなどがあり、また、人道的プログラムでは、シェルター建設を可能とした同額補助金、保健、飢餓追放と人間性尊重の3Hプログラム、ヘルピング・グラント、ポリオ・プラス及びポリオ・プラス・パートナー・プログラム、ロータリー・ボランティア補助金、平和プログラムその他数多くのプログラムがありますが、これらは運用次第では同様の効果が期待できますし、研究グループ交換を文化交流プログラムに移行して新たな位置付けをした視点なども、同様の評価が可能であります。ただ、来るべき21世紀における社会基盤の変動は余りにも激甚であることが予想されますので、向後さらに新たな視点から、早急に徹底的な検討と抜本的な手法の再構成への努力が、絶対に必要であろうと思われます。この点、キンロス会長は、ご就任にあたり、ロータリアンがロータリーの心を地域社会や世界とそこに住む人々に示すことを求められ、さらに、貧困と飢餓への挑戦を宣言され、ロータリーが職業人の連合体にふさわしい影響力を社会と職業に発揮し、貧困と非識字問題との悪循環を断ち切るための具体的行動に参加することを呼びかけられましたが、これらのご提言は、このような意味において、21世紀のロータリー活動へ向けた正しい指向の一歩を踏み出す適切なご指導であると考えられるのであります。

ご承知のとおり、経済界の指導的部分の一部には、20世紀は戦争と国家及び経済と企業の世紀であったが、来るべき21世紀は人間と文化が花開く豊かで活力ある市民社会の輝かしい世紀でありたいとの期待があることは、承知しております。しかしながら、このような期待も、現在社会の基盤への厳しい点検と、将来社会の基盤の公正な構築に向けての着実

な努力が払われることによってのみ、始めて実現可能となるものと考えるのであります。

4．おわりに－私どもの進路に向けて

マザー・テレサは、「貧しい人々の顔の中に、神の顔がみえる。」と言い残された由であります。私どもロータリアンには、「お互い一人ひとりの顔の中に、ロータリーの顔がみえる。」のであります。ロータリーの顔は、ロータリーの心であります。ロータリーの心は、「サービスの理念」“The Ideal of Service”であります。サービスの理念とは、自分を思い自分を大切にすると同様に、むしろそれ以上に、他人を思い社会を大切にして生きて行くところに真の幸せがあると自覚して生きることでありましょう。この意味において、サービスの理念の実質は、知能の自己制約の理念であります。何故ならば、制約のない知能からは、他人を思い社会を大切にする考えは絶対に生れて来ないからであります。放縦で制約の欠けた知能の開発を続けその乱用を重ねて来たツケは、21世紀の社会の基盤に恐るべき荒廃を齎らすことが予想されますが、私どもロータリアンは、その解決のために知能という両刃の剣を正しく使って行くという、筆舌に尽し難い難作業に立ち上らなければなりません。幸い私どもロータリアンには、100年の歴史を背負ったサービスの理念という輝かしい自己制約の理念がすでに用意されております。私どもロータリアンは、20世紀が終ろうとする今、この理念を高らかに掲げ、ロータリーの手法の本質を堅持しつつ、来るべき21世紀の社会基盤の公正な構築に向けて、創意と熱意と勇気を以て、観察し、検討し、発言し、行動して行くべきであると信ずる次第であります。

バングラデシュでの住宅建設支援プログラムについてのご報告

標記の件につきましては、地区内クラブに参加をお願いいたしましたところ、多数のお申し込みを頂き厚く御礼申し上げます。

このプログラムは、日本のロータリークラブが一戸につき500米ドル、地元のロータリークラブが100米ドル、RIロータリー財団が同額補助金として600米ドルを拠出して住宅を建設するものですが、この度、第３ゾーン（2630・2640・2650・2660・2680・2690・2760の７地区）のコーディネーターより、当地区においては８戸分の依頼が来ました。

当地区と致しましては、申込到着順に大阪城東・大阪なにわ・大阪西北・八尾東・大阪みなと・茨木東・大阪大手前・大阪ちゃやまちの各クラブに一戸ずつお願いを致しました。

日本のロータリークラブ全体で200戸ですが、地元のクラブの拠出の問題もあるようですので、再度依頼がございましたら、既にお申し込みを頂いております順序に従いまして改めてお願いを致しますので、その節は宜しくお願い申し上げます。

沢山のご協力、心より厚く御礼申し上げます。

1997年10月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	10月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	10月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	4	100.00	1	大阪中之島	55	55	0	0	5	91.63	65
大東中央	32	35	12	3	5	84.00	80	大阪難波	75	76	0	1	5	97.37	26
東大阪	81	82	0	1	5	96.20	33	大阪なにわ	48	47	0	−1	5	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	5	95.97	36	大阪南西	71	76	3	5	4	94.82	46
東大阪中央	58	55	0	−3	4	97.32	27	大阪西	92	94	0	2	4	96.34	32
東大阪西	61	61	0	0	4	94.07	56	大阪大手前	61	63	0	2	4	95.41	41
枚方	61	62	0	1	4	96.43	31	大阪大淀	81	81	0	0	5	95.17	43
枚方くずは	65	67	0	2	5	94.55	52	大阪咲洲	42	39	3	−3	5	83.07	81
茨木	59	62	1	3	5	97.83	21	大阪西北	79	79	0	0	4	98.70	14
茨木東	53	52	3	−1	5	99.23	8	大阪西南	114	114	9	0	5	100.00	1
茨木西	42	43	7	1	5	99.06	12	大阪船場	64	69	0	5	4	95.07	45
池田	57	60	1	3	5	87.07	75	大阪心斎橋	80	82	0	2	4	97.49	24
池田くれは	46	46	0	0	4	87.28	74	大阪城北	64	66	1	2	5	85.00	78
門真	29	32	0	3	5	94.31	54	大阪そねざき	62	67	50	5	5	98.17	18
交野	48	48	0	0	4	91.67	64	大阪住之江	49	49	0	0	4	97.89	20
箕面	37	41	0	4	5	92.52	62	大阪住吉	80	79	5	−1	4	94.69	49
箕面中央	51	52	0	1	4	94.00	57	大阪天満橋	122	121	0	−1	5	94.63	51
守口	91	94	5	3	5	93.74	58	大阪天王寺	40	40	0	0	4	91.25	67
寝屋川	53	54	0	1	4	91.00	69	大阪東南	66	66	0	0	4	98.48	16
寝屋川東	27	31	0	4	5	94.80	47	大阪鶴見	49	48	0	−1	4	95.61	40
大阪	285	299	0	14	4	84.38	79	大阪梅田	67	66	0	−1	4	95.62	39
大阪阿倍野	56	58	3	2	5	93.41	59	大阪梅田東	59	62	0	3	4	97.12	28
大阪ちゃやまち	61	61	0	0	4	92.67	61	大阪うつぼ	73	76	0	3	4	95.83	37
大阪中央	69	69	1	0	5	100.00	1	大阪淀川	75	78	0	3	4	98.18	17
大阪堂島	55	56	1	1	4	94.55	52	千里	75	78	0	3	4	95.83	37
大阪阪南	75	74	0	−1	4	98.52	15	摂津	52	52	0	0	4	97.96	19
大阪東	138	141	0	3	5	97.73	22	四条畷	25	26	0	1	5	87.00	76
大阪東淀	63	64	4	1	4	94.80	47	吹田	82	84	4	2	5	100.00	1
大阪平野	55	58	0	3	5	100.00	1	吹田江坂	55	54	2	−1	4	100.00	1
大阪本町	62	64	0	2	4	90.28	72	吹田西	65	65	0	0	4	98.79	13
大阪イブニング	42	43	1	1	5	94.66	50	高槻	67	70	0	3	5	99.10	9
大阪城	17	18	0	1	5	86.21	77	高槻東	55	56	0	1	4	96.20	33
大阪城南	83	83	0	0	4	99.10	9	高槻西	44	44	0	0	5	97.73	22
大阪城東	64	67	0	3	4	99.07	11	豊中	74	77	0	3	4	95.35	42
大阪柏原	50	51	3	1	4	95.13	44	豊中南	59	59	0	0	5	97.39	25
大阪北	190	197	0	7	5	91.13	68	豊中大阪国際空港	49	48	0	−1	4	91.49	66
大阪北梅田	64	64	0	0	4	90.08	73	豊中千里	46	47	3	1	5	94.30	55
大阪北淀	48	51	0	3	5	97.09	29	八尾	83	85	0	2	4	96.45	30
大阪御堂筋	78	78	0	0	5	96.08	35	八尾中央	41	43	0	2	4	93.19	60
大阪南	188	191	0	3	4	90.58	70	八尾東	58	59	4	1	4	92.30	63
大阪みなと	36	38	2	2	5	90.56	71								
								クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
								81	5470	5586	128	116		94.8	

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1997)

※田中邦夫	東大阪東RC	10・3
北川忠嗣	〃 RC	〃
※山田英男	大阪城北RC	〃
※大原健司	大阪東RC	10・8
※平井博道	大阪住吉RC	〃
※中澤章好	〃 RC	〃
西尾良一	〃 RC	〃
川井康永	大阪城北RC	10・13
弓削要	〃 RC	〃
中西正美	東大阪東RC	〃
大山文雄	大阪東南RC	〃
※松林邦紀	〃 RC	〃
※長谷川暉郎	高槻東RC	10・24
長谷川良江	〃 RC	〃
小川幹雄	交野RC	〃
上田耕三	大阪難波RC	10・29
※池田正	大阪本町RC	〃
芳田至弘	東大阪東RC	10・31
※出口和義	〃 RC	〃

ベネファクター

松本忠重	大阪平野RC	10・8
奥林繁一	東大阪東RC	10・22
長谷川暉郎	高槻東RC	10・24
水本隆平	箕面RC	10・31

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1997)

大畑斉	東大阪中央RC
東野公一	東大阪西RC
菊山逸夫	茨木RC
秋田豊藏	茨木東RC
樹下稔	茨木西RC
竹林敏彦	〃 RC
坪内隆	〃 RC
村田勝彦	箕面RC
小林勝	大阪ちゃやまちRC
吉田譲次	大阪北RC
井上亮一	〃 RC
河村洋二郎	〃 RC
丸山雅祥	〃 RC
高原進	〃 RC
高島浩一	〃 RC
片瀬貴文	〃 RC
狩野吉弘	大阪御堂筋RC
藤川克昌	大阪南RC
元木純邦	〃 RC
白山隆	〃 RC
清水卓	〃 RC
中辻忠男	大阪住之江RC
中村重富	〃 RC
沖嶌阿喜良	〃 RC
松野英親	大阪天満橋RC
山田清隆	〃 RC
岸本良一	〃 RC
小寺一矢	〃 RC
伊藤武定	大阪東南RC
木村行雄	〃 RC
森芳郎	〃 RC
大塚忠重	〃 RC
多田昭三	大阪東南RC
山口雅民	〃 RC
岡本眞弘	豊中南RC

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1997)

※古谷勝紀	(2回目)	東大阪RC
※横田一夫	(2回目)	〃 RC
山口和雄		茨木RC
馬場孝志		茨木西RC
小路三郎		〃 RC
大森保延		〃 RC
※西村一夫	(13回目)	池田RC
林喜英		箕面RC
中島警子		守口RC
須山知行		〃 RC
喜多克己		大阪平野RC
※島田喜代司	(2回目)	〃 RC
※松浦純男	(24回目)	大阪イブニングRC
糸井寅雄		大阪城RC
森川照光		大阪北RC
國枝幹司		〃 RC
谷信和		大阪南RC
野々原喜久夫		大阪南西RC
藤田皓之		大阪天満橋RC
松本忍		〃 RC
北條誠久		大阪東南RC
音在秀信		大阪鶴見RC
※岡田義昭	(7回目)	大阪淀川RC
高橋貞夫		豊中千里RC

訃報

畠山武嗣 君（枚方RC）

平成9年10月24日逝去（享年73歳）
1924年（大正13年）7月5日生まれ
1964年（昭和39年）1月7日入会
1967－68年度　幹事
1970－71年度　幹事
1981－82年度　会長
ポール・ハリス　フェロー
米山功労者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

文　庫　通　信　(122号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万７千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から　その２（1995－97）

◎「一隅をてらす人生」	神渡　良平	D.2670	14頁
◎「ピラミッドの謎―古代人と現代人の知恵比べ―」	吉村　作治	D.2790	20頁
◎「独創教育が日本を救う」	西澤　潤一	D.2800	12頁
◎「ロータリーのふるさと」	竹山　涼一	D.2530	9頁
◎「シルクロードの旅」	平山　郁夫	D.2610	9頁
◎「最新東洋事情」	深田　祐介	D.2710	13頁
◎「激論・女と男の物語（ロータリーセミナー）」	竹熊　宜孝・田嶋　陽子	D.2720・D.2730	26頁
◎「新しい産業社会の構想」	田中　直毅	D.2780	18頁
◎「日本人の心」	後藤　赳司	D.2800	9頁

文　庫　通　信　(123号)

このたびは昨年度の会計報告をさせて頂きます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫　1996－97年度会計報告

（貸借対照表）

資産		負債	
現金	89,012	雇用保険料預り金	16,578
普通預金	4,859,866	社会保険料預り金	16,056
定期預金	15,000,000	（負債合計）	32,634
（現金預金計）	19,948,878	正味財産	
		次期繰越剰余金	19,916,244
（合計）	19,948,878	（合計）	19,948,878

（収支計算書）

収入		支出	
前年度繰越金	11,461,342	委員会費	1,412,259
クラブ協力金	38,742,150	業務費	2,846,806
コピー関係収受金	672,665	賃貸管理費	12,001,921
受取利息	41,073	人件費	14,740,000
		次期繰越剰余金	19,916,244
（合計）	50,917,230	（合計）	50,917,230

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

〒105 東京都港区芝公園２－６－３　abc会館７階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

ガバナー事務所だより

— クラブ援助助成金　支出第１号 —

吹田西ロータリークラブに対し50万円

（事業の概要）

姉妹クラブであるコロンボ・セントラルRCとの共同事業として職業訓練センターを建設するもので、完成後はコロンボ・セントラルRC、仏教寺院（土地提供者）、スリランカ政府の三者で構成される運営委員会が管理、経費はスリランカ政府が負担する。事業全体予算　800万円

この助成金は地区がクラブの事業に対し、支出するもので、クラブが特色ある活動をすることが、ロータリー活動の原点であることを踏まえ、支援するものです。

— 援助を求めています —

1．イタリア　（第2090地区）地震

中部において発生した、地震による被害（アッシジの大聖堂も）

2．インドネシア（第3400地区）森林火災

広範囲に及ぶ森林火災が猛威をふるい、地域の２千万人が苦しめられている。

3．コンゴ　（第9150地区）民族闘争

中央アフリカにおいて再び内戦が勃発し、多くの人々が飢餓、餓死に晒されています。

4．アルゼンチン／ウルグアイ

（第4960地区）洪水

両国の国境を流れるウルグアイ川が氾濫し、１千人以上の避難と、１億米ドルの被害が発生

5．パプア・ニューギニア

（第9600地区）干ばつと飢餓

17,700人の人が既に命にかかわる食糧不足に苦しみ、さらに250,000人の人が数週間後に食糧の枯渇に直面する恐れがあります。

6．ブラジル　（第4780地区）洪水

ウルグアイ川の氾濫により2,400万米ドルの被害を受け援助を求めています。

7．スペイン・モンセラット

（第7030地区）火山噴火

スフリエール火山の噴火によりモンセラット島の住人が避難し、現在公共の建物で暮らしております。生活を妨げられている人に資金を求めています。

資金援助を希望されるクラブはガバナー事務所までお申出下さい。

— 姉妹クラブのご案内 —

この度、第3480地区（台湾）の方ガバナーより当地区近藤ガバナー宛に書簡が参りました。

それによりますと、第3480地区内のクラブの多くが、日本のクラブとの姉妹クラブ締結を希望しておられるとの事です。

日本語を話せるメンバーも多く、誠意をもって進めさせて戴きたいとの内容でした。

姉妹クラブご希望のクラブがございましたら、ガバナー事務所へお申出下さい。

◇大阪南ローターアクトクラブ例会場変更のお知らせ

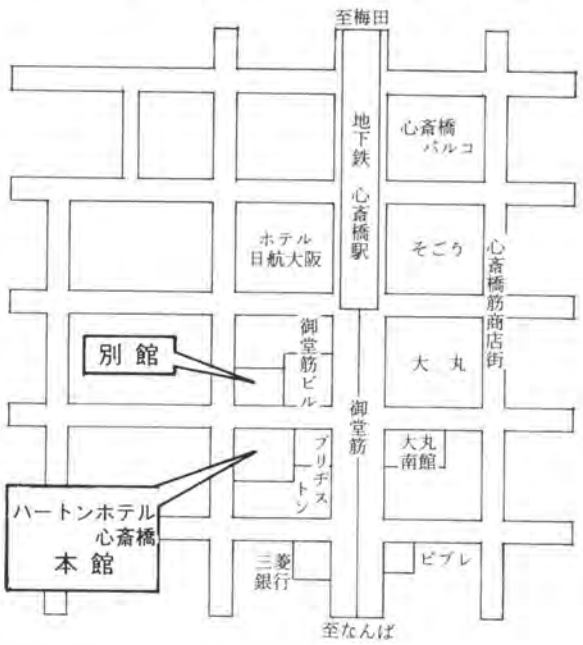
10月より大阪南ローターアクトクラブの例会場が下記の通り変更されました。（メーキャップ料の変更はなし）

《大阪南ローターアクトクラブ新例会場》

ハートンホテル心斎橋

TEL（06)251－3711

〒542 大阪市中央区西心斎橋１－５－24



◇1998年『ロータリー・ダイアリー』のご案内

1998年（暦年）『ロータリー・ダイアリー』は、ロータリアン必携のノート式卓上日記です。おなじみの12ヵ月を彩る季節感あふれた美しい日本の風景24点のカラー写真や各月のロータリー情報、巻末に収めた資料の数々が大好評です。９月１日付けで、各クラブ事務局宛、案内とご注文はがきをお送りしております。

売り切れないうちに、お早めに『友』事務所宛、ご注文ください。

◇頒価　１冊　1,000円（消費税・送料別）
お申し込み先
〒105　東京都港区芝公園２－６－３
abc会館８階　ロータリーの友事務所
TEL 03－3436－6651
FAX 03－3436－5956

◇ロータリー適用相場変更のお知らせ

本年12月１日から総ての振込に対する適用相場（ロータリーレート）が**１ドル126円**（現行117円）に変更されました。
本年12月１日以降入金されるお取扱については新レート（126円）が適用されますのでご注意下さい。

〒160 東京都新宿区新宿１-36-12
サンカテリーナビル　１F
Tel：03-3355-5425
国際ロータリー
日本サービス・センター　財務室

お詫びと訂正

11月号　P.19　米山功労者のところ
誤　　正
武地　皓 → 式地　皓
謹んで訂正申し上げます。

投稿についてのおねがい

- 各委員会報告文等は、会議・行事の終り次第なるべく早くご出稿ください。
- その他の原稿は、○月号掲載希望と明記していただければ、早目の出稿大歓迎です。
- 原稿は、編集者によるリライト、素材の取捨選択、再構成の必要のない、完全に近い原稿でお願いいたします。
- 写真も上記に準じますが、なお簡潔なキャプションをつけていただけると幸いです。

編集後記

- 近藤ガバナーには精力的に公式訪問をこなされ大変ご苦労さまでした。
- この行脚を通じての雑感が追い追い誌面を賑やかすことでしょう。大いに楽しみにしています。
- 本年も残り少なになりました。
来年は会員の英知と勇気でしがらみをのりこえてすばらしい年にいたしましょう。
皆様のご健勝をお祈りいたします。

（新原 記）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス
〒522 大阪市港区弁天１-２-１オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間
月～金曜日　午前10時～午後５時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日
年末年始　12月29日～１月２日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

1月

JAN.1 1998 No.7

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 辻巻雅臣

地区内の風物：住吉大社太鼓橋　　坂口　健会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーのメッセージ

新年のご挨拶

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　近藤雅臣

明けましておめでとうございます。

ロータリアンの皆様にはご家族共々ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は3月の国際協議会を皮切りに、PETS、地区大会、地区協議会を経て、7月にガバナーに就任し、早速公式訪問ほか各種行事への出席など休日なしの半年を過ごしました。皆様のご支援のお陰で大過なくお役目を果たさせて頂き感謝しております。

今年は任期の後半を迎え、いよいよ纒めの時期となります。引き続き温かいご支援をお願いします。今年度の大きな行事としましては全国青少年交換役員会議（大阪会議）を当地区が主催することになっておりますし、米山奨学生の判定、GSEの受け入れなど数々の行事と共に、5月の地区大会、6月の国際大会をもって今年度を終えることになっております。この間3月の国際協議会から吉川ノミニーの次年度への準備と活躍が始まります。皆様と共に吉川ノミニーのご活躍をお祈りし、その意図されるところが円滑に推進されますようご支援申し上げたいと思っております。

さて、今月はロータリー理解推進月間であります。何度も申し上げておりますようにロータリー精神の原点に立ち戻り、ロータリー活動を見直しましょう。27日を含む1週間は追悼記念週間であります。I Serveの心を実践しましょう。身近なところから始め、ひろく社会に拡げましょう。目に見え、数で表わせる成果だけでなく、これらでは表わせない成果―心の改革―が如何に素晴らしいものであるかを皆様と共に実証したいものであります。

年頭にあたり皆様方のご多幸をお祈りし、ロータリー活動への益々のご理解をお願い申し上げます。

ロータリー理解推進月間によせて

担当パスト・ガバナー　戸田　孝

「近年ロータリーを知らないRnが増えた…」1987－88年、チャールズC.ケラーRI会長は一抹の危惧を感じていた。これより当月間が始まった。「先ず源流に生きたP・ハリスたちの心を知り、これを自分の心にすれば真のロータリーが見えてくるだろう。」

ロータリーをシカゴに決定した理由は社会的混乱の巷とし有名であったからだった。（チェスリー・ペリー）

1905年２月23日、ユニティビル711号室のガスターバス・ロアー（鉱山技師）の事務所へシルベスター・シール（石炭商）ハイラム・ショーレイ（洋服屋）とP・ハリスの４人が落ち合った。ポールは「この厳しいシカゴの町の経済の中ではお互いに心が不安だ。お互いに肩を寄せ合い助け合いながらクラブを創ろう、それと、皆が仲良くなるには１業１人としよう。」決定したのは、○**互恵主義**　○**１業１人**　○**出席**の原則。２代目会長アルバート・ホワイトの時、弁理士ドナルド・カーターにロータリーの３原則を話して入会しないかとの誘いに「自分達のことだけ考えて地域社会に関心のない団体には入らない」これを聞いてP・ハリスは「カーターの言う通りだ。当クラブの定款を改訂し、綱領の中に第３条―シカゴ市の利益を増進し、その市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること。―を決定。ここで初めて社会的目的がほの見える。これを聞いてドナルド・カーターも喜んで入会。

1908年偉大な理論家アーサーF.シエルドンが参加しServiceの理念の導入でさらに高揚、クラブ内でも物質的相互扶助から精神的要素が取入れられ職業上にも倫理が認識され、これが**道徳律**（Code of Ethics）の設立の基礎となった。彼は「He profits Most Who Serves Best.」“最もよく奉仕する者　最も多く報いられる”を発表する。

1911年フランク・コリンズは「Service Above Self」“超我の奉仕”をポートランド大会で演説。

この当時ロータリーの論議が盛に行われお互いを啓発。I serve（個人）かWe serve（団体）かが激論を闘わせながらエスカレートして分裂の危機に立ち到った時、ナッシュビルRCから決議案が提出され議決された。概略を列記すると、
ロータリーは基本的には一つの人生哲学である。それは利己的な欲望と、利他的な奉仕との間の矛盾を和らげようとする人生哲学である。

ロータリー綱領はRn各自が推進する為に最高のもの。綱領の本文は“有益な事業の基礎として奉仕理想を鼓吹し、これを育成し”の部分が本文で、あとの４項目については手続要覧参照。

但し、これ以外にも奉仕を行う為の道は多くあることを認識されたい。

奉仕の理想は他人のことを思いやり、他人のために役立とうとすること。これについて1962－63年東洋ではじめて出たインドのニッチシ・ラハリーRI会長は「奉仕の理想は人類の歴史以来キリストも孔子も釈迦も等しく説き来たったもので、これこそ人間の道であり、心構えであり、精神の在り方である。」と、

四つのテスト

シカゴの若い実業家、ハーバート・テーラーが1933年をこれを作った。テーラーは苦境にあった彼の管理社会の基本政策として、このテストを実施して、驚異的成果を収めた。これをロータリーに採用し重要な役割を担う。

地区内各委員会報告

3月下旬来阪・米国アーカンソー州GSEチーム紹介

第2660地区研究グループ交換委員会

米国アーカンソー州リトルロックから当地区を訪れるGSEチームの団長と団員が決定しました。当地区内各クラブには、別途、ホームステイのホスト家庭、職業研修のお世話、通訳など、ボランティアの募集のお願いをしています。あなたも個人のベースで楽しむ国際交流をぜひご体験下さい。ご協力のお申し出は、会長、幹事、もしくはクラブロータリー財団委員会委員長を通じてガバナー事務所へお願いします。

団長 ボブ・アルビー氏

団員 ジャリ・ジャクソンさん

団員 ロス・ジョーンズ氏

団員 JJ・ミールズさん

団員 ケビン・スパン氏

●団長

ボブ・アルビー（西リトルロックＲＣ幹事、第6150地区青少年交換委員長）41才

・アーカンソー州科学技術公社コミュニケーションマネージャー。（副業でＰＲ会社自営）

・職業研修希望：マーケティング会社、ＰＲ会社の見学と懇談。地方公共団体コミュニケーション担当者との交流。

●団員

ジェリ・ジャクソン　48才

・メディカルスクールのＰＲディレクター。

・職業研修希望：テレビ局のニュースルーム見学。メディカルセンターのＰＲ部門訪問と懇談。

ロス・ジョーンズ　35才

・職業写真家。

・職業研修希望：商業写真スタジオ訪問。新聞社とその印刷工場、カメラ製造工場訪問。

JJ・ミールズ　24才

・歴史博物館ディレクター。

・職業研修希望：博物館（美術館）訪問、日本文化、歴史遺産の保全状況。

ケビン・スパン　32才

・生命保険会社マーケティング担当マネージャー。

・職業研修希望：日本の保険業界の特性・運営方針の研究（商品開発、プライシング、クレーム処理等）。保険業界全体に対する政府の規制。

ＩＭ実施報告

ＩＭ第１組報告書

ホストクラブ　箕面ロータリークラブ
ＩＭ委員長　　多田　慶三

日　　時：1997年11月29日(土)
場　　所：箕面観光ホテル２Ｆパイン：３Ｆ紅葉
ホ　ス　ト：箕面ロータリークラブ
参加クラブ：池田・豊中・豊中南・豊中大阪国際空港・箕面中央・池田くれは・
　　豊中千里・箕面　計８クラブ
登録者数：423名
出席者数：174名　ビジター８名（堂島、御堂筋ロータリークラブ）

テーマ　　ロータリアンは世直し役が果たせるか
『地域社会へのロータリーからの提言と行動』

ロータリーの奉仕の原点は『愛』と『心』にあるとのRI、地区ガバナーの呼びかけにも拘らず、まさかの事態が頻発する現代社会、どうにかならないものかとロータリアンの立場から世直し策を模索し自らの行動を反省してみました。

５クラブのご代表から、環境問題１件、若者の教育について４件のご提言があり、人類の存否に関る自然破壊への警告、教育については乳幼児期の重要性、父性喪失の嘆き、家庭教育の重み、自己中心主義へのいましめと何れも示唆に富んだ提言をいただきました。

当日は、近藤ガバナーを始め伊瀬、広瀬、山中、中野パスト・ガバナー、地区から、増田（八尾）藤川（池田）多田（大阪東南）各委員のご出席を頂き、特に広瀬様からは

最大の社会問題になっている交通事故について事の重大さ、社会的、個人的損失の莫大さを数値を挙げてアピールくださいました。

あいにくの空模様で当初の出席予定を幾分下回りはしましたが、皆様最後まで熱心に参加頂き、ＩＭ後半は趣向をがらりと変えて和室大広間に移動、宴会気分で親睦を高めながら討議を続け、世直しアンケートにも沢山のご意見を頂きました。

最後になりましたが、終始ご懇切なご指導を頂きました山中文和ゼネラル・リーダーに深甚の謝意を表します。

提言者：山下霊瑞（箕面）、山本格（池田）、田中勇之祐（豊中）、亀田八良（豊中南）、武田昭（豊中大阪国際空港）

ＩＭ第２組報告書

ホストクラブ　高槻東ロータリークラブ
ＩＭ委員長　**北浦　信行**
ＩＭ記録委員長　**森山　鐵男**

日　　時：1997年11月８日(土)
場　　所：大阪サンパレス
参加クラブ：茨木・茨木東・千里・摂津・吹田・吹田江坂・吹田西・高槻・高槻西・茨木西・高槻東
登 録 者 数：656名
参 加 者 数：316名

Ｒ１第2660地区第２組のＩＭは、菅生浩三ゼネラル・リーダーのご指導のもと、開催致しました。

開会式、ならびに地区報告の後、生田神社宮司で、神戸ロータリークラブのロータリアンでもある、加藤隆久氏を特別講師にお招きし、「災害時のロータリー活動」～阪神淡路大震災に学ぶ～をテーマに講演を頂きました。

講師自身が当時の神戸ロータリークラブの会長であった事、オリエンタルホテル（例会場、事務局）崩壊で、３日がかりで書類、備品などを搬出、一時、生田神社会館で例会を開催した事、１月17日大地震発生から８ヵ月間の足どりをドキュメントとして報告がありました。また、米国からの女子留学生が被災し、おびえきっていた彼女を国際奉仕委員長が自宅に寄宿させ、あの混乱の中をいち早く帰国させて、感謝されたこと、それが、米国の新聞に大々的に報道されて賞賛されたことなど、そして、今回のテーマ「災害時のロータリー活動」については、常日頃のロータリー活動を着実に実践するこ

とが、この様な突発、緊急事態発生時の活動指針になると結論ずけられました。最後に国内はもとより全世界のロータリアンからたくさんの暖かいご支援を頂いたことを心から感謝しますと結ばれました。ご講演後、会場よりたくさんの質問があり、今でも、まだまだ関心の深さを改めて感じました。

時間の都合で途中で打ち切りましたが、大変有意義に終了しました。

第2部は親睦と友好の輪を広めるため、ジャズバンド「藤田博司とアウルエーセス」を招き、なつかしいジャズの数々を聞きながら、北摂5つの酒蔵の銘酒を賞味し楽しいひとときを過ごしました。特に近藤雅臣ガバナーのジャズのソロは玄人はだしで、大変びっくりするとともに懇親会を大いに盛り上げ、親睦は一層深まったように感じました。最後になりましたが、近藤雅臣ガバナー、菅生浩三ゼネラル・リーダー、パスト・ガバナー、特別講師の加藤隆久生田神社宮司、そして、11クラブロータリアンの皆様に心から御礼を申し上げます。

当日の特別講演

特別講師　生田神社宮司　加藤隆久氏

第2部　親睦懇親会のひとこま

1997年11月度　出　席　報　告

クラブ名	期初の会員数	11月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	11月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	4	100.00	1	大阪中之島	55	52	0	−3	4	96.15	33
大東中央	32	34	12	2	4	79.50	80	大阪難波	75	77	0	2	4	98.05	18
東大阪	81	82	0	1	4	96.13	34	大阪なにわ	48	47	0	−1	4	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	4	96.59	30	大阪南西	71	75	3	4	2	95.86	35
東大阪中央	58	55	0	−3	2	94.46	47	大阪西	92	94	0	2	2	97.76	20
東大阪西	61	62	0	−1	2	93.22	56	大阪大手前	61	64	0	3	4	93.82	52
枚方	61	62	0	1	4	99.11	12	大阪大淀	81	80	0	−1	4	89.74	72
枚方くずは	65	66	0	1	4	97.13	25	大阪咲洲	42	39	3	−3	4	82.05	79
茨木	59	62	1	3	4	100.00	1	大阪西北	79	79	0	0	4	98.58	15
茨木東	53	52	3	−1	4	98.08	17	大阪西南	114	114	9	0	4	100.00	1
茨木西	42	43	7	1	4	99.84	6	大阪船場	64	69	0	5	2	94.70	44
池田	57	59	1	2	4	83.11	78	大阪心斎橋	80	82	0	2	4	97.50	21
池田くれは	46	46	0	0	2	89.62	74	大阪城北	64	65	1	1	4	92.50	61
門真	29	32	0	3	4	93.10	57	大阪そねざき	62	66	50	4	4	99.24	10
交野	48	48	0	0	4	92.19	65	大阪住之江	49	49	0	0	2	97.88	19
箕面	37	39	0	2	4	92.93	59	大阪住吉	80	79	5	−1	4	94.42	48
箕面中央	51	52	0	1	4	94.00	51	大阪天満橋	122	121	0	−1	3	94.63	45
守口	91	94	5	3	4	95.40	39	大阪天王寺	40	40	0	0	4	73.75	81
寝屋川	53	55	0	2	4	94.10	50	大阪東南	66	66	0	0	4	96.96	27
寝屋川東	27	31	0	4	4	95.20	41	大阪鶴見	49	49	0	0	4	95.04	43
大阪	285	299	0	14	4	84.36	77	大阪梅田	67	65	0	−2	4	96.78	28
大阪阿倍野	56	58	3	2	4	90.96	68	大阪梅田東	59	62	0	3	4	95.57	38
大阪ちゃやまち	61	60	0	−1	2	92.98	58	大阪うつぼ	73	76	0	3	4	95.06	42
大阪中央	69	69	1	0	4	99.64	8	大阪淀川	75	77	0	2	4	95.36	40
大阪堂島	55	56	1	1	2	93.64	53	千里	75	78	0	3	4	95.84	36
大阪阪南	75	74	0	−1	4	97.08	26	摂津	52	52	0	0	4	92.35	64
大阪東	138	142	0	4	4	97.35	24	四条畷	25	26	0	1	4	91.35	67
大阪東淀	63	63	4	0	2	96.22	32	吹田	82	85	5	3	4	99.70	7
大阪平野	55	58	0	3	4	100.00	1	吹田江坂	55	56	2	1	4	99.10	13
大阪本町	62	65	0	3	4	91.72	66	吹田西	65	66	0	1	2	98.41	16
大阪イブニング	42	43	1	1	4	92.50	61	高槻	67	71	0	4	4	99.24	10
大阪城	17	18	0	1	4	84.72	76	高槻東	55	56	0	1	4	94.40	49
大阪城南	83	83	0	0	4	99.40	9	高槻西	44	44	0	0	4	96.59	30
大阪城東	64	68	0	4	4	98.63	14	豊中	74	77	0	3	4	92.49	63
大阪柏原	50	51	3	1	4	93.57	54	豊中南	59	59	0	0	4	96.78	28
大阪北	190	197	0	7	4	92.67	60	豊中大阪国際空港	49	48	0	−1	4	90.43	70
大阪北梅田	64	64	0	0	2	89.68	73	豊中千里	46	48	3	2	4	95.70	37
大阪北淀	48	52	0	4	4	97.42	23	八尾	83	85	0	2	4	97.43	22
大阪御堂筋	78	78	0	0	4	93.51	55	八尾中央	41	43	0	2	4	94.51	46
大阪南	188	192	0	4	4	90.44	69	八尾東	58	59	4	1	4	89.90	71
大阪みなと	36	39	2	3	4	84.89	75								

クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
81	5470	5585	129	115		94.3	

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1997)

茂田	文彦	大阪御堂筋RC	11・7
山田	耕司	〃 RC	〃
池田	博信	東大阪東RC	11・10
柳川瀬	隆夫	大阪天王寺RC	〃
※國枝	幹司	大阪北RC	11・11
※李	景禹	大阪住之江RC	11・13
※安養寺	敏彦	交野RC	11・14
※三好	一則	摂津RC	11・17
塩谷	嘉太郎	茨木東RC	〃
吉本	晴之	大阪RC	〃
※榎原	嘉之	豊中南RC	〃
※平山	稔	〃 RC	〃
※宮内	敏光	〃 RC	〃
※小林	春市	〃 RC	〃
加藤	照雄	〃 RC	〃
武田	矩夫	〃 RC	〃
橘高	又八郎	池田RC	6・30
※新井	文三	大阪住吉RC	11・19
※松村	武	〃 RC	〃
※三木	敏男	〃 RC	〃
泉	博朗	〃 RC	〃
中井	義明	〃 RC	〃
※大西	淳	大阪平野RC	〃
※佐野	元英	〃 RC	〃
小林	孝	大阪ちゃやまちRC	〃
前田	要之助	〃 RC	〃
榔川	善一	〃 RC	〃
大塚	豊	〃 RC	〃
寺島	通弘	〃 RC	〃
柳瀬	悌二	〃 RC	〃
米田	秀実	〃 RC	〃
野田	宏	大阪梅田東RC	〃
松平	重男	枚方RC	11・20
岩阪	俊介	〃 RC	〃
竹安	真治	〃 RC	〃
※三松	雄太郎	〃 RC	〃
※中村	正二	大阪南西RC	〃
※前田	重兵衛	〃 RC	〃
※佐々木	定彦	〃 RC	〃
※小長谷	道人	〃 RC	〃
※岩崎	旭人	東大阪西RC	〃
中西	英二	〃 RC	〃
今井	澄	〃 RC	〃
※徳永	孝哉	大阪船場RC	〃
村上	満	大阪北RC	〃
植村	宏一郎	大阪平野RC	〃
村上	元昭	高槻東RC	〃
※榛木	登司雄	大阪東南RC	11・21
※松井	三朗	〃 RC	〃
※三野	文男	〃 RC	〃
※田中	敬一	〃 RC	〃
※山木	林三	大阪東南RC	11・21
※岡本	健治	〃 RC	〃
※野崎	瞭一	〃 RC	〃
※内藤	雅敏	〃 RC	〃
北田	耕一	〃 RC	〃
森	芳郎	〃 RC	〃
西岡	潔史	〃 RC	〃
荘司	儀一	〃 RC	〃
津村	秀二	〃 RC	〃
秋山	勤	茨木RC	〃
中西	勝	〃 RC	〃
※水田	泰次	〃 RC	〃
長澤	利治	〃 RC	〃
※高島	健	〃 RC	〃
森	正博	大阪なにわRC	〃
永谷	嘉次	東大阪東RC	11・25
赤川	好央	大阪心斎橋RC	〃
広島	一光	〃 RC	〃
昼馬	洋一郎	〃 RC	〃
倉田	能達	〃 RC	〃
※大橋	寛治	〃 RC	〃
田窪	賢司	〃 RC	〃
濱田	智志	大阪城北RC	〃
※遠田	義昭	大阪城南RC	〃
内藤	喬皓	〃 RC	〃
※金田	勝弘	〃 RC	〃
※岡倉	三郎	〃 RC	〃
※中本	和洋	〃 RC	〃
※越澤	弘昭	茨木東RC	〃
林	祐弘	枚方くずはRC	〃
片桐	公秀	〃 RC	〃
中野	保博	〃 RC	〃
※木村	慎一郎	四條畷RC	〃
※田村	實	〃 RC	〃
※高井	康伊	大阪柏原RC	〃
小路	徹二	〃 RC	〃
石崎	昭	〃 RC	〃
大橋	秀樹	〃 RC	〃
入江	実	大阪難波RC	〃
久保	勇	〃 RC	〃
※長村	文雄	枚方くずはRC	〃
新田	耕平	池田くれはRC	〃
三好	洋二	〃 RC	〃
長嶋	貞孝	〃 RC	〃
原田	直己	大阪難波RC	〃
※笹岡	宏造	〃 RC	〃
※山口	貞夫	〃 RC	〃
北橋	保	〃 RC	〃
駒井	敏彦	〃 RC	〃
佐伯	元三	〃 RC	〃
※山口	愛彦	四條畷RC	〃
※林	銑吉郎	大阪東南RC	11・21
※木村	行雄	〃 RC	〃

※田中義矩	大阪東南RC	11・21
服部昌子	大阪阪南RC	11・25
高橋博文	〃 RC	〃

ベネファクター

北村憲一	大阪御堂筋RC	11・7
谷田隆一	大阪梅田RC	11・13
坂本英一	豊中南RC	11・17
亀田光宏	大阪船場RC	11・20
大磯隆一	〃 RC	〃
白井淳二	〃 RC	〃
辻 壽	大阪なにわRC	11・21
岡村政嗣	大阪柏原RC	11・25
石田明正	池田くれはRC	〃
片山通夫	枚方くずはRC	〃

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1997)

※高島政康（3回目）	東大阪西RC	
※大島長造（6回目）	大阪東RC	
鈴木良造	大阪城南RC	
※遠田義昭（2回目）	〃 RC	
松原貞一	大阪柏原RC	
※山田紘一郎（2回目）	大阪南RC	
青木達也	大阪西南RC	
平田啓治郎	〃 RC	
宮崎正	〃 RC	
露口佳彦	〃 RC	
山田武義	〃 RC	
吉川守	〃 RC	
木曽英次郎	大阪住吉RC	
松浦寛法	高槻東RC	
加藤隆	八尾RC	
森慶太郎	〃 RC	
小倉九蔵	〃 RC	
泉寛治	八尾中央RC	
村上槇一	〃 RC	

※印＝２回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1997)

増田靖仁	東大阪中央RC
田中恵二	東大阪西RC
貝本年正	茨木東RC
越澤弘昭	〃 RC
釜口正夫	大阪咲洲RC
近藤治郎	大阪西北RC
森下美恵子	大阪西南RC
西村敏治	〃 RC
四宮孝郎	大阪西南RC
重村正	〃 RC
高澤冨士子	〃 RC
八木洋子	〃 RC
的場延雄	千里RC
木下喜昭	吹田江坂RC
西上博幸	〃 RC
田畑勉	〃 RC
平賀正	高槻東RC
樋口道夫	〃 RC
石井清隆	〃 RC
奥田勝啓	八尾RC
中井敬和	八尾中央RC

米山功労法人

次の貴社に米山功労法人の称号が贈られました。(1997)

田中亜鉛鍍金㈱	大阪淀川RC

訃報

岡本俊徳 君（大東中央RC）
平成９年11月24日逝去（享年62歳）
1935年（昭和10年）３月30日生まれ
1996年（平成８年）３月14日入会
1996－97年度　職業分類委員長
1997－98年度　青少年奉仕委員長
1998－99年度　副会長・クラブ奉仕委員長

生駒　譲 君（大阪南RC）
平成９年12月６日逝去（享年74歳）
1923年（大正12年）９月27日生まれ
1980年（昭和55年）10月　入会
米山功労者
ポール・ハリス・フェロー

新開信之 君（大阪南RC）
平成９年12月８日逝去（享年70歳）
1927年（昭和２年）３月30日生まれ
1984年（昭和59年）９月　入会
1996－97年度　理事
準米山功労者
ポール・ハリス・フェロー

井上　武 君（大阪東淀RC）
平成９年12月11日逝去（享年73歳）
1924年（大正13年）２月13日生まれ
1978年（昭和53年）１月１日入会
米山功労者
ポール・ハリス・フェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

交野RC例会曜日変更のお知らせ

例会曜日変更　金曜日 → 木曜日（平成10年１月より）

初回変更日は１月８日(木)からです。

文　庫　通　信（124号）

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万７千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会シンポジウムから（1995－97）

◎「米山奨学生おおいに語る―日本の友達を通じて得た日本及び日本人観」
D.2610　11頁　郭　顕錦、張　禍道、李　建新、南　尚鎮

◎「遙かなる道・ロータリー」
D.2630　22頁　小瀬　洋喜、吉田　豊、所　功

◎「ロータリーと寛容の精神」
D.2640　12頁　佐藤　千寿、三宅　俊三、土屋　亮平

◎「国際理解と平和―東欧ロータリークラブ」対談
D.2650　８頁　ヤヌシュ・フォグレール、イジー・ブルバ　他５名

◎「アジアと太平洋地域における大阪の役割について―海の彼方からのメッセージ」
D.2660　10頁　ヴィセンティ・ロアン、アブドラ・ラフマン　他４名

◎「RI第6450地区（シカゴ）『GSEメンバー日本を語る』」
D.2770　10頁　フレッド・オットー、モーリン・ハロズン　他３名

◎「ロータリーは国際化を促進できるか？」
D.2780　15頁　加藤　恒七、竹山　涼一、二橋　貞雄

◎「地球の文化遺産を見直そう」
D.2610　21頁　浅生　幸子、池端　滋、谷本　亙、長谷川　和衛

◎「新世代問題について」
D.2830　14頁　藤原　勉、對馬　文夫、木村　将人、渡部　忍

［申込先　ロータリー文庫（コピー）］
注：氏名＝パネリスト

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

〒105-0011 東京都港区芝公園２－６－３ abc会館７階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

97年度下半期（98．1．1－6．30）人頭分担金、ロータリアン誌購読料適用相場について

掲題の件につき国際ロータリー世界本部より98．1．1から適用相場を1ドル130円に変更する旨連絡がありましたので下記の通りお知らせ申し上げます。

基準額	適用相場	円貨
人頭分担金17ドル50セント	130円	2,275円
ロータリアン誌購読料6ドル	130円	780円

（お振込は必ず来年1月以降に、分担金とロータリアン誌の合計額でご送金下さい。尚、ロータリー財団への寄付も同じく1ドル当り130円が適用されます。）

㈱ 半期報告書（含む支払書式）は上記お振込と同時に日本サービスセンター財務室へご送付下さい。

人頭分担金の計算…基準17ドル50セント×会員数×適用相場130円＝円貨額

〒160　東京都新宿区新宿1-36-12
サンカテリーナ1F
Tel：03-3355-5425
国際ロータリー
日本サービス・センター　財務室

投稿についてのおねがい

○　各委員会報告文等は、会議・行事の終り次第なるべく早くご出稿ください。
○　その他の原稿は、○月号掲載希望と明記していただければ、早目の出稿大歓迎です。
○　原稿は、編集者によるリライト、素材の取捨選択、再構成の必要のない、完全に近い原稿でお願いいたします。
○　写真も上記に準じますが、なお簡潔なキャプションをつけていただけると幸いです。

おわびと訂正

7月号（№1）以来、うかつにも巻末のガバナー事務所案内欄の郵便番号の誤りに気付かずにおりました。ご迷惑をおわび申し上げます。そしてご指摘くださった方ありがとうございました。

誤		正
〒522	→	〒552

編集後記

○　明けましておめでとうございます。2000年に向けてのカウント・ダウンに拍車がかかります。
○　浮きたってばかりはおられない。病める**ココロ**の問題、正義と秩序の退廃、期待と信用の喪失、そしてそのいずれをとっても国や限られた地域にとどまらず、生ずれば一挙に世界連鎖に陥る。まさにグローバル時代の出来ごと。
○　かつて「世紀末」あるいは「世紀末的」といわれてきた事象の今日版か。それにしても世紀の節目の今、意外にこのことばを聞かないなといぶかって繰ってみた。
○　なるほど辞書・辞典はさておき、imidas、知恵蔵、現代用語の基礎知識の類いには見当たらない。やっぱり死語になっていたか。
○　本音と建前の使いわけと、責任の転嫁はよそう。若者の狂った暴走は鑑となるべきわれわれ自らの生きざまの反映ととれなくもない。

年頭に当って独りひとりが恥ずるところがないか反省しよう。ロータリーの組織においても然り。

○　ロータリー理解推進月間に当り、ご入院中の戸田パスト・ガバナーからメッセージを頂戴した。事情もしらず、ガバナー事務所を通じお願いしていたものである。平癒の祈願をこめて投稿に心からのお礼を申し上げます。（記　新原）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス

〒552 大阪市港区弁天1-2-1
オーク1番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間

月～金曜日　午前10時～午後5時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

2月

FEB.1 1998 No.8

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

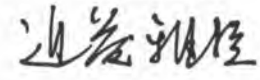
ガバナー 近畿雅臣

地区内の風物：万博公園のもくれん　　坂口　健会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーのメッセージ

世界理解月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区
ガバナー 

世界理解――何と理解しにくい言葉ではありませんか。私はこれを私なりに考えつつあります。まだ、結論には達してはおりません。というのは世界はあまりにも大き過ぎるからです。世界――私はまず地球を考えてしまいます。地球がなければ世界は存在しないからです。そして、その地球上に生活する膨大な数の生命体のうちのほんのひとつかみの生物が人間であり、その人間が今わがもの顔で地球上をのし歩いている姿が目に浮かびます。地球にやさしく――何と傲慢不遜な言葉でしょう。地球に生かされている人間が言う言葉ではありません。地球に感謝すべきであります。地球の恩恵に浴すると共に、一方では時に自然の大きな力に脅威を感じ、天変地異に脅える人間にとっては、大自然の前では本来民族、人種、貧富の差などはなく、すべて平等の地球人として生かされているはずです。この地球への感謝の念を持った地球人として、一人一人が生かされている喜びを共有することが大切であり、今の世界は地球をぬきにあまりにも人間だけの世界を造ってしまったことに誤りがあるように思えます。そこに国のエゴ、民族のエゴそして人それぞれのエゴが生まれ、戦争や諍いが絶えない世界となっているのでしょう。人類すべてが地球人としての自覚をもち、連帯感を深めて行けば、その道のりは遠くても平和で豊かな生活の享受に到達できるのではないでしょうか。それを早める力となりうるのがロータリー活動であり、それは地球人としてのロータリアン一人一人のI Serveの精神から始まるものと考えています。世界理解――それは地球上の生態系の一員として地球の恩恵を享受する地球人としての自覚の上で理解さるべきものであり、ロータリーはそれを世界に広めて行かなくてはならないと考えています。

ロータリー活動を見直しませんか（2）

今回は寄付、協賛について考えてみたいと思います。ロータリーは寄付団体ではないことは周知のとおりであります。しかし、各クラブは地域社会に貢献し、地域の社会奉仕に尽力することも大切な活動であることから地域の公的施設、行事などへの寄付、協賛を数多く依頼されるのが現状であります。地域と密着しているクラブほど断りきれないことが多いようです。そして、結局はそれが習慣的なものになり、寄付金と感謝状の

交換に終わってしまうようなことも多々あるように思えます。ロータリーは本来単年度を区切りとして運営して行くものであることを理由として、継続して価値のあるものとそうでないものを毎年はっきりと見直し、その際、どのように役立っているのか、改善すべき点はないかなど現場を見極める配慮が必要ではないかと思います。はっきり申し上げて寄付を受ける側も習慣的に毎年予算に自動的に計上され、あてにされているところもあるようです。何となく継続することは容易く、止めることは難しいことはよく判りますが、けじめははっきりとすべきではないかと考えます。

寄付に関しては、米山記念奨学会への寄付があります。ロータリーにおいてわが国独自の奨学制度として多大の貢献をしてきたことはロータリアンとして誇りにすべき活動であると思います。しかし、この制度もそろそろ見直しても良いのではないでしょうか。現行制度の中では、わが国に存在する外国人に対し奨学金を授与することになっていますが、優秀な学生で向学心に燃え、日本で勉強することを望んでいながら日本に身寄りもなく、旅費もないためこの奨学金の恩恵に浴することのできない人にも道を拓いてあげたいものと思います。私は30数年まえフルブライト交換研究員として渡米しましたが、その経験を未だに感謝し、今なお米国に心からの親しみを感じています。おそらくこのようにしてこられた学生諸君は私のような気持ちをもって国に帰られるのではないでしょうか。財団には定款があり、その変更は難しいかもしれませんが、米山記念会館への奨学会からの多額の寄付を考えれば、財団運営への見直しにも努力してもらいたいものであります。

悲愁な体験を糧に

パスト・ガバナー　**熊澤　忠躬**

満場寂として声なく、演説終了するや否や割れる様な拍手、さりげなく目頭を拭う光景が客席の随所に見られた。

それは１月17日、甲南女子大学〈芦原講堂〉で催された阪神・淡路大震災３周年事業「生き方を考える高校生フォーラム」兵庫県決勝弁論大会の一コマであった。魂を揺さ振る程の感動を与えたこの弁論者は豊岡実業高校建築科１年、名城直樹（なしろなおき）君（16才）であり、８名の選抜者の中で、直樹君に最優秀賞が授与された。何故私が敢えて直樹君とも親しげに又誇らしげに呼べるのか、それは私及び吹田西ＲＣのメンバーが彼の里親クラブの一員であることに基づくからです。

３年前の１月17日の早朝、忽然としてあの大惨事が勃発し、直樹君は両親、弟、祖母を一瞬の中に失い、弟祐次君と２人だけ救出され、余塵燻る廃墟の中に佇み、救助隊が

無反応なため見捨てた両親の居た室の瓦礫を13才と10才の少年が必死になって取り除こうとしたが力及ばず、遂に後ろ髪をひかれる気持ちで待避させられた。つい前日まで1泊2日で姫路の健康ランドに一家揃って温泉に行き、父と初めてサウナに入り皆と楽しい時を過ごし疲れ果て、楽しい夢の中での出来事であった。2日後豊岡のおじさんが迎えに来てくれ、布団で寝たまま死んでいる家族と対面したが、もう「おとん」「おかん」「和也」「おばあちゃん」と呼んでも返事が戻って来ない。小さな胸が押しつぶされる様な悲劇であったか想像に絶するものがある。私は敢えて悲惨よりも悲愁という言葉を選んだ次第です。

当地区の支援活動の一環として里親クラブプロジェクトを企画し、まずは、大橋、新津、岡本委員等と共に両親を亡くした遺児を探しに被災現地を訪れ、7名を探し出し希望していた7クラブに里親クラブになって戴いた。偶然にも直樹君を吹田西ＲＣ（当時山村幸明会長、現青木郁二会長)、弟祐次君を守口ＲＣ（当時井上幾之進会長、現横山正憲会長）が担当することになった。私達の念願は、これら遺児達が成人するまで長い目で精神的・経済的に親身の気持ちで支援し健かに育ってもらいたいということです。こうして3年を経た今日、直樹君の素晴らしい成長を目にした感激は一入です。本当の育て親になってくれている叔父の村雄邦雄ご夫妻のご尽力、担任の鼻戸輝彦教諭のご薫陶に深甚の敬意を表します。更にこれだけ見事な話術を教導して下さった田中久典先生の指導力に驚異の念を禁じ得ません。

最近、マス メディアの報道で、シンナー遊びの結果暴力を振るったり、殺人したりする高校生の無軌道振りに、日本の将来の不安をつのらせていた折りから覚醒の感が湧きおこりました。直樹君はこの悲愁の中から1月17日を家族の命日であると同時に自分の命を大切にする「命の日」と考え、生の奇跡を得た自分は精一杯生きて「地震に強い家や町を必ずつくる」建築士になる大きな夢を描いています。まさに悲愁な体験を糧にして今日を逞しく生きていく一少年の偉業に称賛の辞を贈る次第です。この君の場合は慶祝の例であるが、中には不遇な例が出現するかも知れません。それでも私共ロータリアンは親身の支援を続けていくことを忘れてはならないと更めて意識させられました。

1997年12月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	12月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	12月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	3	100.00	1	大阪中之島	55	51	0	−4	4	97.00	26
大東中央	32	35	13	3	4	79.60	81	大阪難波	75	76	0	1	4	95.79	38
東大阪	81	81	0	0	4	98.43	15	大阪なにわ	48	47	0	−1	4	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	4	96.48	30	大阪南西	71	74	4	3	4	94.84	48
東大阪中央	58	55	0	−3	4	95.00	44	大阪西	92	93	0	1	4	96.27	33
東大阪西	61	60	0	−1	4	94.92	47	大阪大手前	61	64	0	3	3	97.16	23
枚方	61	61	0	0	3	96.43	31	大阪大淀	81	78	0	−3	4	92.13	63
枚方くずは	65	66	0	1	4	98.36	18	大阪咲洲	42	39	3	−3	4	91.67	67
茨木	59	61	1	2	4	97.78	20	大阪西北	79	78	0	−1	3	99.05	12
茨木東	53	52	3	−1	3	98.72	13	大阪西南	114	113	9	−1	4	100.00	1
茨木西	42	43	7	1	4	97.67	21	大阪船場	64	67	0	3	4	95.43	41
池田	57	59	1	2	4	86.81	77	大阪心斎橋	80	82	0	2	4	96.87	27
池田くれは	46	46	0	0	4	84.29	78	大阪城北	64	65	1	1	4	91.83	65
門真	29	33	0	4	4	95.00	44	大阪そねざき	62	68	50	6	4	98.13	19
交野	48	48	0	0	4	94.27	55	大阪住之江	49	49	0	0	4	98.41	16
箕面	37	40	0	3	4	93.20	61	大阪住吉	80	78	5	−2	4	93.52	59
箕面中央	51	52	0	1	4	94.50	52	大阪天満橋	122	121	0	−1	4	94.30	54
守口	91	94	5	3	4	95.21	42	大阪天王寺	40	40	0	0	4	93.75	58
寝屋川	53	52	0	−1	4	94.61	51	大阪東南	66	64	0	−2	3	98.48	14
寝屋川東	27	31	0	4	4	96.80	28	大阪鶴見	49	47	0	−2	3	94.76	49
大阪	285	298	0	13	4	83.21	80	大阪梅田	67	67	0	0	4	95.18	43
大阪阿倍野	56	54	3	−2	4	90.62	69	大阪梅田東	59	61	0	2	4	95.54	40
大阪ちゃやまち	61	60	0	−1	4	94.64	50	大阪うつぼ	73	75	0	2	3	93.85	57
大阪中央	69	67	1	−2	4	100.00	1	大阪淀川	75	76	0	1	4	97.14	24
大阪堂島	55	56	1	1	4	95.00	44	千里	75	78	0	3	3	96.15	35
大阪阪南	75	72	0	−3	3	93.23	60	摂津	52	52	0	0	4	90.31	71
大阪東	138	142	0	4	4	95.88	36	四条畷	25	24	0	−1	4	94.00	56
大阪東淀	63	62	4	−1	4	96.22	34	吹田	82	84	4	2	4	99.40	8
大阪平野	55	57	0	2	4	100.00	1	吹田江坂	55	55	2	0	3	100.00	1
大阪本町	62	65	0	3	3	88.17	75	吹田西	65	61	0	−4	4	98.41	16
大阪イブニング	42	46	1	4	4	91.75	66	高槻	67	70	0	3	4	99.26	11
大阪城	17	18	0	1	4	87.50	76	高槻東	55	55	0	0	4	95.80	37
大阪城南	83	82	0	−1	4	96.69	29	高槻西	44	43	0	−1	4	100.00	1
大阪城東	64	68	0	4	3	99.39	9	豊中	74	75	0	1	3	94.43	53
大阪柏原	50	50	3	0	3	95.74	39	豊中南	59	59	0	0	3	97.10	25
大阪北	190	197	0	7	4	92.01	64	豊中大阪国際空港	49	48	0	−1	4	91.49	68
大阪北梅田	64	60	0	−4	4	88.35	73	豊中千里	46	48	3	2	4	88.20	74
大阪北淀	48	52	0	4	4	96.43	31	八尾	83	86	0	3	4	97.42	22
大阪御堂筋	78	76	0	−2	4	93.00	62	八尾中央	41	42	0	1	4	99.39	9
大阪南	188	189	0	1	3	90.42	70	八尾東	58	59	4	1	4	89.10	72
大阪みなと	36	39	2	3	4	83.78	79								

クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
81	5470	5535	130	65		94.7	

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1998)

北井清文	大東RC
米沢三吾	〃 RC
津田公男	枚方RC
三村雄太郎	〃 RC
西村彦次	大阪RC
※大槻峡央(5回目)	大阪ちゃやまちRC
溝口龍彦	大阪堂島RC
※竹田秀道(3回目)	〃 RC
※小浜雅之(2回目)	大阪東RC
※伊藤彰彦(2回目)	〃 RC
西村淳	大阪平野RC
長澤亨	大阪本町RC
山本兼右	〃 RC
木下貞三	大阪南RC
久我三郎	〃 RC
小八木規之	〃 RC
今川隆	大阪難波RC
井上俊治	〃 RC
黒川友二	〃 RC
久島文彬	大阪西北RC
小野時雄	大阪住吉RC
西野政治	大阪鶴見RC
天羽邦照	大阪うつぼRC
木村一雄	〃 RC
島野秀行	〃 RC
鈴木隆志	〃 RC
葛原寛	千里RC
西田泰晤	〃 RC
足達忠利	吹田RC
古徳幸俊	〃 RC
木村雄次郎	〃 RC
寺村幸雄	豊中大阪国際空港RC
山吹壽	〃 RC
大林盾臣	八尾中央RC

※印＝2回目以上

米山功労法人

次の貴社に米山功労法人の称号が贈られました。(1998)

交野松下㈱	交野RC
※近畿通信建設㈱(3回目)	大阪南RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1998)

川上隶宏	大東RC
上村普	〃 RC
小松崇	〃 RC
清水修	〃 RC
杉井清秀	〃 RC
田川強	〃 RC
西垣文雄	大東中央RC
大東禮子	〃 RC
吉沢和夫	東大阪RC
勝山巖	東大阪東RC
吾郷泰廣	枚方くずはRC
泉谷楠夫	〃 RC
林祐弘	〃 RC
猪奥年紀	交野RC
山田多津子	守口RC
黒田章裕	大阪RC
東野一彌	〃 RC
領木新一郎	〃 RC
山下達雄	大阪ちゃやまちRC
吉田英志	〃 RC
播磨章一	大阪堂島RC
片岡亥一郎	〃 RC
北研次	〃 RC
桑田圭司	〃 RC
下村一穂	〃 RC
伊藤浩一郎	大阪本町RC
芝野雅亜規	大阪南RC
三浦智明	大阪西RC
古市仁	大阪西北RC
上田宏二	〃 RC
賀屋雅雄	大阪鶴見RC
中村浩一	〃 RC
江口啓爾	大阪うつぼRC
羽生一喜	〃 RC
松田隆治	〃 RC
岡崎善久	〃 RC
岡田興亜	〃 RC
藤井克彦	千里RC
西村壮一	〃 RC
中道紀夫	摂津RC
菱川音三郎	吹田RC
佐藤庄治	〃 RC
佐々木伸行	〃 RC
斉藤昇男	高槻東RC

1998－99年度版全日本ロータリークラブ会員名簿のご案内

会員の皆様のロータリー情報の交換や親睦のために毎年製作しております。次年度版の会員名簿には、新クラブ、新会員などを加え、また、会員の異動に伴う大幅な訂正を行う予定です。

特に、①各クラブ四大奉仕委員長のお名前を明示。②各クラブの創立年月日ならびに特別代表のお名前を掲載。③インターアクトクラブ、ローターアクトクラブのスポンサークラブに①、Ⓡを付す　などの従来からの資料のほか、本年２月からの**７ケタの新郵便番号の実施に伴い、新たに会員の事業所の住所にもすべて郵便番号を掲載し、**一層使いやすくなりました。

１組　7,500円（消費税・送料別）

８月中旬出来上がり予定。

クラブ事務局を通じて、ロータリーの友事務所までお申し込みください。

ロータリーの友事務所
〒105-0011　東京都港区芝公園２－６－３　ａｂｃ会館８階
TEL　03-3436-6651　　FAX　03-3436-5956

文　庫　通　信　(125号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万７千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から（1995－97）

◎「歴史の曲がり角とロータリーの役割り」　今井　鎮雄　D.2640　８頁
◎「演歌とロータリー」　星野　哲郎　D.2790　10頁
◎「一歩踏み出す勇気―自己革新とフィランソロピー」　渡邊　一雄　D.2520　９頁
◎「勝ち残りの経営戦略」　水口　健次　D.2570　５頁
◎「21世紀中国は経済大国になるのか。日本との関係は…」
関　志雄　D.2570　８頁
◎「日本の古代史は大きく変わるか」　網干　善教　D.2650　15頁
◎「アジア時代の日本人は…」　金　美齢　D.2770　８頁
◎「人間再発見」　藤本　義一　D.2770　14頁
◎「放送席から見たスポーツ人間像」　西田　善夫　D.2800　16頁
◎「21世紀に向けたロータリアンの役割」　西澤　潤一　D.2810　６頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

〒105-0011 東京都港区芝公園２－６－３ abc会館７階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

1997－1998年度 国際ロータリー第2660地区 地区大会 概要ご案内（予定）

平成10年５月８日(金)・９日(土)　リーガロイヤルホテル、フェスティバルホール
ホ　ス　ト　千里ロータリークラブ
コ・ホスト　吹田西ロータリークラブ、吹田江坂ロータリークラブ

大会第１日　平成10年５月８日(金)
場所：リーガロイヤルホテル（光琳の間）

開　会　式　12：00（登録・受付）　13：00（開会点鐘）
RI会長代理ご出席

シンポジウム　13：30～15：00（閉会点鐘）
テーマ　戦後教育の総点検　－新しい教育改革をめざして－
コーディネーター
松岡　博 氏（RI第2660地区教育問題特別委員会委員長、大阪大学副学長）
パネリスト
谷沢　永一 氏（関西大学名誉教授、評論家）
津田　和明 氏（サントリー株式会社取締役副社長、関西経済同友会教育社会改革委員会委員長）
高橋　叡子 氏（財団法人 大阪国際文化協会会長、前大阪府教育委員会委員）

部門別懇談会　15：30（登録・受付）～17：30（閉会）　場所：リーガロイヤルホテル内各室
○ 会長・幹事部門　○ 職業奉仕部門　○ 社会奉仕部門
○ 国際奉仕部門　○ ロータリー財団部門

家族の集い　10：30（登録・受付）～16：00（終演）　場所：松竹座
片岡孝夫改め第15代目片岡仁左衛門襲名披露・歌舞伎観劇

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会　17：30（登録・受付）～20：40（終宴）　場所：光琳の間
エンターテインメント第１部　ミニコンサート
リリックテノール独唱　関西二期会 細川　維
ピアノ伴奏　細川知恵子
バンド演奏　ザ・ベリーグッドマンズ
エンターテインメント第２部　ゴスペルの夕べ
東京コミュニケーションアート専門学校
大阪スクールオブミュージック専門学校

大会第２日　平成10年５月９日(土)
場所：フェスティバルホール

本　会　議　12：00（登録・受付）～15：30
RI会長代理ご挨拶
表彰、各委員会報告他

記念講演　15：30～16：50（予定）
堺屋　太一（交渉中）

ジャズコンサート　17：00～18：00（閉会点鐘）
Drums　ジョージ 川口
Vocal　笈田　敏夫
Piamp　世良　譲
Chorus　スリーグレイセス
Orchestra ファアイン メイツ

大会登録料
会員１名　8,000円（全員登録）
家族１名　5,000円
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
会員１名　20,000円
家族の集い（70名）
家族１名　20,000円

訃　　報

田 淵 三 郎 君（大阪淀川ＲＣ）
平成９年12月27日逝去（享年85歳）
1912年（大正元年）生まれ
1961年（昭和36年）入会
チャーターメンバー
1970－71年度　会長
ポール・ハリス・フェロー

柴 田 喜 三 郎 君（大阪淀川ＲＣ）
平成10年１月５日逝去（享年96歳）
1901年（明治34年）生まれ
1961年（昭和36年）入会
チャーターメンバー
1964－65年度　会長
ポール・ハリス・フェロー

西 田 富 美 君（大東中央ＲＣ）
平成10月１月13日逝去（享年81歳）
1916年（大正５年）４月23日生まれ
1996年（平成８年）３月14日入会
チャーターメンバー
1996－97年度　副会長・クラブ奉仕委員長
1997－98年度　会長エレクト
ポール・ハリス・フェロー

古 薮 盛 三 君（大阪阪南ＲＣ）
平成10年１月13日逝去（享年90歳）
1907年（明治40年）７月10日生まれ
1969年（昭和44年）６月10日入会
チャーターメンバー
1970－71年度　会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

1998－99年度　ガバナー月信について

ガバナー・ノミニー　吉川　謹司
地区幹事　吉川　忠章

1999－99年度ガバナー月信につきましては、１号及び13号は地区内全会員に、２号～12号は本年と同様、各クラブ会長ならびに幹事、地区委員、地区幹事宛に無料配布いたします。

なお、２号～12号につきましては、配布希望の声もありますので、ご希望の会員には年間2,200円での有料配布とさせて戴きます。役員、理事、委員長をはじめ、多数の会員の皆様のご購読をお願い申しあげます。

国際ポリオ・プラス委員会 現状及び数字に関する声明

1．ロータリーは全世界からポリオを根絶させるため米貨３億４百万ドルの資金調達を誓約。アジアでの撲滅には米貨１億１千５百万ドルの資金調達を誓約。

2．1985年から1986年に、ＲＩ、ＲＩ財団、協力団体の努力によって10億人以上の子供が経口ポリオワクチンの投与を受けた。1996年、82ヵ国において免疫接種の日が実施され、経口ポリオワクチンの投与を受けた子供は約４億人、これは全世界の５才以下の子供の60％に相当する。

3．1996年、ポリオの発生が報告されなかった国数は154ヵ国に上る。

4．ポリオの根絶により、世界中において節約される医療費は年間少なくとも米貨15億ドルと推定される。

5．ロータリーは、ポリオ撲滅運動における民間団体のリーダーである。

ＲＩ、およびＲＩ財団が主要パートナーと言う表現を用いる団体は世界保健機関（WHO）、米国防疫センター（CDC）、国連児童基金（ユニセフ）と国際ロータリー（ＲＩ）である。日本国際協力事業団（JICA）ならびに関係諸国の政府も含まれる。

援助を求めています

▶ナイジェリア（第9120地区）市場の焼失

ナイジェリア北部のカデュナ市の中央広場から発生した大火災により市場が全焼し、11人の死者が出ました。

▶クック諸島（第9920地区）台風

11月１日発生の台風によりクック諸島北部の幾つかの島々に甚大な被害が発生しました。

援助ご希望のクラブはガバナー事務所までお申し出下さい。

クラブのバナーを求めています

米国フロリダ州にあるDUNEDIN RCは、ＲＩに代わって世界中のクラブのバナーを保存してきたとの事で、この度、ガバナー宛に協力を求めて来ました。ご協力願えるクラブはガバナー事務所までお送り下さい。求められているクラブは既に保存中の下記クラブ以外です。

東大阪、枚方、池田、門真、箕面、大阪、
大阪ちゃやまち、大阪東、大阪東淀、大阪城南、
大阪南西、大阪北、大阪西北、大阪大手前、
大阪船場、大阪心斎橋、大阪南、大阪西南、
大阪住之江、大阪天満橋、大阪西、大阪淀川、
千里、吹田西、高槻東、豊中、八尾、八尾中央

編　集　後　記

◇　おぞましくも忌まわしい事がこうも続くか、一体これは何だ。せめて明るい話題をと見回すが、無い。

◇　ロータリーよ、この奔流に抗せるか。勇気もいる。エネルギーもいる。そして何よりも自らが清流でなくては。

◇　必要悪なんて言葉を弄すること自体、そもそもすり代えの論議。こんなものなくて当然、なくて困ることはない。

◇　こんな滅入る気持ちの中で、心に沁みる何かに出会った。それは健気に育つ被災児の近況を報じた一文、熊澤P.G.からのものだ。われわれに出来ることは微力、この話も瓦礫のなかから咲いたたった一輪の花かも知れない。しかし人を救った、そして人を活かしたこのよろこびは迫ってくる。逞しく生きてほしい。

◇　これで思い出した。あの日のあの時震災の神戸に、また座礁タンカーによるオイル汚染の日本海に、熱い心で飛び込み活躍してくれたボランティアの若者たちのことを。安逸に呆け、くだらん事件を起こす輩の絶えない今、片や一朝事あれば自発的に、規制の垣根を越えてでも的確にやるべきことを成し遂げられる頼もしい青年たちが存在する。託すべき優秀な若者はいるのだ。大人たちよ。

（新原記）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス

〒552-0007 大阪市港区弁天１-２-１
オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間

月～金曜日　午前10時～午後５時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

3月

MAR.1 1998 No.9

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 近藤雅臣

地区内の風物：陽春　淀川河畔にて　　坂口　健会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーからのメッセージ

ローターアクト週間に寄せて

国際ロータリー第2660地区
ガバナー　

数々の感動を与えてくれた冬季オリンピックも無事終了し、あわただしい年度末を迎えました。提唱クラブの皆様には平素ローターアクトクラブのメンバーをパートナーとして奉仕活動に専念され厚く感謝申し上げます。わが地区では皆様のご支援で現在のところ会員増加の傾向にあり喜んでいる次第です。できるだけ多くの次代を背負う若人達にロータリー活動を理解して頂き、共に奉仕の道を歩みたいものです。冬季オリンピックに出場し、人々に感動を与えるとともに自らも感動を得た若者達はローターアクトの皆さんと同世代であります。彼等はスポーツを通じて感動を与えたのに対し、ローターアクトの皆さんは奉仕を通じて感動し、また、感動を与えてきました。手段は違ってもその行為と成果は尊いものといえます。一人でも多くの若者達が理解を深めて欲しいものです。ローターアクトクラブの持続的発展はなかなか難しく、ロータリアンと共に大変苦労されています。定年制あるいは青年会議所会員との年齢的重複など会員増強に関して多くの問題が横たわっています。どのようにすれば若人達に魅力あるクラブにできるのか、将来のロータリアンとして育ってもらうために何をすべきかなど、提唱クラブや地区委員会だけにまかせずにもう一度全力を挙げて皆様と共に考え、支援したいものです。

ロータリー活動を見直しませんか（3）

ガバナー　

3月は卒業式の月であります。日本では学業を終えることのようですが、アメリカではCommencementであり始まることを意味しています。次の新しいステップに進んで行くという点では結果的に同じかもしれませんが、卒業は一旦そこで終り、改めて次に進むことで、Commencementは社会への繋がりの中で未来への始まりの喜びを意味しているのではないでしょうか。これはアカデミックな教育と実学的な教育の違いかもしれません。こじつけかも知れませんが、ロータリーについて考えてみますと、例えば役職につけば一生懸命勉強するが任期が終われば元のロータリアンに戻ってしまいその段階で終わってしまう人、逆にその役職に熱心なあまり何年でも留年してCommencementしない人もいます。まさに専門家として貴重な存在であります。ロータリーには色々な役職があります。私はこれは多い程（限度はありますが）良く、できるだけ多くの人に経験して頂きたいと思っています。役職につけば皆さん勉強して頂けるからです。したがって役職には任期が必要です。任期が終われば卒業ではなくまさにCommencemntであり、その経験を生かして地区あるいはクラブに活気を注ぎこむか、別の役職について新たな勉強への始まりとするか、ロータリーの人事は幅広く、活発に行われるべきでしょ

う。後継者がいないからというのは育てていない怠慢さを暴露しているようなもので、ロータリアンであればすべての人が後継者になりうる能力をお持ちであることを忘れてはならないと思います。ロータリアンにとって自らの行動がロータリーを意識せずともロータリーの行動そのものになったとき穏やかな卒業を迎える時かもしれません。

青少年交換委員会報告

青少年交換委員会
ROTEX担当　**常楽寺　喜雄**（東大阪東）

ROTEX（帰国学生の同窓会）メンバーは現在70名に達している。執行部は、今年度の村上正晃会長、古谷吉康総務を中心に整然と役割分担がなされ、毎月第２土曜日に例会が開催されており、当委員会から、中委員長、常楽寺ROTEX担当が毎回参加している。

ROTEXは、単なる帰国交換学生の同窓会活動だけでなく、来日中の学生達や、次期派遣学生達との交流に、その活動のポイントをおいてくれている。来日学生達は日本での生活をするにあたり、色々な面で、ストレスや悩みを抱くようになる。

勿論、各ホストクラブには、クラブカウンセラーや担当ロータリアンがおられ、受け入れ高等学校にも、カウンセラーの先生がおられるが、ROTEXメンバーは、自分達も海外で同じような経験をして来ているだけに、彼らの気持も理解しやすく年齢差もあまりなく打ちとけやすいので、交流を通じて心のケアーの一助にもなろうと心掛けてくれている。一方、これから海外に出掛けてゆく派遣学生達も、どのような生活が待ち受けているのか、期待に胸おどらせながらも不安を感じている。

そこで機会（派遣学生へのオリエンテーションなど）があるごとに、ROTEXから彼らの経験談をしてもらって、海外生活への予備知識の一端とさせている。

1997－98年度後半のROTEX参加行事　　1998年２月10日現在

２月22日	（ROTEX主催／地区委員同行） 来日学生を京都へ、西陣織など伝統文化を訪ねて
３月７日，８日	（ROTEX主催／地区委員同行） 来日学生を姫路へ、一泊旅行、姫路城見学など
４月25日，26日	（地区委員会主催） 神峯山寺キャンプ。来日学生、派遣学生、ROTEXと合同で一泊二日の集中プログラム。英語による交流と討論の練習をする。
５月３日～５日	（地区行事） 海のライラ
５月29日～31日	（地区委員会主催） 来日学生研修旅行　広島（原爆ドーム見学など）・山口方面へ

ROTEXホームページ．http://hal.seikyou.ne.jp/home/fyoshi/rotex/

1998年1月度　出　席　報　告

クラブ名	期初の会員数	1月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	1月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	4	100.00	1	大阪中之島	55	51	0	−4	3	92.15	65
大東中央	32	32	10	0	4	76.60	81	大阪難波	75	75	0	0	3	96.05	39
東大阪	81	81	0	0	4	92.74	62	大阪なにわ	48	48	0	0	3	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	3	96.46	35	大阪南西	71	74	4	3	4	95.07	44
東大阪中央	58	55	0	−3	3	100.00	1	大阪西	92	94	0	2	4	97.41	31
東大阪西	61	60	0	−1	3	94.35	50	大阪大手前	61	64	0	3	4	94.17	52
枚方	61	61	0	0	4	96.75	33	大阪大淀	81	79	0	−2	3	91.36	69
枚方くずは	65	65	0	0	4	99.19	12	大阪咲洲	42	39	3	−3	4	90.38	72
茨木	59	61	1	2	4	98.88	14	大阪西北	79	79	0	0	4	99.31	11
茨木東	53	53	3	0	3	98.11	22	大阪西南	114	113	9	−1	4	100.00	1
茨木西	42	44	7	2	4	99.43	10	大阪船場	64	68	0	4	3	96.36	37
池田	57	59	1	2	4	87.60	77	大阪心斎橋	80	83	0	3	4	97.89	24
池田くれは	46	46	0	0	4	80.40	80	大阪城北	64	65	1	1	4	93.00	59
門真	29	33	0	4	3	98.89	13	大阪そねざき	62	67	50	5	4	98.88	14
交野	48	49	0	1	3	93.88	54	大阪住之江	49	49	0	0	3	97.92	23
箕面	37	39	0	2	3	95.56	42	大阪住吉	80	78	5	-2	4	92.31	63
箕面中央	51	49	0	−2	4	94.00	53	大阪天満橋	122	120	0	−2	3	93.81	55
守口	91	94	5	3	4	96.90	32	大阪天王寺	40	40	0	0	4	90.63	71
寝屋川	53	53	0	0	4	96.00	40	大阪東南	66	64	0	−2	4	98.48	20
寝屋川東	27	30	0	3	4	93.30	57	大阪鶴見	49	48	0	−1	4	96.74	34
大阪	285	297	0	12	4	86.50	78	大阪梅田	67	67	0	0	3	93.10	58
大阪阿倍野	56	55	3	−1	4	92.81	61	大阪梅田東	59	62	0	3	4	95.97	41
大阪ちゃやまち	61	60	0	−1	3	94.74	47	大阪うつぼ	73	75	0	2	4	94.23	51
大阪中央	69	66	1	−3	3	98.50	19	大阪淀川	75	75	2	0	4	97.83	26
大阪堂島	55	56	1	1	4	94.55	48	千里	75	78	0	3	4	96.16	38
大阪阪南	75	71	0	−4	4	98.51	18	摂津	52	52	0	0	4	94.90	45
大阪東	138	144	0	6	3	97.60	28	四条畷	25	24	0	−1	4	91.75	67
大阪東淀	63	61	5	−2	4	92.19	64	吹田	82	84	4	2	3	99.60	7
大阪平野	55	57	0	2	3	100.00	1	吹田江坂	55	55	2	0	4	99.54	8
大阪本町	62	64	0	2	4	91.53	68	吹田西	65	60	0	−5	4	100.00	1
大阪イブニング	42	44	1	2	3	88.56	76	高槻	67	70	0	3	4	97.74	27
大阪城	17	18	0	1	4	88.89	74	高槻東	55	55	0	0	4	97.60	28
大阪城南	83	82	0	−1	4	97.86	25	高槻西	44	43	0	−1	3	98.45	21
大阪城東	64	68	0	4	4	99.54	8	豊中	74	72	0	−2	4	94.90	45
大阪柏原	50	50	3	0	4	89.89	74	豊中南	59	59	0	0	3	98.58	17
大阪北	190	197	0	7	4	93.62	56	豊中大阪国際空港	49	48	0	−1	4	92.07	66
大阪北梅田	64	60	0	−4	4	94.40	49	豊中千里	46	48	3	2	4	98.70	16
大阪北淀	48	52	0	4	4	97.60	28	八尾	83	86	0	3	4	96.46	35
大阪御堂筋	78	78	0	0	3	92.99	60	八尾中央	41	42	0	1	4	95.12	43
大阪南	188	189	0	1	4	91.02	70	八尾東	58	57	4	−1	4	89.90	73
大阪みなと	36	38	2	2	3	84.26	79								

クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
81	5470	5525	130	55		94.9	

1997－98年度　RI会長賞エントリーについて

本年度の優秀なクラブの表彰をするためのエントリー期限が迫っております。

RIへの期限は４月15日と定められておりますので**４月５日必着**にて申請書をガバナー事務所へお送り下さい。

文　庫　通　信　(126号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万７千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最　新　資　料　か　ら

◎「会長の時間　1996－1997年度」　西宮RC　1997　54頁
［申込先　西宮RC　FAX(0798)48-4811］

◎「広報活動の記録－活発な広報活動を展開するために」　D.2600　1997　81頁
［申込先　D.2600　TEL(0263)36-8190］

◎「子どもの死の意味を考える」　D.2680　震災復興委員会「ロータリー子どもの家」　1997　39頁　［申込先　「ロータリー子どもの家」　TEL(078)341-6492］

◎「JAPAN The Rotary Death March」　スチーブン・シュート　浜松南RC　1997　91頁　［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「洛西・洛東往来記－ロータリーの愉しみ－」　西谷　裕　1997　145頁
［申込先　西谷 裕　FAX(075)561-6262］

◎「ROTARYが楽しく身につく本－基本を正しく理解しよう」　高岡ＲＣ　1997　99頁
［申込先　高岡RC　FAX(0766)25-4477］

◎「ロータリーと私」　鳴海淳郎　1997　129頁　［申込先　ロータリー文庫］

◎「ロータリーの意義」　ビビアン・カーター　1997　88頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「ロータリーの心を」　D.2790　1997　64頁［申込先　D.2790　TEL(0476)23-2790］

◎「ロータリーの求めるもの」　中山義之　1997　16頁　［申込先　ロータリー文庫］

◎「ロータリー用語便覧」　大西省司　1997　161頁
［申込先　大西省司　FAX(0773)22-1828］

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

〒105-0011 東京都港区芝公園２－６－３　abc会館７階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1998)

西川	保	摂津	RC	11・26
津田	宏	大阪梅田東	RC	〃
※水谷	善博	吹田江坂	RC	〃
古川	久好	〃	RC	〃
今村	啓志	〃	RC	〃
大井	清	〃	RC	〃
田中	茂晴	〃	RC	〃
速見	憲	〃	RC	〃
西村	義博	〃	RC	〃
田畑	勉	〃	RC	〃
田口	長兵衛	〃	RC	〃
堀田	稔	〃	RC	〃
西山	俊明	〃	RC	〃
盛田	三五	大阪東	RC	〃
※小坂	憲司	〃	RC	〃
※北川	雅詳	大阪住吉	RC	〃
髙子	克之	〃	RC	〃
笹山	利雄	豊中千里	RC	〃
※藤原	英夫	東大阪中央	RC	〃
※木村	正一	〃	RC	〃
阪口	毅	八尾中央	RC	〃
※松田	一良	〃	RC	〃
※林	明雄	〃	RC	〃
※秋山	圭市	大阪西	RC	11・27
※橋本	誠一	〃	RC	〃
※北村	寅雄	〃	RC	〃
※松中	修身	〃	RC	〃
※山上	和則	〃	RC	〃
三浦	知明	〃	RC	〃
高島	一	〃	RC	〃
本田	和正	大阪南	RC	〃
※三原	淺次郎	〃	RC	〃
松村	照平	〃	RC	〃
※橋本	雄司	八尾	RC	〃
※加藤	隆	〃	RC	〃
松村	勝	〃	RC	〃
※中島	孝夫	〃	RC	〃
※西海	元樹一	〃	RC	〃
※岡田	禮節一	〃	RC	〃
※坂上	哉三	〃	RC	〃
※杉本	一斉	〃	RC	〃
當内	雄之	〃	RC	〃
※吉川	鹿哲	〃	RC	〃
※寺坂	明人	〃	RC	〃
稲田	省悟	〃	RC	〃
久保川	順三	〃	RC	〃
村本	博康	〃	RC	〃
西久保	幸	〃	RC	〃
※小倉	一	〃	RC	〃
緒方	武夫	〃	RC	〃
鈴木	弘	〃	RC	〃
※田中	吉治	〃	RC	〃
※山本	純義	〃	RC	〃
小山	治悦	〃	RC	〃
正野	憲	〃	RC	〃
※山田	英男	大阪城北	RC	11・27
※中北	博	大東	RC	〃
※角井	吉彦	〃	RC	〃
※重森	正三	〃	RC	〃
杉井	清秀	〃	RC	〃
上村	晋	〃	RC	〃
※見浪	光夫	〃	RC	〃
小松	崇	〃	RC	〃
※鷲森	董	〃	RC	〃
田川	強	〃	RC	〃
※山口	雅民	大阪東南	RC	〃
山崎	正博	〃	RC	〃
※岸	武良	東大阪	RC	〃
※橋本	雅央	高槻東	RC	〃
堀江	義明	〃	RC	〃
森山	鐵男	〃	RC	〃
田中	春次	〃	RC	〃
※堀江	正巳	箕面中央	RC	〃
※大石	博雄	大阪北淀	RC	〃
加藤	英子	茨木西	RC	〃
須川	就三	〃	RC	〃
※佐々木	良高	〃	RC	〃
※馬場	孝志	〃	RC	〃
花房	嗣郎	千里	RC	〃
深本	繁雄	大阪西南	RC	〃
※濱岡	正典	〃	RC	〃
※笠井	文雄	〃	RC	〃
※河村	英之	〃	RC	〃
武田	元彦	〃	RC	〃
木村	雅彦	〃	RC	〃
岡田	忠	〃	RC	〃
※重村	登龍	〃	RC	〃
※露口	佳彦	〃	RC	〃
※浜田	保廣	〃	RC	〃
石田	正太郎	〃	RC	〃
河尻	隆司	〃	RC	〃
川西	博	〃	RC	〃
※野崎	弘毅	〃	RC	〃
※沖見	圭祐	〃	RC	〃
※庄司	信一	〃	RC	〃
※田中	穣二	〃	RC	〃
※谷戸	司	〃	RC	〃
※福光	道太	大阪堂島	RC	〃
※西川	亨	〃	RC	〃
道上	惠三郎	〃	RC	〃
※中島	武	〃	RC	〃
前田	勉	〃	RC	〃
※戸谷	晴治	〃	RC	〃
※西尾	恒太	〃	RC	〃
下村	一穂	〃	RC	〃
鈴木	俊生	大阪御堂筋	RC	〃
※右田	治彦	〃	RC	〃
城谷	星	茨木東	RC	〃
倉根	秀行	大東中央	RC	〃
山村	森一	大阪梅田東	RC	〃
徳永	義行	〃	RC	〃
※市口	武志	東大阪東	RC	〃

安藤	康雄	大阪本町	RC	11・27
細川	三郎	〃	RC	〃
松村	榮一	〃	RC	〃
岡野	啓治郎	〃	RC	〃
※寺西	邦男	〃	RC	〃
土屋	福蔵	〃	RC	〃
浅岡	昭	〃	RC	〃
石井	基行	〃	RC	〃
野村	和輿	〃	RC	〃
新宅	悦治	〃	RC	〃
富田	進	〃	RC	〃
※湯谷	登来男	東大阪中央	RC	11・28
中野	和夫	門真	RC	〃
三田	勝	〃	RC	〃
田中	義昭	〃	RC	〃
古谷	修一	〃	RC	〃
大塚	庸行	〃	RC	〃
※堀内	彦仁	豊中南	RC	〃
※大槻	峡央	大阪ちゃやまち	RC	〃
※足達	忠利	吹田	RC	〃
井村	卓治	〃	RC	〃
※中村	外一	〃	RC	〃
大山	武司	〃	RC	〃
四宮	眞男	〃	RC	〃
※山本	忠司	大阪難波	RC	〃
※三谷	義典	〃	RC	〃
道風	秀夫	〃	RC	〃
井上	正典	〃	RC	〃
村生	翠	〃	RC	〃
※藤田	温	大阪	RC	〃
吉田	浩司	大阪イブニング	RC	〃
谷	信和	大阪南	RC	〃
奥井	末一	〃	RC	〃
沖野	晴朗	〃	RC	〃
※地久里	昌廣	大阪平野	RC	〃
梅崎	道夫	大阪城南	RC	〃
※橋本	晃芳	大阪西北	RC	〃
※石鎚	定清	〃	RC	〃
※築添	正	〃	RC	〃
瀬田川	昭俊	〃	RC	〃
高木	寛	大阪西	RC	12・11
中村	勤	〃	RC	〃
松宮	清隆	大阪天満橋	RC	12・19
大矢	平治	〃	RC	〃
山田	清隆	〃	RC	〃
中村	博司	〃	RC	〃
※田	季晴	大阪うつぼ	RC	〃
※藤井	健蔵	〃	RC	〃
※木下	明之	〃	RC	〃
※豆村	賢治	〃	RC	〃
※的場	勝彌	〃	RC	〃
※松岡	晃一郎	〃	RC	〃
※村上	秀雄	〃	RC	〃
※杉本	誠二	〃	RC	〃
岩井	莞治	〃	RC	〃
岡田	興亜	〃	RC	〃
岡崎	善久	〃	RC	〃
米田	静生	〃	RC	〃
鈴木	儀雄	大阪本町	RC	12・24
※黒川	義春	大阪	RC	〃
金子	武夫	吹田江坂	RC	12・26
西口	隆三	〃	RC	〃
飛田	昭男	〃	RC	〃
吉岡	五郎	吹田西	RC	〃
※更家	章太	大阪南	RC	〃
※松山	淳子	大阪南西	RC	12・30
※西川	和伸	〃	RC	〃
長安	公子	大阪	RC	〃

ベネファクター

水谷	善博	吹田江坂	RC	11・26
音在	秀信	大阪鶴見	RC	〃
奥田	勝啓	八尾	RC	〃
坂本	憲治	〃	RC	〃
髙井	栄彌	〃	RC	〃
山分	義一	八尾中央	RC	〃
米沢	三吾	大東	RC	11・27
古谷	勝紀	東大阪	RC	〃
赤田	邦男	茨木西	RC	〃
田村	英明	〃	RC	〃
浜田	清司	大東中央	RC	〃
田中	義信	茨木	RC	〃
村山	廣甫	大阪西南	RC	〃
湯谷	登来男	東大阪中央	RC	11・28
小川	肇	大阪なにわ	RC	〃
西澤	正男	大阪城南	RC	〃
坂本	孝司	大阪城南	RC	11・28
越智	碩夫	大阪北梅田	RC	12・24
村上	益子	東大阪西	RC	12・25

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1998)

速水	逸也	大阪大手前	RC
河村	健治	〃	RC
下村	敏夫	〃	RC
※谷山	誠賢 (2回目)	大阪住吉	RC
瀧口	利章	〃	RC
徳山	喜昭	大阪梅田	RC
吉田	和弘	〃	RC
木村	久一	八尾東	RC
桑	増秀	〃	RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1998)

岡本	克持郎	大阪城南 RC
吉村	孝治	大阪北淀 RC
小竹	靖二	大阪中之島 RC
飯塚	久忠	大阪大手前 RC
真野	鐵生	八尾東 RC

1997－1998年度 国際ロータリー第2660地区 地区大会 概要ご案内（予定）

平成10年５月８日(金)・９日(土)　リーガロイヤルホテル、フェスティバルホール
ホ　ス　ト　千里ロータリークラブ
コ・ホスト　吹田西ロータリークラブ、吹田江坂ロータリークラブ

大会第１日　平成10年５月８日(金)
場所：リーガロイヤルホテル（光琳の間）

開　会　式　12：00（登録・受付）　13：00（開会点鐘）
RI会長代理ご出席

シンポジウム　13：30～15：00（閉会点鐘）
テーマ　戦後教育の総点検　－新しい教育改革をめざして－
コーディネーター
松岡　博 氏（RI第2660地区教育問題特別委員会委員長、大阪大学副学長）
パネリスト
谷沢　永一 氏（関西大学名誉教授、評論家）
津田　和明 氏（サントリー株式会社取締役副社長、関西経済同友会教育社会改革委員会委員長）
高橋　叡子 氏（財団法人 大阪国際文化協会会長、前大阪府教育委員会委員）

部門別懇談会　15：30（登録・受付）～17：30（閉会）　場所：リーガロイヤルホテル内各室
○ 会長・幹事部門　○ 職業奉仕部門　○ 社会奉仕部門
○ 国際奉仕部門　○ ロータリー財団部門

家族の集い　10：30（登録・受付）～16：00（終演）　場所：松竹座
片岡孝夫改め第15代目片岡仁左衛門襲名披露・歌舞伎観劇

RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会　17：30（登録・受付）～20：40（終宴）　場所：光琳の間
エンターテインメント第１部　ミニコンサート
リリックテノール独唱　関西二期会 細川　維
ピアノ伴奏　細川知恵子
バンド演奏　ザ・ベリーグッドマンズ
エンターテインメント第２部　ゴスペルの夕べ
東京コミュニケーションアート専門学校
大阪スクールオブミュージック専門学校

大会第２日　平成10年５月９日(土)
場所：フェスティバルホール

本　会　議　12：00（登録・受付）～15：30
RI会長代理ご挨拶
表彰、各委員会報告他

記念講演　15：30～16：50（予定）
堺屋　太一 氏

ジャズコンサート　17：00～18：00（閉会点鐘）
Drums　ジョージ 川口
Vocal　笈田　敏夫
Piamp　世良　譲
Chorus　スリーグレイセス
Orchestra ファアイン メイツ

大会登録料
会員１名　8,000円（全員登録）
家族１名　5,000円
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
会員１名　20,000円
家族の集い（70名）
家族１名　20,000円

訃　　報

成 山 博 文 君（大阪住之江ＲＣ）
平成10年１月22日逝去（享年79歳）
1919年（大正８年）８月24日生まれ
1975年（昭和50年）３月24日入会
チャーターメンバー
1997年１月１日　名誉会員に
1981－82年度　会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（２回）
米山功労者（２回）

塚 本 小 太 郎 君（大 阪 北ＲＣ）
平成10年２月３日逝去（享年77歳）
1920年（大正９年）９月23日生まれ
1969年（昭和44年）12月３日入会

大 内 昭 男 君（大阪鶴見ＲＣ）
平成10年２月15日逝去（享年68歳）
1929年（昭和４年）５月５日生まれ
1984年（昭和59年）入会チャーターメンバー
1986－87年度　会長
1989－93年度　地区研究グループ交換委員会
委員
1994－96年度　〃　委員長
1996－98年度　〃　委員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山ファンドフェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

援助を求めています

◆ペルー　洪水　4300地区
ペルー南部の地域に豪雨が発生し、1,000戸を超える家屋、15,000人に及ぶ住民が被害を受けました。

◆米国、カナダ　7850地区
米国のニューイングランド地方北部とカナダのケベック州での氷雪暴風の被害を受けた地区として４番目の地区となりました。

◆ペルー　洪水　4460地区
ペルーの北部と中部でエルニーニョ現象による集中豪雨が発生、30人の死者が出ました。

お詫びと訂正

ガバナー月信２月号
Ｐ.6　米山功労者の中で上から六人目

誤　　正
大槻峡央　⇨　大槻峡史

お名前を間違えて大変失礼いたしました。

Ｐ.8　地区大会概要案内の中で **大会第２日** 記念講演の記載にミスがありました。謹んで訂正いたします。

正 ⇨　堺屋　太一　氏（交渉中）
⇧
敬称を洩らしておりました

堺屋太一様には大変ご無礼申し上げました。また、関係者の皆さまにご迷惑をお掛けしましたことを、重ねてお詫び申し上げます。

編 集 後 記

◇　相も変わらず時局にからむ不定愁訴はつのるばかりだが、このいらいらを吹っ飛ばす快挙に巡り合えた。長野冬季五輪がもたらした数々の感動である。

◇　個人ベースの競り合いもいい。国を背負った意識過剰のぶつかり合いがあってもいいじゃないの、スポーツだから。

◇　スポーツの判定には、客観性にすぐれた計測・定量化できるタイプのものと、主観や感性にたよるタイプそしてこれらのミックス型がある。種目によっては、あわや格闘かと気をもむスリリングなシーンもあるが、すべてはルールが解決する。

◇　中途で恣意的に基準を変えられたり、ルールを超えて特定の国やチームを優遇することもない。違反があればルールの範囲で処罰や減点が行なわれる。ペナルティの裁定は瞬時に行なわれ、ここにも恣意がはいらない。

◇　終われば謙虚に勇者をたたえ、しこりを後に残さない。崇高さを感じる所以である。　（新原）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス
〒552-0007 大阪市港区弁天１－２－１
オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間
月～金曜日　午前10時～午後５時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

4月

APR.1 1998 No.10

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 辻巻雅臣

地区内の風物：千里中央公園の桜　　坂口　健会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーからのメッセージ

雑誌月間に寄せて

国際ロータリー第2660地区

ガバナー　近藤雅臣

ロータリーに関する雑誌は日本では日本語の『ロータリーの友』と英語版が発刊されていますが、これまでは読まれざるベストセラーという称号が与えられていました。しかし、最近はその汚名？は返上できるようになってきたのではないかと思います。これは一週間前に各クラブの雑誌担当の委員長或いは委員に雑誌が予め配布され、下読みをして頂いてから、それを第一週の例会で紹介して頂けるようになったからではないかと思います。紹介の方法としては各クラブそれぞれ特色を出しておられるようですが、例会で興味ある情報、記事を紹介したり、担当者の独断を避けるために数人の方々の推薦目次を知らせたり様々な努力をして頂いています。ロータリアンになられる方々は大体細かい字を読むのが億劫になりがちであったり、読む暇がなかったりという理由で十分目を通して頂けないことが多いようです。しかし、このような努力をして頂ければ雑誌への関心が湧き、手にとって頂けるようになるのではないかと期待しています。一般に年配者に文章を読ませるには大きな字でＡ４版一枚が最も効果があるという人もいます。要約して読んでもらう方法もあるでしょう。また、ロータリアンのような知識人は斜めに読む速読法を心得た方もおられます。しかし、要は読んでみようという気持ちがあるかどうかが問題であり、その気持ちをどう引き出すかでしょう。編集者のご苦労がよく判りますし、われわれもそれに応えることが心というものでしょう。面白くないといわれる方がおられるなら、どうすれば面白くなるのかを提案すべきでしょう。RI会長をはじめとするRI情報あるいはクラブ活動に参考になる記事が数多く記載されている『ロータリーの友』を読んで下さい。担当委員の紹介記事を糸口に他の記事にも目を向けて下さい。

1999－2000年度
地区ガバナー・ノミニー候補の推薦

地区ガバナー指名委員会規約に基づき、平成10年３月９日に開催した指名委員会において慎重審議の結果、全員一致をもって、豊中ロータリークラブ会員、柏木　尚君を1999－2000年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニー候補者として推薦することに決定しました。

ガバナー月信第２号（８月号）において、地区内各クラブに対し、国際ロータリー細則第13条及び当地区ガバナー指名委員会規約により候補者の推薦をお願いしましたが、期日までにそのお申し出がありませんでしたので、国際ロータリー細則第13条に基づき、本指名委員会より選出された同君を前記年度のガバナー・ノミニーとして推薦いたします。

平成10年３月10日

地区ガバナー指名委員会

RI第2660地区1999－2000年度
ガバナー・ノミニーの宣言

国際ロータリー細則第13条の規定に基づき、豊中ロータリークラブ会員、柏木　尚君を1999－2000年度国際ロータリー第2660地区ガバナー・ノミニーとして宣言します。

平成10年３月16日

RI第2660地区ガバナー　近藤　雅臣

柏木　尚　君の略歴

（かしわぎ　ひさし）

生年月日　1926年（大正15年）７月12日

住　　所　〒560-0862
豊中市西緑丘２丁目５番５－105号

最終学歴　旧制灘中学校卒業

職　　歴
1947年　灘購買利用組合
（現生活協同組合コープこうべ）入所
1975年　大阪北生協　専務理事に就任
1986年　大阪北生協　理事長
1997年　大阪北生協　理事 顧問

主な役職
1990年　大阪府生活協同組合連合会　会長 理事
1985年　日本生活協同組合連合会　理事
1985年　大阪府米穀流通適正委員会委員
1992年　豊中防火安全協会　副会長
1992年　㈱豊中交通安全自動車協会　理事

賞
1978年　兵庫県知事永年勤続表彰
1993年　大阪府知事功労表彰
1993年　交通安全功労表彰
1993年　厚生大臣表彰
1994年　交通栄誉緑十字銅賞
1997年　経済企画庁長官功労表彰

ロータリー（豊中ＲＣ）歴
1973年４月　入会
1978年－79年度　ＳＡＡ
1979年－80年度　理事
1982年４月　再入会
1983年－84年度　ＳＡＡ
1984年－85年度　理事
1985年－86年度　幹事
1993年－94年度　会長
1997年－98年度　40周年記念実行委員長

ポール・ハリス・フェロー
職業分類　シニア・アクチブ（生活協同組合）

1998年2月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	2月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	2月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	4	100.00	1	大阪中之島	55	51	0	−4	4	94.12	52
大東中央	32	32	10	0	3	81.50	81	大阪難波	75	75	0	0	4	97.36	23
東大阪	81	82	0	1	3	92.10	60	大阪なにわ	48	50	0	2	4	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	4	95.45	37	大阪南西	71	74	4	3	4	96.50	31
東大阪中央	58	55	0	−3	4	96.82	28	大阪西	92	94	0	2	4	97.00	26
東大阪西	61	60	0	−1	4	94.92	45	大阪大手前	61	64	0	3	4	95.00	44
枚方	61	60	0	−1	3	98.77	9	大阪大淀	81	78	0	−3	4	90.74	67
枚方くずは	65	65	0	0	3	98.39	15	大阪咲洲	42	39	3	−3	3	88.03	74
茨木	59	60	1	1	3	97.73	21	大阪西北	79	80	0	1	4	98.30	16
茨木東	53	53	3	0	4	96.23	34	大阪西南	114	116	9	2	3	100.00	1
茨木西	42	44	7	2	3	92.42	59	大阪船場	64	66	0	2	4	96.49	33
池田	57	60	1	3	3	88.74	73	大阪心斎橋	80	83	0	3	4	96.50	31
池田くれは	46	46	0	0	4	84.63	79	大阪城北	64	65	1	1	3	93.40	57
門真	29	33	0	4	4	99.17	6	大阪そねざき	62	67	50	5	3	98.49	14
交野	48	48	0	0	4	94.87	46	大阪住之江	49	49	0	0	4	97.88	19
箕面	37	40	0	3	4	98.63	11	大阪住吉	80	78	5	−2	4	93.86	55
箕面中央	51	49	0	−2	4	93.00	58	大阪天満橋	122	120	0	−2	4	94.74	48
守口	91	93	5	2	3	95.36	41	大阪天王寺	40	41	1	1	4	85.50	77
寝屋川	53	53	0	0	4	94.00	53	大阪東南	66	64	0	−2	4	96.88	27
寝屋川東	27	30	0	3	3	95.60	36	大阪鶴見	49	47	0	−2	4	97.26	24
大阪	285	299	0	14	4	85.28	78	大阪梅田	67	67	0	0	4	95.40	39
大阪阿倍野	56	55	3	−1	3	87.78	75	大阪梅田東	59	63	0	4	4	97.21	25
大阪ちゃやまち	61	59	0	−2	4	95.18	43	大阪うつぼ	73	75	0	2	4	95.38	40
大阪中央	69	66	1	−3	4	98.50	13	大阪淀川	75	76	2	1	4	98.22	17
大阪堂島	55	56	1	1	4	93.89	54	千里	75	78	0	3	4	95.19	42
大阪阪南	75	70	0	−5	4	97.71	22	摂津	52	52	0	0	4	89.80	70
大阪東	138	146	0	8	4	96.57	30	四条畷	25	24	0	−1	3	91.33	65
大阪東淀	63	61	5	−2	4	91.17	66	吹田	82	84	4	2	4	99.11	7
大阪平野	55	57	0	2	4	100.00	1	吹田江坂	55	54	2	−1	4	98.18	18
大阪本町	62	65	0	3	4	93.65	56	吹田西	65	60	0	−5	4	100.00	1
大阪イブニング	42	44	1	2	4	89.55	71	高槻	67	71	0	4	3	98.51	12
大阪城	17	18	0	1	3	88.89	72	高槻東	55	55	0	0	4	96.10	35
大阪城南	83	83	0	0	4	98.82	8	高槻西	44	43	0	−1	4	94.77	47
大阪城東	64	70	0	6	4	98.71	10	豊中	74	72	0	−2	4	95.42	38
大阪柏原	50	50	3	0	4	91.85	62	豊中南	59	59	0	0	4	96.73	29
大阪北	190	196	0	6	3	94.44	50	豊中大阪国際空港	49	48	0	−1	4	91.81	63
大阪北梅田	64	59	0	−5	4	90.71	68	豊中千里	46	49	3	3	3	86.60	76
大阪北淀	48	52	0	4	3	94.22	51	八尾	83	87	0	4	3	97.88	19
大阪御堂筋	78	78	0	0	4	94.68	49	八尾中央	41	42	0	1	4	91.46	64
大阪南	188	188	0	0	4	91.97	61	八尾東	58	55	4	−3	4	90.00	69
大阪みなと	36	38	2	2	4	82.19	80								
								クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
								81	5470	5532	131	62		94.5	

RIセンター出版物のご案内

「薬物濫用と闘う」（627）

「経験に学ぶ：高齢者に協力するための手引書」（621）

貸出または購入希望者はガバナー事務所までお申出下さい。

文　庫　通　信　(127号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、１万７千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最新資料から　その２

◎「岐路に立つロータリー」　今井鎮雄　1997　13頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「職業奉仕セミナー」　深川純一　1997　25頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「スマイル　ボックス」　村橋善高　1997　208頁
［申込先　村橋病院　TEL(0977)23-3231］

◎「ロータリー・今、求められているもの」　菅野多利雄　1997　18頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「ロータリーのこころ」　佐藤千壽　名古屋港R.C.・東海R.C.・名古屋西南R.C.　1997　65頁
［申込先　名古屋港R.C. TEL(052)586-2955］

◎「井坂　季　資料①」　鈴木清次　1998　７頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「労多利庵」　細川壽太郎　大阪阪南R.C.　1998　84頁
［申込先　大阪阪南R.C. TEL(06)772-5816］

◎「ロータリー職業奉仕推進のために　アンケート及び寄稿文を中心として」　D.2590　1998　88頁
［申込先　D.2590 TEL(044)430-2590］

ロ　ー　タ　リ　ー　文　庫

〒105-0011 東京都港区芝公園２-６-３ abc会館７階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後５時　休館＝土・日・祝祭日

先月号の文庫通信（126号）に原稿の誤りがありました。

◎「洛西・洛東往来記－ロータリーの愉しみ－」　西谷　裕　1997　145頁　~~D.2570　8頁~~
［申込先　西谷 裕　FAX(075)561-6262］

上記のように<u>D.2570　8頁</u>を削除してください。

地区大会のおしらせ（No. 4）

大会第2日 記念講演

講師／堺屋　太一（作家、経済評論家）

財団法人アジアクラブ理事長。1935年大阪府生まれ。東京大学経済学部卒。60年通算省入省。日本万国博覧会、沖縄海洋博覧会、サンシャイン計画などを手がける。そのかたわら、ベストセラー小説『油断！』や『団塊の世代』を執筆。78年通産省退官。執筆、講演活動のほか、税制調査会委員、国会等移転審議会委員などとして幅広く活躍。『峠の群像』『知価革命』『日本とは何か』『組織の盛衰』『「大変」な時代』『秀吉』『「次」はこうなる』『明日を読む』など著書多数。

大会第1日 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ●エンターテインメント【第1部】

ミニコンサート／リリックテノール独唱・細川　維（ただし）
ピアノ伴奏・細川　知恵子

細川　維（ほそかわ・ただし）

大阪学芸大学特設音楽科・専攻科修了大阪府三国丘高校音楽教諭、堺市合唱連盟理事長、大阪府合唱連盟理事、関西二期会会員、日本シューベルト協会会員

関西二期会の数々のオペラ公演にテナーとして出演、1983年堺市民オペラ「夕鶴」公演に対し大阪府民劇場奨励賞受賞、1988年大阪エルシアターのリサイタルに対し大阪文化祭奨励賞受賞、1990年ザ・シンフォニーホールにおける公演に対し、朝日放送よりクリスタル賞を受賞。イギリスブリテン財団の招請でオールドバラ音楽祭に出演するなど海外招待公演も数多く、好評を博している。オペラはもちろんのこと宗教音楽、ドイツ歌曲、イタリア歌曲、日本歌曲など幅広いレパートリーをもち、その叙情的な唱法は定評がある。最近歌い継がれて欲しい日本の歌をCDとしてリリースした。

大会第1日 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会 ●エンターテインメント【第2部】

ゴスペルのタベ

ゴスペル隊

東京コミュニケーションアート専門学校　ゴスペル・アンサンブル
大阪スクールオブミュージック専門学校　OSMクワイヤー

両校は学校法人滋慶学園グループ（全国19校、理事長、浮舟邦彦―前大阪鶴見RC会長）に所属する学生によるコーラスグループであり、プロミュージシャンを目指す若者達の集まりである。毎年両校の催すチャリティーミュージカルに出演、あるいは青年の船に同乗して好評を博している。そのダイナミックなコーラスは米国のゴスペル合唱団との共演によっても高く評価された。

大会第2日 ジャズ・コンサート／ジョージ川口ほか

【出演者】

Drums　**ジョージ川口**

今年で演奏活動53年を迎えるわが国ジャズ界の大御所であり、現在名だたるジャズメンのほとんどがジョージの元から巣立っている。昭和28年に結成されたビッグフォアはあまりにも有名で、国際的な評価を受けた。昭和57年世界最大のジャズ祭『ニューポート・クールジャズ・フェスティバル』の最終日カーネギーホールで世界のトップミュージシャン・オールスターズの中へ日本人として唯一人共演した。米国ニューオーリンズ市より日本にジャズを広めた第一人者として名誉市民の称号を贈られた。その後、南里文雄賞、芸術選奨・文部大臣賞、日本作曲大賞音楽文化賞、紫綬褒章などを受賞し、1996年勲4等旭日小綬章に叙せられた。

Vocal　**笈田敏夫**

今年で歌手生活52周年を迎えるわが国のジャズボーカリストの草分けであり、今もなお第一線で活躍するトップスターである。レコード制作プロデュース、ジャズ評論などと共にわが国の音楽界への幅広い貢献により南里文雄賞、水島早苗賞、芸術祭賞、文化庁長官賞、ツムラ・ジャズボーカル大賞を経て、1996年勲4等瑞宝章に叙せられた。

Piano　**世良　譲**

洗練されたセンスで、ディキシー、スウィング、モダンすべてをこなす驚異的なピアニストである。ポール・ウィノグラドフ氏についてクラシックを学び、これをベースとしたテクニックから生まれる華麗なタッチは定評があり、わが国ジャズピアニストの第一人者として『Mr. Piano』の名をほしいままにしている。ベルリン・ジャズ祭、スイス・モントレージャズ祭、モンタレージャズ祭、オレゴンジャズ祭などに招かれ国際的なジャズピアニストとして活躍している。

Chorus　**スリーグレイセス**
森本政江―アルトリーダー
白鳥華子―ソプラノ
星野　操―メロディーパート

1958年デビュー。本格的女性ジャズコーラスとして、最高の評価を得た。1961年にはシングル「山のロザリア」がミリオンセラーを記録し、1990年には日本広告音楽制作者連盟優秀歌唱賞を受賞。また、グレンミラーフェスティバル、サクラメントジャズジュビリーに出演するなど、多方面で活躍。確かな歌唱力とリズム感、美しい英語による上品なハーモニーには定評がある。

Orchestra　**ファインメイツ**

大会第1日 家族のつどい

片岡孝夫改め　十五代目　片岡仁左衛門襲名披露歌舞伎観劇（松竹座）

◆十五代目　片岡仁左衛門襲名披露　　五月大歌舞伎

鰯賣戀曳網（いわしうりこいのひきあみ）【一幕二場】　伊勢音頭恋寝刃（いせおんどこいのねたば）【二幕五場】

〒552-0007 大阪市港区弁天1－2－1 オーク1番街2311号　国際ロータリー第2660地区 **地区大会事務局**
TEL (06) 577-1626　FAX (06) 577-1627

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1998)

※花木充夫	大阪南	RC	1・20
戸石泰司	大阪梅田	RC	1・23
坂井賢二守	口	RC	1・26
※横山正憲	〃	RC	〃
※服部良治	高槻	RC	1・29
髙尾哲人	大阪阿倍野	RC	1・30
中塚昌宏	〃	RC	〃
岡野文雄	〃	RC	〃
※酒井泰男	〃	RC	〃
ベネファクター			
亀井孝夫	大阪東淀	RC	1・21

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1998)

橋本公宏	池田	RC
岡本浩	大阪城東	RC
阿部一彦	大阪船場	RC
亀田光宏	〃	RC
北野勝己	〃	RC
西尾隆善	〃	RC
大磯隆一	〃	RC
高岡英文	〃	RC
山本雅之	〃	RC
村上元昭	高槻東	RC

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1998)

山田隆教		東大阪東	RC
時岡正光		大阪南西	RC
中家義明		大阪城北	RC
※杉本忠博	(2回目)	大阪淀川	RC

※印＝2回目以上

米山功労法人

次の法人に米山功労法人の称号が贈られました。(1998)

古林紙工㈱　大阪RC

訃報

石田好孝 君（大阪梅田RC）
平成10年2月28日逝去（享年58歳）
1939年（昭和14年）12月4日生まれ
1986年（昭和61年）4月22日入会
ポール・ハリス・フェロー
準米山功労者

堀　昭 君（東大阪中央RC）
平成10年3月1日逝去（享年73歳）
1925年（大正14年）6月18日生まれ
1977年（昭和52年）6月24日入会
1985－86年度　幹事
ポール・ハリス・フェロー
米山ファンドフェロー

村田登美男 君（池田くれはRC）
平成10年3月5日逝去（享年79歳）
1918年（大正7年）12月16日生まれ
1980年（昭和55年）9月24日入会
1983－84年度　幹事
1987－88年度　会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

岩井田　洋 君（大阪柏原RC）
平成10年3月7日逝去（享年54歳）
1944年（昭和19年）3月26日生まれ
1992年（平成4年）4月28日入会
ポール・ハリス・フェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

1998－99年度ガバナー月信について

ガバナー・ノミニー　吉川　謹司
地区幹事　吉川　忠章

1999－99年度ガバナー月信につきましては、1号及び13号は地区内全会員に、2号～12号は本年と同様、各クラブ会長ならびに幹事、地区委員、地区幹事宛に無料配布いたします。

なお、2号～12号につきましては、配布希望の声もありますので、ご希望の会員には年間2,200円での有料配布とさせて戴きます。役員、理事、委員長をはじめ、多数の会員の皆様のご購読をお願い申しあげます。

「豊かな環境づくり大阪府民の集い」

豊かな環境づくりに向けた行動の輪を広げていくために、みんなで楽しみながら、環境問題について考えましょう。

と　　き：平成10年６月５日(金)
と こ ろ：ワッハ上方（大阪府立上方演芸資料館）
　　演芸ホール
　　大阪市中央区難波千日前12－７
　　YES-NANBAビル
内　　容：〈第１部〉　15:00～17:00
　　かんきょう講演会
　　（難波 利三 氏）
　　環境エコロジー展
　　〈第２部〉　18:30～20:00
　　爆笑！えころじー寄席
　　その他お楽しみアトラクション
参 加 費：無　料
主　　催：大阪府、
　　豊かな環境づくり大阪府民会議
問い合せ：大阪府環境管理課
　　☎06－941－0351

第９回ガバナー杯争奪野球大会

第９回ガバナー杯争奪野球大会が1997年９月28日～11月16日、大阪中之島ＲＣのホストの下で開催され、その表彰式並びに報告会が３月25日、太閤園にて行なわれました。

優　勝　　八尾東ＲＣ
２　位　　大阪御堂筋ＲＣ
３　位　　大阪平野ＲＣ

次年度は大阪住之江ＲＣのホストにより、11ＲＣにて行なわれます。

加盟ご希望のクラブは大阪住之江ＲＣにご相談下さい。

援助を求めています

◆アメリカ　竜巻　第6980地区
　フロリダ州中部を竜巻が連続して強襲し、30名の死者、200名以上の負傷者、米貨６千万ドルの被害に及ぶものと思われます。

◆オーストラリア　洪水　第9550地区
　台風を伴なった集中豪雨により、キャサリーン市を中心に７千人以上の住民が甚大な被害を受けました。

◆米国　洪水　第5230地区
　カリフォルニア州中部を襲った大規模な暴風雨により、人口5,881人の小さな地域社会が完全に浸水となり、農村部80％以上が貧困所得者以下の生活状態となっております。

おわびと訂正

月信３月号 Ｐ.６ ポール・ハリス・フェローの中で、上から19人目をご訂正ください。

誤　　正
大槻峡央 ⇨ 大槻峡史

再度にわたってのミスを謹んでおわび申し上げます。

編 集 後 記

○ パラリンピックも成功裡に終了した。数々の感銘を置き土産に。

○ 昨今のニュースの渦を「混沌」と例えるわけだが、混沌の沼にあってポカッと咲いた蓮の花。こんなすがすがしさをみたおもい。

○ 現実の世界にはハーフタイムもピリオドもない。ノー・サイドもゲーム・アップも、ゴール・インもない。ひたすら継続あるのみ。

○ 寸時の停滞も許されない。ひたすら継続する営みの中で、建て直さなければならない何事かに遭遇したとき、創造するより遙かに大きなエネルギーが要る。

今まさにそんな時代である。　（新原）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス
〒552-0007 大阪市港区弁天１－２－１
オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間
月～金曜日　午前10時～午後５時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

5月

MAY.1 1998 No.11

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 近藤雅臣

地区内の風物：鯉のぼり大集合　坂口　健会員（千里ＲＣ）撮影

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーからのメッセージ

地区大会を迎えて

国際ロータリー第2660地区
ガバナー

5月8日、9日当2660地区の地区大会がリーガロイヤルホテル大阪、フェスティバルホールで開催されます。熊谷信昭大会委員長、奥野善彦大会幹事をはじめホストクラブ千里RC、コ・ホストクラブ吹田西RC、吹田江坂RCのすべての皆様が全力をあげて準備をして頂きました。心から感謝申し上げます。今回は竹山涼一RI理事ご夫妻を会長代理としてお迎えすることになりましたが、松本良諄パスト・ガバナーご夫妻をエイドにお願いし、地区大会はもちろんのこと当地区の現況あるいは将来についてご指導頂くことになっております。当地区にとって有益な地区大会になるよう祈っている次第です。

今回の地区大会は登録料を従来の半額とし、全員登録をお願い致しました。一昨年度末にノミニーに指名され準備期間が短かったこととロータリアンとしての未熟さのため事前に十分な手続きができず、公式訪問時にすべてのクラブの皆様にお願いすることになってしまいました。そして、一方的な決定をすべきでないという考え方から全クラブに対し公式訪問後改めて賛否のアンケートをお願いしました。このことも公式訪問時にお願いし、過半数を超えれば全員登録をお願いするとのことも申し添えておきました。その結果2/3以上の賛成が得られ小生の手続きの不備をカバーして頂く温かいご配慮に感謝したものです。この結果を踏まえ全員登録のお願いを各クラブにお願いしました。この時点で反対を表明さたクラブから予め協議会などで決定すべきであるなどとの手続きの不備、登録は強制さるべきものでなくあくまでロータリアン個々の自主的な判断に委ねるべきであるなどのご叱責を受け、一時はボイコットされるクラブもあり得るとまで考え（もちろんその時は私なりに覚悟はありましたが）、予算を縮小するよう関係者にお願いしたほどです。幸いにも最終的には全クラブのご理解を得て全員登録にこぎ着けられ皆様の温かいご配慮を感謝している次第です。私は自らの手続きの不備さを弁解するつもりは毛頭ありませんが、全員登録をお願いした私なりの考え方をご批判頂ければと筆を取った次第です。地区大会は地区における最大の行事で、2日〜3日間開かなければならない会合と位置付けられ、その目的は、交歓と、感銘深い講演と、地区内クラブおよび国際ロータリー全般に関する問題の討議によって、ロータリーのプログラムを推進することにあります。そのため地区大会には、必ずRI会長代理が出席されます。そして大会は地区内のすべてのロータリアンとその家族に開放されています。したがって、できるだけ多くの会員が参加されることが望まれています。当地区の会員がこぞって参加すればどうするのかという声もあります。しかし、それが当地区において恒例化するのであればそれなりの措置はとることができます。できるだけ多くの参加者を得るために従来ホストクラブの人達が全クラブを回って参加のお願いをしてこられました。私は、本来自発的に参加頂く地区大会に対してこのような行為は誤っているのではない

か、また、このようなことに個人的な負担をかけるべきでないと考え、今回これを廃止することにさせて頂きました。このことも公式訪問でお願いしました。一方、地区大会開催のための地区への基本的な資金は全会員から頂いていますが、登録についてはこれまでは自主的判断ということで大会開催に理解を示される方がクラブを通じて登録料を納入して頂いてました。実際には大会開催のための資金の大半はこの方々の支援によるものであります。したがって、今まではこの方々の負担に支えられて地区大会を開催できたといえ、登録されない方々の分まで分担して頂いていたともいえます。それならば、都合で参加できない人も参加される人への心遣いとして負担を軽減するための支援をして頂き、全員平等で地区大会に関わって頂いても良いのではないかと考えました。その意味で従来の登録料の半額とし、全員登録という方法をとらせて頂いたわけであります。社会的、経済的変動の激しさの中で迎える地区大会は質素で中味のある大会であることが要求されることは当然であると理解しております。そのため、出演をお願いした方々にも過分のご理解を賜わりました。厚く感謝申し上げます。

任期の最後に大きな行事が残っているということに大変な重圧を感じますが、最後まで緊張を持続できるという意味において、闘争心をかきたて自己に挑戦する喜びを感じています。大会委員長をはじめ大会役員、ホストクラブ、コ・ホストクラブの皆様のお力添えと、2660地区全会員の皆様のご支援を得て、この地区大会を是非成功させて頂きたいと祈っています。

大阪会議　大成功で幕！

第2660地区　青少年交換委員会
委員長　**中　一皓**

近藤 雅臣ガバナーの開会宣言と点鐘で、4月9日・10日の両日にわたる第五回全国青少年交換役員会議（大阪会議）の幕は切って降ろされた。

場所は大阪リーガロイヤルホテル、参加者の登録費だけではとても賄えないのだが、幸い当ホテルの最高顧問で青少年交換委員会の所属する国際奉仕担当古田パスト・ガバナーのご配慮で実現できた。

近藤ガバナーの歓迎挨拶

全国34地区に加え台湾の2地区からも4名が参加、それに近藤ガバナーに、この会議を地区の公式行事と位置づけていただいたお陰で、全地区のガバナー、ガバナー・ノミニーに案内を差し上げたところ、公務多忙にもかかわらず、それぞれ十数名ずつの参加を得て総勢142名、来賓にはRI会長代理と

して竹山 涼一RI理事、そして小谷 隆一RI理事エレクト、平岡 正巳RI青少年交換企画会議委員、また主催者側からは、岩井 敏青少年交換連絡委員会委員長（ガバナー会議長）と河合 良事務局長が参加された。

開会式に続く全体会議は今年度のRIテーマ「Show Rotary Cares」に因んで「Show Rotary Cares in Youth Exchange；青少年交換にロータリーの心を示そう」のテーマで平岡 正巳委員の基調講演が始まった。本格的な国際化の時代を迎え政府や文部省の方針、学校現場の対応・将来の方向について示唆に富んだ教育者ならではの講演であった。その中で二年前に日本からの交換学生として、最初のインド留学を果たした富永栄二君がこの青少年交換プログラムが若者の成長と交換国相互の理解・親善に如何に有効であるかを、一年間の貴重な体験をまじえながら感謝の気持ちで語り、私たちに感動を与えてくれた。

次のパネル・ディスカッションは基調講演の内容を受けて、「国際化と日本のロータリー」をテーマに、河合事務局長がモデレーターを果たされた。まず最初に、小谷 隆一RI理事エレクトから、先日のニューデリーでの規定審議会でロータリーの四大奉仕に新たに青少年奉仕が加わり、第五番目の常任委員会となることが審議されたとの発表があり、次世代を担う青少年に取り組むロータリーの姿勢がより一層明確化されてきた。他の４名のパネラーは若手の地区委員長とホスト地区の私が選ばれた。それぞれの地区の実状、問題点の報告と将来の在るべき姿について熱意溢れる意見交換となった。

第二部と第三部の分科会は二日間にわたって実施された。参加者全員が３テーマの内から一つを選んで参加する方式で、それぞれにリーダー、アドバイザー、記録係が配置された。そして、参加できなかったテーマの討議内容は最後の全体会議で、記録係の要約発表ですべての内容を把握できる仕組みになっていた。また、すべての意見発表者は発言前に地区と氏名を名乗ってから発表するルールとなっている。その上、二重の録音装置で録音され、ボランティアで専属の亀田事務局員が的確に再現し、記録誌を作成して参加者に配布されると共にRIにも成果報告されることになる。

今回の分科会テーマは青少年交換に携わるロータリアンが知りたい知識・情報・問題点の具体的な20テーマの中からインターネット上で投票して、「ロータリアンの役割」、

熱心に議論する分科会風景

懇親会で来日学生の入場とお国言葉での挨拶
「みなさまようこそ大阪へ」

「ホストクラブ・ホストファミリーの開拓」、「派遣先の確保」、「派遣学生のオリエンテーション」、「来日学生のオリエンテーション」、「問題学生の処置」の６テーマが選ばれた。それぞれ３テーマずつを各分科会に分かれて90分で討議されたが、皆さん実務に携わり苦労している問題だけに会議後のアンケートでは、もう少し時間が欲しかったとの意見が大多数であった。

夕刻からの懇親会は、青少年交換役員の会議らしく溌剌とした企画になるようにとの実行委員会の発案で、東海大仰星高校ブラス・バンド部の演奏で当地区に受入中の７ヵ国14名（米国６名、ドイツ、フィンランド各２名、アルゼンチン、オーストラリア、ニュージーランド、ロシア各１名）に、ローテックス（帰国派遣学生）が加わって各国国旗を先頭に堂々の入場行進、壇上に整列したところで、それぞれのお国言葉で「みなさま大阪へようこそ！」。会場からは万雷の拍手をいただき大成功。引き続きブラバン演奏に移り、唱歌メドレーから映画音楽まで、約30分間にわたり高校生とは思えぬ見事な演奏を披露、最後はアンコールまで飛び出す始末であった。その後の懇親会の盛り上がりは皆様のご想像にお任せします。吉川インカミング・ガバナーの挨拶で始まった「オ・セイリュウ」での二次会、本場ブラジリアンのダンスショウも参加者全員から大受けした。

二日目は、８時からの素晴らしいダイヤモンド・ルームでの委員長朝食会で始まり、第三部分科会に続き、第四部全体会議は「コンピューターとインターネットの利用」、現在、各地区の青少年交換委員会は全国34地区の内20数地区は昨年よりインターネットで結ばれており、国内外の情報交換に威力を発揮している。従来の手紙、電話、ファックスに比べ格段に安価で、慣れると利便性にも富んでいるので、青少年交換には欠かせない武器となってきた。

NTTの専門家にモデレーターを務めてもらい、あまり専門的で居眠りが出るようではとの配慮から、委員長の内からコンピューターのベテラン、初心者、未経験者の３人と大学に入ってから一年間の独学で今回の大阪会議のホームページを作成し、インターネットをご覧の参加者から好評いただいているローテックスの古谷君がパネラーとして参加、彼が作ったホームページを映し出しながらの進行は皆さんに好評を博した。

昼食を挟んで、最後の全体会議と閉会式は、まず、ホスト地区の青少年交換委員が主に担当した記録係による各分科会の要約発表から始まった。

竹山RI理事に代わって小谷RI理事エレクトからお褒めの講評をいただいた後、ホスト地区を代表して古田国際奉仕担当パストガバナーが大阪会議を締めくくる挨拶をされた。多数の参加者へのお礼と2004年の大阪を中心にした関西での国際大会の紹介であった。

最後に、次年度の当会議ホスト2550地区（栃木）の指名とホスト地区を代表して、黒須インカミング・ガバナーが挨拶され、

大会の成功を賛え拍手で閉会

あとはロータリー恒例の参加者全員大きな輪になって、ロータリーソング「手に手つないで」を元気よく斉唱した。そして、近藤ガバナーの閉会宣言と点鐘で大阪会議の幕を閉じた。

近藤ガバナー、古田パスト・ガバナー、山中パスト・ガバナー、吉川インカミング・ガバナーのご指導とご支援、実行委員会及び地区委員の皆さん、当日の受付を手伝って下さった方々、来日学生とローテックスの諸君、会場設定で大変お世話になったリーガロイヤルホテルの担当者の皆さん、皆様方のご協力で、第五回全国青少年交換役員会議（大阪会議）が無事、大成功で終了しましたことをご報告申し上げます。皆様、どうも有難うございました。

尚、詳細については、記録誌が発刊されますので、ご一読下さい。

また、インターネットのホームページにも記載していますので、ご覧下さい。

http://www.aianet.ne.jp/~kazu-n/osaka.html

プ ロ グ ラ ム

第１日目　　４月９日(木)

リーダー会議【２Ｆ 桜】　　11:00～12:30
事務局長　河合　　良

登　録【２Ｆ 桐の前】　　12:00～13:00

開会式【２Ｆ 桐】　　13:00～13:45
司会：ホスト地区 委員　大門　康剛

1．開会宣言・点鐘　　ホスト地区 ガバナー　近藤　雅臣
2．国歌斉唱　　ソングリーダー：ホスト地区 委員　常楽寺喜雄
　ロータリーソング『奉仕の理想』
3．開会挨拶　　全国青少年交換連絡委員会 委員長　岩井　　敏
4．歓迎挨拶、来賓紹介　　ホスト地区 ガバナー　近藤　雅臣
5．来賓挨拶　　国際ロータリー 理事　竹山　涼一

第１日目　　４月９日(木)

第一部 全体会議【２Ｆ 桐】　　13:45～15:30
司会：ホスト地区委員　大門　康剛

1．基調講演
　『青少年交換にロータリーの心を示そう』
　青少年交換役員企画会議委員 パスト・ガバナー　平岡　正巳
2．パネルディスカッション
　『国際化と日本のロータリー』
　モデレーター：　事務局長　河合　　良
　パネラー：国際ロータリー理事エレクト　小谷　隆一
　D-2510 青少年交換委員長　瀧川　哲夫
　D-2620 青少年交換委員長　八巻　珍男
　D-2830 青少年交換委員長　関場　慶博
　D-2660 青少年交換委員長　中　　一皓

第二部 分科会 15:40～17:10

第一会場【２Ｆ 梅】 テーマ『ロータリアンの役割』

リ ー ダ ー D-2610 青少年交換 委員長 北川 晶夫
アドバイザー D-2760 青少年交換 委員長 木本精之助
記 録 係 D-2660 青少年交換副委員長 三宅 一嘉

第二会場【２Ｆ 松】 テーマ『ホストクラブ・ホストファミリーの開拓』

リ ー ダ ー D-2560 青少年交換 委員長 小磯 泰男
アドバイザー D-2630 アドバイザー 恩田 博宣
記 録 係 D-2660 青少年交換 委員 植田 豊實

第三会場【２Ｆ 桜】 テーマ『派遣先の確保』

リ ー ダ ー D-2770 青少年交換 委員長 千葉 乙郎
アドバイザー D-2700 青少年交換 委員長 阿津坂芳徳
記 録 係 D-2660 青少年交換 委員 杉浦 勝昭

懇親会【２Ｆ 桐】 17:20～19:30

司会：ホスト地区委員 大門 康剛

1．開会挨拶 ホスト地区青少年交換委員長 中 一皓
2．歓迎挨拶・乾杯 ホスト地区パスト・ガバナー 山中 文和
3．会 食
4．閉会挨拶 大阪会議 実行委員長 林 輝久

二次会【オ・セイリュウ】 20:00～22:00

司会進行：実行委員 寺西 太一

歓迎挨拶 ホスト地区ガバナー・ノミニー 吉川 謹司

第２日目 4月10日(金)

青少年交換委員長朝食会【２Ｆ ダイヤモンド】 8:00～9:00

事務局長 河合 良

宿泊者の朝食【２Ｆ 菊】 8:00～9:00

第三部 分科会 9:00～10:30

第一会場【２Ｆ 梅】 テーマ『派遣学生のオリエンテーション』

リ ー ダ ー D-2580 青少年交換 委員長 吉川 一喜
アドバイザー D-2650 青少年交換 委員長 山岸 功
記 録 係 D-2790 青少年交換 委員長 磯野 忠昭

第二会場【２Ｆ 松】 テーマ『来日学生のオリエンテーション』

リ ー ダ ー D-2750 青少年交換 委員長 千葉 孝良
アドバイザー D-2810 青少年交換 委員長 山家 稔
記 録 係 D-2760 青少年交換副委員長 神田 憲

第三会場【２Ｆ 桜】 テーマ『問題学生の処置』

リ ー ダ ー D-2780 青少年交換 委員長 井上 久嘉
アドバイザー D-2550 青少年交換 委員長 下鳥 大作
記 録 係 D-2660 青少年交換 委 員 常楽寺喜雄

第四部 全体会議【２Ｆ 桐】 10:40～12:00

『コンピューターとインターネットの利用』 NTT

D-2560 青少年交換 委員長 小磯 泰男
D-2780 青少年交換 委員長 井上 久嘉
D-2580 青少年交換アドバイザー 沖島 徹哉
D-2660 ＲＯＴＥＸ 古谷 吉康

昼食会【２Ｆ 桐】 12:00～13:00

第五部 全体会議 閉会式【２Ｆ 桐】 13:00～15:00

司会：ホスト地区委員 大門 康剛

1．分科会の要約発表 各テーマ 記 録 係
2．講 評 国際ロータリー 理事 竹山 涼一
3．ホスト地区代表挨拶 ホスト地区 パスト・ガバナー 古田 敬三
4．次期ホスト地区挨拶 D-2550 ガバナー・ノミニー 黒須 靖
5．ロータリーソング『手に手つないで』 ソングリーダー：ホスト地区委員 常楽寺喜雄
6．閉会宣言・点鐘 ホスト地区代表 ガバナー 近藤 雅臣

GSE米国アーカンソーチームの送別会（報告）

GSE米国アーカンソーチーム（第6150地区）の送別会が４月18日(土)ホテルニューオータニに於いて開かれ、無事帰国の途につきました。

第2660地区から同地区への日本チーム（野村団長以下５名）は５月３日アーカンソーへ出発しました。

「書きそんじハガキ回収」の御礼

大阪南ユネスコ協会　会長
大渕　　馨（大阪南ＲＣ）

昨年10月、社会奉仕担当 大森パスト・ガバナー、矢橋地区委員長を通じて、「ユネスコ世界寺子屋運動」にご協力いただくため、「書きそんじハガキ回収」をお願い致しましたところ、57クラブより約9,200枚のハガキが送られてきました。（４月15日現在）

当協会へは、他に府下の小・中・高校の児童、生徒や、一般の方々からも送られてきますので、一括整理して５月ごろに(社)ユネスコ協会連盟へ、アジアを中心とした識字学校の建設・運営の費用に寄付の予定です。（本年度は約３万枚、120万円を予定しております。書きそんじハガキ→切手→現金に交換）

この運動は、年中、とり組んでおりますので、今後共、ご協力、お願い申し上げます。

国際ロータリー第2660地区 社会奉仕委員会報告
（薬物乱用防止に関して）

地区社会奉仕委員会委員長　矢橋　弘嗣

麻薬・覚せい剤・シンナー等の薬物の乱用は、国民の身体に危害を及ぼすのみならずその生命も脅かし、家庭を崩壊させ、社会の秩序を乱すなど、私どもにとって非常に深刻な社会問題となっております。また、今日では薬物乱用が青少年の間に、拡大、蔓延してきており、社会をあげての「薬物乱用防止」への取り組みが強く望まれているところから、国際ロータリー第2660地区、1997－98年度社会奉仕委員会では、本年度の奉仕活動の重点項目として「薬物乱用防止」を取り上げた。

麻薬・覚せい剤・シンナーを乱用し、ある日突然、人を殺傷する事件が多発しておりこれらの薬物を乱用することによる薬物中毒者の悲惨さと、薬物中毒者を取り巻く人々の困惑を社会全体の問題として捉え、自分達の身近から薬物の乱用を許さない社会をつくるために、まず新年度の社会奉仕活動を始めるに当たり、平成９年７月、各クラブの社会奉仕委員長が集まり、大阪府環境保健部薬務課長の翁氏を講師として招き、薬物乱用について勉強会を開催した。

以後、各クラブがそれぞれ「薬物乱用防止活動」を実施した。

平成９年７月以降、平成９年度において、各クラブは次のような奉仕活動を行なった。

①	「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金への参加	56クラブ
	募金額（12．３締め切り、52クラブ分）	2,154,101円
②	例会における勉強会の開催	38クラブ
③	啓発のための講演会等の開催	16クラブ
④	街頭キャンペーンへの参加	14クラブ
⑤	地域、学校等に啓発のためリーフレットなどの寄贈	７クラブ

予　　告

平成10年６月13日（土）には、第2660地区ローターアクト・クラブとの共催で、大阪府、大阪市の後援を得て、麻薬・覚せい剤・シンナー乱用のないわが町をと題して［**薬物乱用防止講演会**］を開催する。

1998年3月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	3月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	3月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	68	0	−1	5	100.00	1	大阪中之島	55	50	0	−5	4	93.52	53
大東中央	32	31	10	−1	4	86.60	77	大阪難波	75	76	0	1	4	97.04	29
東大阪	81	82	0	1	4	93.38	54	大阪なにわ	48	50	0	2	4	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	4	96.21	35	大阪南西	71	74	4	3	5	95.50	40
大阪中央	58	54	0	−4	5	97.78	21	大阪西	92	92	0	0	5	96.00	36
東大阪西	61	61	0	0	5	92.66	61	大阪大手前	61	64	0	3	4	95.78	37
枚方	61	58	0	−3	5	96.46	34	大阪大淀	81	78	0	−3	4	93.75	50
枚方くずは	65	65	0	0	4	96.78	32	大阪咲洲	42	35	1	−7	4	92.31	65
茨木	59	57	1	−2	4	100.00	1	大阪西北	79	79	0	0	5	97.77	22
茨木東	53	52	3	−1	4	92.75	60	大阪西南	114	116	9	2	4	100.00	1
茨木西	42	42	7	0	4	93.75	50	大阪船場	64	66	0	2	5	95.52	39
池田	57	57	1	0	4	92.10	67	大阪心斎橋	80	82	0	2	4	98.19	14
池田くれは	46	44	0	−2	5	86.90	76	大阪城北	64	63	1	−1	4	90.72	69
門真	29	32	0	3	4	94.89	43	大阪そねざき	62	67	50	5	4	97.39	23
交野	48	48	0	0	4	93.25	56	大阪住之江	49	49	0	0	5	97.85	19
箕面	37	40	0	3	4	97.93	18	大阪住吉	80	78	5	−2	4	91.01	68
箕面中央	51	49	0	−2	4	93.00	58	大阪天満橋	122	119	0	−3	4	94.69	47
守口	91	92	5	1	4	95.00	42	大阪天王寺	40	40	1	0	4	88.19	75
寝屋川	53	54	0	1	4	92.16	66	大阪東南	66	64	0	−2	5	96.88	30
寝屋川東	27	30	0	3	4	90.00	71	大阪鶴見	49	47	0	−2	5	97.39	23
大阪	285	302	0	17	4	84.10	80	大阪梅田	67	66	0	−1	5	98.11	15
大阪阿倍野	56	53	3	−3	4	85.70	78	大阪梅田東	59	63	0	4	4	98.81	11
大阪ちゃやまち	61	59	0	−2	5	96.84	31	大阪うつぼ	73	75	0	2	4	96.50	33
大阪中央	69	66	1	−3	4	100.00	1	大阪淀川	75	75	2	0	4	94.34	48
大阪堂島	55	56	1	1	5	94.72	46	千里	75	77	0	2	5	94.88	44
大阪阪南	75	71	0	−4	5	97.26	25	摂津	52	52	0	0	4	98.50	12
大阪東	138	147	0	9	4	98.04	17	四条畷	25	24	0	−1	4	92.61	63
大阪東淀	63	60	5	−3	5	95.62	38	吹田	82	83	4	1	4	99.71	8
大阪平野	55	57	0	2	4	100.00	1	吹田江坂	55	54	2	−1	5	98.11	15
大阪本町	62	64	0	2	5	93.62	52	吹田西	65	58	0	−7	5	100.00	1
大阪イブニング	42	44	1	2	4	84.33	79	高槻	67	72	0	5	4	99.23	9
大阪城	17	18	0	1	4	88.89	73	高槻東	55	55	0	0	4	97.10	27
大阪城南	83	83	0	0	4	98.37	13	高槻西	44	43	0	−1	4	97.09	28
大阪城東	64	70	0	6	4	99.12	10	豊中	74	70	0	−4	5	94.83	45
大阪柏原	50	49	3	−1	5	92.91	59	豊中南	59	57	0	−2	4	97.80	20
大阪北	190	196	0	6	4	92.42	64	豊中大阪国際空港	49	47	0	−2	4	89.06	72
大阪北梅田	64	59	0	−5	5	90.71	70	豊中千里	46	49	3	3	4	88.30	74
大阪北淀	48	52	0	4	4	95.05	41	八尾	83	87	0	4	4	97.18	26
大阪御堂筋	78	79	0	1	4	93.37	55	八尾中央	41	42	0	1	5	92.66	61
大阪南	188	192	0	4	5	93.07	57	八尾東	58	55	4	−3	4	93.80	49
大阪みなと	36	39	2	3	4	82.54	81								
								クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
								81	5470	5500	129	30		94.6	

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1998)

※植田喜保一	大阪イブニングRC	2・2
葭川良太郎	守口RC	2・9
桂田幸三郎	〃 RC	〃
馬淵澄夫	大阪天満橋RC	2・12
※徳岡佑造	大阪なにわRC	2・13
田中壽秋	〃 RC	〃
※伯井守	〃 RC	〃
山本博史	大阪大手前RC	2・18
※竹川修司	大阪阿倍野RC	〃
※藤村繁	〃 RC	〃
※髙萩弥太郎	大阪柏原RC	〃
池田弥生	交野RC	2・19
小野久美子	大阪本町RC	〃
畠埜泰夫	高槻西RC	2・26
近藤眞道	〃 RC	〃
※碇義行	大阪城東RC	〃
清井達夫	〃 RC	〃
中嶋進治	〃 RC	〃
岡本治	〃 RC	〃
早瀬徹	〃 RC	〃
上井喜八郎	大阪梅田東RC	3・6
※林一良	大阪南西RC	3・10
※木内位親	〃 RC	〃
※髙地賀津仁	〃 RC	〃
※吉中春美	〃 RC	〃
安井恒男	〃 RC	〃
※北村譲	大阪城東RC	〃
※青野明	交野RC	〃
※清水亀三夫	八尾東RC	〃
金田嘉行	大阪RC	3・17
天野彰二	守口RC	〃
岩本洋子	大阪そねざきRC	3・24
澤田典子	〃 RC	〃
岡本孝子	〃 RC	〃
江見たか子	〃 RC	〃
鶴田正信	〃 RC	〃
渕本燎子	〃 RC	〃
山本耕一	大阪東南RC	3・30
※馬場一雄	豊中RC	〃
※伊藤安一	〃 RC	〃
※青木禎一郎	〃 RC	〃
加登敏夫	〃 RC	〃
立川悦子	大阪大手前RC	3・10
水谷育子	吹田江坂RC	〃
今仲竜三	枚方RC	3・24
辻中正子	大阪梅田RC	〃
佐野幸子	〃 RC	〃
菊岡和翁	〃 RC	〃
田村治典	〃 RC	〃
松村吉祐	四条畷RC	4・1
山口富子	〃 RC	〃
畑蓉子	〃 RC	〃

ベネファクター

西田富美	大東中央RC	2・25
古林潤也	大阪南西RC	3・10
木村久一	八尾東RC	〃
伊藤彰彦	大阪東RC	〃
城野和三郎	大阪阪南RC	3・17
山本兼右	大阪本町RC	3・30
篠塚隆弘	大阪北淀RC	〃

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1998)

徳美信龍		東大阪RC
南野久米二		守口RC
金田嘉行		大阪RC
松本圭史		〃 RC
松矢浩司		大阪城東RC
※照屋貞夫	(2回目)	〃 RC
田村和之		大阪大手前RC
森泰輔		大阪心斎橋RC

※印＝2回目以上

米山ファンドフェロー

次の方たちにファンドフェローの称号が贈られました。(1998)

富岡成夫	東大阪RC
加藤勝	大阪イブニングRC
古川信義	大阪城東RC
石川完二	〃 RC
木村昌民	〃 RC
土井廣	大阪南RC
石原正七	大阪心斎橋RC
井上サヱ子	大阪そねざきRC
井田保子	〃 RC
守直文	高槻RC

訃報

吉井洋一 君（大阪本町RC）
平成10年3月13日逝去（享年50歳）
1948年（昭和23年）1月7日生まれ
1993年（平成5年）3月23日入会
1997－98年度　ロータリー情報委員長
米山ファンドフェロー

野村禎昭 君（東大阪東RC）
平成10年3月21日逝去（享年59歳）
1939年（昭和14年）12月29日生まれ
1989年（平成元年）5月18日入会
1992－93年度　親睦委員長
1995－96年度　国際奉仕委員長
ポール・ハリス・フェロー

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

文 庫 通 信 (128号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料（貸出可）など、1万7千余点を収集・整備し、皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新世代に関する資料

◎「新会員教育実施要領」　R.I.　1995　6頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「新世代のためのロータリー会議」　R.I.　1995　4頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「ロータリー情報資料集」　R.I.　1996　22頁
［申込先　サービス・センター　TEL(03)3355-5391］

◎「子どもに思いやりの心を育てるには　新世代フォーラム」　1997　28頁
本郷宣雄・石川　晃・伊東英俊　他3名
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「『新世代会議』報告書1996～1997」　D.2660　1997　56頁
［申込先　D.2660　TEL(06)577-2660］

◎「新世代会議報告書」　名古屋西R.C.・名古屋名駅R.C.・名古屋西南R.C.・名古屋港R.C.　1997　19頁
［申込先　名古屋港R.C.　TEL(052)586-2955］

◎「新世代の育成と継承」　笹山竹義　1997　14頁
［申込先　ロータリー文庫（コピー）］

◎「『新世代のためのロータリー会議』総集編」　D.2780　1997　64頁
［申込先　D.2780　TEL(0463)91-2780］

◎「第18回熊本市中学生弁論大会文集」　熊本R.C.　1998　48頁
［申込先　熊本R.C.　TEL(096)354-4521］

ロ ー タ リ ー 文 庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2－6－3　abc会館7階　TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
開館＝午前10時～午後5時　休館＝土・日・祝祭日

“ロータリーの友”誌より

当地区の担当「わがまち わが地区」に寄稿いただき有難うございました。

4月号への掲載は、編集に携わる東京のロータリーの友事務所と打ち合わせをし、複数のクラブより同内容の記事をいただきました「“ひがしなり”の変遷と暗越奈良街道」を採用致しました。

従いまして、他のクラブの原稿は“ガバナー月信”にクラブ名とテーマ及び執筆者を載せ、ご協力への感謝のしるしと致します。

平成10年4月8日

第2660地区ロータリーの友
地区委員　　中谷　良恭

「わがまち　わが地区」原稿

クラブ名	テ　ー　マ	執筆者
枚方	わがまち枚方	大矢　尚史
茨木東	茨木市と川端康成氏	秋田　豊藏
茨木西	第1回茨木市市民フォーラム原稿資料	岩井　久史
池田くれは	池田の夜を彩る炎の乱舞「がんがら火祭り」	藤井　保雄
交野	星のゆかりを活かしたまちづくりに取り組む「星のまち　かたの」	冨田　利一
箕面中央	箕面中央ロータリークラブの「わがまち　わが地区」	天野　清住
大阪柏原	柏原市と大和川	榊原　春枝
大阪西	赤い煉瓦の館　川口教会	新津　敬直
大阪大手前	創作劇活動に支援を	佐藤　良和
大阪西南	わがまち西区　史跡めぐり	重村　登龍
大阪心斎橋	心のケアー　島之内教会	芦邊　康徳
大阪住吉	住吉大社の神事	敷田　年博
吹田江坂	「吹田」は「すいた」です	長谷川良人
高槻	高槻とキリシタン大名・高山右近	生駒　俊雄
豊中	とよなか百景「西福寺の群鶏図」	橋本　清
豊中－大阪国際空港	飛行場の中に「クラブ」が	齊城　正之
八尾	河内音頭の町八尾	寺坂　哲之

援助を求めています

◆インド　竜巻　第3260地区
　インド東岸オリッサ州に強烈な竜巻が発生。何十万人の人々の生活に甚大な影響を与えました。
◆ブラジル　山火事　第4720地区
　アマゾン地域ロライマ州内で山林の大火災が発生。鎮火に困難しております。
◆ブラジル　集中豪雨と洪水　第4750地区
　リオデジャネイロ州北部を海水の温暖化により発生した集中豪雨が襲い、現在30,000人以上の人々が住居を喪失し、避難を余儀なくされております。
　甚大なる被害により援助を求めております。
◆米国　洪水　第6880地区
　アラバマ州南西部がエルニーニョ現象による広範な洪水により甚大なる被害を受けました。
◆米国　洪水　第6900地区
　ジョージア州南西部を襲った洪水により12,000人が避難し、２億７千万ドルの被害が予測されます。

おしらせ

各クラブにおかれましては事務管理にコンピューターを使用されるなど様々な工夫を凝らしておられるようですが、大阪南RCではロータリー用のソフトを用いて管理しておられるようです。マスターメンテナンスとして職業分類、会費、行事、同好会、クラブなど、印刷メニューとして財団寄付、米山寄付、出欠台帳、出欠一覧、会員一覧表、入会年月日順一覧、生年月日順一覧、タックシールなどロータリー事務用で便利とのことです。

お詫びと訂正

ガバナー月信４月号Ｐ．３の３行目、11行目、17行目の平成９年は平成10年の誤りでした。
重大なミスなので全送付先に即刻当該頁の差し替えをお願いいたしましたが、本号にも併せて掲載し周知を計らせていただきます。
柏木　尚ガバナー・ノミニーをはじめ関係の皆さまに多大のご迷惑をお掛けいたしましたことをお詫び申し上げます。

ホームステイ先を求めています

１．Mr.A.B.M.Ziauddin
　（バングラデシュ Dhanmondi RC）
　推 薦 者　RI第3280地区ガバナー
　滞在希望時期　７月初旬
　滞在目的　日本でのロータリーボランティア活動
　経　　歴　1997年　バングラデシュJC会頭
　　1984年　JCIセネター
　　1975年　日本に一ヶ月滞在経験有り
２．Mr.Matthew Pomfret　16才
　（英国バークレー在住）
　推 薦 者　バークレーRC
　滞在希望時期　７月～８月の１ヶ月間
　滞在目的　日本語の習得
　経　　歴　ケンブリッジ大学　日本語試験合格
お申し出はガバナー事務所まで

編集後記

○　焦土と化した戦後の我国は見事に復興した、かに見えた。文字通りscrap and buildで。都市再開発はもちろん、産業界も教育制度も、政治構造も一切合財この渦に呑み込まれた。
○　大戦争の後始末。反省と償いの気持ち、これも見事に万人の胸に焼き付いた、かに見えた。
　斯くして国家百年の計は成れりとその気になっていた。
○　しかし今思う。無欲に徹し、勤労を尊び、恥を知る国民、これはどこへ消え失せたのか。いつ消えたのだろうか。
○　島国なるがゆえに、その発展は地価の高騰を生む。一時日本列島でアメリカ大陸が買えるとまでいわれた。からくりは内輪で勝手に地価を吊り上げただけの話。だが国を挙げてこれに酔いしれた。渦巻くすさまじい金権体質と拝金主義。なにも改まっていなかった。結果はご承知、この体たらく。
○　スクラップ・アンド・ビルドは再び必要、今こそ。
　政治問題はタブーだって、否これは立派なココロの問題。　（新原 記）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス
〒552-0007 大阪市港区弁天１-２-１
オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間
月～金曜日　午前10時～午後５時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

6月

JUN.1 1998 No.12

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区委員・地区幹事各位）

ガバナー 近藤朝佳

地区大会第１日　近藤ガバナーの挨拶

ガバナーからのメッセージ

地区大会を終え、国際大会に向かって

国際ロータリー第2660地区

ガバナー　近藤雅臣

任期終了間近に地区大会を開催するのは緊張を持続させるためには良いことかもしれません。熊谷大会委員長、奥野大会幹事をはじめホストクラブ千里ＲＣ、コ・ホストクラブ吹田西ＲＣ、吹田江坂ＲＣのすべての皆様の水も漏らさぬ綿密なそして心の篭った準備と進行により無事終了させて頂きました。後からお聞きしたのですが、新井接待委員長には会期中にご母堂が緊急を要する重病の床につかれたにも拘わらず、ご心配を心に秘め任務を全うして頂きました。まことに頭の下がる思いで一杯です。このような心を持った方々に囲まれて私は本当に幸せものだとしみじみ感じています。大会開催にご協力頂いたすべての皆様に心からお礼申し上げます。そして、この大会を盛り上げて頂きました参加者の皆様にも感謝申し上げます。第一日目のパネルディスカッションでは教育問題について素晴しいお話しを聞くことができました。教科書問題については初耳のことでその重大さに今さらながら驚きを感じたのは私だけではなかったと思います。このことを含めここで論じられたことは今後の大きな課題であり、これらを克服するためにロータリアンとして活動するための新たな方向が示されたのではないでしょうか。コーディネーターの松岡地区教育問題特別委員会委員長をはじめお話し頂いた先生方に感謝いたします。また、第二日目では時間的にほとんど不可能と考えられた堺屋先生の講演が、ご本人のご好意と、熊谷委員長、中谷会員のご努力で実現できたことも大きな喜びでした。今回の大会は全員登録に始まり、決議事項、表彰形式（実際に身をもって奉仕頂いた方も含めました）、本会議の進行など新しい方向を打ち出したつもりです。多分に自己満足的なものというご批判を受けるかもしれませんが、今後の参考にして頂ければ幸いです。最後まで満席の盛況であったことも喜びにたえません。竹山会長代理ご夫妻も奥野大会幹事の職業奉仕（会長代理の歯科治療）に感謝されるとともに皆様方に対し大会の成功を喜んでおられました。私にとって生涯忘れることのできない地区大会、素晴らしい思い出をつくって頂いた竹山会長代理ご夫妻をはじめご来賓の皆様、当地区のすべてのロータリアン、多忙な中駆けつけて頂いた16地区の同期のガバナー、令夫人、他地区のパストガバナー、他地区のクラブの皆様に心から感謝申し上げたい気持ちで一杯です。有難うございました。

さて、この次はインディアナポリスでの国際大会です。できるだけ多くの皆様に参加して頂くようお願いします。そして、６月15日には日本語によるパネルディスカッションが初めて開催されます。多数の皆様のご参加をお願い致します。

月信も後一回で終了です。次回は総纏めとして書かせて頂きたいと思っています。

竹山涼一RI会長代理の挨拶

パネルディスカッション「戦後教育の総点検」

1997－98年度　「海のライラ」の報告

地区青少年活動委員長　**板垣　美一**（大阪住吉）
海のライラ実行委員長　**服部　昌美**（大阪大手前）

1997－98年度の海のライラは例年通りに府立青少年海洋センターで５月３・４・５日の３日間に登録ロータリアン348名（内参加者81名）、参加青少年134名（女69名、男60名、上級ライラ５名）にて、天候にめぐまれ過去最大の参加者数で成功の内に無事終了することができました。

本年度はホストクラブの大阪大手前ロータリークラブの佐藤会長の標語「空は青　海も青　我らは青春　海のライラでリーダーシップを培育しよう」で始まり、海と親しみ　その海から教えられ　その海から受けた命を燃やし　我ら海の民は海の心と魂を受け継いで　次ぎの世代の多くの若い命に伝えたい　伝えることが我らの使命の序論と、松村賢治氏講演「冒険から学んだ自然のすばらしさ」の根底に流れる　**勇気とは**　を討論のテーマとしました。

青少年の参加者の募集は２月から始まりましたが、例年のごとく出足が遅く、実行委員会の会員が元会長とともに各ロータリークラブの例会にＰＲに訪問する毎日を続けた努力の結果、４月中旬には目標の120名を越えほっとしました。またROTEX関係者他の皆様方のご協力で外国人留学生18名の参加がありました。

開講式には松本青少年活動担当パスト・ガバナー、吉川ガバナー・ノミニー、片岡海洋センター所長、板垣委員長のご挨拶をいただき、12グループに分かれて、自己紹介、班旗製作と第１日目が始まり、夜は大阪大手前ロータリーの会員もそれぞれのグループの輪に入り、班会議、懇話会と遅くまで順調に進行しました。第２日目は午前中はカッター活動で３艇に分かれ前半、後半で訓練競技を実施し、午後は海洋センター近くの府

立ビーチバレー会場（世界でアトランタ、大阪の２ヶ所のみの施設）で12チームでビーチバレーボール協会の先生と選手の指導のもとに競い合いました。この２日間でライラ本来の目的である参加青少年のグループ活動の活性と融和が図られ、さらに夕方より例年通り楽しみのバーベキュー大会が始まり、各グループが薪おこし、野菜類の盛りつけ準備に全員が役割分担しての進行具合を見た時には、ライラの目的の達成を確信しました。

第３日目は討論の班会議となり「勇気とは」をテーマ標語とし、非常に大きな漠然とした言葉ではありますが、青少年の自主性を尊重し、どんな角度からでもよいから大いに議論してもらおう、しかし結論はどうなるのか、とあれこれクラブ内では議論百出でありました。

しかし心配無用で、各グループのリーダーの司会進行で大きな紙にマジックでカラフルに何枚も書くグループが続出し、ロータリアンは横で静かに見守るのみとなり、いよいよ全員が集まってのグループ毎のテーマ討議発表会になり、12グループがつぎつぎとすばらしい内容の発表をしました。有賀次年度青少年活動委員長の丁寧な講評を聞き終わり大阪大手前ロータリアン全員、満足感で一杯でした。

閉講式は板垣委員長、酒井海洋センター副所長の講評とご挨拶をいただき、ライラ修了証書を全員に渡し、会場一杯に輪になり「手に手つないで」を合唱のうちに閉会の点鐘となりました。最後に第2660地区役員、青少年活動委員会そして青少年海洋センターの皆様に厚くお礼申し上げます。

ＩＭ第６組報告書

ホストクラブ　　大阪中之島ロータリークラブ
会　　長　　杉　本　憲　治
ＩＭ委員長　　岡　本　吉　富

日　　時　　1998年２月14日(土)
場　　所　　太 閤 園
参加クラブ　　大阪・大阪東・大阪東淀・大阪城東・大阪城・大阪北淀・大阪大手前・大阪城北・大阪鶴見・大阪淀川・大阪中之島
登録者数　　335名
参加者数　　235名

テーマ　　21世紀をみつめた明日の関西
『活力と魅力にあふれる関西（大阪）をつくろう』

RI第2660地区第６組のIMは中野董夫ゼネラル・リーダーのご指導をいただき開催致しました。閉会式に於て近藤ガバナーならびに中野ゼネラル・リーダーより心あたたまる激励のお言葉をたまわると同時に地区報告では矢部・小竹・多田・藤井の各委員から地区委員会の活動状況について詳細に報告がありました。今回のIMは第一部で『21世紀をみつめた明日の関西』というテーマで上田篤氏（京都精華大学教授）に関西（大阪）の現状と今後の方向性をご講演いただきました。第二部ではその基調講演をうけて平岡龍人氏（清風学園副校長）をコーディネーターとして植田正孝氏（大阪市立大学経済研究所教授）高田公理氏（武庫川女子大学教授）井上章一氏（国際日本文化研究センター助教授）の各先生方により具体的に『活力と魅力にあふれる関西をつくるには』という内容でパネルディスカッションをしていただき活発な討論の中今後の活動に役立つ情報を得ることができ大変意義深いインターシティミーティングとなりました。最後になりましたがご講演をいただきました上田篤氏又各パネリストの先生方ならびにガバナー、ゼネラル・リーダーをはじめ参加いただきました11クラブロータリアンの皆様に心からお礼を申し上げます。

茨木西ロータリークラブ
「第4回サクラフェスティバル」開催

茨木西ロータリークラブ
広報委員長　岩井　久史

JICA研修生（14ヶ国・40人）、知的障害者通所授産施設茨木市立かしの木園（13人）訓練生とロータリアン（42人）とその家族（44人）の友好の会を参加数139人で開催致しました。

日　時：平成10年4月4日　11:00～15:00
場　所：辯天宗冥応寺境内　特別会場
茨木市一番の桜の名所、当日は雲一つない晴天に恵まれ、最高に美しく咲き誇り、私達を迎えてくれた。

本殿にて灌仏会を終え、JICA研修生、かしの木園々生、会員の家族。野点の接待に参加して下さった方々で会場いっぱい、お茶の接待を受け、花見団子、お弁当を頂き、桜の花を満喫する。

全員で、ビンゴゲームを行い、トップ賞・会長賞の自転車を大森会長よりJICAの女性研修生へ（滞在中に乗り方を練習するとのこと）、また全員に景品が行き渡り大変盛り上がった。

最後に会場いっぱいに輪になり全員による阿波踊り、JICAの研修生は着物、ゆかた（着付が大変、会員の奥さんが懸命な努力）に着替え楽しい一時であった。

会を重ねるごとに趣向を凝らし、より良き友好の会として成果を上げるお祭りでありたいと思います。

1998年4月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	4月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	4月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	4	100.00	1	大阪中之島	55	50	0	−5	4	97.45	25
大東中央	32	32	10	0	4	81.10	81	大阪難波	75	75	0	0	4	95.69	44
東大阪	81	83	0	2	4	95.05	48	大阪なにわ	48	50	0	2	4	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	4	96.46	35	大阪南西	71	74	4	3	4	94.67	51
東大阪中央	58	53	0	−5	4	97.65	23	大阪西	92	93	0	1	4	96.50	30
東大阪西	61	61	0	0	4	90.16	71	大阪大手前	61	64	0	3	4	96.17	36
枚方	61	58	0	−3	4	98.00	16	大阪大淀	81	78	0	−3	4	92.43	61
枚方くずは	65	66	0	1	4	98.00	16	大阪咲洲	42	35	1	−7	4	88.57	76
茨木	59	58	1	−1	4	95.73	43	大阪西北	79	77	0	−2	4	97.54	24
茨木東	53	51	3	−2	5	92.61	59	大阪西南	114	115	9	1	4	100.00	1
茨木西	42	44	7	2	4	91.67	66	大阪船場	64	66	0	2	4	94.45	52
池田	57	56	1	−1	4	90.16	71	大阪心斎橋	80	80	0	0	4	98.08	15
池田くれは	46	46	0	0	4	87.81	78	大阪城北	64	65	1	1	4	89.90	74
門真	29	32	0	3	5	93.79	55	大阪そねざき	62	68	50	6	4	97.78	20
交野	48	48	0	0	4	94.27	54	大阪住之江	49	49	0	0	4	97.88	19
箕面	37	40	0	3	4	98.00	16	大阪住吉	80	78	5	−2	4	92.18	63
箕面中央	51	46	0	−5	4	97.00	27	大阪天満橋	122	119	0	−3	5	95.15	46
守口	91	92	5	1	4	95.07	47	大阪天王寺	40	39	1	−1	4	94.30	53
寝屋川	53	53	0	0	4	91.56	68	大阪東南	66	64	0	−2	4	96.88	28
寝屋川東	27	30	0	3	4	96.00	40	大阪鶴見	49	47	0	−2	4	96.15	37
大阪	285	301	0	16	4	82.28	80	大阪梅田	67	67	0	0	4	99.60	7
大阪阿倍野	56	55	3	−1	4	89.02	75	大阪梅田東	59	65	0	6	4	98.85	10
大阪ちゃやまち	61	59	0	−2	4	96.49	32	大阪うつぼ	73	74	0	1	4	95.00	50
大阪中央	69	66	1	−3	4	98.86	9	大阪淀川	75	77	2	2	4	95.05	48
大阪堂島	55	58	2	3	4	92.86	57	千里	75	77	0	2	4	97.73	21
大阪阪南	75	71	0	−4	4	98.83	11	摂津	52	54	0	2	4	96.01	39
大阪東	138	147	0	9	4	96.50	30	四条畷	25	24	0	−1	4	90.75	69
大阪東淀	63	61	5	−2	4	97.05	26	吹田	82	83	4	1	4	99.70	6
大阪平野	55	58	0	3	4	100.00	1	吹田江坂	55	54	2	−1	4	95.74	42
大阪本町	62	64	0	2	4	95.16	45	吹田西	65	57	0	−8	4	100.00	1
大阪イブニング	42	44	1	2	4	90.10	73	高槻	67	69	0	2	4	97.67	22
大阪城	17	18	0	1	4	91.67	66	高槻東	55	56	0	1	4	98.10	14
大阪城南	83	83	0	0	4	98.30	13	高槻西	44	43	0	−1	4	99.42	8
大阪城東	64	70	0	6	4	98.68	12	豊中	74	69	0	−5	4	93.05	56
大阪柏原	50	47	3	−3	4	96.47	34	豊中南	59	58	0	−1	5	96.48	33
大阪北	190	198	0	8	4	91.96	65	豊中大阪国際空港	49	46	0	−3	4	88.10	77
大阪北梅田	64	59	0	−5	4	92.67	58	豊中千里	46	49	3	3	4	92.00	64
大阪北淀	48	52	0	4	4	96.08	38	八尾	83	87	0	4	4	96.85	29
大阪御堂筋	78	77	0	−1	4	90.67	70	八尾中央	41	42	0	1	3	92.50	60
大阪南	188	195	0	7	4	92.29	62	八尾東	58	57	4	−1	4	95.90	41
大阪みなと	36	37	2	1	4	82.40	79								

クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
81	5470	5507	130	37		94.8	

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1998)

※松村楠敏	大阪西北RC	4・3
※高木二郎	寝屋川RC	4・6
※村田吉弘	大阪東RC	4・9
髙田肇	大阪天満橋RC	4・10
※中村幸盛	大阪みなとRC	4・15
※須永哲生	〃 RC	〃
小室俊子	大阪阿倍野RC	4・9
石黒信子	〃 RC	〃
中尾加代子	〃 RC	〃
西田紀子	〃 RC	〃
三野貴美子	〃 RC	〃
三谷滋伸	大阪天満橋RC	4・20
山本喬一	〃 RC	〃
田中恵二	東大阪西RC	4・22
栗山哲夫	〃 RC	〃
小林庸次	大阪東RC	〃
河瀬靖子	寝屋川RC	〃
紅露富美子	〃 RC	〃
細江紀子	大阪東淀RC	〃
吉井洋一	大阪本町RC	〃
山口早苗	大阪難波RC	〃
大内かほる	大阪鶴見RC	〃
※能勢俊吾	大阪東RC	〃
宮里武司	〃 RC	4・28
南川義章	〃 RC	〃
※西原明	大阪心斎橋RC	〃

ベネファクター

北村弘一	大阪天満橋RC	4・10
坂本一民	〃 RC	〃
中川広司	摂津RC	4・15

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1998)

木村吉弥太	大阪南RC
北方龍一	大阪西RC

米山ファンドフェロー

次の方にファンドフェローの称号が贈られました。(1998)

宮部暁太郎	大阪西RC

訃報

藁幹展 君（寝屋川RC）
平成10年4月26日逝去（享年71歳）
1927年（昭和2年）2月18日生まれ
1991年（平成3年）1月1日入会
ポール・ハリス・フェロー

山根達雄 君（大阪ちゃやまちRC）
平成10年5月21日逝去（享年72歳）
1926年（大正15年）11月16日生まれ
1992年（平成4年）1月27日入会
チャーターメンバー
1993－94年度　会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

援助を求めています

◆アルゼンチン　洪水　第4790地区、第4930地区

アルゼンチンを集中豪雨が襲い洪水が発生、多大な影響により悲惨な状況となっております。

援助ご希望のクラブはガバナー事務所までお申出下さい。

お詫びと訂正

月信5月号P.10出席報告中、クラブ名に下記の誤りがありました。

誤	正
大阪中央	東大阪中央

謹んで訂正申し上げます。

編集後記

◇　地区大会も終わって、関係者一同ほっとしたところ。皆様大変ご苦労さまでした。

◇　全員登録に踏み切ったことは如何だったでしょうか。その趣旨について、今号のガバナーのメッセージをもう一度ご覧ください。

◇　異論もあったようだが、周辺を見回してみると、われわれの旧態依然ぶりがあらわにされた気がしなくもない。いずれ全員登録が主流に。

◇　一挙に大きさも方向もとなると混乱するばかり、この際ベクトルの向きだけをちょこっと変えてといったところか。先は長いが楽しみなことで。　（新原）

ガバナー事務所ご案内

■事務所スタッフ

ガバナー	近藤　雅臣
地区代表幹事	井上　暎夫
地区代表幹事補佐	西田　泰晤
地区幹事	藤満　宣夫
事務局員	井上　　綾
〃	小林久美枝
〃	福原　香織

■所在地・電話・ファックス

〒552-0007 大阪市港区弁天１－２－１
オーク１番街2311号
TEL　06-577-2660
FAX　06-577-1608

■執務時間

月～金曜日　午前10時～午後５時
休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日

国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅臣

6月

JUN.30 1998 No.13

ガバナー月信
Governor's Monthly Letter

今年度　RIのテーマ

Show Rotary Cares
ロータリーの心を

Rotary International

■各クラブ会長ならびに幹事各位
（同文：地区内全会員各位）

ガバナー 辺巻雅臣

地区内の風物：Pageant

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナーからのメッセージ

ガバナー退任にあたって

国際ロータリー第2660地区

ガバナー　近藤雅臣

6月23日にインディアナポリスにおける国際大会から帰国し、新旧地区幹事会、青少年交換委員会、米山記念奨学会評議員会、GSE会合を経てようやくガバナー任期満了となりました。この一年間、激務ではありましたが素晴しく充実した毎日を過ごさせて頂き、多くの知己を得、学ばせて頂いたことに感謝しています。同期の会長、幹事様も恐らく同感ではないかと推察しています。ご苦労様でした。お陰様で無事任務を終了させて頂きましたが、これもひとえに同期の会長様、幹事様をはじめすべての会員の皆様の力強いご支援の賜と心から感謝申し上げます。ガバナー就任以来「ロータリー精神の原点に立ち戻り、ロータリー活動を見直そう」と提唱し、率先して遂行すべく心掛けて参りましたが、80年近い歴史と伝統が厚い壁となり一朝一夕にはとても片付けられないことを思い知らされました。しかし、この壁のまえに立って、どんな大きな岩であっても小さな隙間から入った水が凍って崩壊するように、その隙間をまずつくれば良いのではないかと闘志をかき立てられ、僅かではありますが、今までとは少し違った方向をお示しできたのではないかと考えています。時間はかかっても絶ゆまぬ努力の積み重ねで心ある同志を得ることもでき、最後には原点にたどり着けるのではないかと望みをかけています。後任のガバナー、ノミニーに期待するところ大であります。

この一年間ロータリーの、そして人生の先輩をも含め私なりの考え方を独断的ともいえる態度で議論して参りました。その非礼をお許し頂きたいと思いますが、それはあくまでもロータリーという組織の中でのことであって、ロータリーに対する私の信念と見直しへの情熱に由来するものであったことをご理解頂きたいと願っています。ロータリーの原点は愛であり、ロータリーは愛に始まって愛に終わるとガバナー就任に際し皆様に申し上げました。そして、ロータリアン一人一人がI Serveに徹し、身近なところから奉仕を実践し、それをクラブに、地域に、日本に、そして世界に拡げようとお願いしました。奉仕とは、見返りを求めず、奉仕のできる自らの境遇に感謝し、救いを求める人の喜びから得る感動を心の糧とするものであります。そして、まず、奉仕を実行して下さい、必ず素晴らしい感動を得ることができます、どうしても身体を使えずまた時間もない方はその心を献金という形で表わして下さいとも申し上げました。ロータリーは奉仕団体であり寄付団体ではないからです。お陰様で会員の中で共感して頂く方も比較的多くおられ激励を受けました。今後もパスト・ガバナーとして皆様のご支援を頂き理想のロータリーを目指して努力を重ねたいと思っております。

一年間を振り返り気のついた点を披瀝し、ご参考に供したいと思います。まず、退会者の件であります。この不況の世の中で残念ではありますが経済的理由で退会される方、健康を害された方、そして転勤される方など引き止めることのできない方は致し方あり

ませんが、判然としない理由で退会される方が比較的多いということが問題であります。面白くないという理由でやめられる方には、増強を計るために入会前にロータリーの本質の説明より楽しさを過大に説明したため思惑がはずれた人もおられるでしょうし、クラブ内の感情的な問題で退会される方もあるようです。特に後者はおよそロータリーらしくない問題でありクラブの管理が充分行き届いていない点が指摘されます。ロータリアンはそれぞれの社会で一国一城の主でありますが、ロータリーの中ではそれは許されるものではありません。すべての会員は対等に尊敬されなければなりません。派閥をつくって主導権を握ること自体避けなければなりません。I Serveに徹すればすべての会員に同様の友愛の心を捧げられるからです。クラブの存在はロータリーの基盤であります。そのクラブを会員同士の結び付きでしっかりと自己管理して頂きたいと願ってます。

次に地区とクラブとの問題であります。現状では地区とクラブとくに会員との間がお互いに充分理解されていない点であります。地区委員の方々は全力を挙げて地区事業に取り組んで頂いています。しかし、クラブに対しての、また、クラブからの情報伝達が行き届いていないため対立的な関係に陥る場合もあり、さらに、地区自身が独善的な行動をとっているかに誤解されることも有りがちです。地区委員は地区での討議内容などこまめにクラブで説明し、もっと関心と理解をもってもらうようにしては如何でしょうか。また、逆にクラブの方ももっと関心を寄せて頂きたいと思います。そのためにはできるだけ多くのクラブから多くの新しい委員を出して頂き、任期を決めて人事の刷新をはかり、地区とクラブとの人事の歯車を嚙み合わせ流通させることが必要かと思います。地区委員になることによりクラブの要望を取り入れることができますし、また、任期を終えクラブに戻ったときに地区の理解者としてクラブとの連携を深める役目或いは誤解を解く役目を努めることができます。

今年度も財団寄付につきまして多大のご理解を頂き感謝しております。また、米山記念奨学金寄付につきましてもご協力有難うございました。ただ、米山寄付につきましては今年度の(財)米山記念奨学会の処置に疑問を感じています。本奨学会から(財)米山記念会館に多額の寄付が行われたことであります。米山寄付は外国人留学生の学資の為にと会員から寄付を頂いているものと理解してますし、定款にもそのように記されています。今回はその定款を文部省と相談して大幅に解釈してのことだそうであります。このことが果して許されるべきことなのでしょうか。評議員の一員としてこのような結果になったことに対し、責任を感じ敢えて実情をお伝えします。記念館の増築に寄付するのであれば、それ以前に奨学金の使途に対しより工夫を凝らすべきではないかと思います。前にも申し上げましたように、現在はわが国に来ている学生に奨学金が支払われていますが、旅費がなく来日できないけれど向学心に燃え日本に来たい人達が沢山いるということです。この人達にチャンスを与えればどれほど感謝されるかを考えて見たいものです。米山氏の功績は偉大であることは誰しも認め、感謝し、そのため米山記念と命名されたところであります。これと記念館とはまた別の問題であります。果して米山氏が記念館にお金をかけることを喜ばれるでしょうか。

思いつくまま書いてきましたがまだまだ問題はあるようです。これらに関しては、部

門担当PGとして担当を交代するごとに委員の皆様と見直しをして行きたいと考えています。いずれにしましても一人一人がロータリーの原点をしっかり把握しておれば解決できる問題であり、結局はそれにつきるともいえます。

一年間本当にご支援有難うございました。これからはPGとして静かな闘志を燃やしたいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

1997－98年度地区運営について

地区代表幹事　　井上　暎夫

本年度、近藤雅臣ガバナーは「ロータリー精神の原点に還り、ロータリー活動を見直そう」と訴えられました。

これを受けて、改革の第１歩を印そうと地区幹事一同この方針に従い、努力して参りました。

１年を終えてみて、果して当初の意気込通りの運営となったかどうかは皆様のご意見を伺わねばなりませんが、一石を投ずることは出来たかなと総括致しております。

地区内クラブの皆様、地区組織の全ての皆様方に叱咤激励そして絶大なるご協力を戴きましたことをこゝに厚くお礼申し上げます。

本年度に於いて新たに行ないましたことを記しましてご報告させて頂きます。

(1)　次期ガバナー・ノミニー事務所経費引当金

従前はノミニー選出クラブの立替等により運営されておりましたが、次年度より地区会計より支出出来る様致しました。

(2)　クラブ事業助成金

ロータリー活動の原点はクラブの事業にあるとの立場で、優秀なクラブ事業に対して助成金を支出することにしました。

(3)　特別会計

引き継ぎ時９つの特別会計がありましたが、諮問委員会にて「特別会計についての申し合わせ事項」に賛同頂きその設置をより厳しく規制し、３つの特別会計に整理し、次年度に申し送りました。

(4)　地区委員会運営

地区委員会開催の準備等は委員会に委せ、事務局員、地区幹事の出席を止め事務局が地区内クラブにスタンスを取れる様、努力しました。

(5)　地区大会

皆様の全員登録のご協力によりネームカードの作成を止め、各クラブ事務局員の応援もなくなり受付等の簡素化を計りました。

また、地区大会の剰余金をクラブへお返し致しました。

以　上

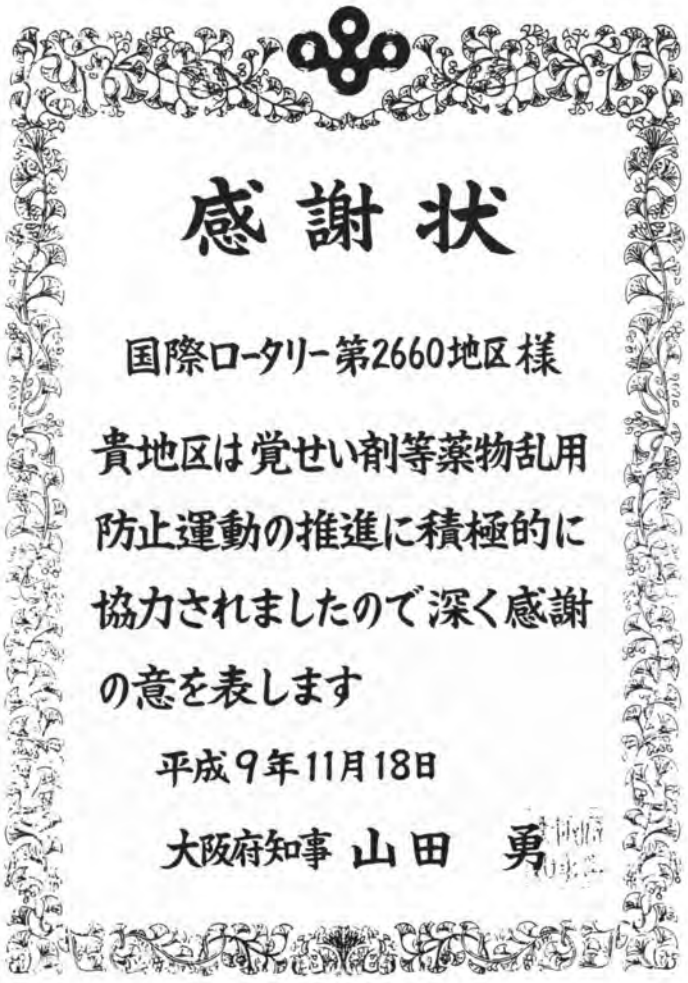
第2660地区に感謝状

社会奉仕委員会報告

1997－98年度において第2660地区では、各委員会で多くの奉仕活動が実施されたが、社会奉仕委員会が行なった奉仕活動に対して感謝状が届けられた。

一つは、本年度の地区社会奉仕委員会が主たる奉仕活動として取り組んだ「薬物乱用防止運動」に対して、大阪府知事から贈られたものであり、もう一つはユネスコが展開している「ユネスコ・世界寺子屋運動」への協賛として、本年度から第2660地区として取り組みをはじめた「書き損じハガキ回収運動」に対して、日本ユネスコ協会連盟から贈られたものです。

この二つの感謝状はいずれもが、第2660地区のすべてのロータリアンの奉仕活動に対して贈られたものであり、社会奉仕委員会として第2660地区すべてのロータリークラブと会員の皆様に厚く御礼申し上げます。



感謝状

国際ロータリー第2660地区様

貴地区は覚せい剤等薬物乱用防止運動の推進に積極的に協力されましたので深く感謝の意を表します

平成9年11月18日

大阪府知事 山田 勇

感謝状

国際ロータリー第2660地区殿

このたびはユネスコ・世界寺子屋運動に多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました　私どもは皆様とともに識字教育を通じてお互いの理解を深めつつ平和な地球社会を築くために努力してまいりたいと思います　現地で活動を進めている各国の友人と共に心より感謝申し上げます

1998年 6月 吉日

社団法人 日本ユネスコ協会連盟

会長 山本卓眞

薬物乱用防止講演会（報 告）

国際ロータリー第2660地区では、地区社会奉仕委員会と地区青少年活動委員会、地区ローターアクト委員会との協同奉仕活動として、国連が「国際麻薬乱用撲滅デー」と定めた6月26日を迎えるに当たり、平成10年6月13日(土)午後、大阪市立北区民センターにおいて「薬物乱用防止講演会」を開催した。

講演会は「麻薬、覚せい剤、シンナー乱用のないわが町を」と題して、ロータリークラブ、ローターアクトクラブが主催し、大阪府、大阪市の後援のもとに開催された。

講演会は、中川章三パスト・ガバナーのご挨拶で始まり、大阪府警察本部少年課　少年補導官、竹下玄恭氏から「少年犯罪の現況と薬物乱用の実態」について詳細なご説明を賜り、大阪府立中宮病院　副院長、立花光雄氏より、医師の目で見た薬物乱用についてご講演いただいた。

『地区交通問題特別委員会を担当して』

国際ロータリー第2660地区
パスト・ガバナー　　廣瀬　勘一郎

ロータリーは理念もさることながら、実践こそが真の奉仕活動であると信じております。

いまわが国では、年々歳々、時々刻々、交通重大災害が発生している状況に鑑み、人道主義を奉仕活動のモットーとして標傍するロータリアンにとって、貴い人命に関わる「交通問題」は、奉仕活動として取り組むに最も相応しい対象と思われます。

これをロータリークラブの中で、如何に実践するかが、この運動の大きな問題であります。

「交通問題」と一口で言っても、その中には交通事故の発生前と発生後の問題があります。その中から特に、交通災害の防止について取り組むことと致しました。

近藤ガバナーは、前年度の地区大会に於ける決議事項（交通事故防止運動に協力の件）に基づき、'97－98年度より2660地区に於いて日本のロータリーの奉仕活動として画期的な「交通問題特別委員会」を創設されました。不肖私が担当パスト・ガバナーとして微力ながら交通問題に取り組む事になりました。特別委員会発足以来、各委員の方々と本運動を如何に推進していくかについて会議を重ね、関係機関とも接触して参りました。

かく言う私自身も目が不自由な為に皆様にご迷惑をお掛けするばかりで失礼を致しておりますが、今後も『交通問題』に命の続く限り取り組んでいくつもりです。

『交通問題』は「今日は他人の身、明日は我が身」の危険性を孕んだ問題であり、決して他人ごとではないことをご認識頂くと同時に、ロータリアンとして、率先垂範、事故防止に努めて頂くことこそが奉仕活動の実践であると確信しております。

ところで、昨年総務庁発表の交通事故に因る１年間の社会的、経済的損失額は、

１．物的損失　　１兆9,680億円
２．人的損失　　１兆4,860億円
３．その他損失　　9,041億円

の計、４兆3,581億円といった莫大な損失となっております。

年間１万人以上の貴い人命が失われるだけでなく、このような膨大な社会的損失を招く交通事故を１件でも多く減らし、１人でも多くの人命を守り、１円でも多くの社会的損失を減らすために、「交通問題特別委員会」のテーマとして、

１．ロータリアンの所属する企業における交通災害防止運動への取り組みについて
２．青少年に対する「交通災害防止」のための教育について
３．高齢化社会における高齢者の交通安全問題について

の３つに絞って、地区としての具体的活動を行うべく下記のような活動を行って参りました。

１．地区交通問題特別委員会の開催（毎月１回）
２．各クラブ（81）からの交通問題担当者との会議の開催（年２回）
３．インターシティーミーティングでの交通災害防止の講話の実施（８組）
４．春、秋の全国交通安全運動行事への参加
５．警察本部、地区警察署、自動車安全運動センター、都市交通問題調査会（理事長：浅沼　清太郎－大阪ロータリークラブ会員）等との意見交換並びに協力体制の構築、強化
６．交通問題権威者（大阪大学名誉教授　長山　泰久＝交通科学研究所所長）との関係強化
７．学識経験者とのチャンネル作り（神戸大学教授　二木　雄策：『交通死』著者）
８．各クラブと関係機関との連携の支援

等の活動を通じて、各クラブ及び各ロータリアンに対し、交通災害防止運動についての理解を深め、強力に推進頂くための啓蒙運動を行ってきました。

殆どの人は、交通事故に対する認識や理解を一応はもっておられますが、残念ながら、自分自身が事故の当事者にならない限り、他人ごとのように思われているのが実情です。

この１年間の運動を通じて、当地区ロータリーの中では、一人ひとり、一つ一つと理解の輪が広がってきたと確信致しております。

しかし、この問題は、車社会のある限り続く問題で、本運動も一時的ではなく、継続的且つ広範囲に行うことが必要です。地区内では、職業奉仕部門、青少年奉仕部門、社会奉仕部門並びにその他の部門にも本運動をより効果的なものとするため協力をお願いしています。

その意味では、この１年間の委員会の活動は、他の奉仕部門と違う特異性と苦労がありましたが、交通安全運動の基礎作りの活動として意義深いものであったのではないかと思っています。

幸いにして、第2660地区の交通災害防止運動の輪が、近畿３地区（第2640地区：大阪府南部、和歌山県、第2650地区：福井県、滋賀県、京都府、奈良県、第2680地区：兵庫県）に広がり、各地区においても昨年度及び今年度の各地区大会に於いて決議事項として採決されましたことは、今後の運動がより意義深いものになってきたと思います。

1999年に開催される、４地区合同の地区大会に於いては、４地区共催のプロジェクトとして『交通問題』を何らかの形で、取り上げて頂けることを期待しております。

何故なら、既にご承知の通り、ロータリーの奉仕活動の中で、日本独自の「米山奨学会」が立派に成長していることや、青少年奉仕部門のRYLA運動は日本から始まって世界の運動に発展している実績があり、この『交通災害防止運動』も同じように近い将来RIとして、奉仕活動に一つに取り上げるに値する非常に重要な問題であると確信するからです。

これによってこの『交通問題』が４地区だけに止まらず、日本全国は勿論のこと、世界的にも、先進国、発展途上国の別なく重大な人道問題となっていることを、国際ロータリーとしてご認識頂ける絶好の機会となると信じます。

交通災害防止運動にはまだまだやらねばならないことが沢山あります。昨年中にはできずに積み残したことが色々あります。次期ご担当頂く大森パスト・ガバナーをはじめ委員会の方々には尚一層の成果を高めて頂くようお願い致します。

この上は、『交通問題』についての理解と認識を一層深めて頂き、「交通災害防止運動」の発展の為に積極的ご協力を賜りますことをお願いして、一年間の活動報告と致します。

おわりに、この１年間ガバナーをはじめ当地区の皆様方の御理解と積極的なご協力を賜りましたことを心から厚く御礼申し上げます。

1997－98年度国際ロータリー第2660地区

収　支　報　告　書

自　1997年7月1日
至　1998年6月30日

ガバナー　近藤雅臣
地区財務委員長　田村興作
地区会計　伊藤誠

〈収入の部〉

（単位：円）

科目	予算	支出	備考
前期繰越金	14,000,000	19,566,077	
RI交付金	2,000,000	2,353,050	
地区資金	83,250,000	82,927,500	
雑収入	3,600,000	7,196,724	(注1)
合計	102,850,000	112,043,351	

〈支出の部〉

（単位：円）

科目		予算	支出	備考
委員会活動費		25,300,000	24,159,754	
	地区ガバナー指名委員会	150,000	126,710	
	意義ある業績賞委員会	50,000	4,700	
クラブ奉仕部門	会員増強委員会	150,000	172,333	
	広報・雑誌委員会	400,000	460,999	
	規定・情報委員会	400,000	567,235	
	親睦活動委員会	280,000	293,287	
職業奉仕部門	職業奉仕委員会	350,000	80,157	
	ボランティア委員会	160,000	154,460	
社会奉仕部門	社会奉仕委員会	700,000	688,519	
	環境保全委員会	250,000	10,520	
青少年奉仕部門	青少年活動委員会	2,330,000	2,283,007	
	インターアクト委員会	2,840,000	2,946,649	
	ローターアクト委員会	5,190,000	5,486,611	
国際奉仕部門	世界社会奉仕委員会	230,000	195,599	
	青少年交換委員会	450,000	450,000	
	国際交流・平和委員会	250,000	146,518	
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	120,000	154,269	
	財団情報委員会	120,000	84,210	
	財団増進委員会	150,000	204,840	
	国際親善奨学生委員会	1,500,000	1,411,717	
	研究グループ交換委員会	6,150,000	5,498,093	
	財団学友委員会	700,000	870,416	
	ポリオプラス委員会	50,000	0	
米山奨学部門	米山奨学委員会	640,000	550,712	
拡大部門	拡大委員会	200,000	216,012	
特別奉仕部門		1,100,000	1,102,181	
	委員会活動予備費	390,000	0	
アドホック部門	クラブ事業助成金	1,000,000	730,000	
会議費		7,720,000	7,598,519	
	地区大会補助	300,000	300,000	
	R.I.会長記念品代	160,000	160,000	
	R.I.会長歓迎会	370,000	370,000	
	直前ガバナー記念品代	260,000	260,000	
	地区協議会補助	300,000	300,000	
	地区委員会	3,300,000	3,294,926	
	ガバナー打合せ会議費	2,000,000	2,083,593	
	G.N.国際会議参加補助	830,000	830,000	
	予備費	200,000	0	
日本国内地区ガバナー会		1,110,000	1,099,300	
ロータリー文庫協力費		1,665,000	1,648,950	
地区大会分担金		16,650,000	16,489,500	
ガバナー月信印刷費		6,500,000	5,746,710	
ガバナー事務所経費		32,400,000	30,160,914	
仮払金・立替金		0	0	
共通及び緊急予備費		500,000	0	
次期ガバナーノミニー事務所経費引当金		5,000,000	5,000,000	
合計		97,845,000	92,633,647	
差引収支差額		5,005,000	19,409,704	

内訳：本会計通帳　19,088,658
委員会通帳　126,333
G事務所通帳　117,578
手持現金　77,135
合計　19,409,704

（単位：円）

ガバナー事務所経費内訳			
科目	予算	支出	備考
借室料・光熱費	6,500,000	5,973,825	
賃金給料	11,500,000	11,645,000	
コンピューターシステム費	4,100,000	3,518,068	(注2)
ガバナー交通会合費	800,000	771,148	
印刷費	1,800,000	2,139,482	
交通通信費	2,500,000	2,258,222	
文献費	200,000	43,839	
事務用消耗品費	1,700,000	1,535,535	
什器備品費	1,300,000	951,876	
雑費	1,500,000	1,323,919	
予備費	500,000	0	
合計	32,400,000	30,160,914	

（注1）地区協議会残金及び特別会計より繰入れ分である。

（注2）前年度立替金（2年計画）計上分2,163,000円が含まれている。

特　別　会　計

自　1997年7月1日
至　1998年6月30日

ガバナー　近藤雅臣
地区財務委員長　田村興作
地区会計　伊藤誠

(1) 青少年交換ファンド

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	34,119,585	会合費	3,852,955
特別会計収入	10,997,000	補助金	13,200,000
登録料収入	1,736,000	行事参加費	1,126,000
大阪会議登録料	3,574,000	教材出版費	1,142,179
		事務通信諸費	605,056
		ROTEX運営費	360,000
		特別会議費	6,298,441
		雑費	44,490
預金利息	26,150	繰越金	23,823,614
合計	50,452,735	合計	50,452,735

(2) ライラ指導指針

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	700,804	本会計通帳へ	701,488
預金利息	684	繰越金	0
合計	701,488	合計	701,488

(3) 世界社会奉仕委員会基金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	4,245,110	支援金	8,986,150
クラブ拠出金	10,935,698	雑費	22,080
冊子販売代	16,800		
預金利息	4,452	繰越金	6,193,830
合計	15,202,060	合計	15,202,060

(4) 社会奉仕委員会「なかよし運動会」

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	1,032,783	本会計通帳へ	1,033,792
預金利息	1,009	繰越金	0
合計	1,033,792	合計	1,033,792

(5) 規定情報出版

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	296,777	本会計通帳へ	396,300
冊子販売代	99,200		
預金利息	323	繰越金	0
合計	396,300	合計	396,300

(6) 海遊館の集い

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	465,223	海遊館招待行事費	1,885,575
登録料	1,912,000	車いす寄贈代	225,000
		雑費	3,570
		本会計通帳へ	263,752
預金利息	674	繰越金	0
合計	2,377,897	合計	2,377,897

(7) 緊急災害対策基金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	5,783,510	阪神大震災義捐金	2,000,000
		豊中市への義捐金	2,000,000
		豊中市社会福祉協議会	900,000
		里親クラブ	889,041
預金利息	5,531	繰越金	0
合計	5,789,041	合計	5,789,041

(8) ポリオ基金

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	2,961,246	支援金	2,000,000
		支援金	900,000
		雑費	1,102
		本会計通帳へ	62,434
預金利息	2,290	繰越金	0
合計	2,963,536	合計	2,963,536

(9) 地区米山奨学生活動費

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	194,012	レクリエーション	1,484,050
米山記念奨学会補助	3,852,000	米山寄付金送料	71,220
参加費	466,000	選考費	1,088,062
		歓送会	1,566,605
		雑費	1,785
		米山学友会への寄付	100,000
預金利息	2,016	繰越金	202,306
合計	4,514,028	合計	4,514,028

私は、国際ロータリー第2660地区の1997－98年度本会計および特別会計について監査した結果、正確適正であることを証明します。

1998年7月30日

会計監査　村口光彦 ㊞

1998年5月度　出席報告

クラブ名	期初の会員数	5月末会員数		増減	例会数	出席率	順位	クラブ名	期初の会員数	5月末会員数		増減	例会数	出席率	順位
		全員	女性							全員	女性				
大東	69	69	0	0	3	100.00	1	大阪中之島	55	51	0	−4	4	95.00	53
大東中央	32	32	10	0	4	84.10	81	大阪難波	75	76	0	1	4	98.70	17
東大阪	81	82	0	1	4	96.00	44	大阪なにわ	48	50	0	2	4	100.00	1
東大阪東	73	75	0	2	4	96.97	35	大阪南西	71	74	4	3	3	96.74	39
東大阪中央	58	53	0	−5	3	96.86	38	大阪西	92	93	0	1	3	96.92	36
東大阪西	61	61	0	0	3	92.89	64	大阪大手前	61	62	0	1	5	97.50	30
枚方	61	60	0	−1	3	98.00	22	大阪大淀	81	78	0	−3	4	92.41	66
枚方くずは	65	66	0	1	3	97.88	25	大阪咲洲	42	34	1	−8	4	93.57	61
茨木	59	59	1	0	4	96.37	42	大阪西北	79	77	0	−2	3	99.03	14
茨木東	53	50	3	−3	4	98.04	20	大阪西南	114	115	9	1	4	100.00	1
茨木西	42	44	7	2	4	100.00	1	大阪船場	64	66	0	2	3	93.12	63
池田	57	56	1	−1	4	92.79	65	大阪心斎橋	80	80	0	0	4	97.71	28
池田くれは	46	44	0	−2	3	95.18	51	大阪城北	64	65	1	1	4	89.97	75
門真	29	32	0	3	4	93.97	60	大阪そねざき	62	68	51	6	4	98.90	15
交野	48	48	0	0	4	96.88	37	大阪住之江	49	49	0	0	3	97.83	26
箕面	37	40	0	3	4	97.92	23	大阪住吉	80	78	5	−2	4	94.72	57
箕面中央	51	46	0	−5	4	95.00	53	大阪天満橋	122	118	0	−4	4	94.94	55
守口	91	91	5	0	4	95.44	50	大阪天王寺	40	39	1	−1	4	91.66	68
寝屋川	53	52	0	−1	4	90.00	74	大阪東南	66	64	0	−2	3	95.45	49
寝屋川東	27	31	0	4	4	99.20	12	大阪鶴見	49	47	0	−2	3	95.65	46
大阪	285	299	0	14	4	85.31	80	大阪梅田	67	68	0	1	3	98.42	19
大阪阿倍野	56	55	3	−1	4	91.38	69	大阪梅田東	59	65	0	6	4	99.23	11
大阪ちゃやまち	61	58	0	−3	3	97.65	29	大阪うつぼ	73	74	0	1	5	96.56	40
大阪中央	69	66	1	−3	4	100.00	1	大阪淀川	75	77	2	2	4	97.89	24
大阪堂島	55	58	2	3	3	93.45	62	千里	75	77	0	2	3	97.83	26
大阪阪南	75	70	0	−5	3	96.38	41	摂津	52	54	0	2	4	98.04	20
大阪東	138	145	0	7	4	96.15	43	四条畷	25	24	0	−1	4	89.50	78
大阪東淀	63	62	5	−1	3	95.07	52	吹田	82	82	4	0	4	99.40	10
大阪平野	55	58	0	3	4	100.00	1	吹田江坂	55	53	2	−2	3	98.71	16
大阪本町	62	64	0	2	3	89.78	76	吹田西	65	57	0	−8	3	100.00	1
大阪イブニング	42	44	1	2	4	90.10	73	高槻	67	67	0	0	4	99.60	8
大阪城	17	19	0	2	4	94.74	56	高槻東	55	55	0	0	4	97.10	32
大阪城南	83	84	0	1	4	99.59	9	高槻西	44	45	0	1	4	95.48	47
大阪城東	64	70	0	6	5	98.61	18	豊中	74	69	0	−5	3	95.48	47
大阪柏原	50	48	3	−2	3	97.00	34	豊中南	59	59	0	0	4	97.30	31
大阪北	190	198	0	8	4	91.32	70	豊中大阪国際空港	49	46	0	−3	4	87.51	79
大阪北梅田	64	59	0	−5	3	89.66	77	豊中千里	46	49	3	3	4	90.80	71
大阪北淀	48	52	0	4	4	97.01	33	八尾	83	87	0	4	4	99.06	13
大阪御堂筋	78	77	0	−1	4	94.41	58	八尾中央	41	42	0	1	3	95.83	45
大阪南	188	196	0	8	3	90.80	71	八尾東	58	57	4	−1	5	92.00	67
大阪みなと	36	37	2	1	4	94.03	59								

クラブ数	期初会員	月末会員	女性会員	増減		平均出席率	
81	5470	5501	131	31		95.6	

1997－98年度　クラブ別年間平均出席率

大東	100.00	大阪平野	99.89	大阪住吉	93.24
大東中央	81.23	大阪本町	91.64	大阪天満橋	94.68
東大阪	95.72	大阪イブニング	90.61	大阪天王寺	88.41
東大阪東	96.24	大阪城	90.36	大阪東南	97.43
東大阪中央	97.46	大阪城南	98.61	大阪鶴見	95.94
東大阪西	93.41	大阪城東	99.08	大阪梅田	96.64
枚方	97.37	大阪柏原	94.05	大阪梅田東	97.59
枚方くずは	97.59	大阪北	92.51	大阪うつぼ	94.85
茨木	98.19	大阪北梅田	91.06	大阪淀川	96.62
茨木東	96.64	大阪北淀	96.61	千里	96.60
茨木西	97.02	大阪御堂筋	94.29	千里メイプル	100.00
池田	88.18	大阪南	91.49	摂津	95.06
池田くれは	87.37	大阪みなと	87.23	四条畷	90.84
門真	94.36	大阪中之島	94.55	吹田	99.63
交野	94.47	大阪難波	96.96	吹田江坂	98.95
箕面	95.98	大阪なにわ	100.00	吹田西	99.47
箕面中央	93.71	大阪南西	95.72	高槻	98.74
守口	94.74	大阪西	96.91	高槻東	96.83
寝屋川	93.59	大阪大手前	95.62	高槻西	97.91
寝屋川東	95.28	大阪大淀	92.09	豊中	94.66
大阪	84.20	大阪咲洲	88.04	豊中南	97.90
大阪阿倍野	90.57	大阪西北	98.25	豊中大阪国際空港	90.42
大阪ちゃやまち	94.21	大阪西南	100.00	豊中千里	92.16
大阪中央	99.50	大阪船場	95.61	八尾	97.61
大阪堂島	94.76	大阪心斎橋	97.34	八尾中央	94.13
大阪阪南	97.94	大阪城北	90.80	八尾東	91.38
大阪東	96.94	大阪そねざき	98.73		
大阪東淀	94.66	大阪住之江	97.92	平均出席率	94.94

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(1998)

奥野武久	大阪西北RC	5・6
古田鶴彦	大阪阪南RC	5・7
川口雄康	〃 RC	〃
近藤勲	〃 RC	〃
前田忠蔵	〃 RC	〃
前山克巳	〃 RC	〃
松村英治	〃 RC	〃
仲野欣弥	〃 RC	〃
中尾宏	〃 RC	〃
南部高志	〃 RC	〃
乃口忠勝	〃 RC	〃
能口武雄	〃 RC	〃
奥剛典	〃 RC	〃
越智宏暢	〃 RC	〃
阪秋廣	〃 RC	〃
和田健	〃 RC	〃
渡部泰夫	〃 RC	〃
山本研二郎	〃 RC	〃
吉川俊一	〃 RC	〃
新井徳一	大阪住吉RC	〃
藤井勝典	〃 RC	〃
※田中健	大阪大手前RC	5・8
林幸二	大阪阪南RC	5・14
※松山英夫	大阪東RC	5・19
鈴木義孝	〃 RC	〃
松崎駿介	大阪梅田東RC	〃
岡稔	〃 RC	〃
萬野尊昭	大阪RC	〃
※西田隆昭	箕面中央RC	5・21
※上小澤敏行	大阪梅田RC	〃
上西康治	大阪なにわRC	5・22
※国分順一	大阪平野RC	5・26
蔵田作治	大阪住吉RC	〃
西尾昌也	大阪大手前RC	5・27
畑田耕一	豊中RC	5・29

ベネファクター

原田肇	摂津RC	5・11
笹岡宏造	大阪難波RC	5・14
喜多克己	大阪平野RC	5・15
松原倉敏	大阪梅田東RC	5・19
左海潤一	大阪阿倍野RC	5・21
北方龍一	大阪西RC	5・27

※印＝マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。(1998)

遠藤渉	大阪RC
萬野尊昭	〃 RC
岩本樹雄	大阪南西RC

米山ファンドフェロー

次の方にファンドフェローの称号が贈られました。(1998)

中塚春夫	大阪阪南RC
植嶋稔郎	〃 RC
角田成義	大阪西RC
高士雅次	〃 RC
小嶋秀夫	大阪心斎橋RC

訃報

片山和男 君（大阪南RC）
平成10年6月7日逝去（享年79歳）
1919年（大正8年）3月6日生まれ
1962年（昭和37年）6月入会
1986－87年度　会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

山出敬二 君（吹田西RC）
平成10年6月9日逝去（享年77歳）
1922年（大正11年）3月3日生まれ
1980年（昭和55年）6月12日入会
チャーターメンバー
1981－82年度　会長
1984－85年度　会計監事
平成10年1月1日より名誉会員
吹田西RC特別代表補佐
吹田江坂RC特別代表
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

RI住宅支援プログラム協力のお礼

前回のバングラデシュに続き、インドでの支援につきまして、この程ロータリー財団よりの同額補助金が認められましたので、かねてお申込の下記のクラブより拠出を戴きました。

ご協力につきましてお礼申し上げます。

次回につきましては許可され次第ご案内申し上げます。

守口、八尾、大阪鶴見、大阪東
高槻東、大阪うつぼ、大阪そねざき
大阪難波、大阪北梅田、千里

編集後記

□ 担当地区幹事からの決算報告の出稿を待つあまり、最終号が予想外に遅れガバナーメッセージ「…退任にあたって」や交通問題特別委員会報告その他全ての記事を今ごろお届けする羽目になりました。お詫び申し上げます。

□ 《ひとり編集》ここに終える。いま特別の感慨にひたっている暇はない。当初《ガバナー白書》といった体裁にし、自らキー・ボードを叩いてDTPで取り組もうかと考えた。何しろこの仕事は突然舞い込んできたのだった。

□ 経費節減と省力に意を注いだ。編集部による取材や文章整理を廃したり、クラブあてに一括発送を原則にしたのもその一環であった。しかしこちらの周到さの不足もあって理解されていないなというケースに間々出会った。

□ 年間を通じて、この欄で大いに吠えた。今期が特にそういう特異年だったわけではなかろうに、何せ目に余ることが多すぎた。そして今もなお。

□ 表紙写真のほとんどを提供してくださった、千里RCの坂口会員そして羽田会員ありがとうございました。委員会活動報告やIM報告をタイムリーに送り込んでくださった関係者の皆様ご苦労さまでした。

□ 満幅の信頼をおいて任せてくださった近藤ガバナー、情報・データの送り込みに尽力いただいた井上代表幹事ならびにガバナー事務所のご一同に感謝いたします。G事務所小林嬢には本当にお世話になりました。多謝。

□ 未熟な編集でしたが、こころよく支えていただきました地区内すべての皆様と、無理を承知でこなしていただけた㈱小柳印刷所に御礼申し上げます。ここにも新しい出会いに恵まれた。こころ嬉しい限りであります。

□ それにしても最終号のこの遅延は何としたこと、申し訳なさでいっぱい。つくづく惜しまれてならない。ご容赦賜りたい。　（新 原）

1997－98年度　国際ロータリー第2660地区ガバナー　近藤雅佳

ガバナー事務所

■所在地・電話・ファックス
〒552-0007 大阪市港区弁天1－2－1　オーク1番街2311号
TEL　06-577-2660　　FAX　06-577-1608